

文京区 環境問題に関するアンケート 集計分析結果

目次

1. アンケートの概要	2
1.1 アンケートの実施概要	2
1.2 アンケート集計分析結果	2
2. アンケート結果	4
2.1 区民	4
2.1.1 回答者の属性	4
2.1.2 環境問題への関心	6
2.1.3 環境問題に配慮した取組の状況	9
2.1.4 区民の Well-Being(幸福)な状態について	58
2.1.5 区に期待する環境施策	72
2.2 事業者	74
2.2.1 回答者の属性	74
2.2.2 環境問題への関心	76
2.2.3 環境問題に配慮した取組の状況	80
2.2.4 文京区内の Well-Being(幸福)な状態について	171
2.2.5 区に期待する環境施策	203
2.3 団体	206
2.3.1 回答者の属性	206
2.3.2 環境問題への関心	207
2.3.3 環境問題に配慮した取組の状況	208
2.3.4 文京区内の Well-Being(幸福)な状態について	211
2.3.5 区に期待する環境施策	213
2.4 小学生	216
2.4.1 環境問題への関心	216
2.4.2 環境問題に配慮した取組の状況	217
2.4.3 区に期待する環境施策	220
2.4.4 区へのご意見	221
2.5 中学生	222
2.5.1 環境問題への関心	222
2.5.2 環境問題に配慮した取組の状況	223
2.5.3 区に期待する環境施策	226
2.5.4 区へのご意見	227

1. アンケートの概要

1.1 アンケートの実施概要

	区民	事業者	団体	小・中学生
対象	・1200 名 ※住民基本台帳から無作為に抽出	・528 事業所 ※区内事業所から無作為に抽出	・59 団体 ※「こらびっと文京」の登録団体の中から抽出	・21 校(小学校:15 校、中学校:6 校)
内容	1.回答者の属性 2.環境問題への関心 3.環境問題に配慮した取組の状況 4.区民の Well-Being(幸福)な状態について 5.区に期待する環境施策 6.区へのご意見	1.回答者の属性 2.環境問題への関心 3.環境問題に配慮した取組の状況 4.文京区内の Well-Being(幸福)な状態について 5.区に期待する環境施策 6.区へのご意見	1.回答者の属性 2.環境問題への関心 3.環境問題に配慮した取組の状況 4.文京区内の Well-Being(幸福)な状態について 5.区に期待する環境施策 6.区へのご意見	1.回答者の学校 2.環境問題への関心 3.環境問題に配慮した取組の状況 4.区に期待する環境施策 5.区へのご意見
回収率	36.8%(441/1200 名) ※平成 27 年度実施時は 46.3%	26.7%(141/528 事務所) ※平成 27 年度実施時は 45.4%	40.7%(24/59 団体) ※平成 27 年度実施時は 41.7%	—
実施期間	2025(令和 7)年 12 月 11 日(木)発送、12 月 25 日(木)〆切 (回答〆切は 2 回延長:1 回目 12 月 31 日(水)、2 回目 1 月 9 日(金))			—
発送・回収方法	(発送)アンケート鑑・調査票の郵送、リマインドハガキの郵送 (回収)郵送回収、Web 回答			L-gate による Web 回答

1.2 アンケート集計分析結果

区民、事業者、団体のアンケート集計分析結果を示します。単純集計結果を考察するとともに、質問ごとに年代や住居形態、従業員数規模などの回答との関連性の高いと考えられる属性でクロス集計を実施することで、より詳細な傾向等を抽出しています(表 1-1 参照)。

表 1-1 クロス集計を実施した質問と属性の組み合わせの一覧

対象	質問の種類	属性
区民	環境問題への関心	年代別
	環境問題に配慮した取組の状況	年代別、世帯構成別
	区民の Well-Being(幸福)な状態について	年代別、世帯の構成
事業者	環境問題への関心	業種別、従業員数別
	環境問題に配慮した取組の状況	職業別、従業員数別、建物所有形態別
	文京区内の Well-Being(幸福)な状態について	業種別、従業員数別

なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が 100%とならないことがあります。

【結果の見方について】

アンケートの設問内容、及び集計分析結果は以下に示す記載様式で統一してまとめています。

■設問内容

.....	
.....。	
①.....	③.....
②.....	④.....

■集計分析結果説明(イメージ)

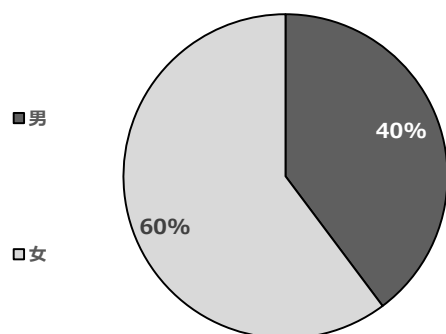
- 1)全体
- 2)〇〇別分析

2. アンケート結果

2.1 区民

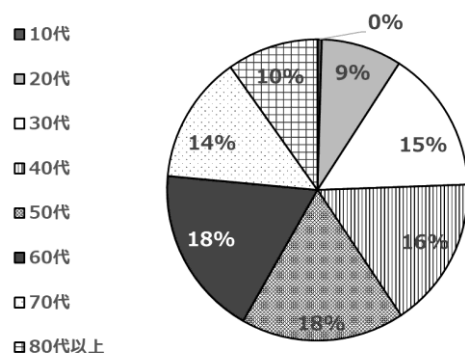
2.1.1 回答者の属性

(1) 問1 性別



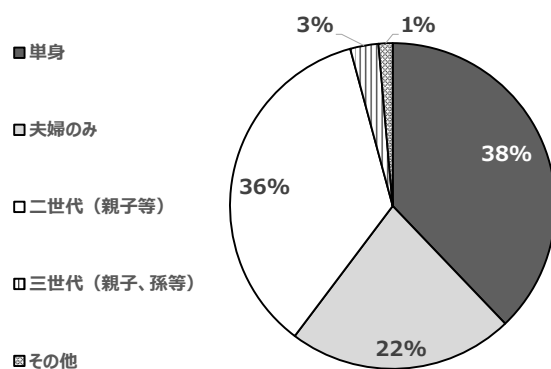
	回答	回答率(%)
男	173	40
女	262	60
計 (無回答数を除く)	435	—
無回答数	7	—

(2) 問1 年代



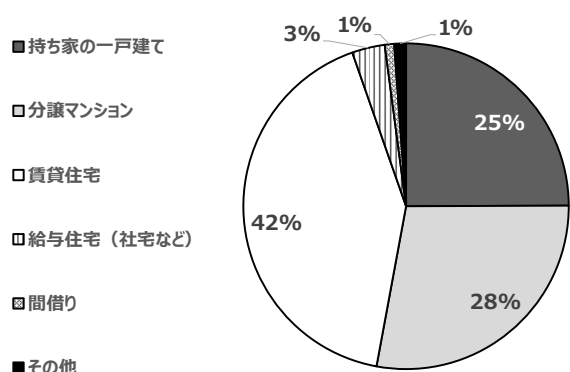
	回答	回答率(%)
10代	2	0
20代	38	9
30代	67	15
40代	71	16
50代	77	18
60代	80	18
70代	60	14
80代以上	43	10
計 (無回答数を除く)	438	—
無回答数	4	—

(3) 問1 世帯の構成と人数



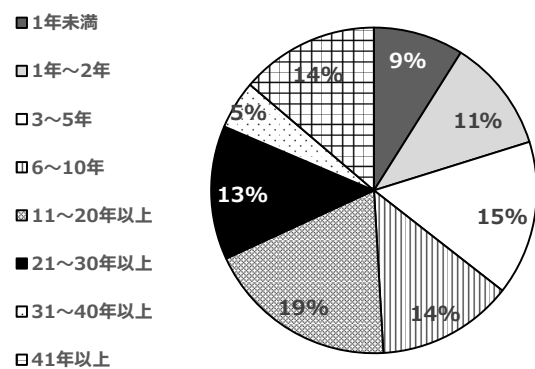
	回答	回答率(%)
単身	162	38
夫婦のみ	96	22
二世帯(親子等)	152	36
三世帯(親子、孫等)	12	3
その他	6	1
計 (無回答数を除く)	428	—
無回答数	14	—

(4) 問 1 住居の種類



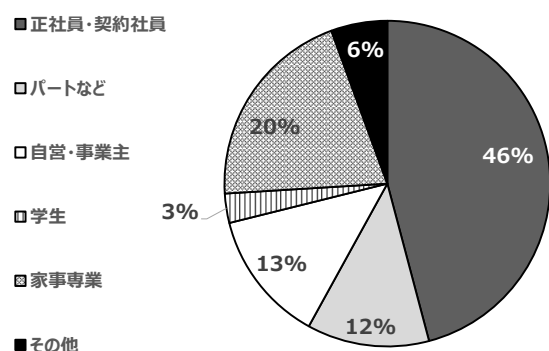
	回答	回答率(%)
持ち家の一戸建て	107	25
分譲マンション	120	28
賃貸住宅	179	42
給与住宅 (社宅等)	14	3
間借り	4	1
その他	5	1
計 (無回答数を除く)	429	—
無回答数	13	—

(5) 問 1 現居住地の居住年数



	回答	回答率(%)
1年未満	39	9
1～2年	49	11
3～5年	67	15
6～10年	59	14
11～20年	83	19
21～30年	58	13
31～40年	21	5
41年以上	60	14
計 (無回答数を除く)	436	—
無回答数	6	—

(6) 問 1 職業



	回答	回答率(%)
正社員・契約社員	189	46
パートなど	50	12
自営・事業主	54	13
学生	12	3
家事専業	84	20
その他	23	6
計 (無回答数を除く)	412	—
無回答数	30	—

2.1.2 環境問題への関心

(1) 問 2

あなたは環境問題に関心がありますか。			
1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない

1) 全体

「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計はすべての年度で 90%程度である。

一方、「1.とても関心がある」の割合は減少傾向にあり、「3.あまり関心がない」の割合は増加傾向にある。

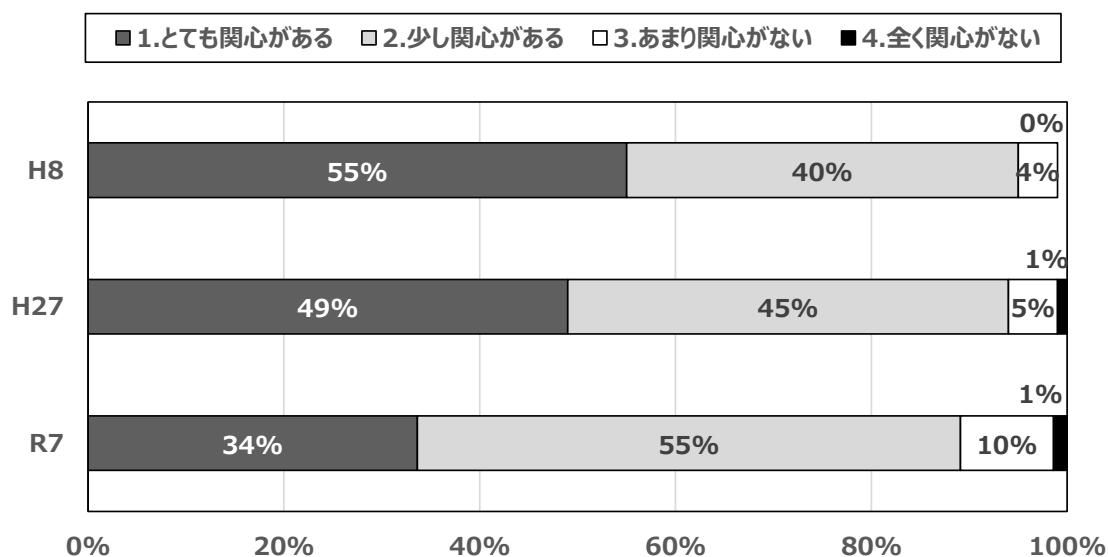


図 2-1 環境問題への関心

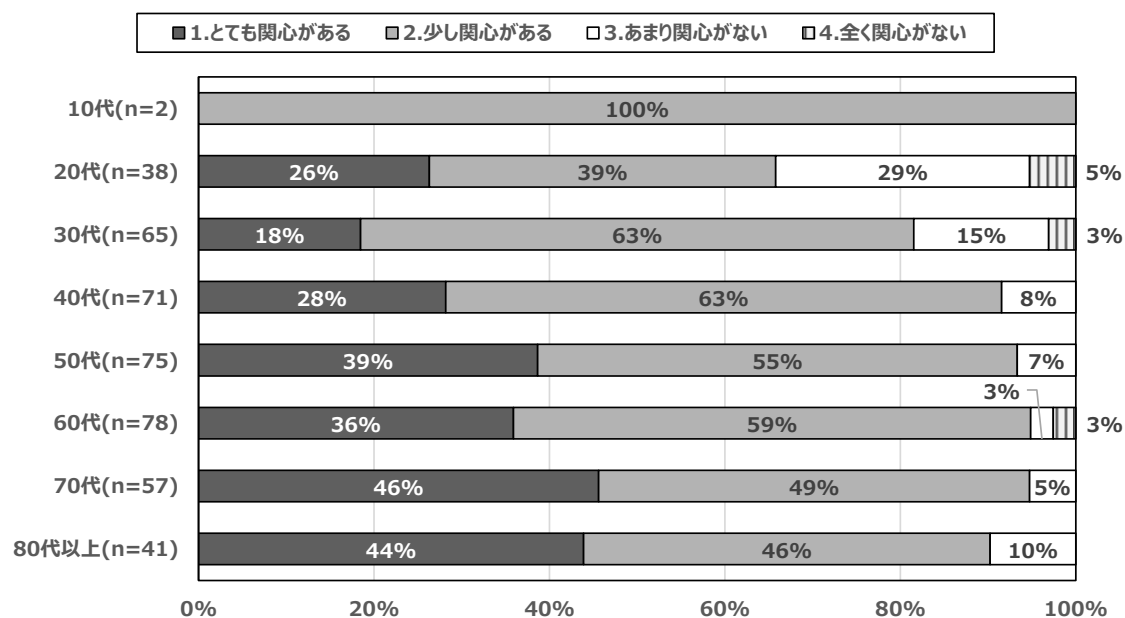
表 2-1 環境問題への関心

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)	H8 結果 (%)
1.とても関心がある	145	34%	49%	55%
2.少し関心がある	239	55%	45%	40%
3.あまり関心がない	41	10%	5%	4%
4.全く関心がない	6	1%	1%	0%
計(無回答数を除く)	431	—	—	—
無回答数	11	—	—	—

2) 年代別分析

関心がある(「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計)は、20代以外で80%を超えている。

関心がない(「3.あまり関心がない」、「4.全く関心がない」の合計)は、20代が最も高い。



※無回答 4 件は除いている

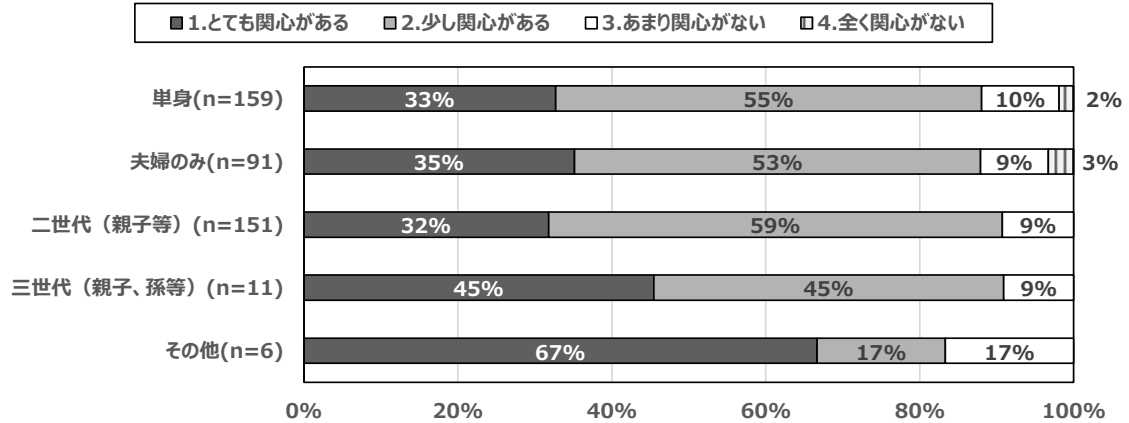
図 2-2 年代別 環境問題への関心

表 2-2 年代別 環境問題への関心

	R7 結果 回答率%(回答数)				
	1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない	計(無回答を除く)
10代	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	26%(10)	39%(15)	29%(11)	5%(2)	100%(38)
30代	18%(12)	63%(41)	15%(10)	3%(2)	100%(65)
40代	28%(20)	63%(45)	8%(6)	0%(0)	100%(71)
50代	39%(29)	55%(41)	7%(5)	0%(0)	100%(75)
60代	36%(28)	59%(46)	3%(2)	3%(2)	100%(78)
70代	46%(26)	49%(28)	5%(3)	0%(0)	100%(57)
80代以上	44%(18)	46%(19)	10%(4)	0%(0)	100%(41)

3) 世帯構成別分析

関心がある(「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計)は、いずれの世帯構成においても80%を超えている。



※無回答 13 件は除いている

図 2-3 世帯構成別 環境問題への関心

表 2-3 世帯構成別 環境問題への関心

	R7 結果 回答率%(回答数)				
	1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない	計(無回答を除く)
単身	33%(52)	55%(88)	10%(16)	2%(3)	100%(159)
夫婦のみ	35%(32)	53%(48)	9%(8)	3%(3)	100%(91)
二世帯(親子等)	32%(48)	59%(89)	9%(14)	0%(0)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	45%(5)	45%(5)	9%(1)	0%(0)	100%(11)
その他	67%(4)	17%(1)	17%(1)	0%(0)	100%(6)

2.1.3 環境問題に配慮した取組の状況

(1) 問 3

あなたのご家庭では環境のために、日常生活の中で次のようなことを行っていますか。該当する選択肢の枠を塗りつぶしてください。

質問に該当するものを持っていない場合などは、「5.あてはまらない」の枠を塗りつぶしてください。

行っている	1.いつも行っている 2.時々行っている
行っていない	3.これから行いたい 4.今後も行うつもりはない
あてはまらない	5.あてはまらない

1) 全体

a) 省エネルギーに配慮した行動

「こまめにスイッチを切るなど節電を行っている」、「水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている」は「1.いつも行っている」の割合が高い。

一方で、「区内でカーシェアリングサービスを利用している」は「4.今後も行うつもりはない」「5.あてはまらない」の合計が 83%と高い。

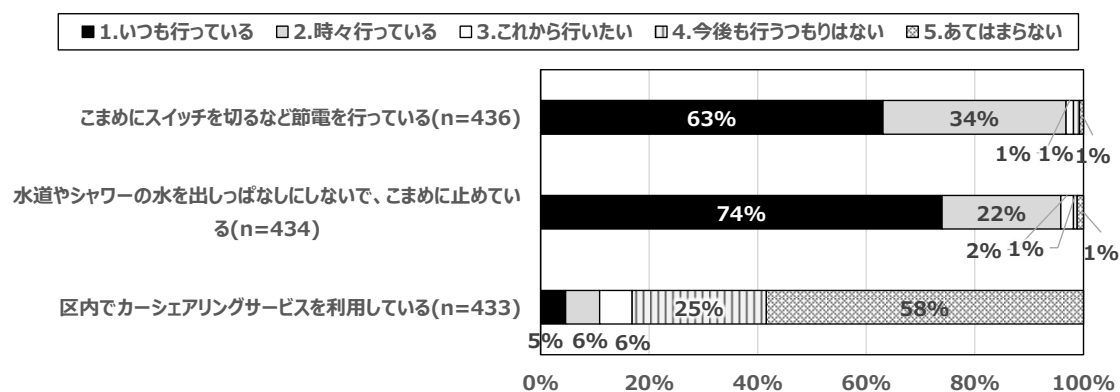


図 2-4 省エネルギーに配慮した行動

表 2-4 省エネルギーに配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①こまめにスイッチを切るなど節電を行っている	63%(275)	34%(147)	1%(6)	1%(5)	1%(3)	100%(436)
②水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている	74%(321)	22%(95)	2%(10)	1%(3)	1%(5)	100%(434)
③区内でカーシェアリングサービスを利用している	5%(20)	6%(27)	6%(26)	25%(107)	58%(253)	100%(433)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

「プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している」、「買い物に行くときはマイバッグを持っていっている」については、「1.いつも行っている」の割合が最も高い。

一方で、「フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している」は「5.あてはまらない」が 46%であり、「4.今後も行うつもりはない」が 18%である。

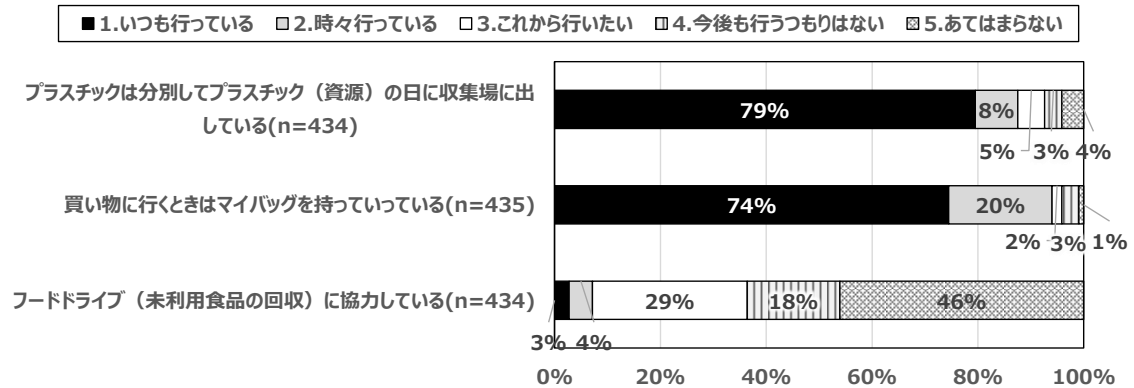


図 2-5 資源の循環利用に配慮した行動

表 2-5 資源の循環利用に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している	79%(345)	8%(35)	5%(22)	3%(14)	4%(18)	100%(434)
②買い物に行くときはマイバッグを持って行っている	74%(324)	20%(85)	2%(8)	3%(14)	1%(4)	100%(435)
③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している	3%(12)	4%(19)	29%(127)	18%(76)	46%(200)	100%(434)

c) 自然環境に配慮した行動

「生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している」は、「5.あてはまらない」が 47%であり、「4.今後行うつもりはない」が 26%である。

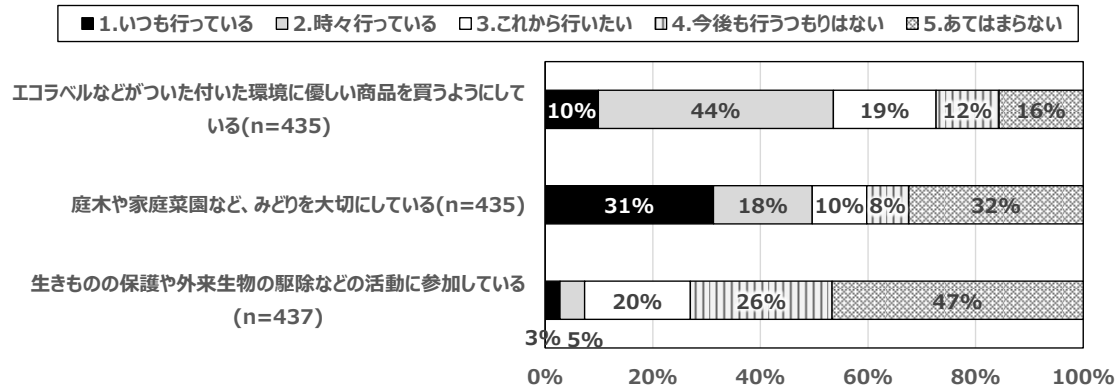


図 2-6 自然環境に配慮した行動

表 2-6 自然環境に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後行うつもりはない		
①エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている	10%(43)	44%(190)	19%(83)	12%(51)	16%(68)	100%(435)
②庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている	31%(136)	18%(80)	10%(44)	8%(34)	32%(141)	100%(435)
③生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している	3%(12)	5%(20)	20%(86)	26%(115)	47%(204)	100%(437)

d) ぐらしの快適・安全に配慮した行動

「音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないよう配慮している」、「気候の変化に伴う健康被害（熱中症など）に気を付けている」では、「1.いつも行っている」がどちらも70%以上である。

また、「避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している」では、「3.これから行いたい」が56%と最も高い。

一方、「自宅周辺の清掃活動を行っている」は、「5.あてはまらない」が30%であり、「4.今後も行うつもりはない」が14%である。

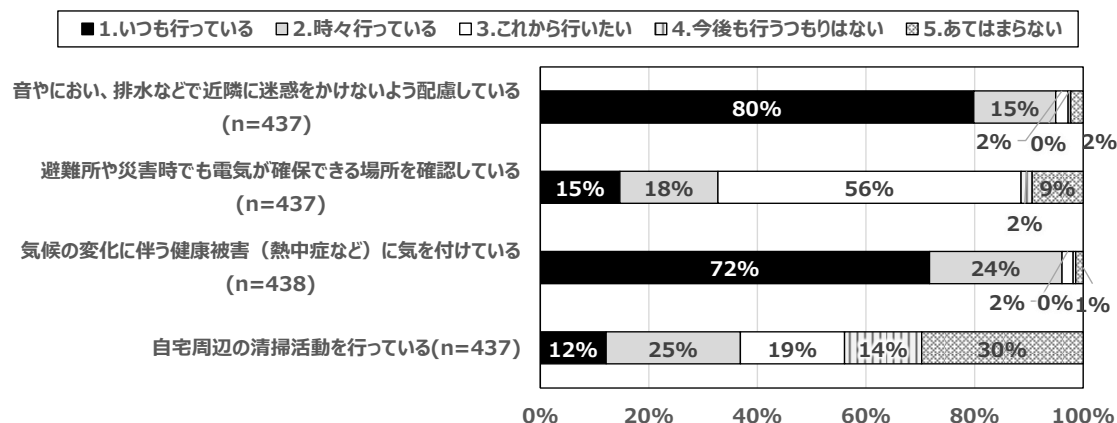


図 2-7 ぐらしの快適・安全に配慮した行動

表 2-7 ぐらしの快適・安全に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないよう配慮している	80%(349)	15%(66)	2%(10)	0%(2)	2%(10)	100%(437)
②避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している	15%(64)	18%(79)	56%(244)	2%(9)	9%(41)	100%(437)
③気候の変化に伴う健康被害（熱中症など）に気を付けている	72%(314)	24%(107)	2%(9)	0%(2)	1%(6)	100%(438)
④自宅周辺の清掃活動を行っている	12%(53)	25%(108)	19%(84)	14%(62)	30%(130)	100%(437)

e) 地域の歴史や文化に配慮した行動

「地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている」の割合は「2.時々行っている」の割合が 43%と最も高い。

「地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている」は、行っている(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)が 11%と低い。一方で、「3.これから行いたい」の割合が 35%と最も高い。

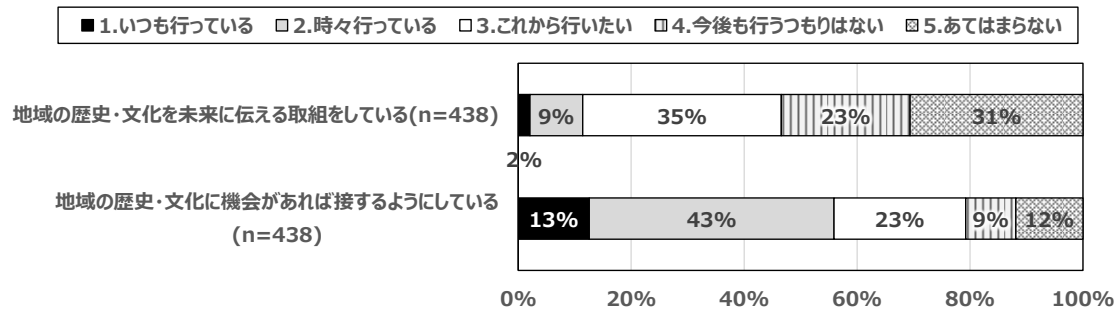


図 2-8 地域の歴史や文化に配慮した行動

表 2-8 地域の歴史や文化に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている	2%(9)	9%(41)	35%(154)	23%(100)	31%(134)	100%(438)
②地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている	13%(55)	43%(190)	23%(102)	9%(39)	12%(52)	100%(438)

f) 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

「区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している」、「区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している」、「環境問題について、イベントに参加して学んでいる（講演会など）」、「環境問題について、自ら体験しながら学んでいる（自己体験活動、グループ活動など）」は、行っている（「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計）がすべて 10%前後とかなり低い。さらに、「5.あてはまらない」は 30%以上であり、「4.今後も行うつもりはない」は 30%前後である。

一方、「環境問題について、オールドメディア（新聞、テレビ、雑誌など）の情報を頼りに学んでいる」、「環境問題について、ニューメディア（インターネット、SNS など）の情報を基に学んでいる」の行っている（「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計）は 60%前後と高い。

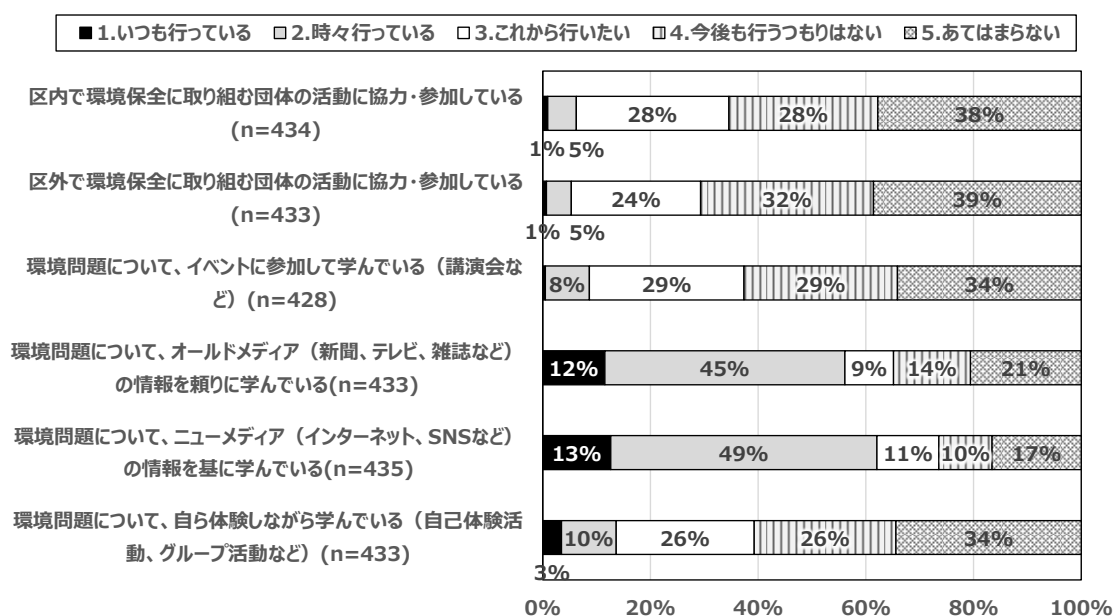


図 2-9 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

表 2-9 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している	1%(4)	5%(23)	28%(123)	28%(120)	38%(164)	100%(434)
②区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している	1%(3)	5%(20)	24%(104)	32%(139)	39%(167)	100%(433)
③環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)	0%(2)	8%(35)	29%(123)	29%(122)	34%(146)	100%(428)
④環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる	12%(50)	45%(193)	9%(39)	14%(62)	21%(89)	100%(433)
⑤環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる	13%(55)	49%(215)	11%(50)	10%(43)	17%(72)	100%(435)
⑥環境問題について、自ら体験しながら学んでいる(自己体験活動、グループ活動など)	3%(15)	10%(44)	26%(111)	26%(114)	34%(149)	100%(433)

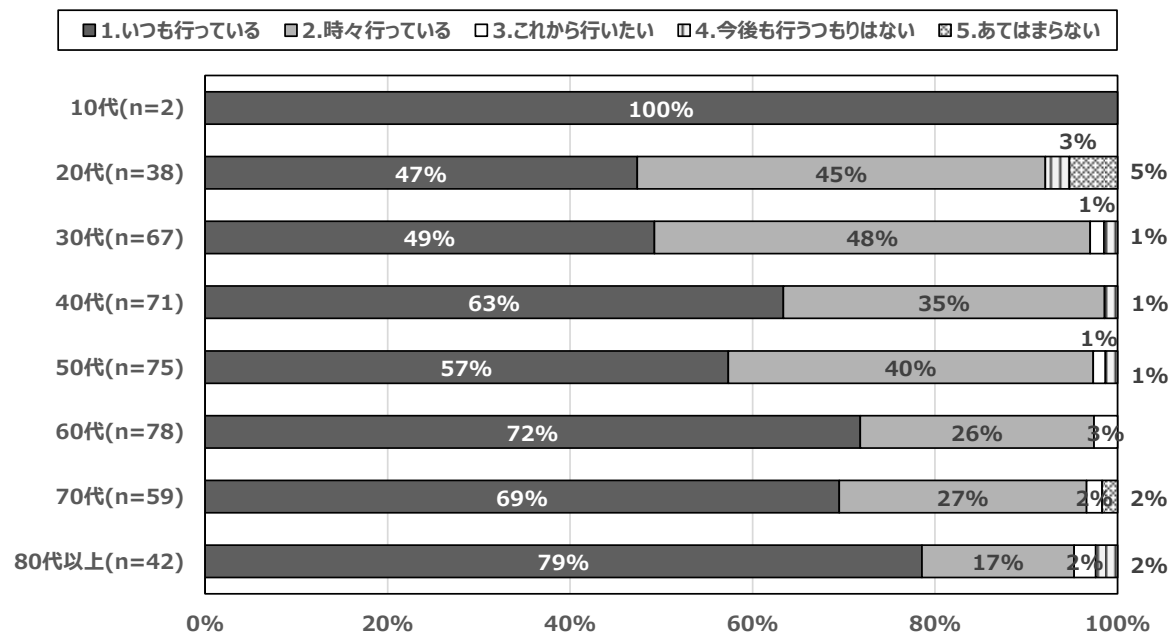
2) 年代別分析

a) 省エネルギーに配慮した行動

①こまめにスイッチを切るなど節電を行っている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても割合が高い。

「1.いつも行っている」は、10代を除き若い世代ほど割合が低い。



※無回答 4 件は除いている

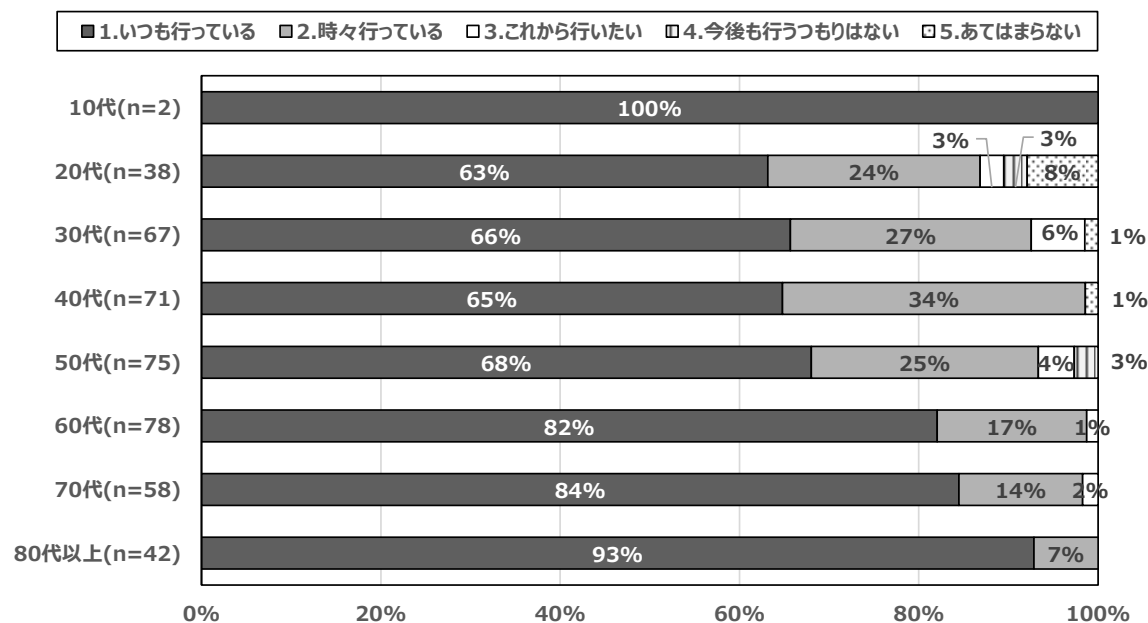
図 2-10 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている(年代別分析)

表 2-10 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	47%(18)	45%(17)	0%(0)	3%(1)	5%(2)	100%(38)
30代	49%(33)	48%(32)	1%(1)	1%(1)	0%(0)	100%(67)
40代	63%(45)	35%(25)	0%(0)	1%(1)	0%(0)	100%(71)
50代	57%(43)	40%(30)	1%(1)	1%(1)	0%(0)	100%(75)
60代	72%(56)	26%(20)	3%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(78)
70代	69%(41)	27%(16)	2%(1)	0%(0)	2%(1)	100%(59)
80代以上	79%(33)	17%(7)	2%(1)	2%(1)	0%(0)	100%(42)

②水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても高い。
「1.いつも行っている」は、10代を除き若い世代ほど割合が低い傾向がある。



※無回答 3 件は除いている

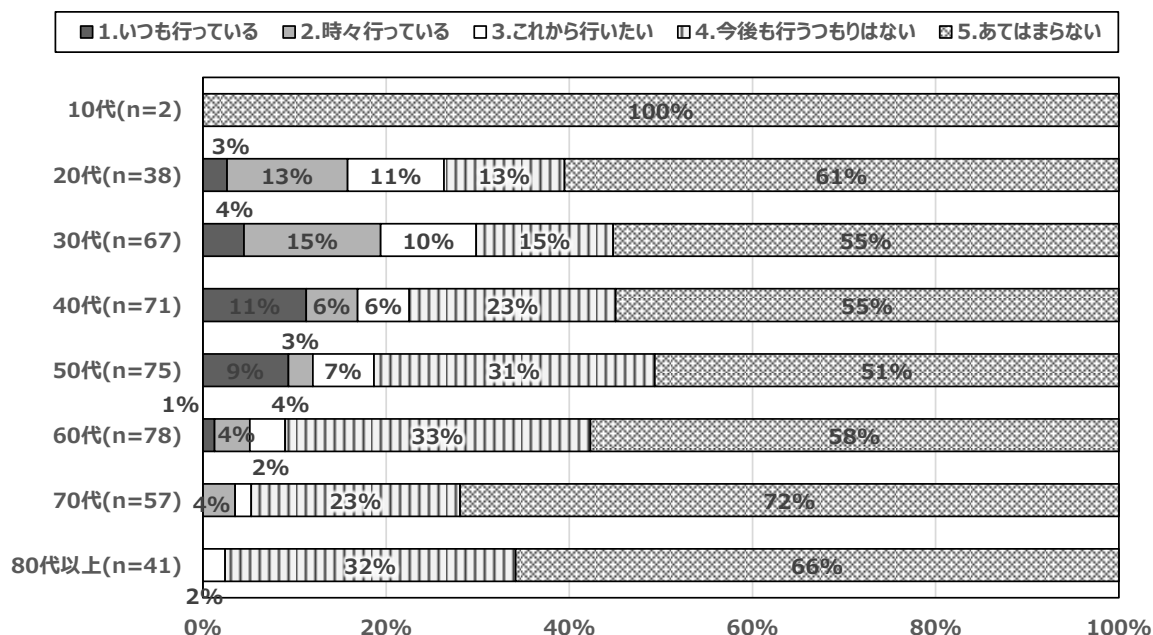
図 2-11 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている(年代別分析)

表 2-11 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	63%(24)	24%(9)	3%(1)	3%(1)	8%(3)	100%(38)
30代	66%(44)	27%(18)	6%(4)	0%(0)	1%(1)	100%(67)
40代	65%(46)	34%(24)	0%(0)	0%(0)	1%(1)	100%(71)
50代	68%(51)	25%(19)	4%(3)	3%(2)	0%(0)	100%(75)
60代	82%(64)	17%(13)	1%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(78)
70代	84%(49)	14%(8)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(58)
80代以上	93%(39)	7%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(42)

③区内でカーシェアリングサービスを利用している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、80代以上において0%である。
一方で、30代は20%程度と最も高い。



※無回答 4 件は除いている

図 2-12 区内でカーシェアリングサービスを利用している(年代別分析)

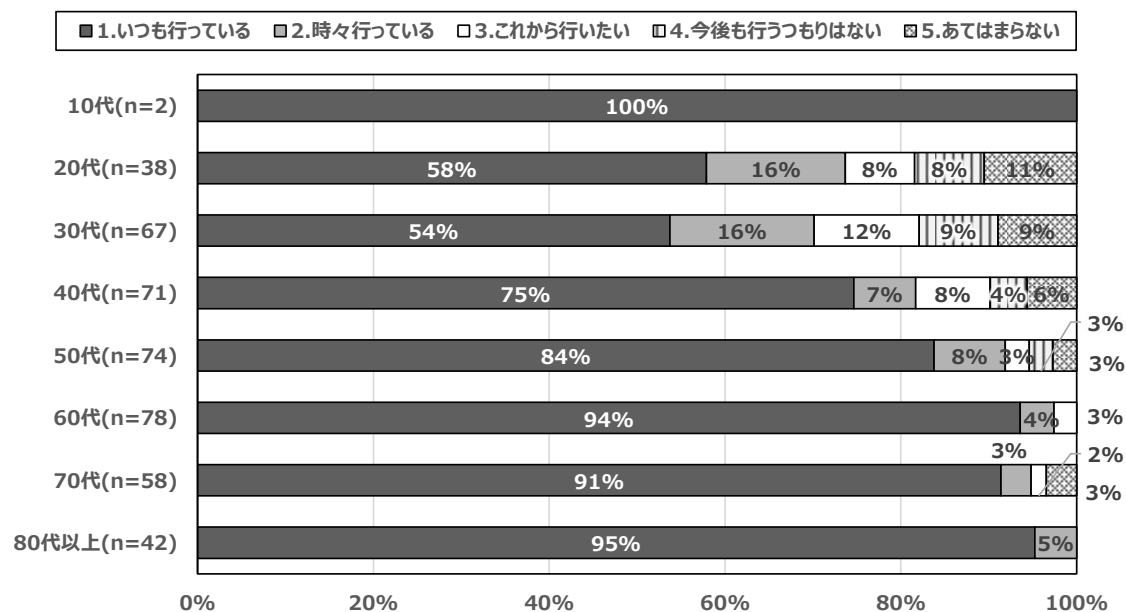
表 2-12 区内でカーシェアリングサービスを利用している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)	100%(2)
20代	3%(1)	13%(5)	11%(4)	13%(5)	61%(23)	100%(38)
30代	4%(3)	15%(10)	10%(7)	15%(10)	55%(37)	100%(67)
40代	11%(8)	6%(4)	6%(4)	23%(16)	55%(39)	100%(71)
50代	9%(7)	3%(2)	7%(5)	31%(23)	51%(38)	100%(75)
60代	1%(1)	4%(3)	4%(3)	33%(26)	58%(45)	100%(78)
70代	0%(0)	4%(2)	2%(1)	23%(13)	72%(41)	100%(57)
80代以上	0%(0)	0%(0)	2%(1)	32%(13)	66%(27)	100%(41)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

①プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、30代が最も低く、次いで20代が低い。



※無回答 4 件は除いている

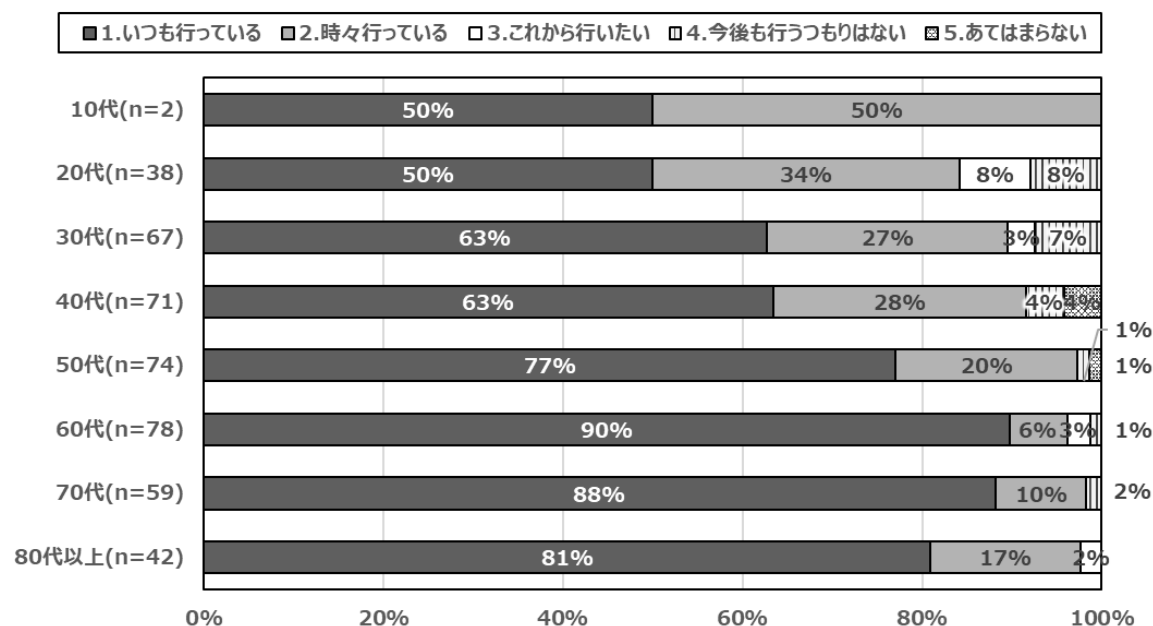
図 2-13 プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している(年代別分析)

表 2-13 プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	58%(22)	16%(6)	8%(3)	8%(3)	11%(4)	100%(38)
30代	54%(36)	16%(11)	12%(8)	9%(6)	9%(6)	100%(67)
40代	75%(53)	7%(5)	8%(6)	4%(3)	6%(4)	100%(71)
50代	84%(62)	8%(6)	3%(2)	3%(2)	3%(2)	100%(74)
60代	94%(73)	4%(3)	3%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(78)
70代	91%(53)	3%(2)	2%(1)	0%(0)	3%(2)	100%(58)
80代以上	95%(40)	5%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(42)

②買い物に行くときはマイバッグを持っていつている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても高いが、60代以上は「1.いつも行っている」の割合が80%以上である。



※無回答 4 件は除いている

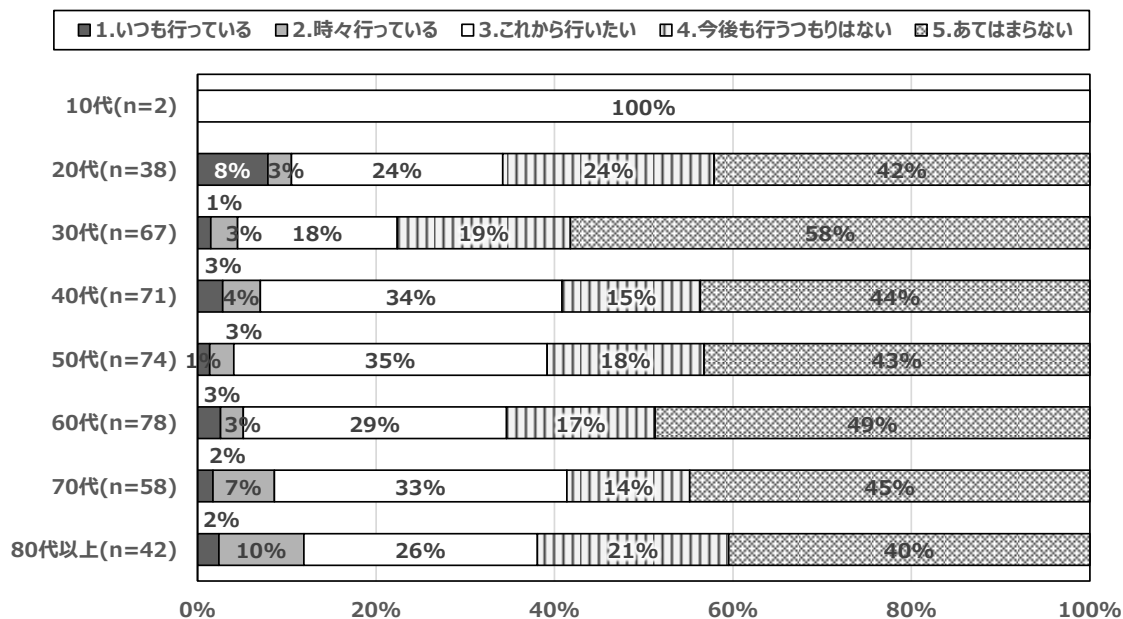
図 2-14 買い物に行くときはマイバッグを持っていつている(年代別分析)

表 2-14 買い物に行くときはマイバッグを持っていつている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	50%(19)	34%(13)	8%(3)	8%(3)	0%(0)	100%(38)
30代	63%(42)	27%(18)	3%(2)	7%(5)	0%(0)	100%(67)
40代	63%(45)	28%(20)	0%(0)	4%(3)	4%(3)	100%(71)
50代	77%(57)	20%(15)	0%(0)	1%(1)	1%(1)	100%(74)
60代	90%(70)	6%(5)	3%(2)	1%(1)	0%(0)	100%(78)
70代	88%(52)	10%(6)	0%(0)	2%(1)	0%(0)	100%(59)
80代以上	81%(34)	17%(7)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(42)

③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても 15%以下と低い。



※無回答 4 件は除いている

図 2-15 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(年代別分析)

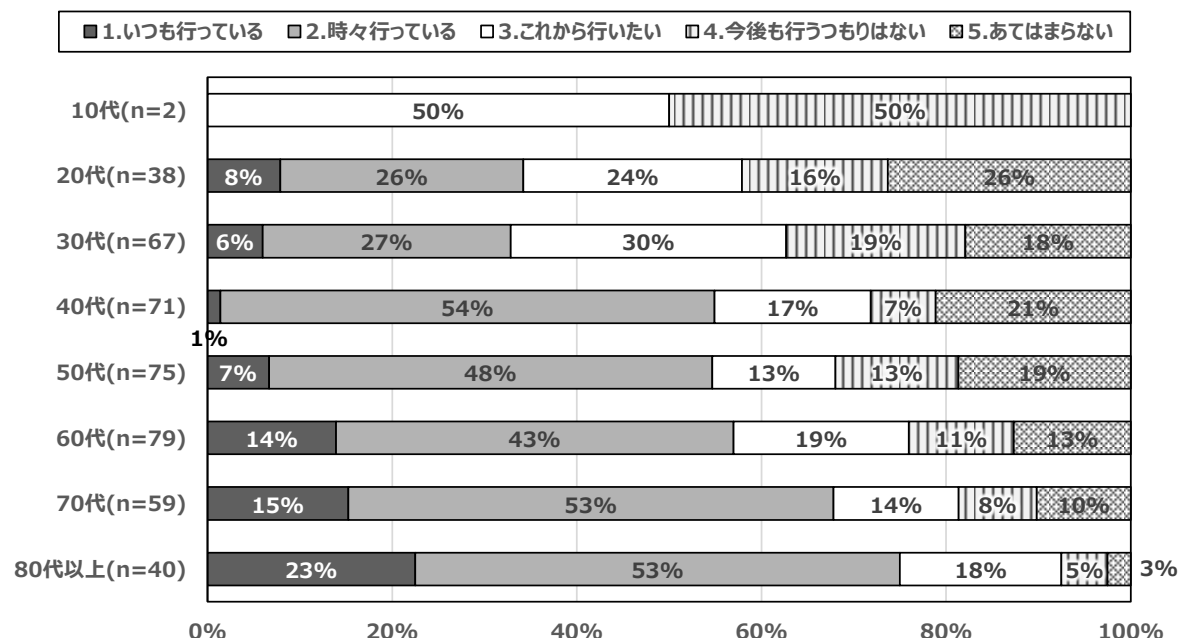
表 2-15 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	8%(3)	3%(1)	24%(9)	24%(9)	42%(16)	100%(38)
30代	1%(1)	3%(2)	18%(12)	19%(13)	58%(39)	100%(67)
40代	3%(2)	4%(3)	34%(24)	15%(11)	44%(31)	100%(71)
50代	1%(1)	3%(2)	35%(26)	18%(13)	43%(32)	100%(74)
60代	3%(2)	3%(2)	29%(23)	17%(13)	49%(38)	100%(78)
70代	2%(1)	7%(4)	33%(19)	14%(8)	45%(26)	100%(58)
80代以上	2%(1)	10%(4)	26%(11)	21%(9)	40%(17)	100%(42)

c) 自然環境に配慮した行動

①エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、年代が高くなるほど割合が高い。一方で、「4.今後行うつもりはない」、「5.あてはまらない」は若い世代ほど割合が高い。



※無回答 4 件は除いている

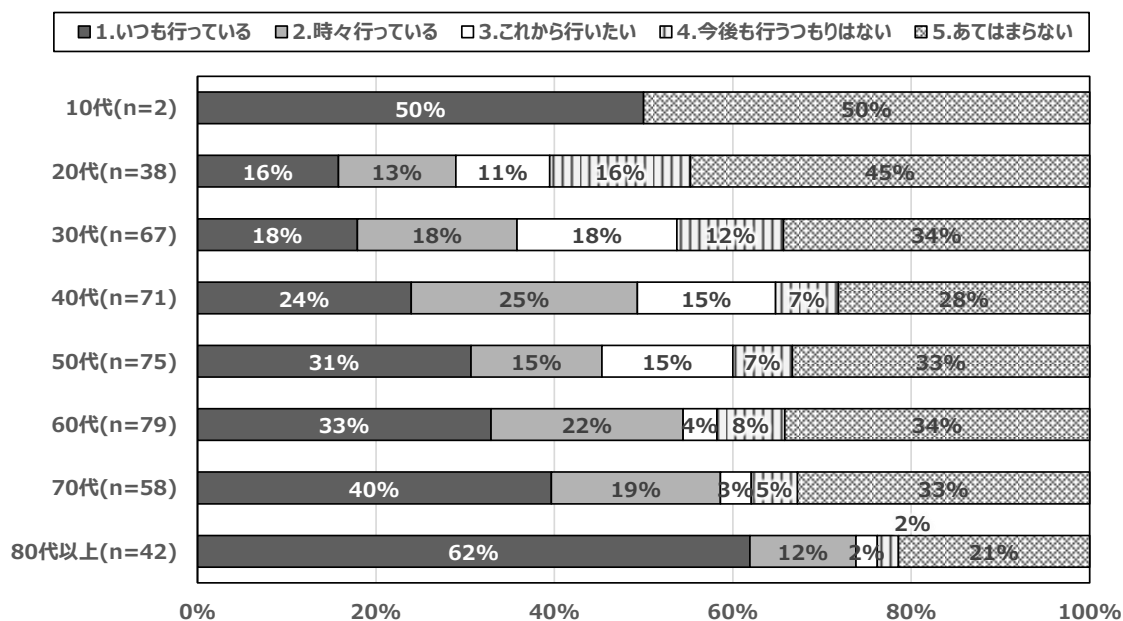
図 2-16 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(年代別分析)

表 2-16 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後行うつもりはない	5.あてはまらない	
10 代	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	0%(0)	100%(2)
20 代	8%(3)	26%(10)	24%(9)	16%(6)	26%(10)	100%(38)
30 代	6%(4)	27%(18)	30%(20)	19%(13)	18%(12)	100%(67)
40 代	1%(1)	54%(38)	17%(12)	7%(5)	21%(15)	100%(71)
50 代	7%(5)	48%(36)	13%(10)	13%(10)	19%(14)	100%(75)
60 代	14%(11)	43%(34)	19%(15)	11%(9)	13%(10)	100%(79)
70 代	15%(9)	53%(31)	14%(8)	8%(5)	10%(6)	100%(59)
80 代以上	23%(9)	53%(21)	18%(7)	5%(2)	3%(1)	100%(40)

②庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、10代を除き年代が高くなるほど割合が高い。



※無回答 3 件は除いている

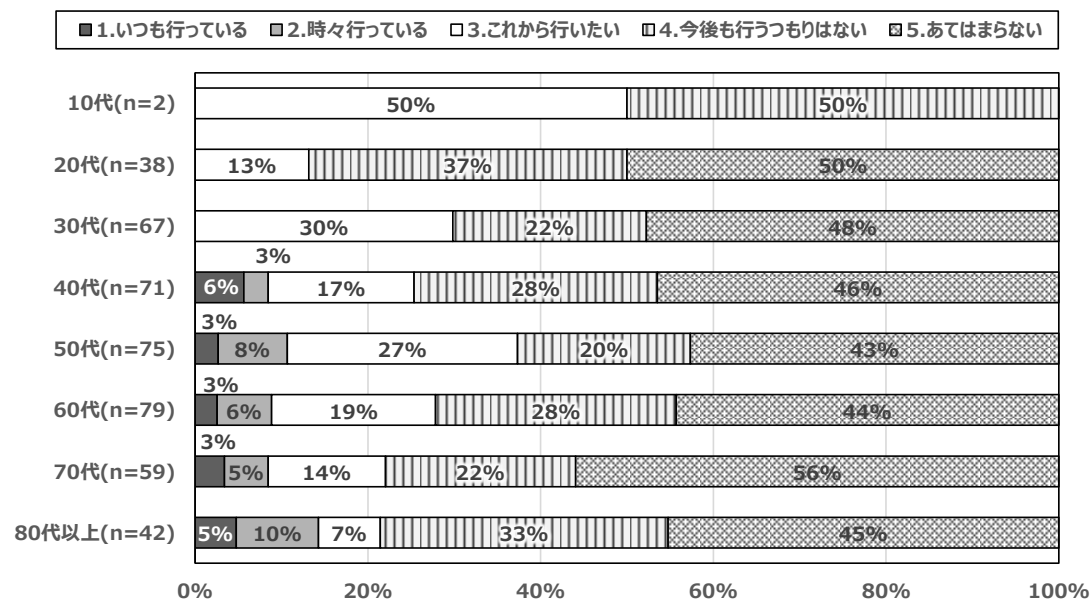
図 2-17 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている(年代別分析)

表 2-17 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
20代	16%(6)	13%(5)	11%(4)	16%(6)	45%(17)	100%(38)
30代	18%(12)	18%(12)	18%(12)	12%(8)	34%(23)	100%(67)
40代	24%(17)	25%(18)	15%(11)	7%(5)	28%(20)	100%(71)
50代	31%(23)	15%(11)	15%(11)	7%(5)	33%(25)	100%(75)
60代	33%(26)	22%(17)	4%(3)	8%(6)	34%(27)	100%(79)
70代	40%(23)	19%(11)	3%(2)	5%(3)	33%(19)	100%(58)
80代以上	62%(26)	12%(5)	2%(1)	2%(1)	21%(9)	100%(42)

③生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、全体的に 20%未満と低い。



※無回答 4 件は除いている

図 2-18 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(年代別分析)

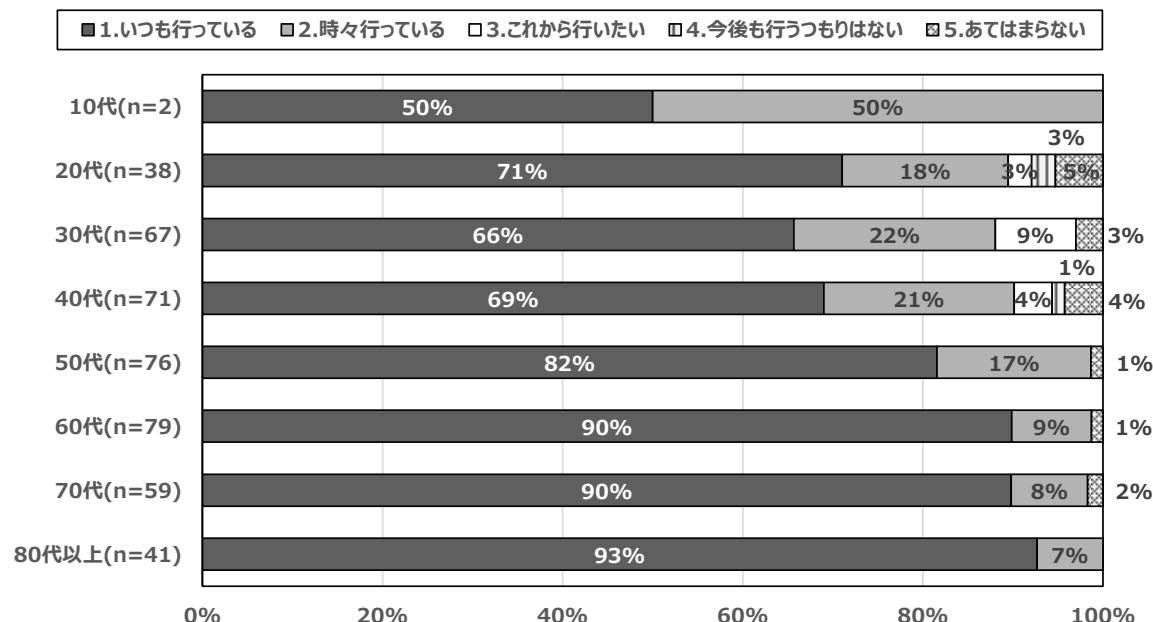
表 2-18 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10 代	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	0%(0)	100%(2)
20 代	0%(0)	0%(0)	13%(5)	37%(14)	50%(19)	100%(38)
30 代	0%(0)	0%(0)	30%(20)	22%(15)	48%(32)	100%(67)
40 代	6%(4)	3%(2)	17%(12)	28%(20)	46%(33)	100%(71)
50 代	3%(2)	8%(6)	27%(20)	20%(15)	43%(32)	100%(75)
60 代	3%(2)	6%(5)	19%(15)	28%(22)	44%(35)	100%(79)
70 代	3%(2)	5%(3)	14%(8)	22%(13)	56%(33)	100%(59)
80 代以上	5%(2)	10%(4)	7%(3)	33%(14)	45%(19)	100%(42)

d) くらしの快適・安全に配慮した行動

①音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、年代が高くなるほど割合が高い傾向がある。



※無回答 4 件は除いている

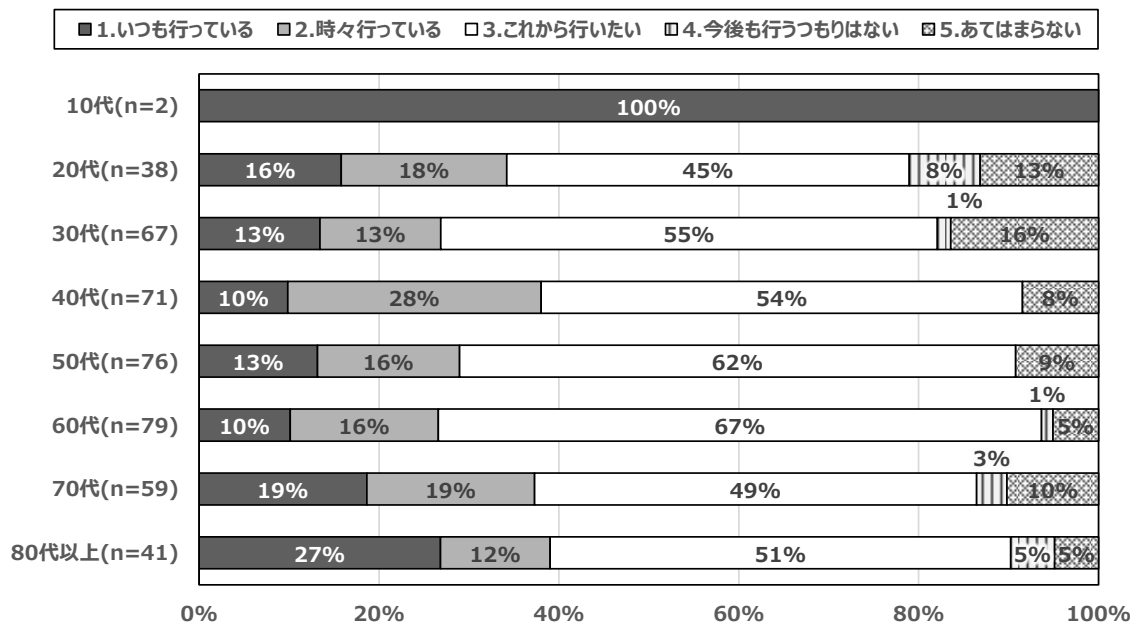
図 2-19 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している(年代別分析)

表 2-19 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	71%(27)	18%(7)	3%(1)	3%(1)	5%(2)	100%(38)
30代	66%(44)	22%(15)	9%(6)	0%(0)	3%(2)	100%(67)
40代	69%(49)	21%(15)	4%(3)	1%(1)	4%(3)	100%(71)
50代	82%(62)	17%(13)	0%(0)	0%(0)	1%(1)	100%(76)
60代	90%(71)	9%(7)	0%(0)	0%(0)	1%(1)	100%(79)
70代	90%(53)	8%(5)	0%(0)	0%(0)	2%(1)	100%(59)
80代以上	93%(38)	7%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(41)

②避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している

10代を除き、「3.これから行いたい」の割合が最も高い。



※無回答 4 件は除いている

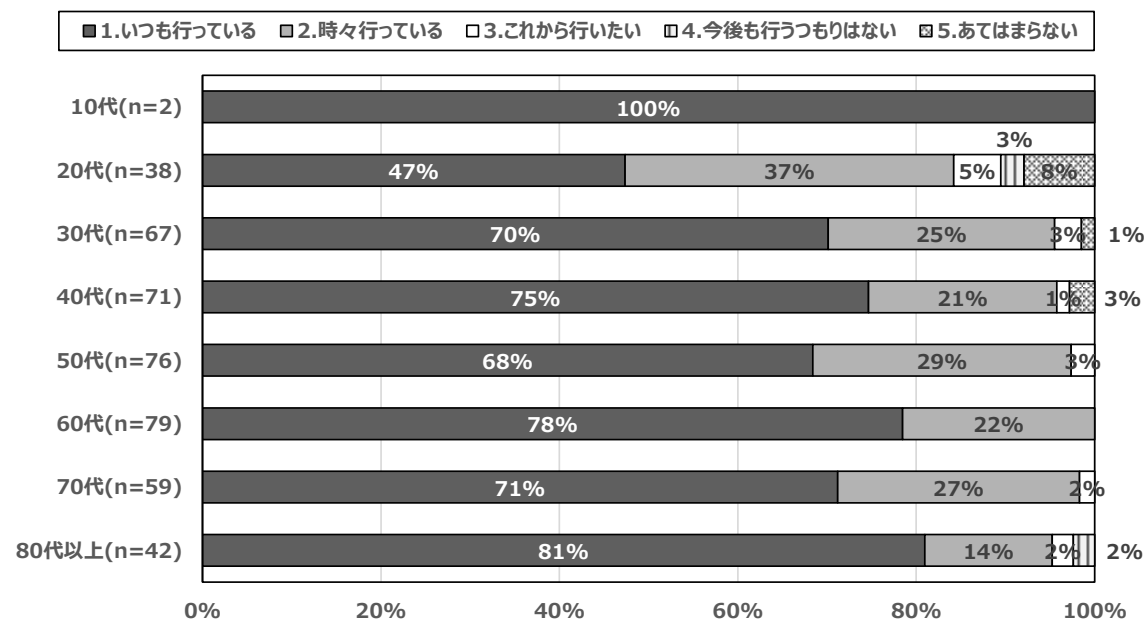
図 2-20 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している(年代別分析)

表 2-20 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	16%(6)	18%(7)	45%(17)	8%(3)	13%(5)	100%(38)
30代	13%(9)	13%(9)	55%(37)	1%(1)	16%(11)	100%(67)
40代	10%(7)	28%(20)	54%(38)	0%(0)	8%(6)	100%(71)
50代	13%(10)	16%(12)	62%(47)	0%(0)	9%(7)	100%(76)
60代	10%(8)	16%(13)	67%(53)	1%(1)	5%(4)	100%(79)
70代	19%(11)	19%(11)	49%(29)	3%(2)	10%(6)	100%(59)
80代以上	27%(11)	12%(5)	51%(21)	5%(2)	5%(2)	100%(41)

③気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても高い。



※無回答 4 件は除いている

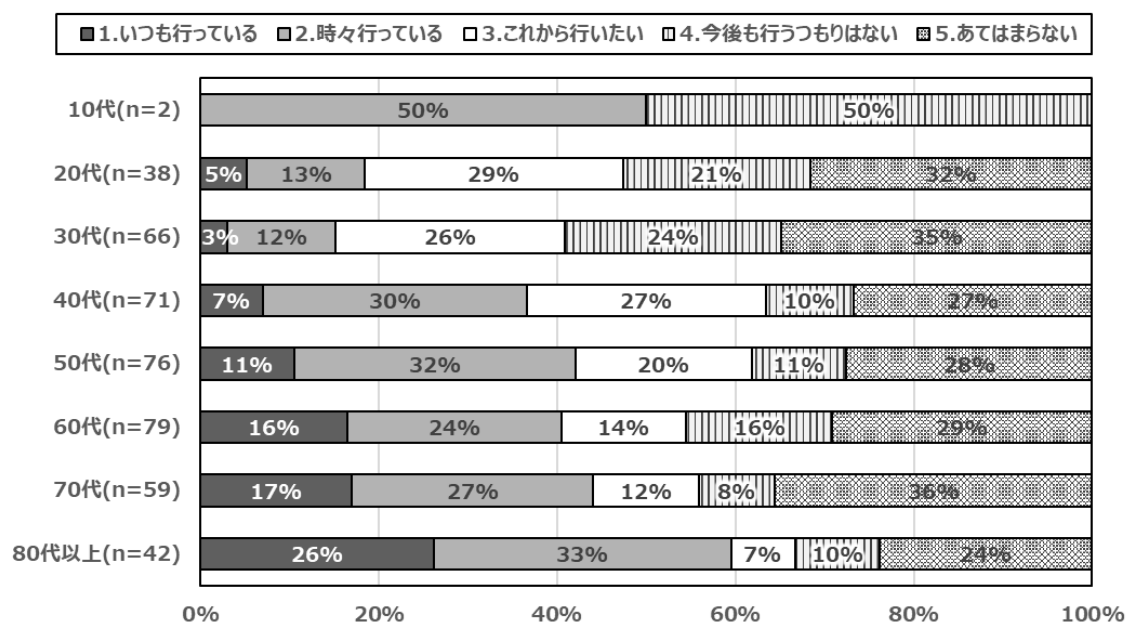
図 2-21 気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている(年代別分析)

表 2-21 気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10 代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20 代	47%(18)	37%(14)	5%(2)	3%(1)	8%(3)	100%(38)
30 代	70%(47)	25%(17)	3%(2)	0%(0)	1%(1)	100%(67)
40 代	75%(53)	21%(15)	1%(1)	0%(0)	3%(2)	100%(71)
50 代	68%(52)	29%(22)	3%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(76)
60 代	78%(62)	22%(17)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(79)
70 代	71%(42)	27%(16)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(59)
80 代以上	81%(34)	14%(6)	2%(1)	2%(1)	0%(0)	100%(42)

④自宅周辺の清掃活動を行っている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、年代が高くなるほど割合が高い傾向がある。



※無回答 4 件は除いている

図 2-22 自宅周辺の清掃活動を行っている(年代別分析)

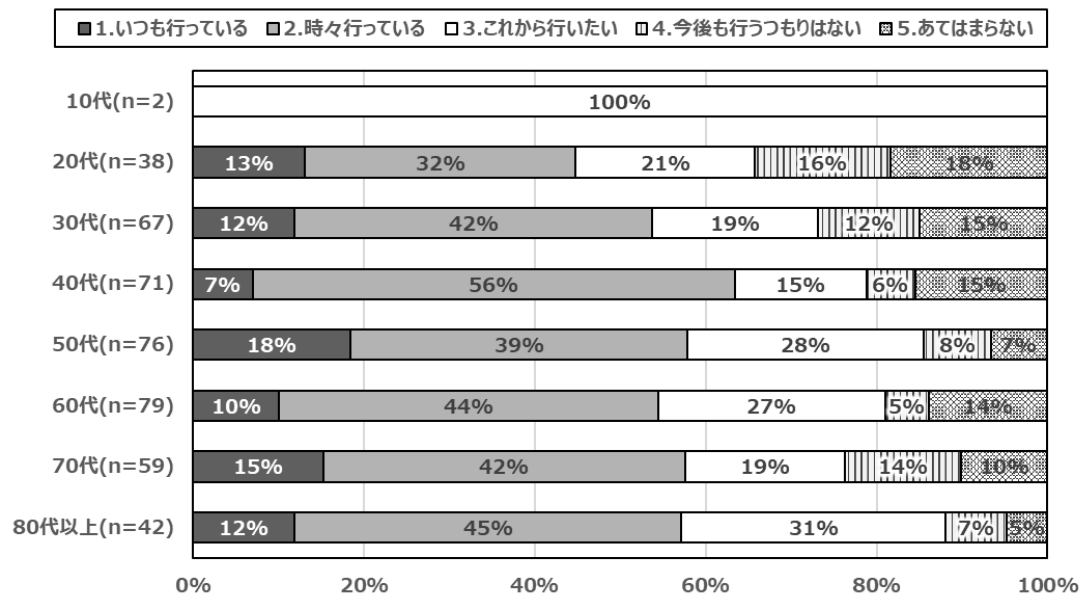
表 2-22 自宅周辺の清掃活動を行っている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10 代	0%(0)	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)
20 代	5%(2)	13%(5)	29%(11)	21%(8)	32%(12)	100%(38)
30 代	3%(2)	12%(8)	26%(17)	24%(16)	35%(23)	100%(66)
40 代	7%(5)	30%(21)	27%(19)	10%(7)	27%(19)	100%(71)
50 代	11%(8)	32%(24)	20%(15)	11%(8)	28%(21)	100%(76)
60 代	16%(13)	24%(19)	14%(11)	16%(13)	29%(23)	100%(79)
70 代	17%(10)	27%(16)	12%(7)	8%(5)	36%(21)	100%(59)
80 代以上	26%(11)	33%(14)	7%(3)	10%(4)	24%(10)	100%(42)

e) 地域の歴史や文化に配慮した行動

①地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、10代および20代を除き50%以上である。



※無回答4件は除いている

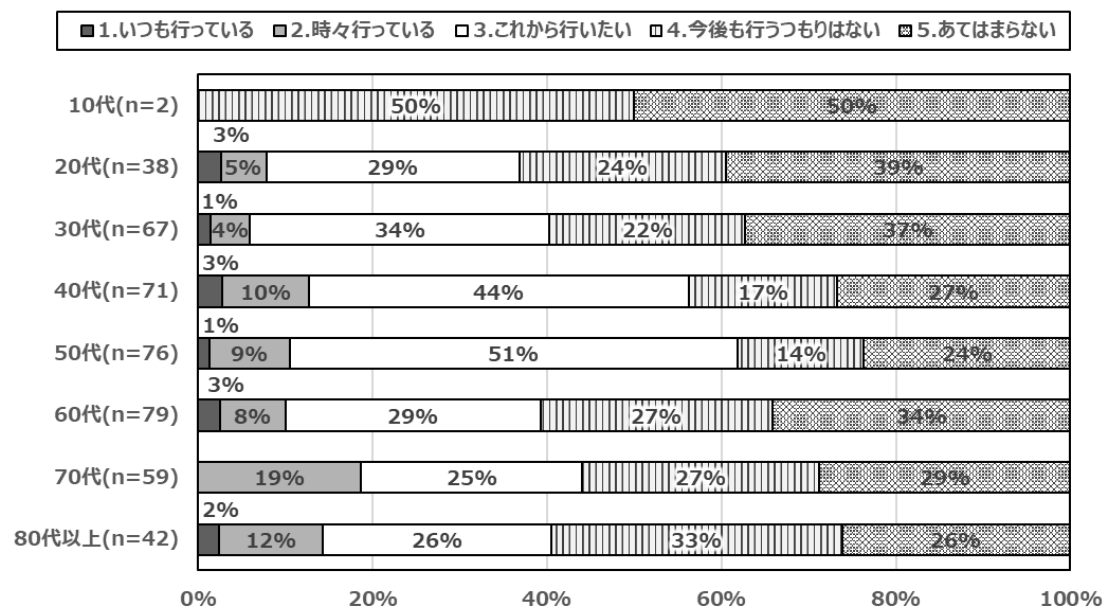
図 2-23 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている(年代別分析)

表 2-23 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	13%(5)	32%(12)	21%(8)	16%(6)	18%(7)	100%(38)
30代	12%(8)	42%(28)	19%(13)	12%(8)	15%(10)	100%(67)
40代	7%(5)	56%(40)	15%(11)	6%(4)	15%(11)	100%(71)
50代	18%(14)	39%(30)	28%(21)	8%(6)	7%(5)	100%(76)
60代	10%(8)	44%(35)	27%(21)	5%(4)	14%(11)	100%(79)
70代	15%(9)	42%(25)	19%(11)	14%(8)	10%(6)	100%(59)
80代以上	12%(5)	45%(19)	31%(13)	7%(3)	5%(2)	100%(42)

②地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても低い。



※無回答 4 件は除いている

図 2-24 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている(年代別分析)

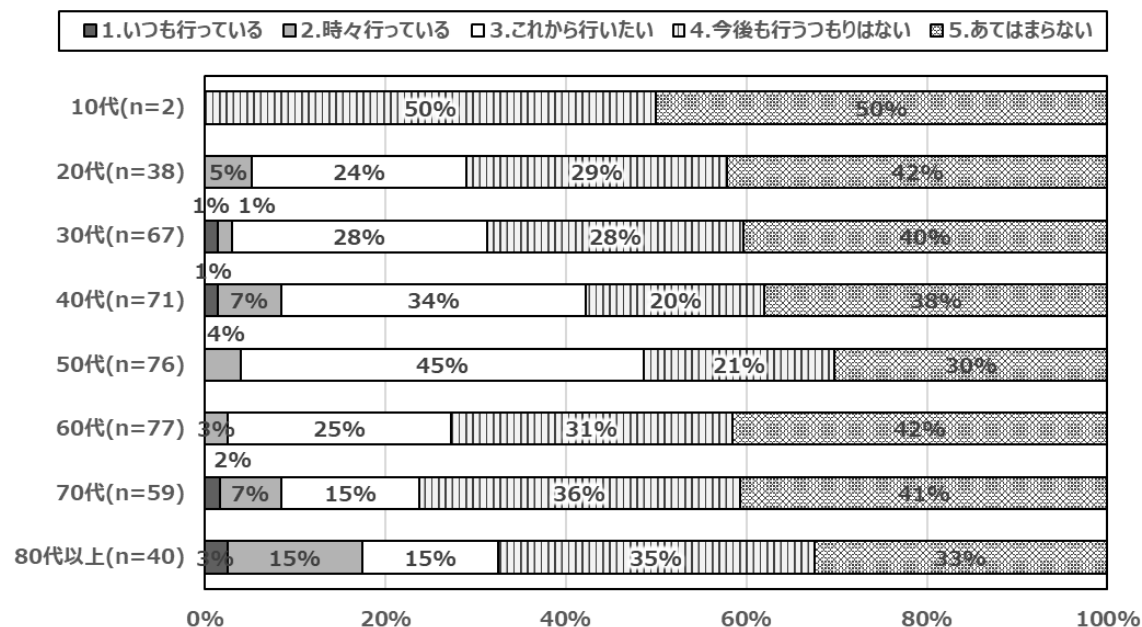
表 2-24 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)
20代	3%(1)	5%(2)	29%(11)	24%(9)	39%(15)	100%(38)
30代	1%(1)	4%(3)	34%(23)	22%(15)	37%(25)	100%(67)
40代	3%(2)	10%(7)	44%(31)	17%(12)	27%(19)	100%(71)
50代	1%(1)	9%(7)	51%(39)	14%(11)	24%(18)	100%(76)
60代	3%(2)	8%(6)	29%(23)	27%(21)	34%(27)	100%(79)
70代	0%(0)	19%(11)	25%(15)	27%(16)	29%(17)	100%(59)
80代以上	2%(1)	12%(5)	26%(11)	33%(14)	26%(11)	100%(42)

f) 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

①区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても50%未満である。



※無回答4件は除いている

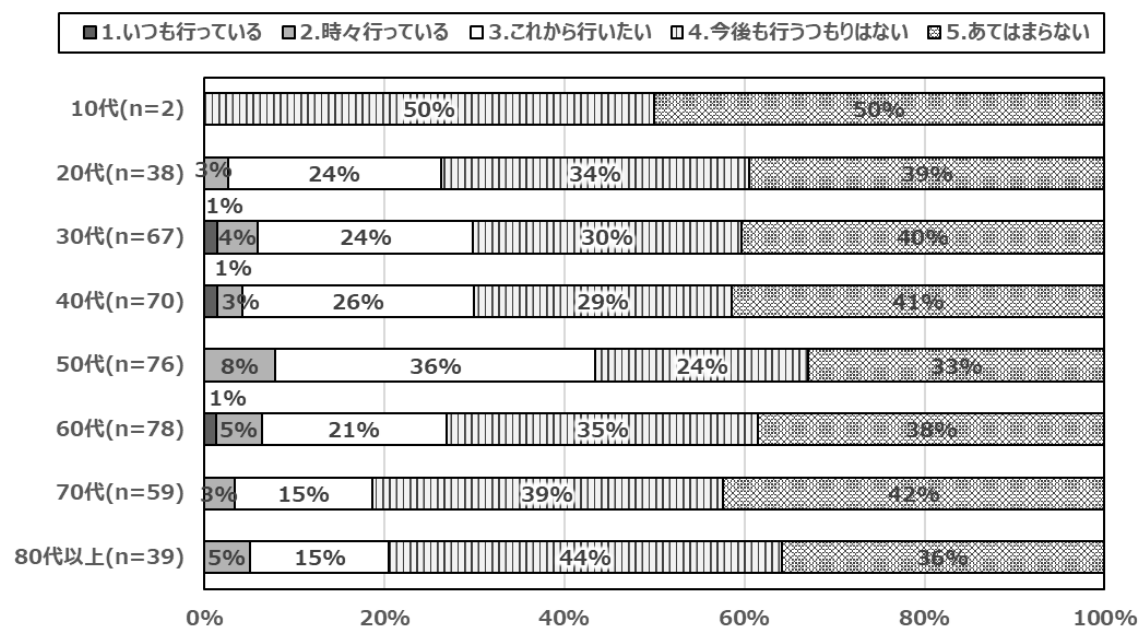
図 2-25 区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(年代別分析)

表 2-25 区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)
20代	0%(0)	5%(2)	24%(9)	29%(11)	42%(16)	100%(38)
30代	1%(1)	1%(1)	28%(19)	28%(19)	40%(27)	100%(67)
40代	1%(1)	7%(5)	34%(24)	20%(14)	38%(27)	100%(71)
50代	0%(0)	4%(3)	45%(34)	21%(16)	30%(23)	100%(76)
60代	0%(0)	3%(2)	25%(19)	31%(24)	42%(32)	100%(77)
70代	2%(1)	7%(4)	15%(9)	36%(21)	41%(24)	100%(59)
80代以上	3%(1)	15%(6)	15%(6)	35%(14)	33%(13)	100%(40)

②区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの年代においても50%未満である。



※無回答4件は除いている

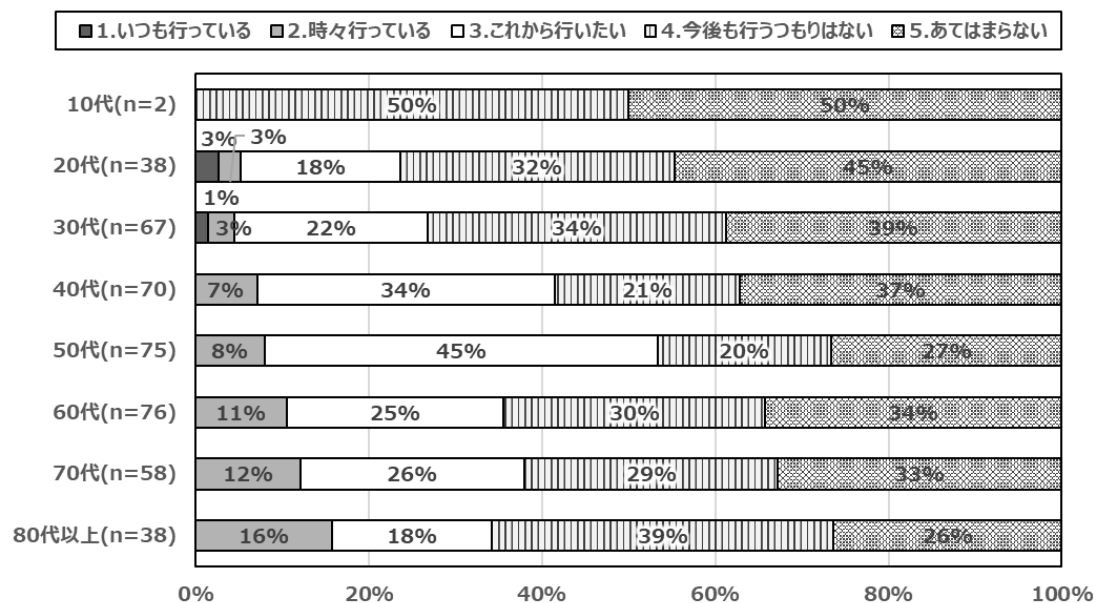
図 2-26 区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(年代別分析)

表 2-26 区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)
20代	0%(0)	3%(1)	24%(9)	34%(13)	39%(15)	100%(38)
30代	1%(1)	4%(3)	24%(16)	30%(20)	40%(27)	100%(67)
40代	1%(1)	3%(2)	26%(18)	29%(20)	41%(29)	100%(70)
50代	0%(0)	8%(6)	36%(27)	24%(18)	33%(25)	100%(76)
60代	1%(1)	5%(4)	21%(16)	35%(27)	38%(30)	100%(78)
70代	0%(0)	3%(2)	15%(9)	39%(23)	42%(25)	100%(59)
80代以上	0%(0)	5%(2)	15%(6)	44%(17)	36%(14)	100%(39)

③環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)

「3.これから行いたい」は、50代において45%と最も高い。



※無回答 4 件は除いている

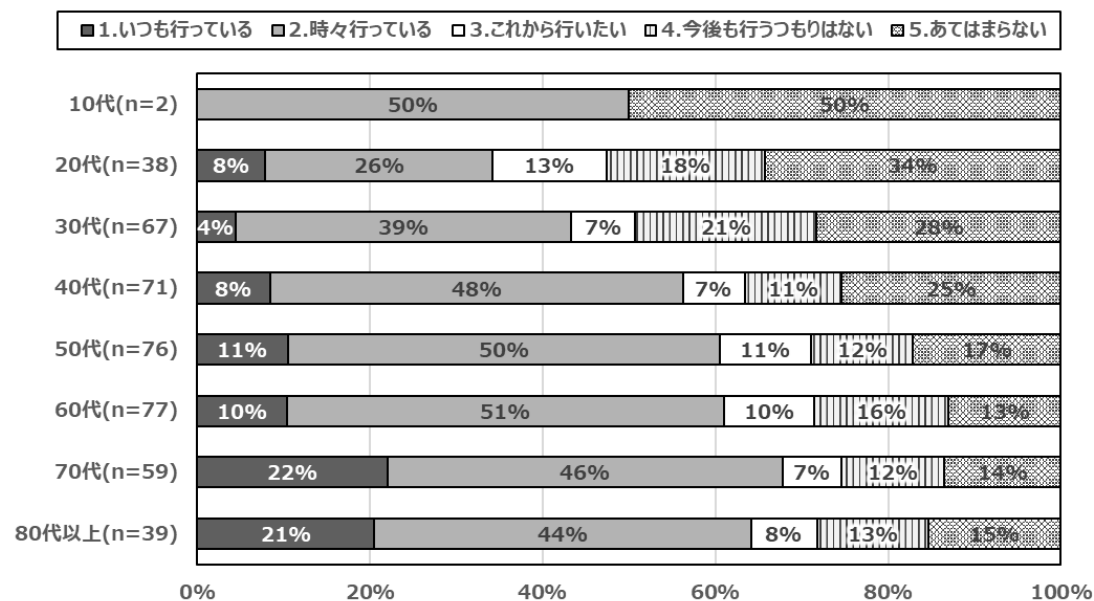
図 2-27 環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)(年代別分析)

表 2-27 環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)
20代	3%(1)	3%(1)	18%(7)	32%(12)	45%(17)	100%(38)
30代	1%(1)	3%(2)	22%(15)	34%(23)	39%(26)	100%(67)
40代	0%(0)	7%(5)	34%(24)	21%(15)	37%(26)	100%(70)
50代	0%(0)	8%(6)	45%(34)	20%(15)	27%(20)	100%(75)
60代	0%(0)	11%(8)	25%(19)	30%(23)	34%(26)	100%(76)
70代	0%(0)	12%(7)	26%(15)	29%(17)	33%(19)	100%(58)
80代以上	0%(0)	16%(6)	18%(7)	39%(15)	26%(10)	100%(38)

④環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、40代以上で50%を超えている。



※無回答 4 件は除いている

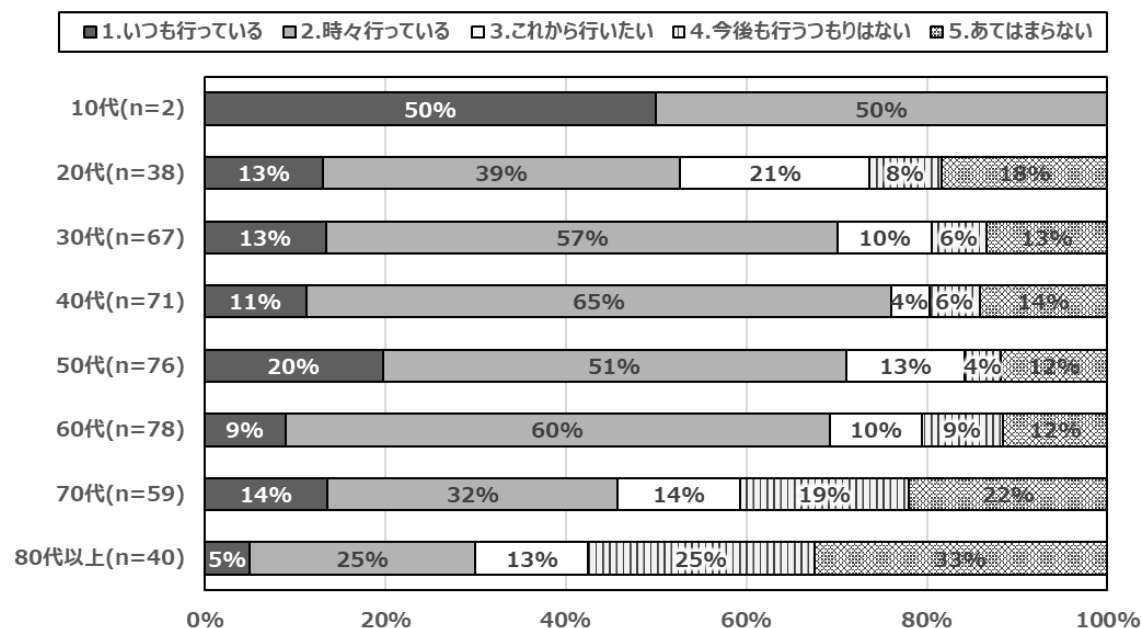
図 2-28 環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる(年代別分析)

表 2-28 環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
20代	8%(3)	26%(10)	13%(5)	18%(7)	34%(13)	100%(38)
30代	4%(3)	39%(26)	7%(5)	21%(14)	28%(19)	100%(67)
40代	8%(6)	48%(34)	7%(5)	11%(8)	25%(18)	100%(71)
50代	11%(8)	50%(38)	11%(8)	12%(9)	17%(13)	100%(76)
60代	10%(8)	51%(39)	10%(8)	16%(12)	13%(10)	100%(77)
70代	22%(13)	46%(27)	7%(4)	12%(7)	14%(8)	100%(59)
80代以上	21%(8)	44%(17)	8%(3)	13%(5)	15%(6)	100%(39)

⑤環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、30代～60代の割合が高い。



※無回答 4 件は除いている

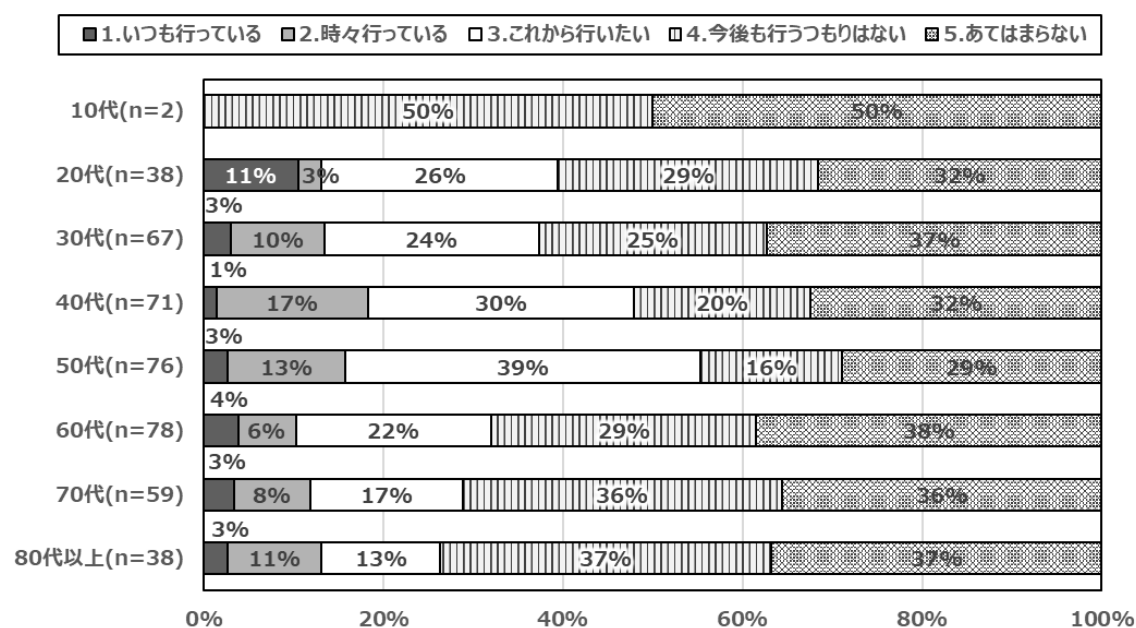
図 2-29 環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる(年代別分析)

表 2-29 環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10 代	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20 代	13%(5)	39%(15)	21%(8)	8%(3)	18%(7)	100%(38)
30 代	13%(9)	57%(38)	10%(7)	6%(4)	13%(9)	100%(67)
40 代	11%(8)	65%(46)	4%(3)	6%(4)	14%(10)	100%(71)
50 代	20%(15)	51%(39)	13%(10)	4%(3)	12%(9)	100%(76)
60 代	9%(7)	60%(47)	10%(8)	9%(7)	12%(9)	100%(78)
70 代	14%(8)	32%(19)	14%(8)	19%(11)	22%(13)	100%(59)
80 代以上	5%(2)	25%(10)	13%(5)	25%(10)	33%(13)	100%(40)

⑥環境問題について、自ら体験しながら学んでいる（自己体験活動、グループ活動など）

実施率（「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計）は、いずれの年代においても20%未満と低い。



※無回答4件は除いている

図 2-30 環境問題について、自ら体験しながら学んでいる（自己体験活動、グループ活動など）（年代別分析）

表 2-30 環境問題について、自ら体験しながら学んでいる（自己体験活動、グループ活動など）（年代別分析）

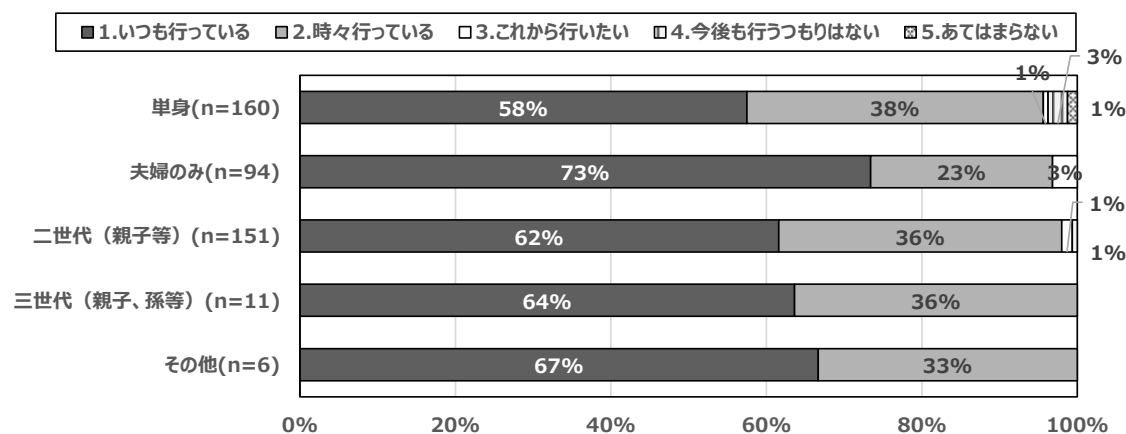
	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
10代	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)
20代	11%(4)	3%(1)	26%(10)	29%(11)	32%(12)	100%(38)
30代	3%(2)	10%(7)	24%(16)	25%(17)	37%(25)	100%(67)
40代	1%(1)	17%(12)	30%(21)	20%(14)	32%(23)	100%(71)
50代	3%(2)	13%(10)	39%(30)	16%(12)	29%(22)	100%(76)
60代	4%(3)	6%(5)	22%(17)	29%(23)	38%(30)	100%(78)
70代	3%(2)	8%(5)	17%(10)	36%(21)	36%(21)	100%(59)
80代以上	3%(1)	11%(4)	13%(5)	37%(14)	37%(14)	100%(38)

3) 世帯構成別分析

a) 省エネルギーに配慮した行動

①こまめにスイッチを切るなど節電を行っている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 14 件は除いている

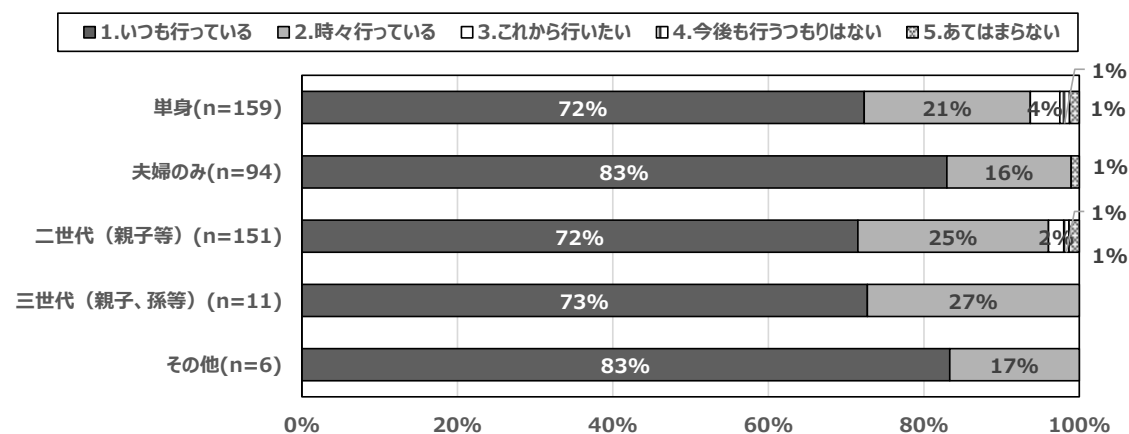
図 2-31 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている(世帯構成別分析)

表 2-31 こまめにスイッチを切るなど節電を行っている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	58%(92)	38%(61)	1%(1)	3%(4)	1%(2)	100%(160)
夫婦のみ	73%(69)	23%(22)	3%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(94)
二世帯(親子等)	62%(93)	36%(55)	1%(2)	1%(1)	0%(0)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	64%(7)	36%(4)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(11)
その他	67%(4)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

②水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 13 件は除いている

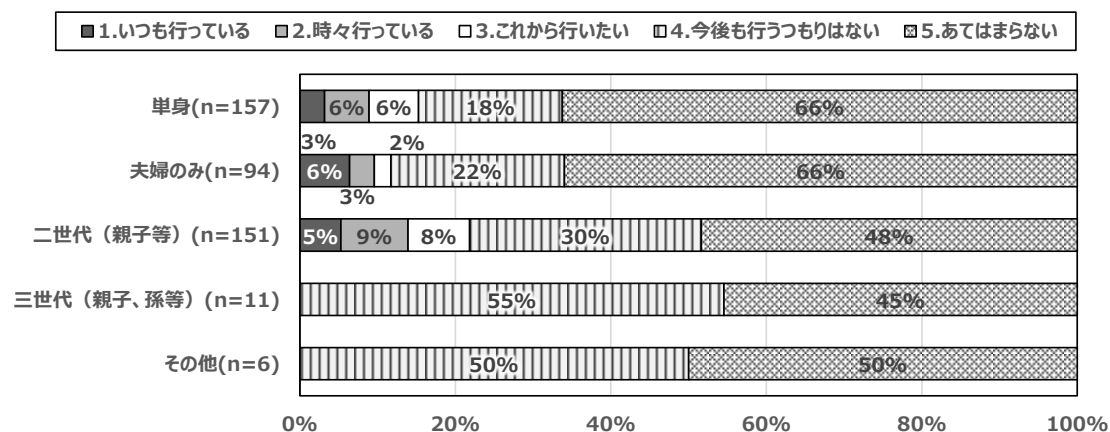
図 2-32 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている(世帯構成別分析)

表 2-32 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	72%(115)	21%(34)	4%(6)	1%(2)	1%(2)	100%(159)
夫婦のみ	83%(78)	16%(15)	0%(0)	0%(0)	1%(1)	100%(94)
二世帯(親子等)	72%(108)	25%(37)	2%(3)	1%(1)	1%(2)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	73%(8)	27%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(11)
その他	83%(5)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

③区内でカーシェアリングサービスを利用している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、三世代(親子、孫等)は0%である。



※無回答 14 件は除いている

図 2-33 区内でカーシェアリングサービスを利用している(世帯構成別分析)

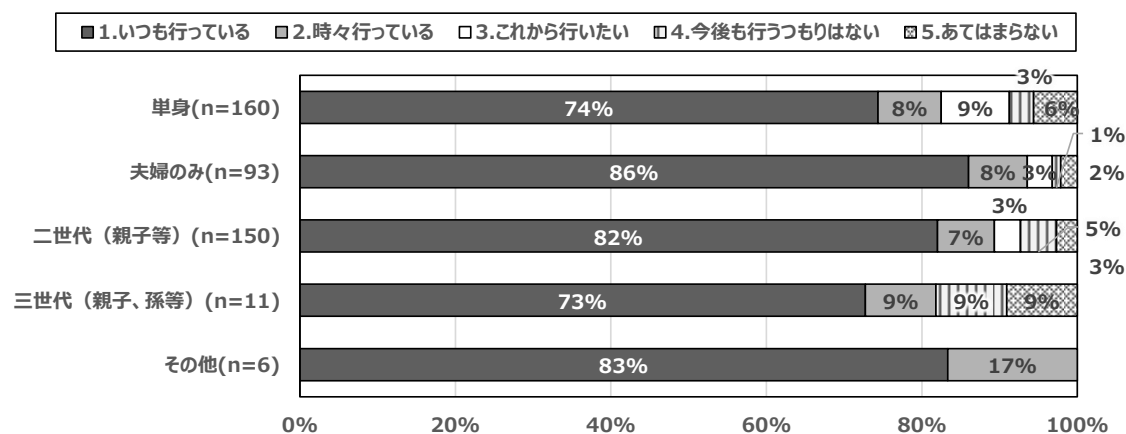
表 2-33 区内でカーシェアリングサービスを利用している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	3%(5)	6%(9)	6%(10)	18%(29)	66%(104)	100%(157)
夫婦のみ	6%(6)	3%(3)	2%(2)	22%(21)	66%(62)	100%(94)
二世帯(親子等)	5%(8)	9%(13)	8%(12)	30%(45)	48%(73)	100%(151)
三世代(親子、孫等)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	55%(6)	45%(5)	100%(11)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(3)	50%(3)	100%(6)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

①プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 14 件は除いている

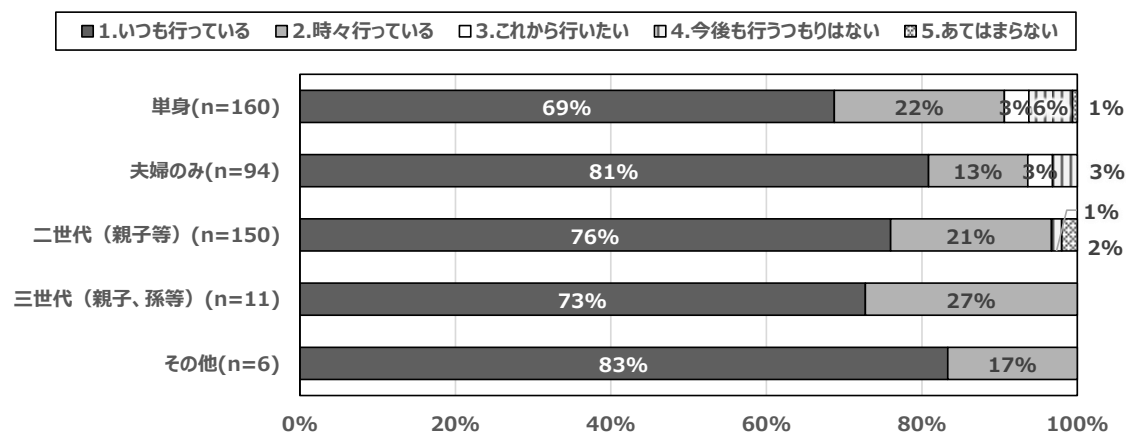
図 2-34 プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している(世帯構成別分析)

表 2-34 プラスチックは分別してプラスチック(資源)の日に収集場に出している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	74%(119)	8%(13)	9%(14)	3%(5)	6%(9)	100%(160)
夫婦のみ	86%(80)	8%(7)	3%(3)	1%(1)	2%(2)	100%(93)
二世帯(親子等)	82%(123)	7%(11)	3%(5)	5%(7)	3%(4)	100%(150)
三世帯(親子、孫等)	73%(8)	9%(1)	0%(0)	9%(1)	9%(1)	100%(11)
その他	83%(5)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

②買い物に行くときはマイバッグを持っていつている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 14 件は除いている

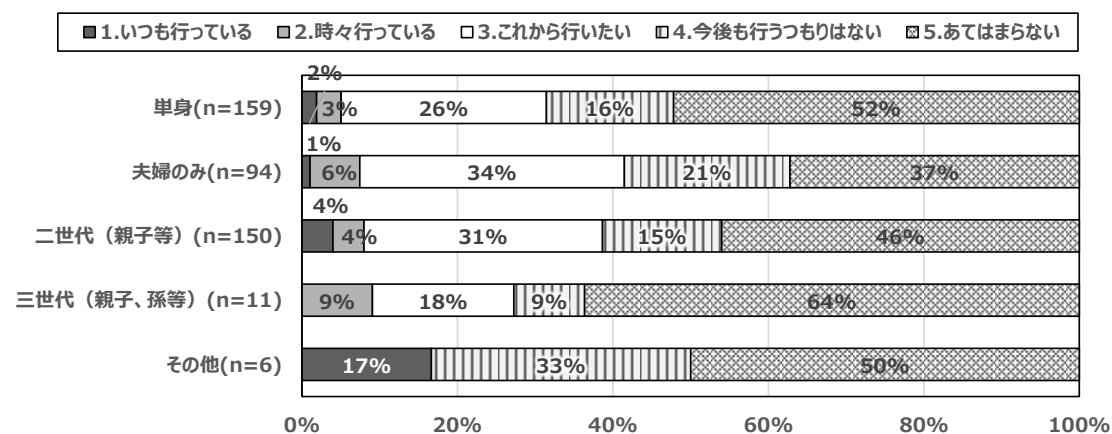
図 2-35 買い物に行くときはマイバッグを持っていつている(世帯構成別分析)

表 2-35 買い物に行くときはマイバッグを持っていつている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	69%(110)	22%(35)	3%(5)	6%(9)	1%(1)	100%(160)
夫婦のみ	81%(76)	13%(12)	3%(3)	3%(3)	0%(0)	100%(94)
二世帯(親子等)	76%(114)	21%(31)	0%(0)	1%(2)	2%(3)	100%(150)
三世帯(親子、孫等)	73%(8)	27%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(11)
その他	83%(5)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても 20% 未満と低い。



※無回答 14 件は除いている

図 2-36 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(世帯構成別分析)

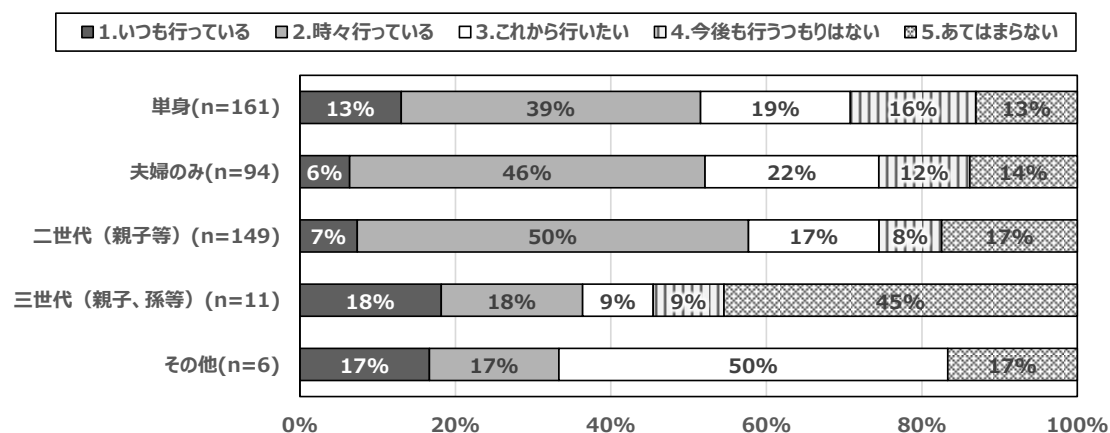
表 2-36 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	2%(3)	3%(5)	26%(42)	16%(26)	52%(83)	100%(159)
夫婦のみ	1%(1)	6%(6)	34%(32)	21%(20)	37%(35)	100%(94)
二世帯(親子等)	4%(6)	4%(6)	31%(46)	15%(23)	46%(69)	100%(150)
三世帯(親子、孫等)	0%(0)	9%(1)	18%(2)	9%(1)	64%(7)	100%(11)
その他	17%(1)	0%(0)	0%(0)	33%(2)	50%(3)	100%(6)

c) 自然環境に配慮した行動

①エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、単身、夫婦のみ及び二世帯(親子等)の世帯構成において 50%以上である。



※無回答 14 件は除いている

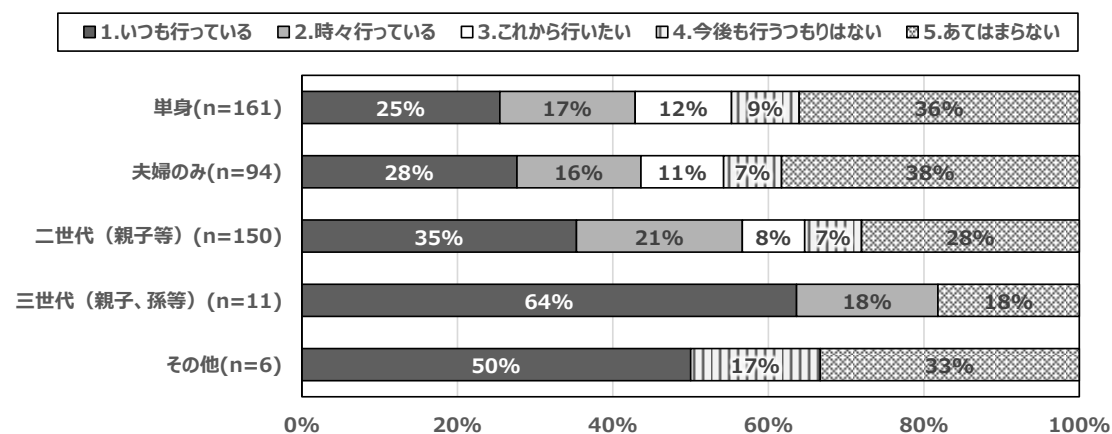
図 2-37 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(世帯構成別分析)

表 2-37 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	13%(21)	39%(62)	19%(31)	16%(26)	13%(21)	100%(161)
夫婦のみ	6%(6)	46%(43)	22%(21)	12%(11)	14%(13)	100%(94)
二世帯(親子等)	7%(11)	50%(75)	17%(25)	8%(12)	17%(26)	100%(149)
三世帯(親子、孫等)	18%(2)	18%(2)	9%(1)	9%(1)	45%(5)	100%(11)
その他	17%(1)	17%(1)	50%(3)	0%(0)	17%(1)	100%(6)

②庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、世帯人員が増加するほど割合が高い。



※無回答 13 件は除いている

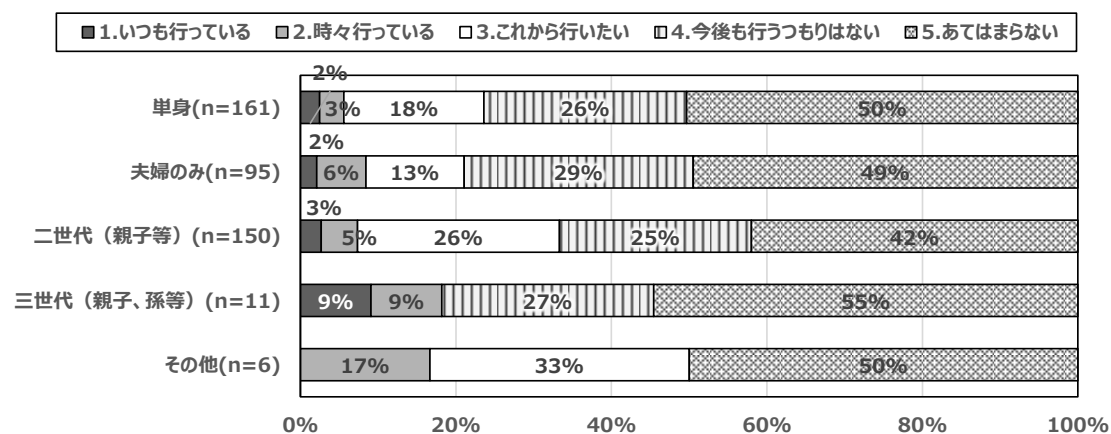
図 2-38 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている(世帯構成別分析)

表 2-38 庭木や家庭菜園など、みどりを大切にしている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	25%(41)	17%(28)	12%(20)	9%(14)	36%(58)	100%(161)
夫婦のみ	28%(26)	16%(15)	11%(10)	7%(7)	38%(36)	100%(94)
二世帯(親子等)	35%(53)	21%(32)	8%(12)	7%(11)	28%(42)	100%(150)
三世帯(親子、孫等)	64%(7)	18%(2)	0%(0)	0%(0)	18%(2)	100%(11)
その他	50%(3)	0%(0)	0%(0)	17%(1)	33%(2)	100%(6)

③生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても 20% 未満と低い。



※無回答 14 件は除いている

図 2-39 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(世帯構成別分析)

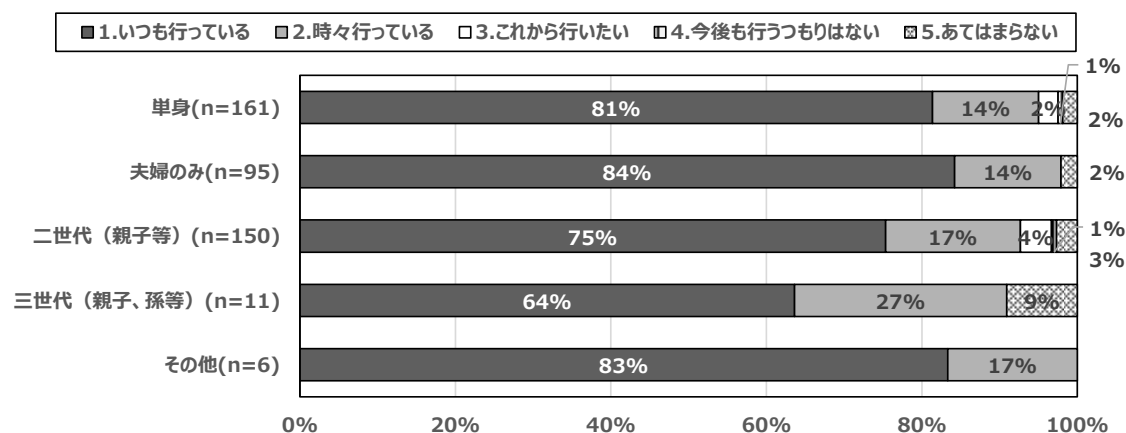
表 2-39 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	2%(4)	3%(5)	18%(29)	26%(42)	50%(81)	100%(161)
夫婦のみ	2%(2)	6%(6)	13%(12)	29%(28)	49%(47)	100%(95)
二世帯(親子等)	3%(4)	5%(7)	26%(39)	25%(37)	42%(63)	100%(150)
三世帯(親子、孫等)	9%(1)	9%(1)	0%(0)	27%(3)	55%(6)	100%(11)
その他	0%(0)	17%(1)	33%(2)	0%(0)	50%(3)	100%(6)

d) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

①音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、すべての世帯構成において 80%以上と高い。



※無回答 14 件は除いている

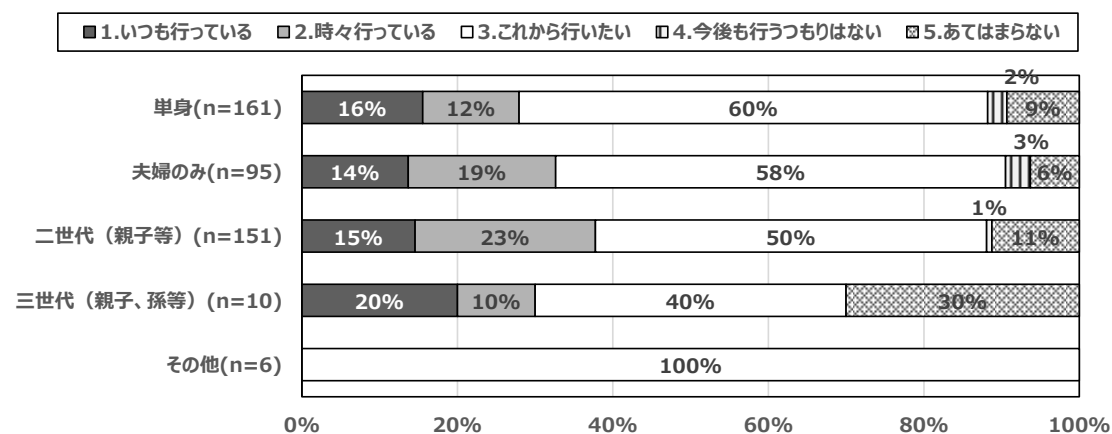
図 2-40 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している(世帯構成別分析)

表 2-40 音やにおい、排水などで近隣に迷惑をかけないように配慮している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	81%(131)	14%(22)	2%(4)	1%(1)	2%(3)	100%(161)
夫婦のみ	84%(80)	14%(13)	0%(0)	0%(0)	2%(2)	100%(95)
二世帯(親子等)	75%(113)	17%(26)	4%(6)	1%(1)	3%(4)	100%(150)
三世帯(親子、孫等)	64%(7)	27%(3)	0%(0)	0%(0)	9%(1)	100%(11)
その他	83%(5)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

②避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても 30%~40%前後である。



※無回答 14 件は除いている

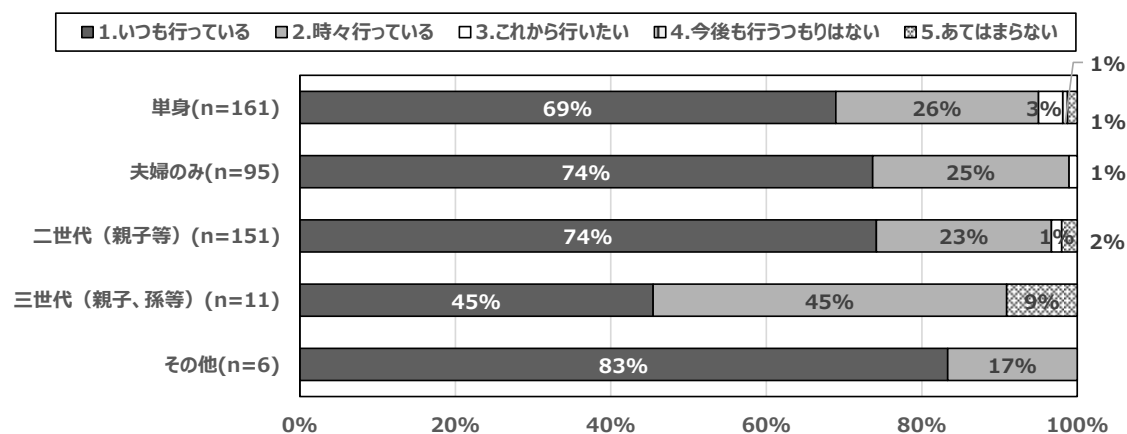
図 2-41 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している(世帯構成別分析)

表 2-41 避難所や災害時でも電気が確保できる場所を確認している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	16%(25)	12%(20)	60%(97)	2%(4)	9%(15)	100%(161)
夫婦のみ	14%(13)	19%(18)	58%(55)	3%(3)	6%(6)	100%(95)
二世帯(親子等)	15%(22)	23%(35)	50%(76)	1%(1)	11%(17)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	20%(2)	10%(1)	40%(4)	0%(0)	30%(3)	100%(10)
その他	0%(0)	0%(0)	100%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

③気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている

三世代(親子、孫等)においては「1.いつも行っている」の割合が低く、「2.時々行っている」の割合が高い。



※無回答 14 件は除いている

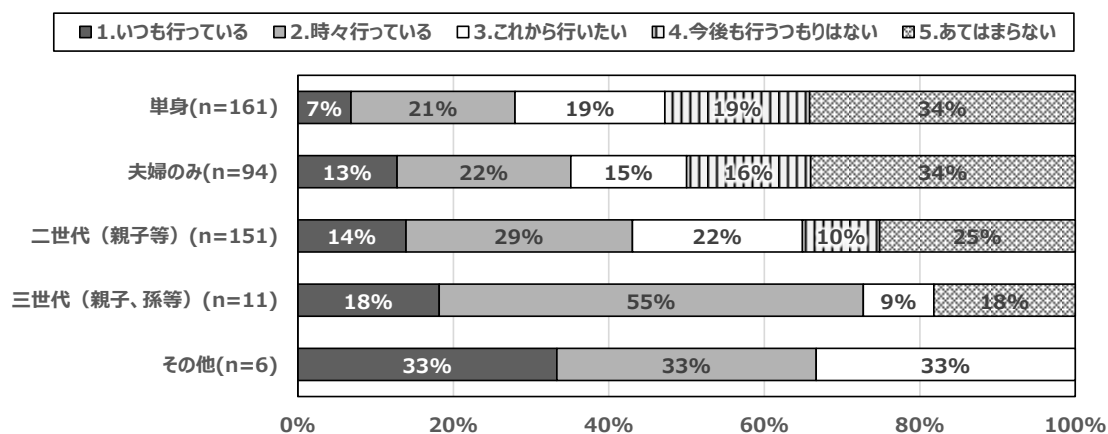
図 2-42 気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている(世帯構成別分析)

表 2-42 気候の変化に伴う健康被害(熱中症など)に気を付けている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	69%(111)	26%(42)	3%(5)	1%(1)	1%(2)	100%(161)
夫婦のみ	74%(70)	25%(24)	1%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(95)
二世代(親子等)	74%(112)	23%(34)	1%(2)	0%(0)	2%(3)	100%(151)
三世代(親子、孫等)	45%(5)	45%(5)	0%(0)	0%(0)	9%(1)	100%(11)
その他	83%(5)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

④自宅周辺の清掃活動を行っている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、世帯人員が増加するほど割合が高い。



※無回答 14 件は除いている

図 2-43 自宅周辺の清掃活動を行っている(世帯構成別分析)

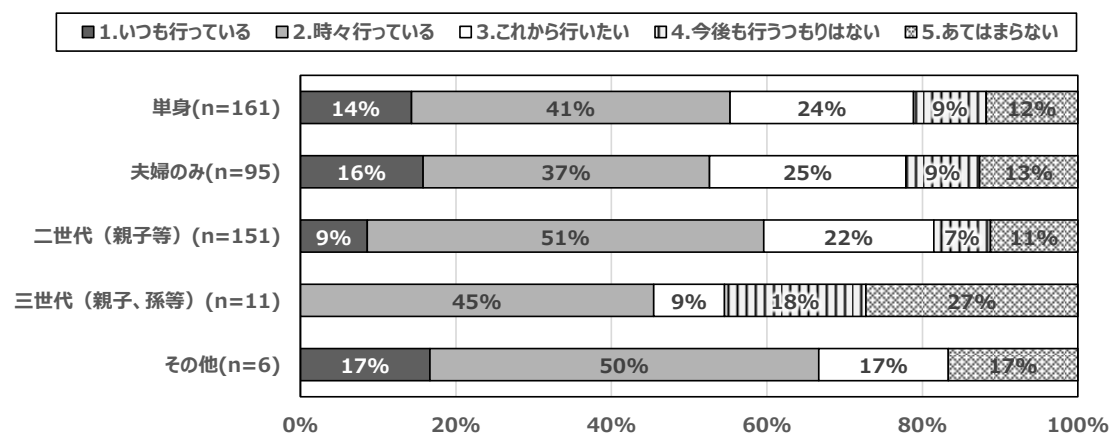
表 2-43 自宅周辺の清掃活動を行っている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	7%(11)	21%(34)	19%(31)	19%(30)	34%(55)	100%(161)
夫婦のみ	13%(12)	22%(21)	15%(14)	16%(15)	34%(32)	100%(94)
二世帯(親子等)	14%(21)	29%(44)	22%(33)	10%(15)	25%(38)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	18%(2)	55%(6)	9%(1)	0%(0)	18%(2)	100%(11)
その他	33%(2)	33%(2)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(6)

e) 地域の歴史や文化に配慮した行動

①地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている

三世代(親子、孫等)は「1.いつも行っている」の割合が0%である。



※無回答 14 件は除いている

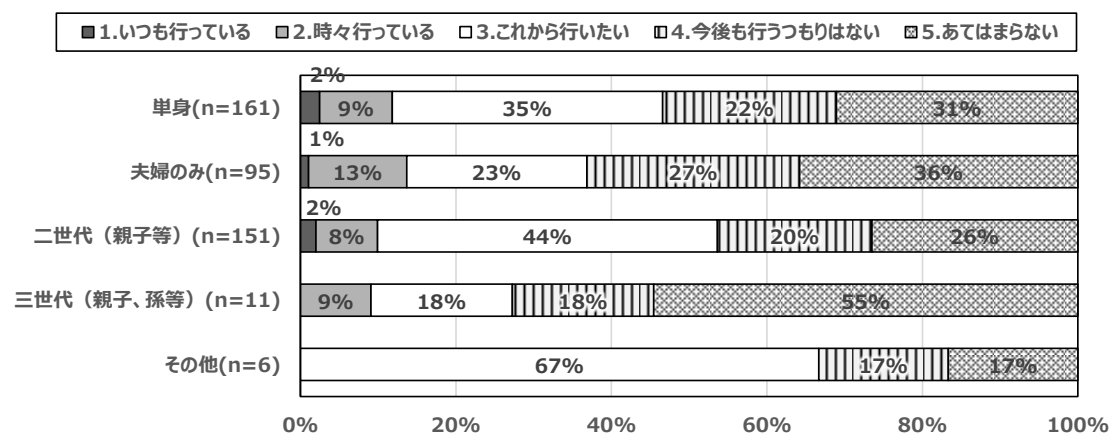
図 2-44 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている(世帯構成別分析)

表 2-44 地域の歴史・文化に機会があれば接するようにしている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	14%(23)	41%(66)	24%(38)	9%(15)	12%(19)	100%(161)
夫婦のみ	16%(15)	37%(35)	25%(24)	9%(9)	13%(12)	100%(95)
二世帯(親子等)	9%(13)	51%(77)	22%(33)	7%(11)	11%(17)	100%(151)
三世代(親子、孫等)	0%(0)	45%(5)	9%(1)	18%(2)	27%(3)	100%(11)
その他	17%(1)	50%(3)	17%(1)	0%(0)	17%(1)	100%(6)

②地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても 20% 未満と低い。



※無回答 14 件は除いている

図 2-45 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている(世帯構成別分析)

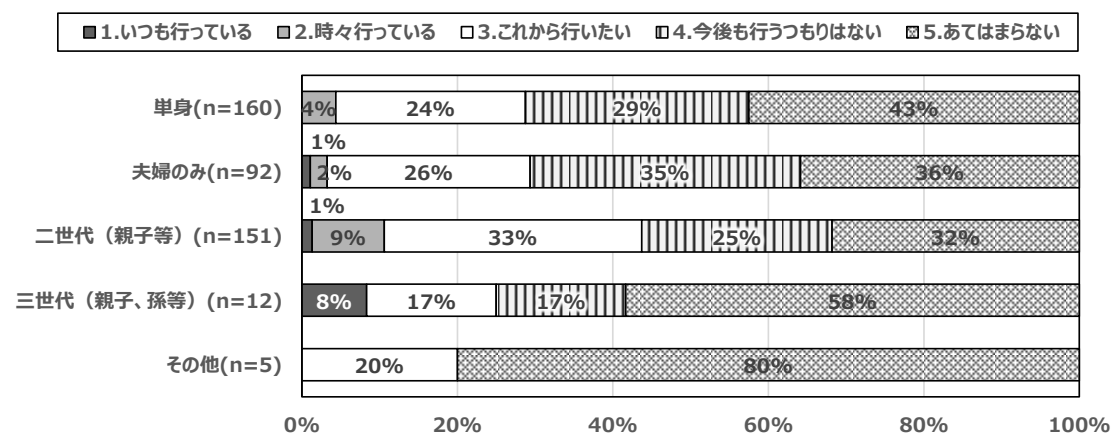
表 2-45 地域の歴史・文化を未来に伝える取組をしている(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	2%(4)	9%(15)	35%(56)	22%(36)	31%(50)	100%(161)
夫婦のみ	1%(1)	13%(12)	23%(22)	27%(26)	36%(34)	100%(95)
二世帯(親子等)	2%(3)	8%(12)	44%(66)	20%(30)	26%(40)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	0%(0)	9%(1)	18%(2)	18%(2)	55%(6)	100%(11)
その他	0%(0)	0%(0)	67%(4)	17%(1)	17%(1)	100%(6)

f) 環境に配慮した取組を行うための連携・学習

①区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの世帯構成においても 10% 以下と低い。



※無回答 14 件は除いている

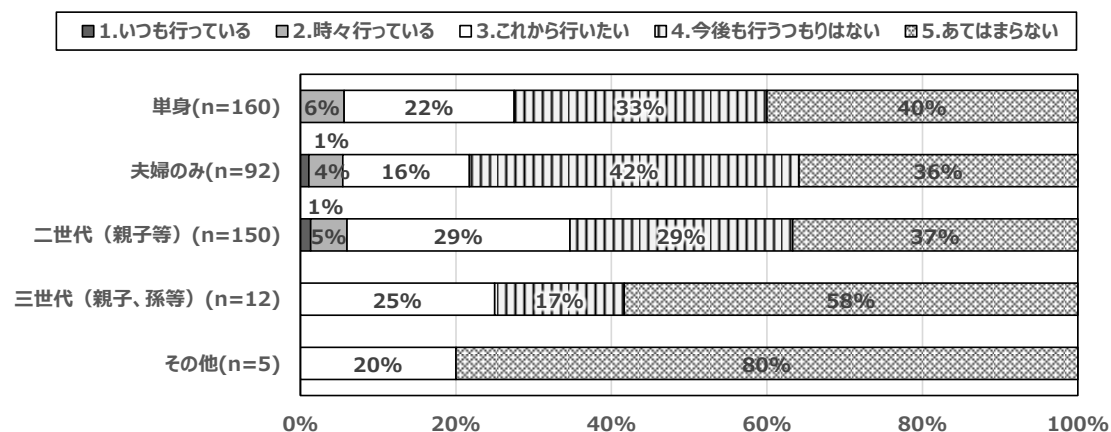
図 2-46 区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(世帯構成別分析)

表 2-46 区内で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	0%(0)	4%(7)	24%(39)	29%(46)	43%(68)	100%(160)
夫婦のみ	1%(1)	2%(2)	26%(24)	35%(32)	36%(33)	100%(92)
二世帯(親子等)	1%(2)	9%(14)	33%(50)	25%(37)	32%(48)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	8%(1)	0%(0)	17%(2)	17%(2)	58%(7)	100%(12)
その他	0%(0)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	80%(4)	100%(5)

②区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している

「1.いつも行っている」の割合について、単身、三世代(親子、孫等)は0%である。



※無回答 14 件は除いている

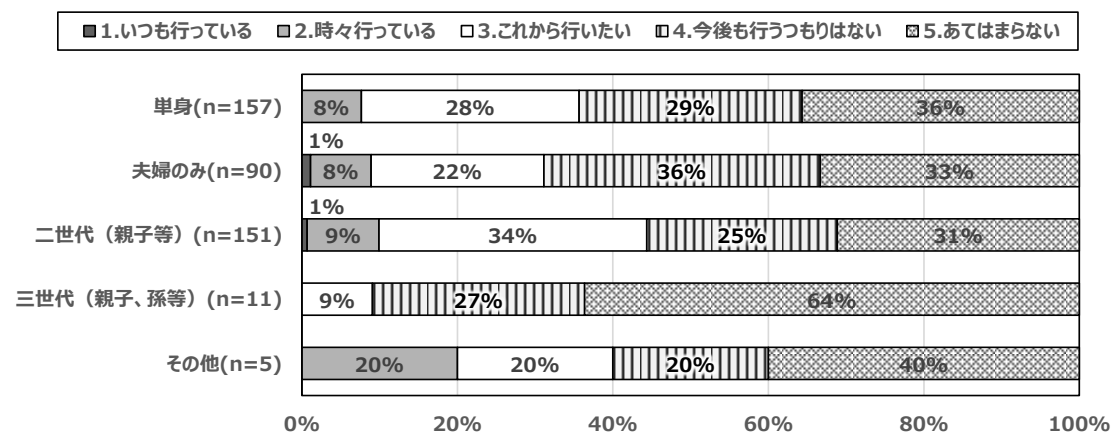
図 2-47 区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(世帯構成別分析)

表 2-47 区外で環境保全に取り組む団体の活動に協力・参加している(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	0%(0)	6%(9)	22%(35)	33%(52)	40%(64)	100%(160)
夫婦のみ	1%(1)	4%(4)	16%(15)	42%(39)	36%(33)	100%(92)
二世代(親子等)	1%(2)	5%(7)	29%(43)	29%(43)	37%(55)	100%(150)
三世代(親子、孫等)	0%(0)	0%(0)	25%(3)	17%(2)	58%(7)	100%(12)
その他	0%(0)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	80%(4)	100%(5)

③環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)

「1.いつも行っている」の割合について、単身、三世代(親子、孫等)は0%である。



※無回答 14 件は除いている

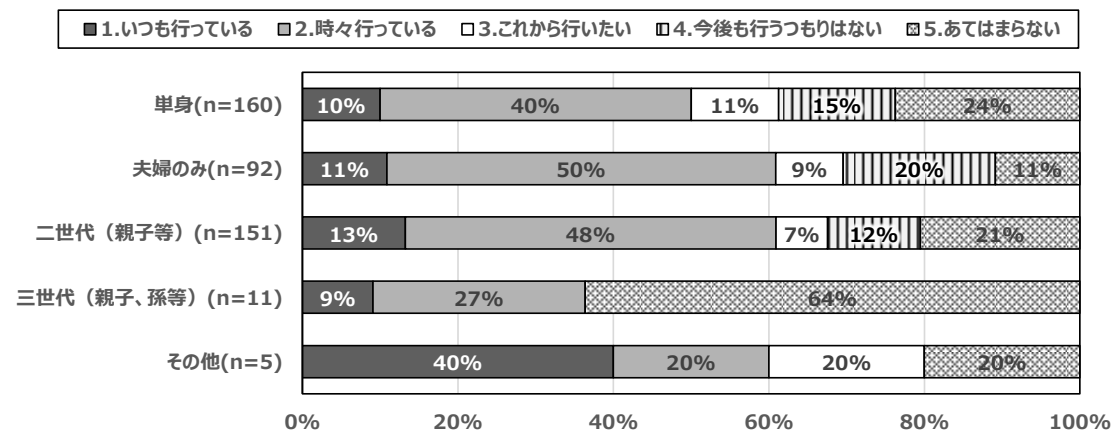
図 2-48 環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)(世帯構成別分析)

表 2-48 環境問題について、イベントに参加して学んでいる(講演会など)(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	0%(0)	8%(12)	28%(44)	29%(45)	36%(56)	100%(157)
夫婦のみ	1%(1)	8%(7)	22%(20)	36%(32)	33%(30)	100%(90)
二世帯(親子等)	1%(1)	9%(14)	34%(52)	25%(37)	31%(47)	100%(151)
三世帯(親子、孫等)	0%(0)	0%(0)	9%(1)	27%(3)	64%(7)	100%(11)
その他	0%(0)	20%(1)	20%(1)	20%(1)	40%(2)	100%(5)

④環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)について、三世代(親子、孫等)が最も低い。



※無回答 14 件は除いている

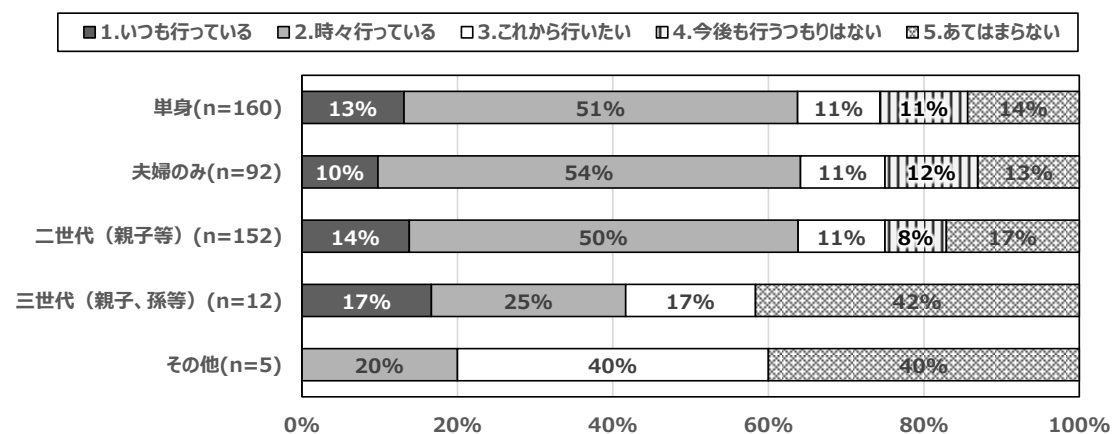
図 2-49 環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる(世帯構成別分析)

表 2-49 環境問題について、オールドメディア(新聞、テレビ、雑誌など)の情報を頼りに学んでいる(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	10%(16)	40%(64)	11%(18)	15%(24)	24%(38)	100%(160)
夫婦のみ	11%(10)	50%(46)	9%(8)	20%(18)	11%(10)	100%(92)
二世帯(親子等)	13%(20)	48%(72)	7%(10)	12%(18)	21%(31)	100%(151)
三世代(親子、孫等)	9%(1)	27%(3)	0%(0)	0%(0)	64%(7)	100%(11)
その他	40%(2)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

⑤環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)について、単身、夫婦のみ、二世帯(親子等)において 60%を上回っている。



※無回答 14 件は除いている

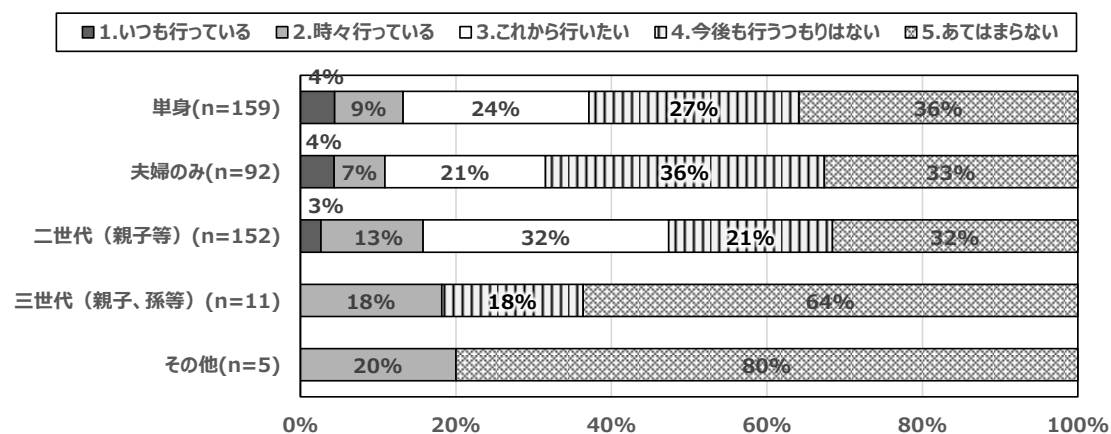
図 2-50 環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる(世帯構成別分析)

表 2-50 環境問題について、ニューメディア(インターネット、SNS など)の情報を基に学んでいる(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	13%(21)	51%(81)	11%(17)	11%(18)	14%(23)	100%(160)
夫婦のみ	10%(9)	54%(50)	11%(10)	12%(11)	13%(12)	100%(92)
二世帯(親子等)	14%(21)	50%(76)	11%(17)	8%(12)	17%(26)	100%(152)
三世帯(親子、孫等)	17%(2)	25%(3)	17%(2)	0%(0)	42%(5)	100%(12)
その他	0%(0)	20%(1)	40%(2)	0%(0)	40%(2)	100%(5)

⑥環境問題について、自ら体験しながら学んでいる(自己体験活動、グループ活動など)

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)について、三世代(親子、孫等)が最も高い。



※無回答 14 件は除いている

図 2-51 環境問題について、自ら体験しながら学んでいる(自己体験活動、グループ活動など)(世帯構成別分析)

表 2-51 環境問題について、自ら体験しながら学んでいる(自己体験活動、グループ活動など)(世帯構成別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない	5.あてはまらない	
単身	4%(7)	9%(14)	24%(38)	27%(43)	36%(57)	100%(159)
夫婦のみ	4%(4)	7%(6)	21%(19)	36%(33)	33%(30)	100%(92)
二世帯(親子等)	3%(4)	13%(20)	32%(48)	21%(32)	32%(48)	100%(152)
三世代(親子、孫等)	0%(0)	18%(2)	0%(0)	18%(2)	64%(7)	100%(11)
その他	0%(0)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	80%(4)	100%(5)

2.1.4 区民の Well-Being(幸福)な状態について

(1) 問 4

文京区の現状の環境で、あなたの Well-Being(幸福)はどのような状態ですか。該当する選択肢の枠を塗りつぶしてください。

1.とても幸せである 2.それなりに幸せである 3.あまり幸せではない 4.全く幸せではない

1) 全体

「2.それなりに幸せである」が 72%と最も高い割合となっている。次いで「1.とても幸せである」が 21%となっている。

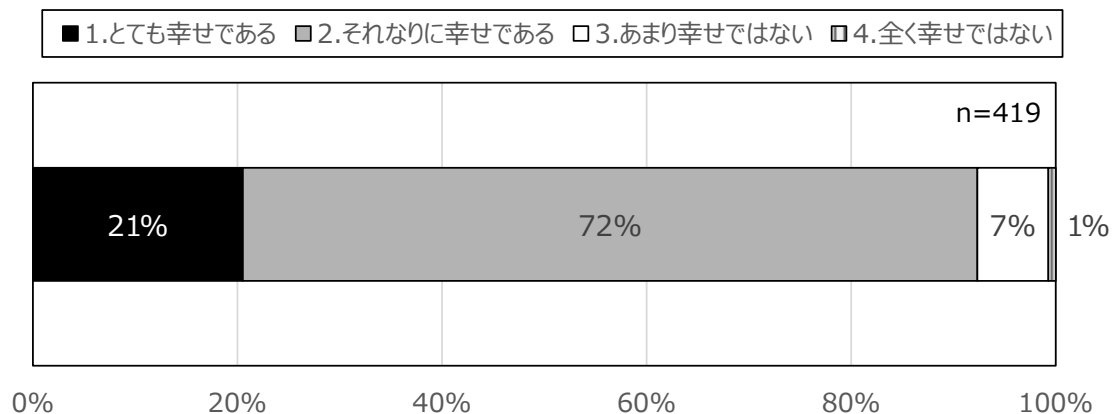


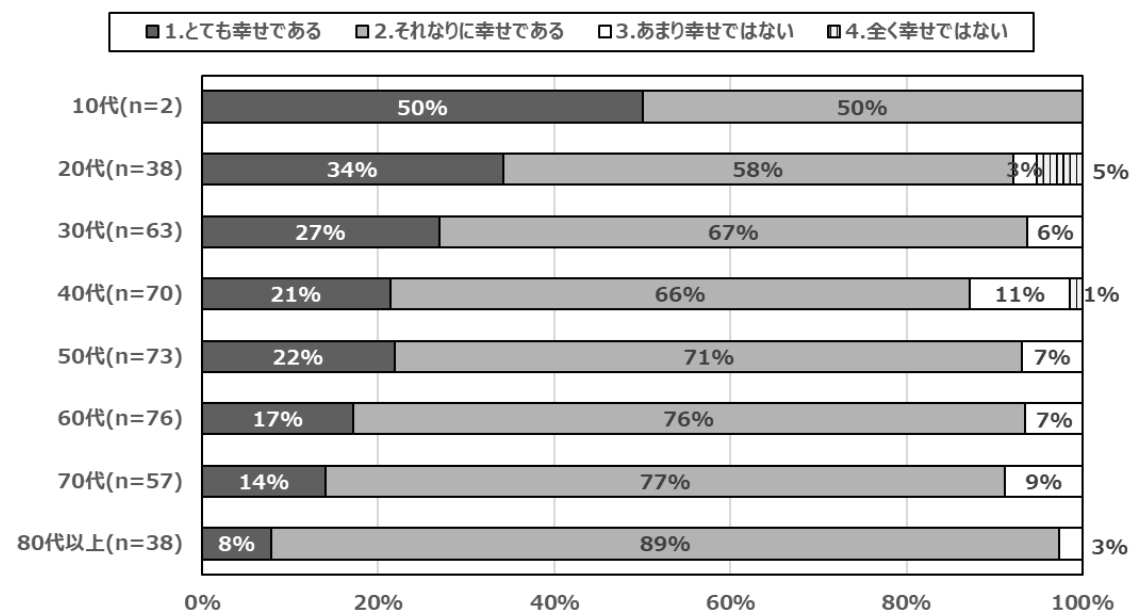
図 2-52 区民の Well-Being(幸福)な状態について

表 2-52 区民の Well-Being(幸福)な状態について

	R7 結果 (%(回答数))
とても幸せである	21%(86)
それなりに幸せである	72%(301)
あまり幸せではない	7%(29)
全く幸せではない	1%(3)
計(無回答数を除く)	100%(419)
無回答	23

2) 年代別分析

「1.とても幸せである」は、年代が高くなるほど割合が低くなる傾向がある。



※無回答 2 件は除いている

図 2-53 区民の Well-Being(幸福)な状態について(年代別分析)

表 2-53 区民の Well-Being(幸福)な状態について(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)				
	1.とても幸せである	2.それなりに幸せである	3.あまり幸せではない	4.全く幸せではない	計(無回答を除く)
10代	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	34%(13)	58%(22)	3%(1)	5%(2)	100%(38)
30代	27%(17)	67%(42)	6%(4)	0%(0)	100%(63)
40代	21%(15)	66%(46)	11%(8)	1%(1)	100%(70)
50代	22%(16)	71%(52)	7%(5)	0%(0)	100%(73)
60代	17%(13)	76%(58)	7%(5)	0%(0)	100%(76)
70代	14%(8)	77%(44)	9%(5)	0%(0)	100%(57)
80代以上	8%(3)	89%(34)	3%(1)	0%(0)	100%(38)

(2) 問 5

文京区内で“住む・働く・学ぶ”の視点で見た場合に、Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うものの 枠を塗りつぶしてください。	
1.とても重要 2.どちらかという重要 3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない 5.重要ではない

1) 全体

重要としている(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」の合計)は、「快適・安全社会」が 90%以上と最も高い。

■ 1.とても重要 □ 2.どちらかという重要 □ 3.どちらともいえない □ 4.どちらかという重要ではない ■ 5.重要ではない

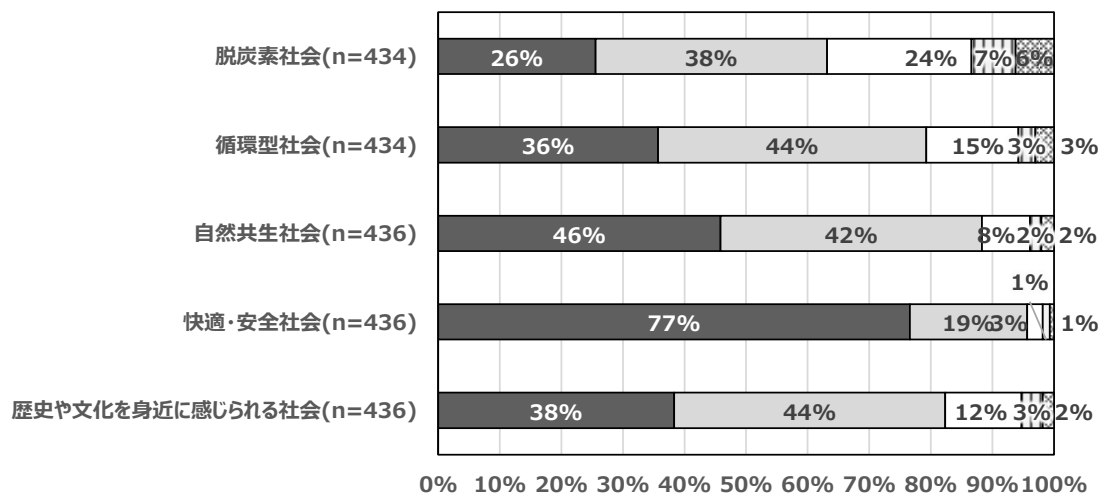


図 2-54 Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うもの

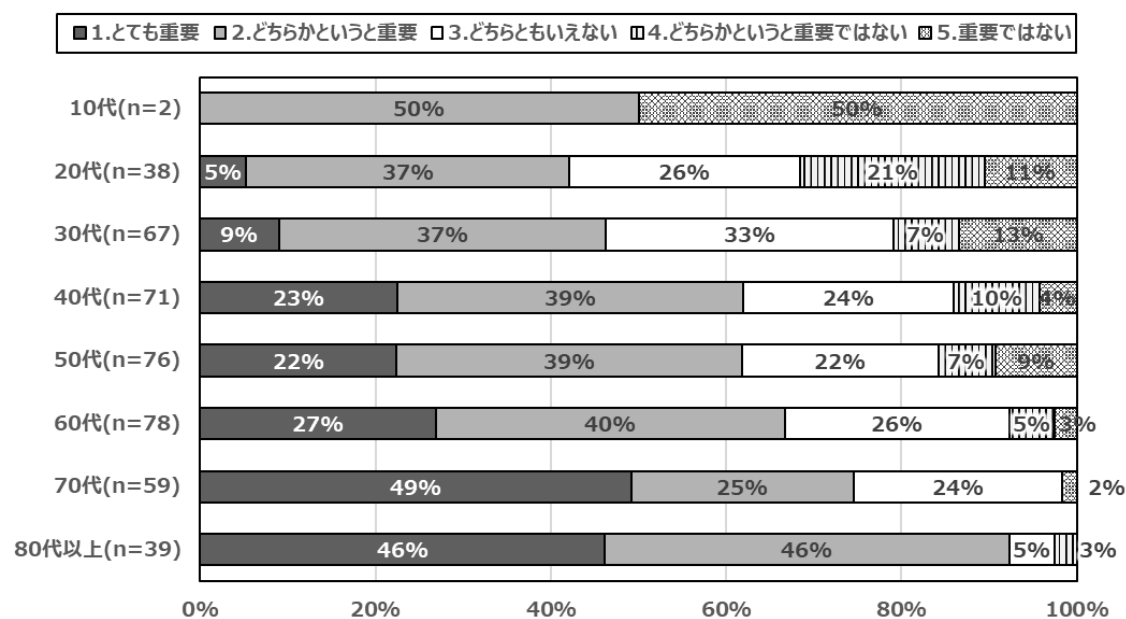
表 2-54 Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うもの

	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	計(無回答を除く)
①脱炭素社会	26%(111)	38%(163)	24%(102)	7%(31)	6%(27)	100%(434)
②循環型社会	36%(155)	44%(189)	15%(65)	3%(12)	3%(13)	100%(434)
③自然共生社会	46%(200)	42%(185)	8%(34)	2%(8)	2%(9)	100%(436)
④快適・安全社会	77%(334)	19%(83)	3%(11)	1%(5)	1%(3)	100%(436)
⑤歴史や文化を身近に感じられる社会	38%(167)	44%(192)	12%(54)	3%(15)	2%(8)	100%(436)

2) 年代別分析

① 脱炭素社会

重要としている(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」の合計)は、年代が高くなるほど高い。



※無回答 4 件は除いている

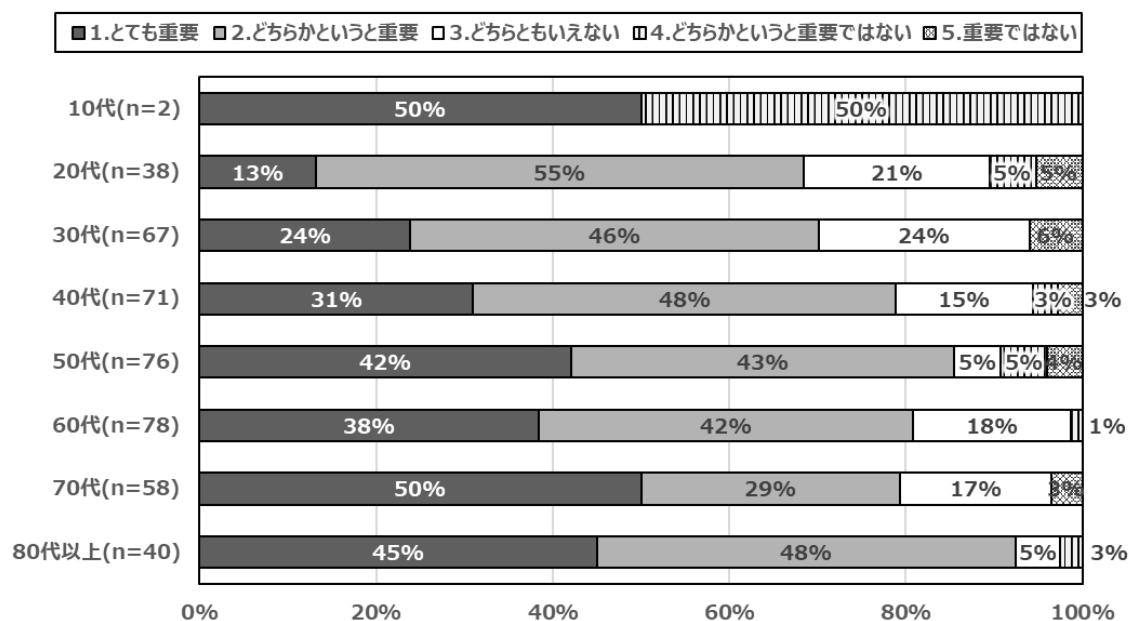
図 2-55 脱炭素社会(年代別分析)

表 2-55 脱炭素社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
10代	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
20代	5%(2)	37%(14)	26%(10)	21%(8)	11%(4)	100%(38)
30代	9%(6)	37%(25)	33%(22)	7%(5)	13%(9)	100%(67)
40代	23%(16)	39%(28)	24%(17)	10%(7)	4%(3)	100%(71)
50代	22%(17)	39%(30)	22%(17)	7%(5)	9%(7)	100%(76)
60代	27%(21)	40%(31)	26%(20)	5%(4)	3%(2)	100%(78)
70代	49%(29)	25%(15)	24%(14)	0%(0)	2%(1)	100%(59)
80代以上	46%(18)	46%(18)	5%(2)	3%(1)	0%(0)	100%(39)

②循環型社会

重要としている(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」の合計)は、80代以上が最も高く、次いで50代が高い。



※無回答 4 件は除いている

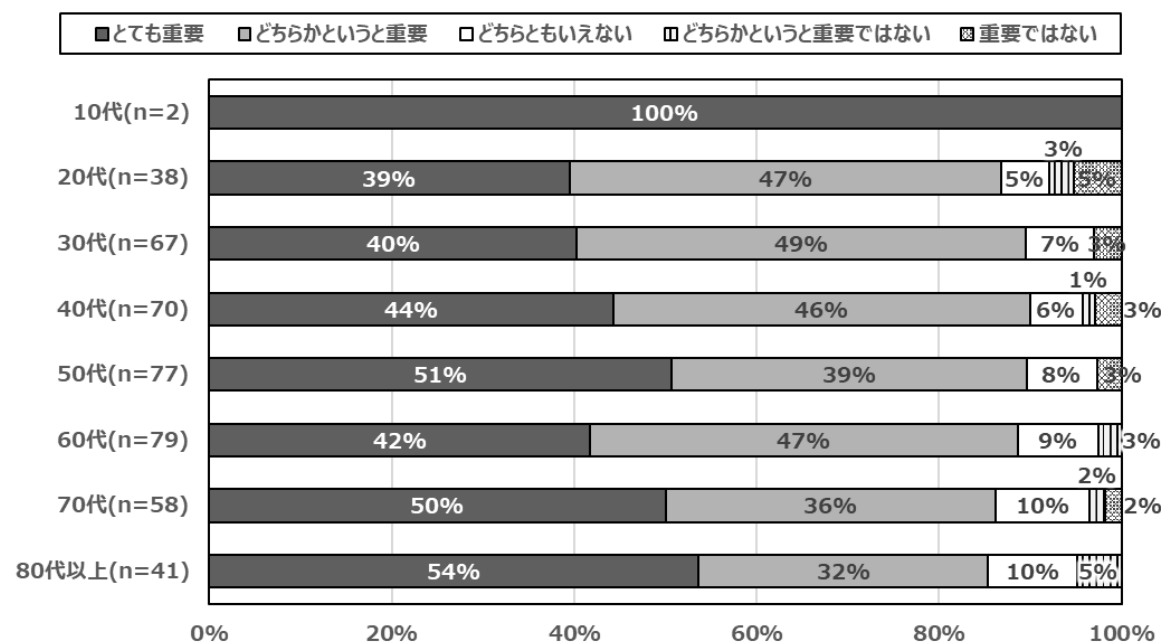
図 2-56 循環型社会(年代別分析)

表 2-56 循環型社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
10代	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)
20代	13%(5)	55%(21)	21%(8)	5%(2)	5%(2)	100%(38)
30代	24%(16)	46%(31)	24%(16)	0%(0)	6%(4)	100%(67)
40代	31%(22)	48%(34)	15%(11)	3%(2)	3%(2)	100%(71)
50代	42%(32)	43%(33)	5%(4)	5%(4)	4%(3)	100%(76)
60代	38%(30)	42%(33)	18%(14)	1%(1)	0%(0)	100%(78)
70代	50%(29)	29%(17)	17%(10)	0%(0)	3%(2)	100%(58)
80代以上	45%(18)	48%(19)	5%(2)	3%(1)	0%(0)	100%(40)

③自然共生社会

重要としている(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 4 件は除いている

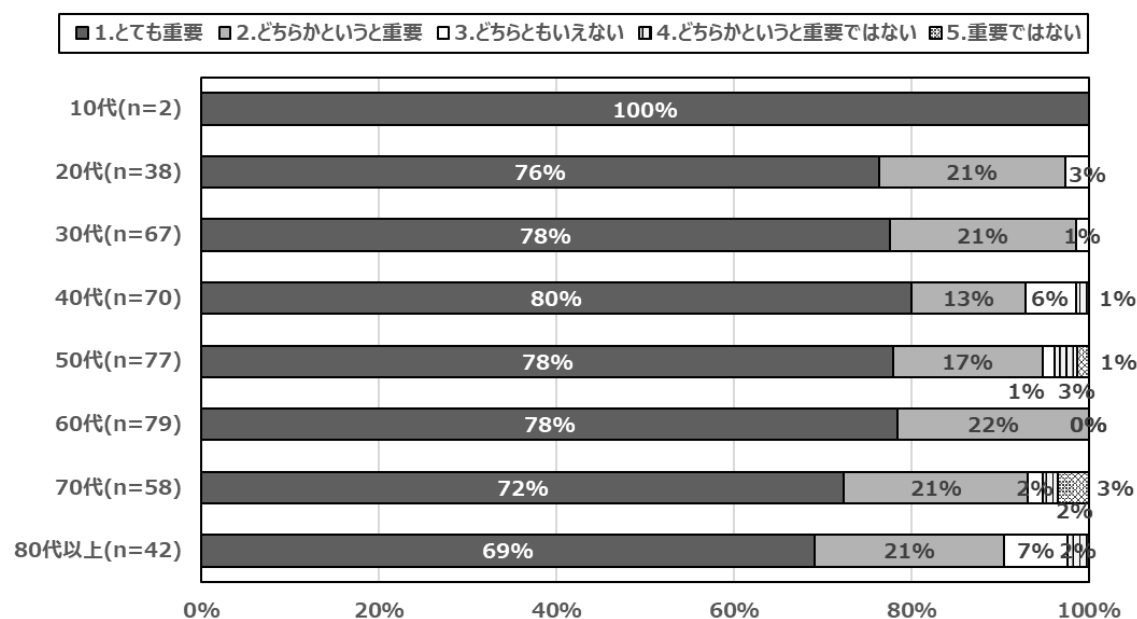
図 2-57 自然共生社会(年代別分析)

表 2-57 自然共生社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	39%(15)	47%(18)	5%(2)	3%(1)	5%(2)	100%(38)
30代	40%(27)	49%(33)	7%(5)	0%(0)	3%(2)	100%(67)
40代	44%(31)	46%(32)	6%(4)	1%(1)	3%(2)	100%(70)
50代	51%(39)	39%(30)	8%(6)	0%(0)	3%(2)	100%(77)
60代	42%(33)	47%(37)	9%(7)	3%(2)	0%(0)	100%(79)
70代	50%(29)	36%(21)	10%(6)	2%(1)	2%(1)	100%(58)
80代以上	54%(22)	32%(13)	10%(4)	5%(2)	0%(0)	100%(41)

④快適・安全社会

重要としている(「1.とても重要」、「2.どちらかというと重要」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 3 件は除いている

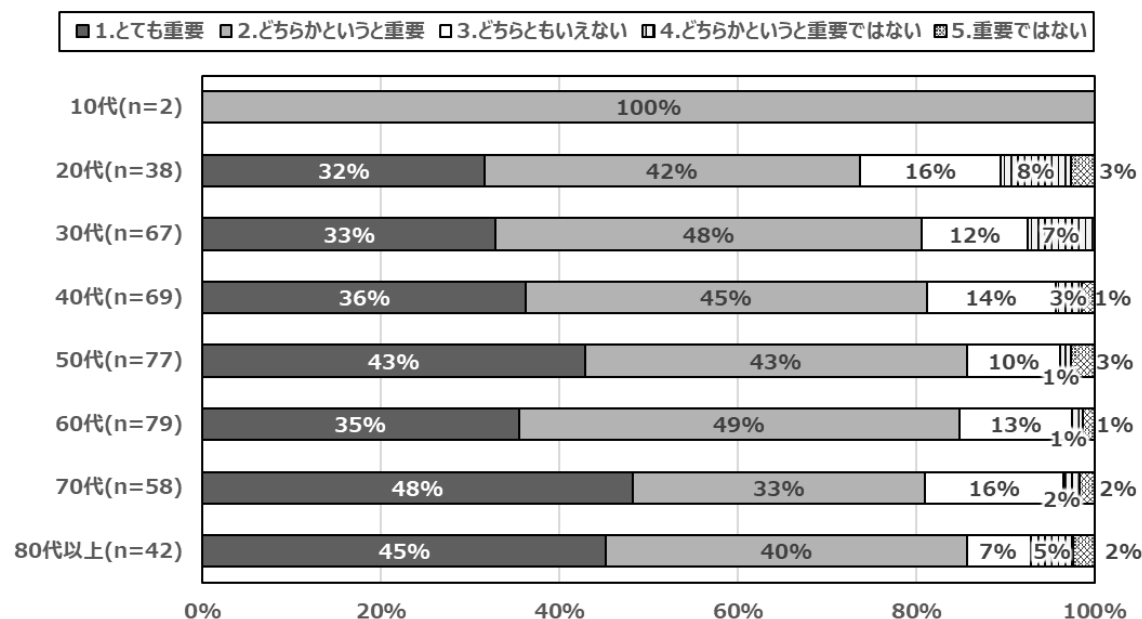
図 2-58 快適・安全社会(年代別分析)

表 2-58 快適・安全社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかというと重要	3.どちらともいえない	4.どちらかというと重要ではない	5.重要ではない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	76%(29)	21%(8)	3%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(38)
30代	78%(52)	21%(14)	1%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(67)
40代	80%(56)	13%(9)	6%(4)	1%(1)	0%(0)	100%(70)
50代	78%(60)	17%(13)	1%(1)	3%(2)	1%(1)	100%(77)
60代	78%(62)	22%(17)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(79)
70代	72%(42)	21%(12)	2%(1)	2%(1)	3%(2)	100%(58)
80代以上	69%(29)	21%(9)	7%(3)	2%(1)	0%(0)	100%(42)

⑤歴史や文化を身近に感じられる社会

重要としている(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」の合計)は、いずれの世帯構成においても高い。



※無回答 4 件は除いている

図 2-59 歴史や文化を身近に感じられる社会(年代別分析)

表 2-59 歴史や文化を身近に感じられる社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
10代	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	32%(12)	42%(16)	16%(6)	8%(3)	3%(1)	100%(38)
30代	33%(22)	48%(32)	12%(8)	7%(5)	0%(0)	100%(67)
40代	36%(25)	45%(31)	14%(10)	3%(2)	1%(1)	100%(69)
50代	43%(33)	43%(33)	10%(8)	1%(1)	3%(2)	100%(77)
60代	35%(28)	49%(39)	13%(10)	1%(1)	1%(1)	100%(79)
70代	48%(28)	33%(19)	16%(9)	2%(1)	2%(1)	100%(58)
80代以上	45%(19)	40%(17)	7%(3)	5%(2)	2%(1)	100%(42)

(3) 問 6

文京区内での満足度の現状について該当するものの枠を塗りつぶしてください。	
1.とても満足している	4.どちらかという満足していない
2.どちらかという満足している	5.全く満足していない
3.どちらともいえない	

1) 全体

「快適・安全社会」に満足している割合が 69%と最も高い。次いで「歴史や文化を身近に感じられる社会」が 65%と高い。

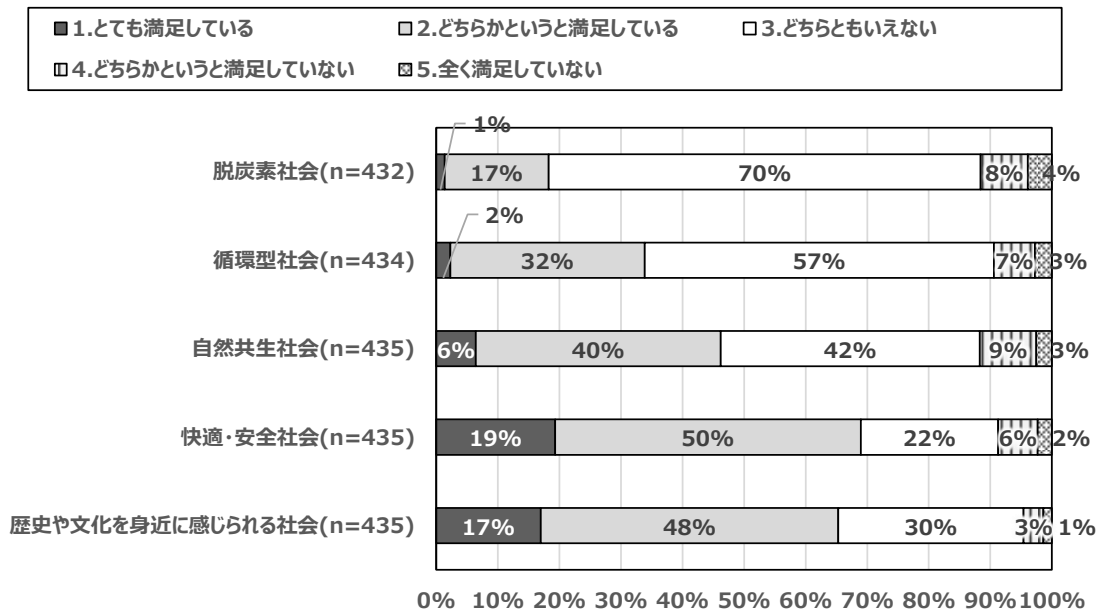


図 2-60 文京区内での満足度の現状

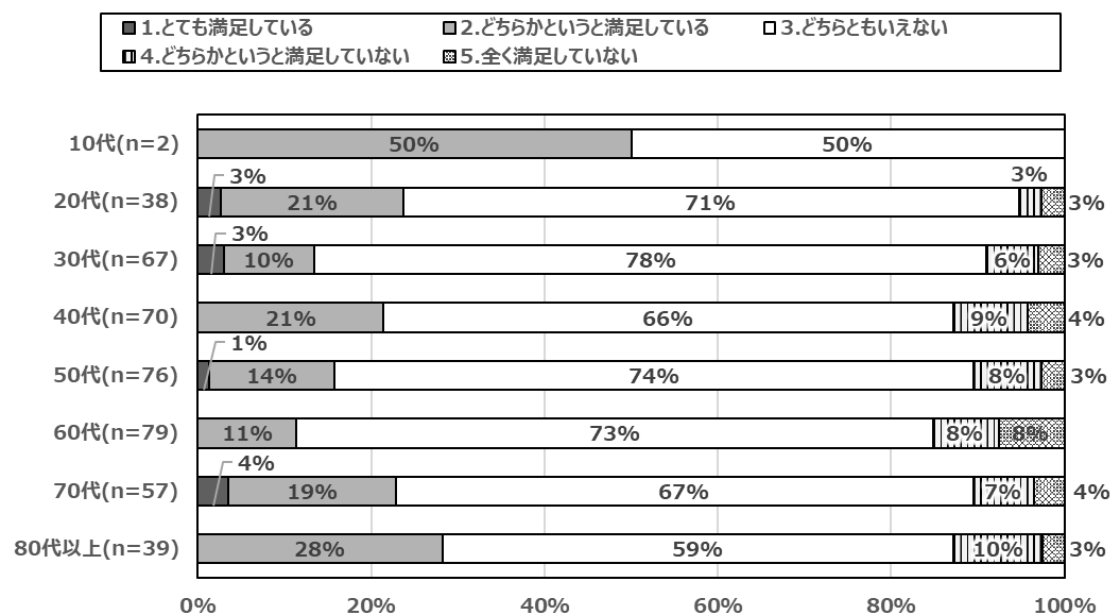
表 2-60 文京区内での満足度の現状

	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	計(無回答を除く)
①脱炭素社会	1%(6)	17%(73)	70%(303)	8%(33)	4%(17)	100%(432)
②循環型社会	2%(10)	32%(137)	57%(246)	7%(29)	3%(12)	100%(434)
③自然共生社会	6%(28)	40%(173)	42%(183)	9%(40)	3%(11)	100%(435)
④快適・安全社会	19%(84)	50%(216)	22%(97)	6%(28)	2%(10)	100%(435)
⑤歴史や文化を身近に感じられる社会	17%(74)	48%(210)	30%(131)	3%(14)	1%(6)	100%(435)

2) 年代別分析

①脱炭素社会

「3.どちらともいえない」は、いずれの年代においても割合が高い。



※無回答 4 件は除いている

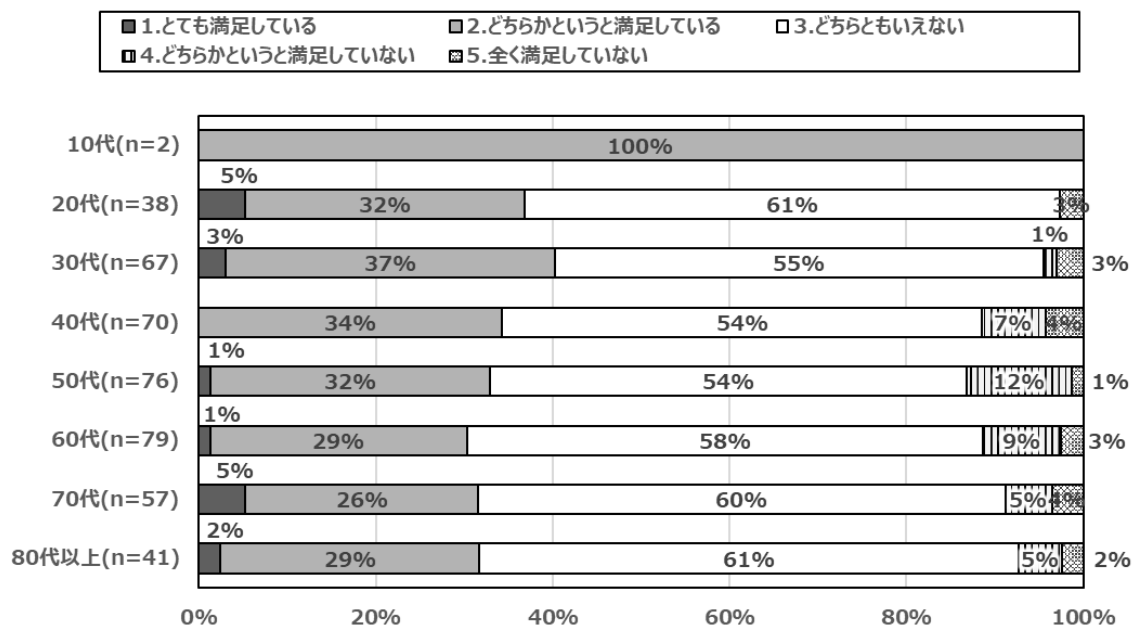
図 2-61 脱炭素社会(年代別分析)

表 2-61 脱炭素社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
10代	0%(0)	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	3%(1)	21%(8)	71%(27)	3%(1)	3%(1)	100%(38)
30代	3%(2)	10%(7)	78%(52)	6%(4)	3%(2)	100%(67)
40代	0%(0)	21%(15)	66%(46)	9%(6)	4%(3)	100%(70)
50代	1%(1)	14%(11)	74%(56)	8%(6)	3%(2)	100%(76)
60代	0%(0)	11%(9)	73%(58)	8%(6)	8%(6)	100%(79)
70代	4%(2)	19%(11)	67%(38)	7%(4)	4%(2)	100%(57)
80代以上	0%(0)	28%(11)	59%(23)	10%(4)	3%(1)	100%(39)

②循環型社会

「3.どちらともいえない」は、10代を除きいずれの年代においても割合が高い。



※無回答 4 件は除いている

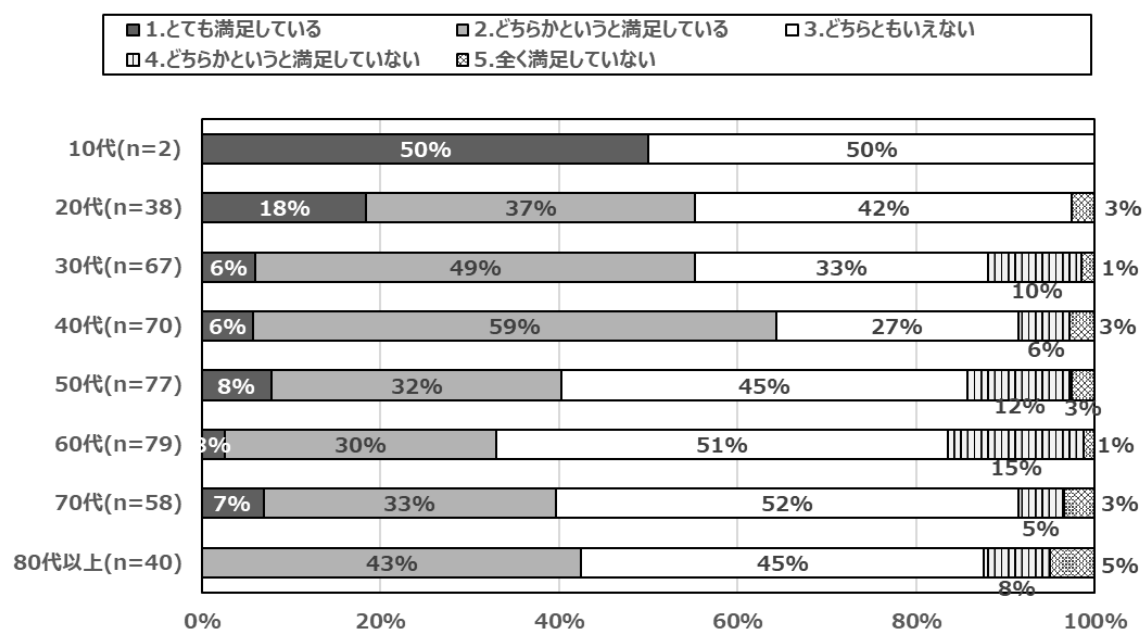
図 2-62 循環型社会(年代別分析)

表 2-62 循環型社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
10代	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	5%(2)	32%(12)	61%(23)	0%(0)	3%(1)	100%(38)
30代	3%(2)	37%(25)	55%(37)	1%(1)	3%(2)	100%(67)
40代	0%(0)	34%(24)	54%(38)	7%(5)	4%(3)	100%(70)
50代	1%(1)	32%(24)	54%(41)	12%(9)	1%(1)	100%(76)
60代	1%(1)	29%(23)	58%(46)	9%(7)	3%(2)	100%(79)
70代	5%(3)	26%(15)	60%(34)	5%(3)	4%(2)	100%(57)
80代以上	2%(1)	29%(12)	61%(25)	5%(2)	2%(1)	100%(41)

③自然共生社会

満足している(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、40代が65%と最も高い。



※無回答 4 件は除いている

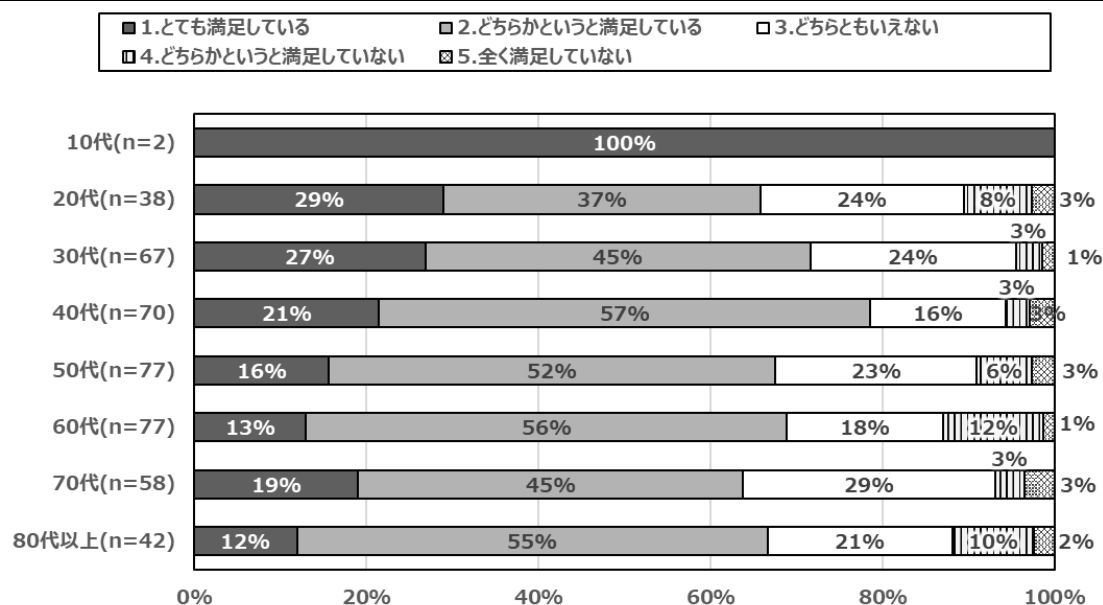
図 2-63 自然共生社会(年代別分析)

表 2-63 自然共生社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
10代	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	18%(7)	37%(14)	42%(16)	0%(0)	3%(1)	100%(38)
30代	6%(4)	49%(33)	33%(22)	10%(7)	1%(1)	100%(67)
40代	6%(4)	59%(41)	27%(19)	6%(4)	3%(2)	100%(70)
50代	8%(6)	32%(25)	45%(35)	12%(9)	3%(2)	100%(77)
60代	3%(2)	30%(24)	51%(40)	15%(12)	1%(1)	100%(79)
70代	7%(4)	33%(19)	52%(30)	5%(3)	3%(2)	100%(58)
80代以上	0%(0)	43%(17)	45%(18)	8%(3)	5%(2)	100%(40)

④快適・安全社会

満足している(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、10代を除き40代が78%と最も高い。



※無回答 4 件は除いている

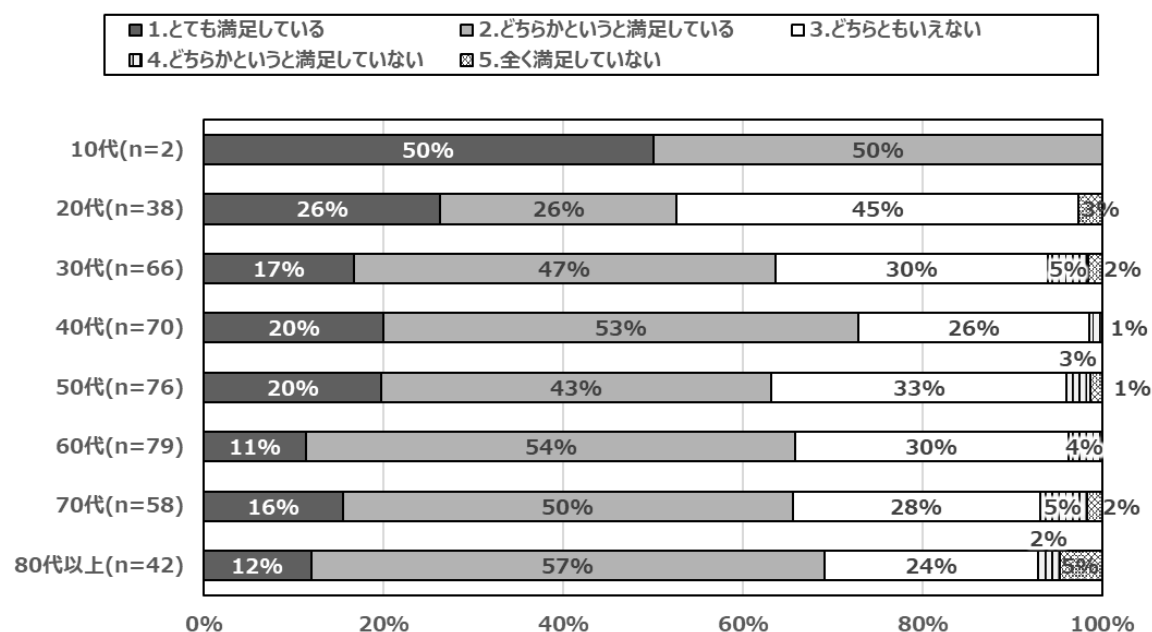
図 2-64 快適・安全社会(年代別分析)

表 2-64 快適・安全社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
10代	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	29%(11)	37%(14)	24%(9)	8%(3)	3%(1)	100%(38)
30代	27%(18)	45%(30)	24%(16)	3%(2)	1%(1)	100%(67)
40代	21%(15)	57%(40)	16%(11)	3%(2)	3%(2)	100%(70)
50代	16%(12)	52%(40)	23%(18)	6%(5)	3%(2)	100%(77)
60代	13%(10)	56%(43)	18%(14)	12%(9)	1%(1)	100%(77)
70代	19%(11)	45%(26)	29%(17)	3%(2)	3%(2)	100%(58)
80代以上	12%(5)	55%(23)	21%(9)	10%(4)	2%(1)	100%(42)

⑤歴史や文化を身近に感じられる社会

満足している(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、10代を除き40代で73%と最も高い。



※無回答 4 件は除いている

図 2-65 歴史や文化を身近に感じられる社会(年代別分析)

表 2-65 歴史や文化を身近に感じられる社会(年代別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
10代	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
20代	26%(10)	26%(10)	45%(17)	0%(0)	3%(1)	100%(38)
30代	17%(11)	47%(31)	30%(20)	5%(3)	2%(1)	100%(66)
40代	20%(14)	53%(37)	26%(18)	1%(1)	0%(0)	100%(70)
50代	20%(15)	43%(33)	33%(25)	3%(2)	1%(1)	100%(76)
60代	11%(9)	54%(43)	30%(24)	4%(3)	0%(0)	100%(79)
70代	16%(9)	50%(29)	28%(16)	5%(3)	2%(1)	100%(58)
80代以上	12%(5)	57%(24)	24%(10)	2%(1)	5%(2)	100%(42)

2.1.5 区に期待する環境施策

(1) 問 7

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか。該当する選択肢の枠を塗りつぶしてください。

脱炭素社会	1.区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発 2.省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進 3.再生可能エネルギーの普及促進
循環型社会	4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース) 5.ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)
自然共生社会	6.植物や動物などの多様な生き物の保全 7.みどり・水辺の保全
快適・安全社会	8.公害の改善 9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応
歴史や文化を身近に感じられる社会	10.歴史・文化の保全・継承 11.景観の保全・形成
各分野共通	12.区民への体験・知識習得の機会提供 13.環境学習・環境教育の推進 14.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり

1) 全体

「自然共生社会」分野の「7.みどり・水辺の保全」が 60%と最も割合が高い。次いで「循環型社会」分野の「4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)」が 52%と高い。

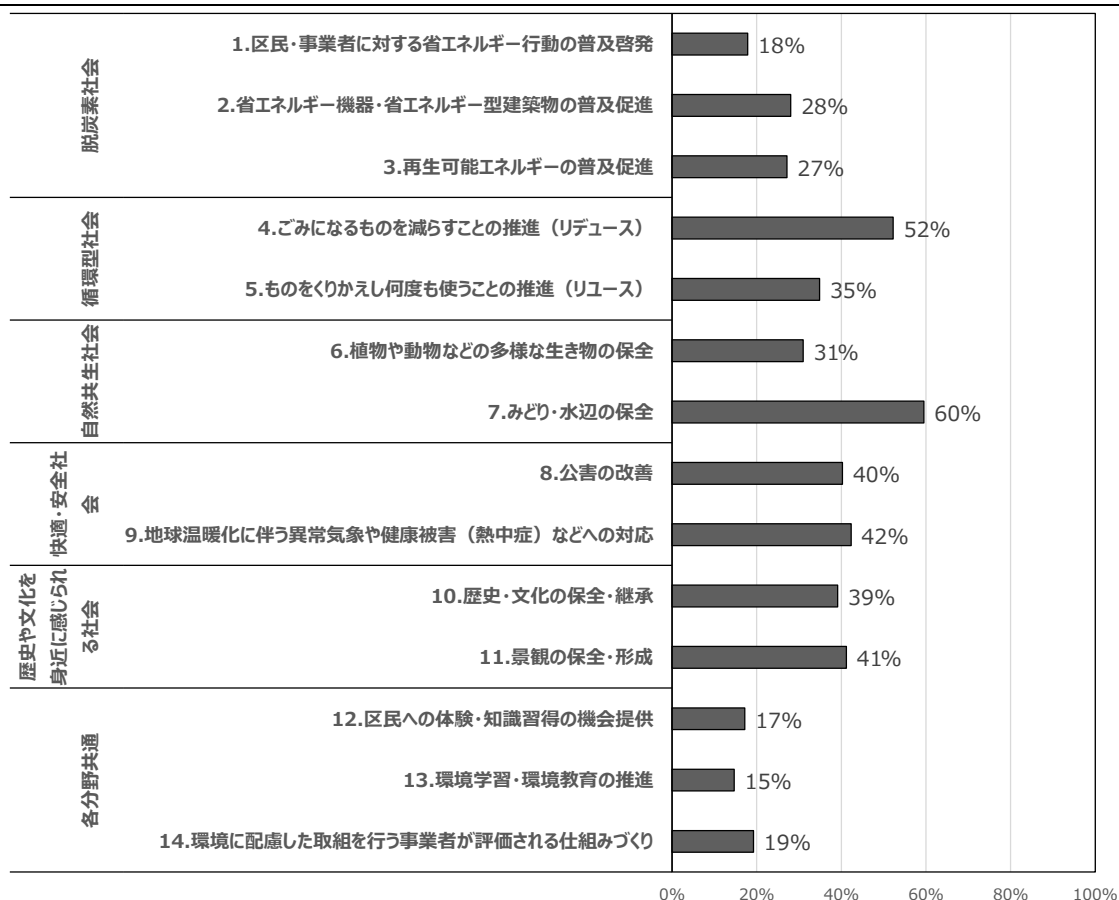


図 2-66 区に期待する環境施策

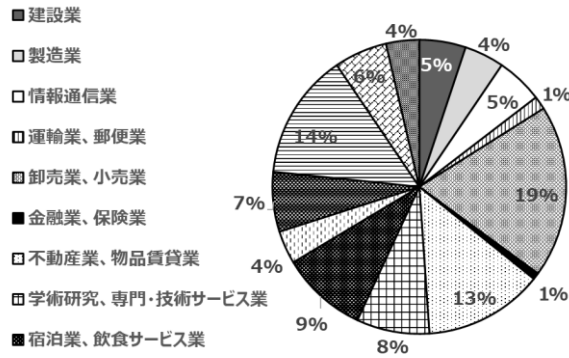
表 2-66 区に期待する環境施策

		R7 結果 (%(回答数))
脱炭素社会	1.区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	18%(79)
	2.省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	28%(124)
	3.再生可能エネルギーの普及促進	27%(120)
循環型社会	4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	52%(231)
	5.ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	35%(154)
自然共生社会	6.植物や動物などの多様な生き物の保全	31%(137)
	7.みどり・水辺の保全	60%(263)
快適・安全社会	8.公害の改善	40%(178)
	9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応	42%(187)
歴史や文化を身近に感じられる社会	10.歴史・文化の保全・継承	39%(173)
	11.景観の保全・形成	41%(182)
各分野共通	12.区民への体験・知識習得の機会提供	17%(76)
	13.環境学習・環境教育の推進	15%(65)
	14.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	19%(85)

2.2 事業者

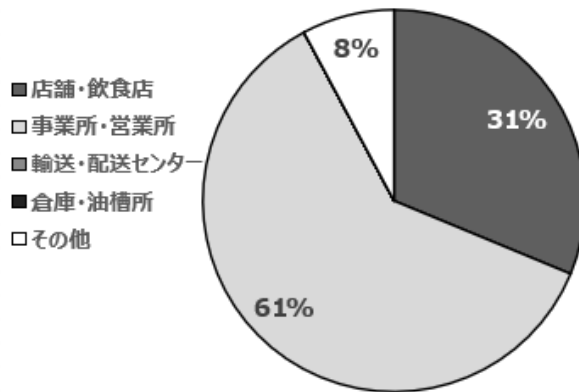
2.2.1 回答者の属性

(1) 問1 事業者の業種



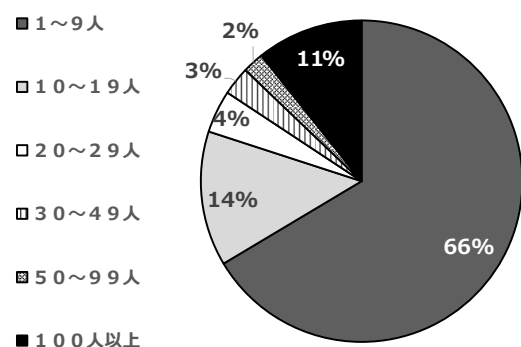
	回答	回答率(%)
建設業	7	5
製造業	6	4
情報通信業	7	5
運輸業、郵便業	2	1
卸売業、小売業	26	19
金融業、保険業	1	1
不動産業、物品賃貸業	18	13
学術研究、専門・技術サービス系	11	8
宿泊業、飲食サービス業	13	9
生活関連サービス業、娯楽業	5	4
教育、学習支援業	9	7
医療、福祉	19	14
サービス業(他に分類されないもの)	8	6
その他	5	4
計	137	—
無回答数	5	—

(2) 問1 事業所形態



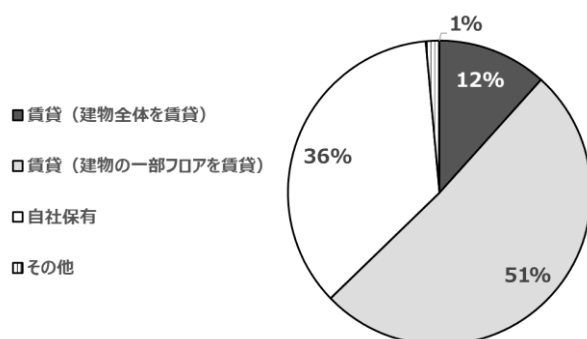
	回答	回答率(%)
店舗・飲食店	40	31
事業所・営業所	78	61
輸送・配送センター	0	0
倉庫・油槽所	0	0
その他	10	8
計	128	—
無回答数	14	—

(3) 問 1 従業員数(常勤及び長期アルバイト、パートタイマーを含む)



	回答	回答率(%)
1～9人	93	66
10～19人	19	14
20～29人	6	4
30～49人	4	3
50～99人	3	2
100人以上	15	11
計	140	—
無回答数	2	—

(4) 問 1 建物所有形態



	回答	回答率(%)
賃貸(建物全体を賃貸)	16	12
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	70	51
自社保有	49	36
その他	2	1
計	137	—
無回答数	5	—

2.2.2 環境問題への関心

(1) 問 2

貴事業所は環境問題に関心がありますか。			
1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない

1) 全体

「1.とても関心がある」は、平成 27 年度と令和 7 年度を比較すると、平成 27 年度の割合が 56%高い。

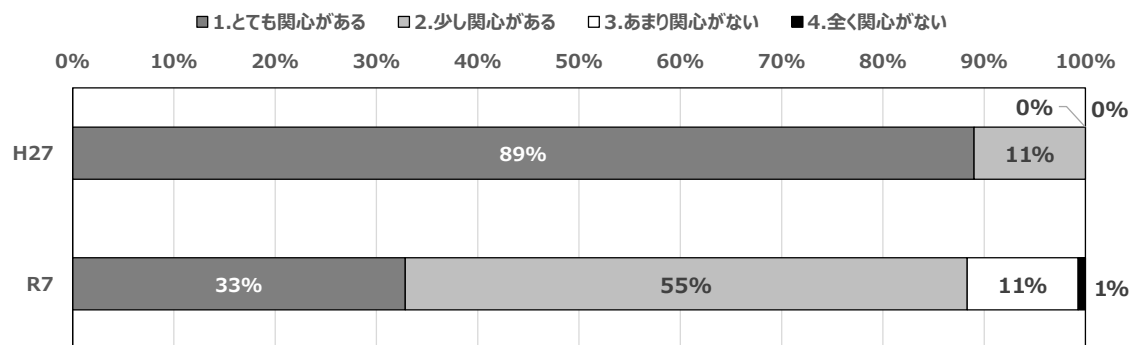


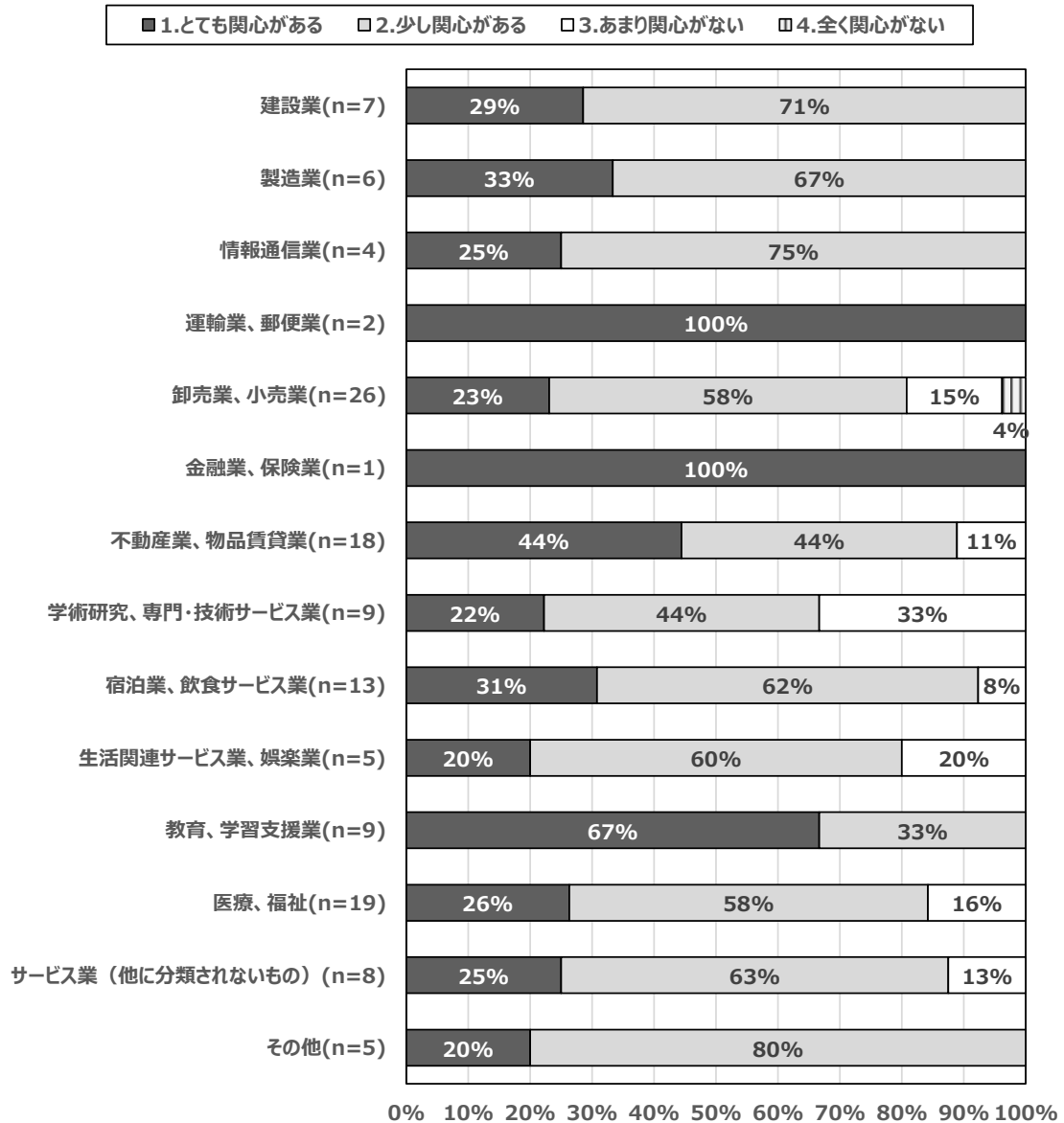
図 2-67 環境問題への関心

表 2-67 環境問題への関心

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)
1.とても関心がある	45	33%	89%
2.少し関心がある	76	55%	11%
3.あまり関心がない	15	11%	0%
4.全く関心がない	1	1%	0%
計(無回答数を除く)	137	—	—
無回答数	5	—	—

2) 業種別分析

関心がある(「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計)は、学術研究、専門・技術サービス業以外の業種で 80%以上である。



※無回答 5 件は除いている

図 2-68 業種別 環境問題への関心

表 2-68 業種別 環境問題への関心

	R7 結果 回答率%(回答数)				
	1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない	計(無回答を除く)
建設業	29%(2)	71%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	33%(2)	67%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	25%(1)	75%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
運輸業、郵便業	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	23%(6)	58%(15)	15%(4)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	44%(8)	44%(8)	11%(2)	0%(0)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	22%(2)	44%(4)	33%(3)	0%(0)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	31%(4)	62%(8)	8%(1)	0%(0)	100%(13)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	60%(3)	20%(1)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	67%(6)	33%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	26%(5)	58%(11)	16%(3)	0%(0)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	25%(2)	63%(5)	13%(1)	0%(0)	100%(8)
その他	20%(1)	80%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(5)

3) 従業員数別分析

「1.とても関心がある」は、従業員数 100 人以上で 86%と最も高い。

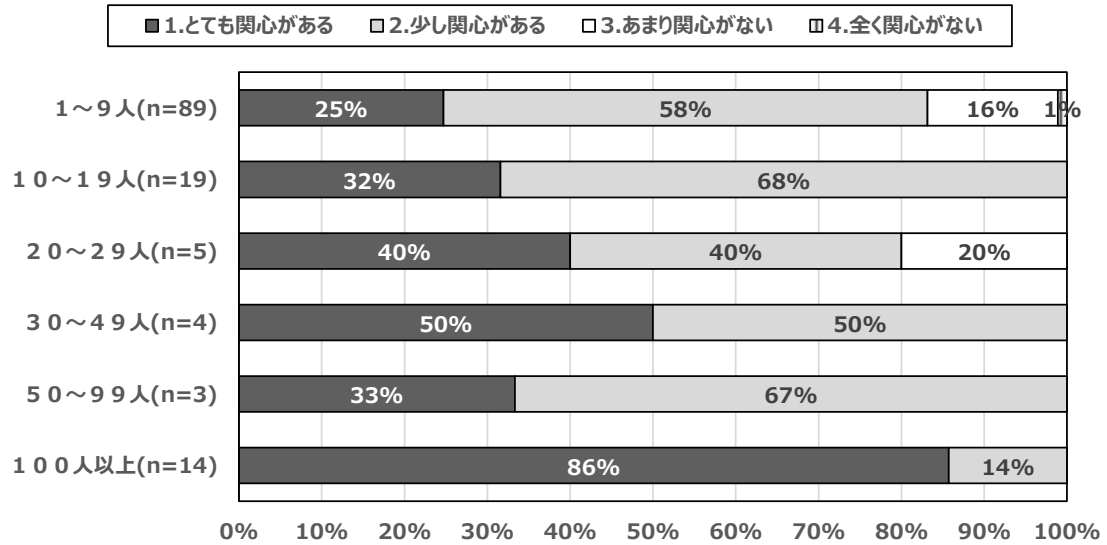


図 2-69 従業員数別 環境問題への関心

表 2-69 従業員数別 環境問題への関心

	R7 結果 回答率%(回答数)				
	1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない	計(無回答を除く)
1～9人	25%(22)	58%(52)	16%(14)	1%(1)	100%(89)
10～19人	32%(6)	68%(13)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	40%(2)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	100%(5)
30～49人	50%(2)	50%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	86%(12)	14%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(14)

2.2.3 環境問題に配慮した取組の状況

(1) 問 3

貴事業所は環境のために、事業活動の中で次のようなことを行っていますか。該当する選択肢の枠を塗りつぶしてください。 質問に該当するものを持っていない場合などは、「5.あてはまらない」の枠を塗りつぶしてください。	
行っている	1.いつも行っている 2.時々行っている
行っていない	3.これから行いたい 4.今後も行うつもりはない
あてはまらない	5.あてはまらない

1) 全体

a) 省エネルギーに配慮した行動

どちらの項目も「1.いつも行っている」の割合が最も高い。次いで「2.時々行っている」の割合が高い。

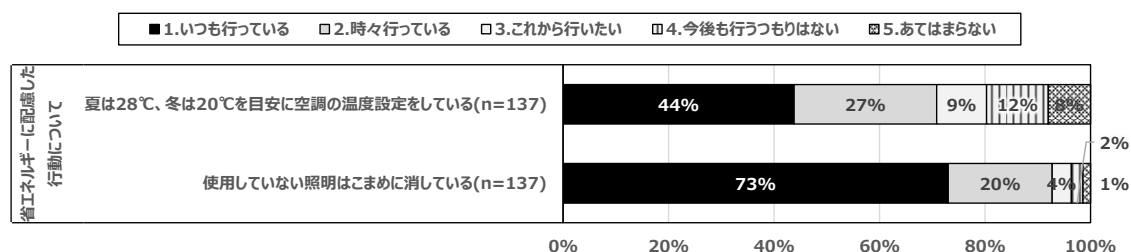


図 2-70 省エネルギーに配慮した行動 I

表 2-70 省エネルギーに配慮した行動 I

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①夏は28℃、冬は20℃を目安に空調の温度設定をしている	44%(60)	27%(37)	9%(13)	12%(16)	8%(11)	100%(137)
②使用していない照明はこまめに消している	73%(100)	20%(27)	4%(5)	2%(3)	1%(2)	100%(137)

対応している(「1.すべて対応している」、「2.一部対応している」の合計)割合は、「照明を LED 化している」が 80%と高い。

一方で、「事業用車を EV 化(PHEV も含む)している」は 15%と低い。

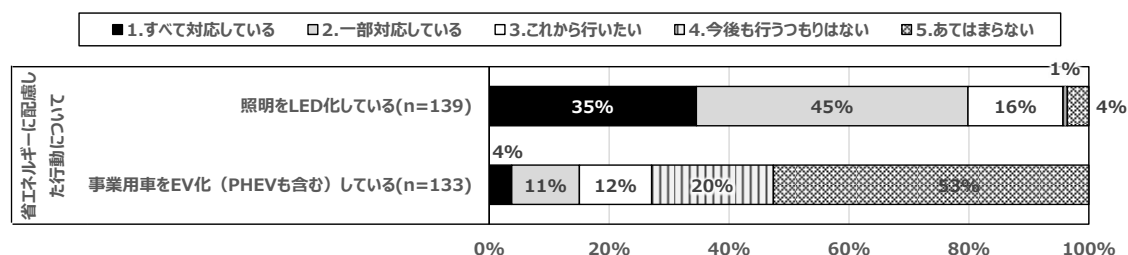


図 2-71 省エネルギーに配慮した行動Ⅱ

表 2-71 省エネルギーに配慮した行動Ⅱ

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①照明を LED 化している	35%(48)	45%(63)	16%(22)	1%(1)	4%(5)	100%(139)
②事業用車を EV 化(PHEV も含む)している	4%(5)	11%(15)	12%(16)	20%(27)	53%(70)	100%(133)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

「事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している」、「プラスチックを分別している」については、「1.いつも行っている」の割合が最も高い。

一方で、「フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している」において、行っている(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)の割合は低い。

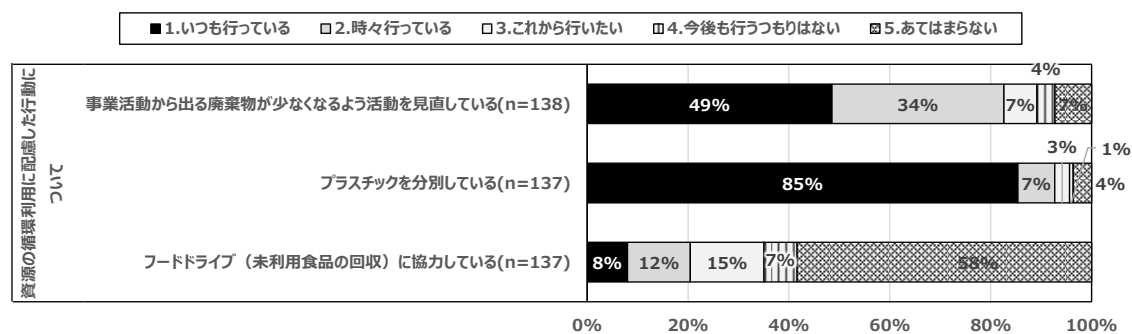


図 2-72 資源の循環利用に配慮した行動

表 2-72 資源の循環利用に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している	49% (67)	34% (47)	7% (9)	4% (5)	7% (10)	100%(138)
②プラスチックを分別している	85% (117)	7% (10)	3% (4)	1% (1)	4% (5)	100%(137)
③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している	8% (11)	12% (17)	15% (20)	7% (9)	58% (80)	100%(137)

c) 自然環境に配慮した行動

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている」において、60%以上である。

一方、「ビオトープなどの水辺を保全・創出している」、「生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している」において、10%程度と低い。

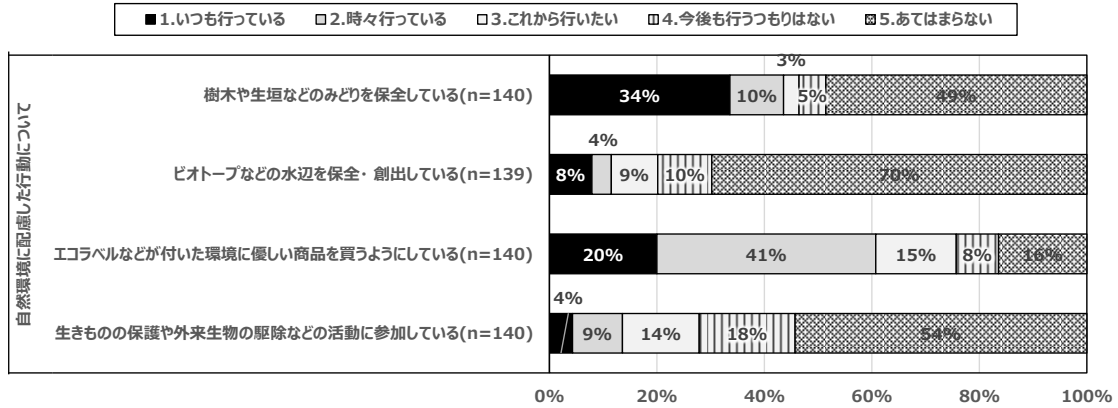


図 2-73 自然環境に配慮した行動

表 2-73 自然環境に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後行うつもりはない		
①樹木や生垣などのみどりを保全している	34%(47)	10%(14)	3%(4)	5%(7)	49%(68)	100%(140)
②ビオトープなどの水辺を保全・創出している	8%(11)	4%(5)	9%(12)	10%(14)	70%(97)	100%(139)
③エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている	20%(28)	41%(57)	15%(21)	8%(11)	16%(23)	100%(140)
④生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している	4%(6)	9%(13)	14%(20)	18%(25)	54%(76)	100%(140)

d) ぐらしの快適・安全に配慮した行動

「1.いつも行っている」は、「従業員の熱中症対策に取り組んでいる」が最も高い。一方で、「1.いつも行っている」のうち、「事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる」は33%と最も低い。

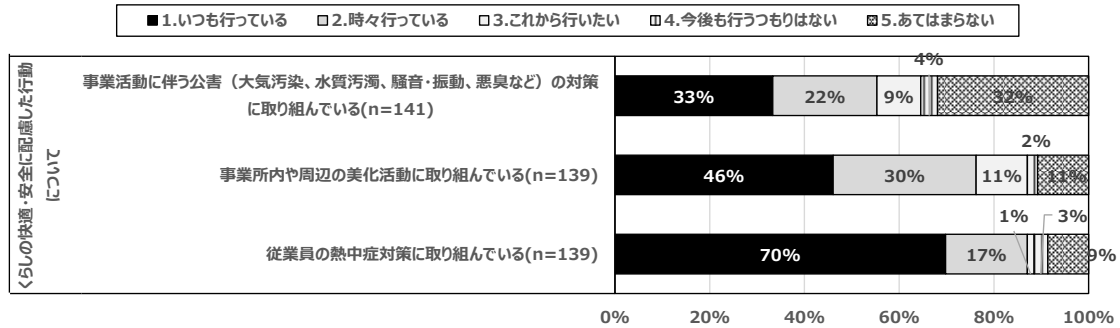


図 2-74 ぐらしの快適・安全に配慮した行動

表 2-74 ぐらしの快適・安全に配慮した行動

	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後行うつもりはない		
①事業活動に伴う公害（大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など）の対策に取り組んでいる	33%(47)	22%(31)	9%(13)	4%(5)	32%(45)	100%(141)
②事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる	46%(64)	30%(42)	11%(15)	2%(3)	11%(15)	100%(139)
③従業員の熱中症対策に取り組んでいる	70%(97)	17%(24)	1%(2)	3%(4)	9%(12)	100%(139)

e) 環境に配慮した取組を行うための制度の構築や従業員の教育

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している」が56%と最も高い。

一方で、「環境マネジメントシステムを構築・運用している」、「環境会計の実施や環境報告書の作成をしている」は10%以下と低い。

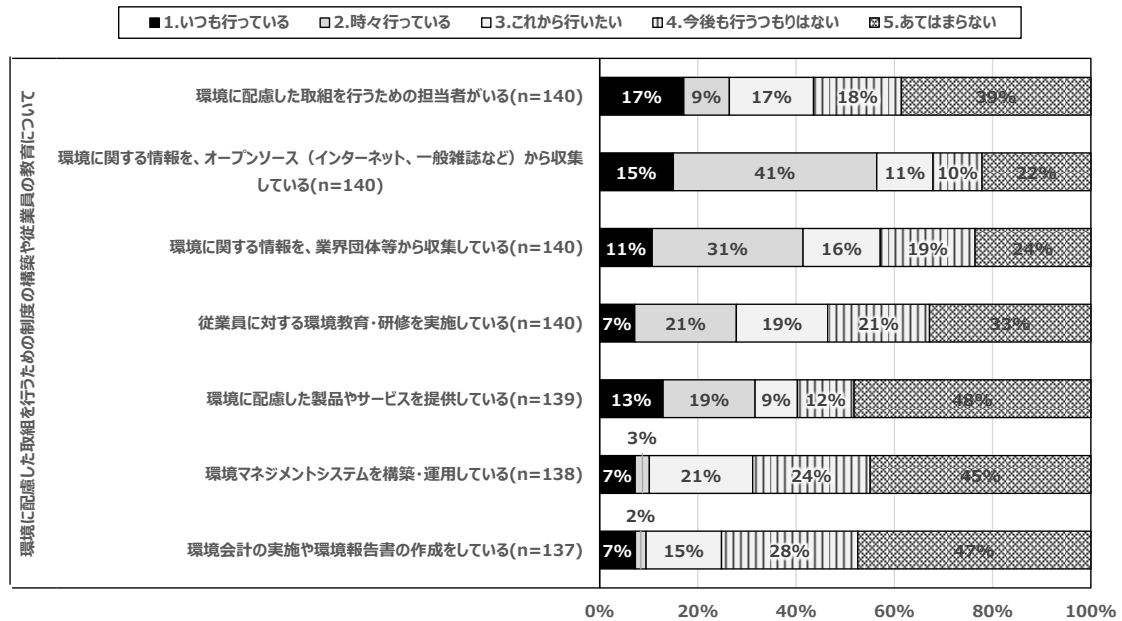


図 2-75 環境に配慮した取組を行うための制度の構築や従業員の教育

表 2-75 自然環境に配慮した行動

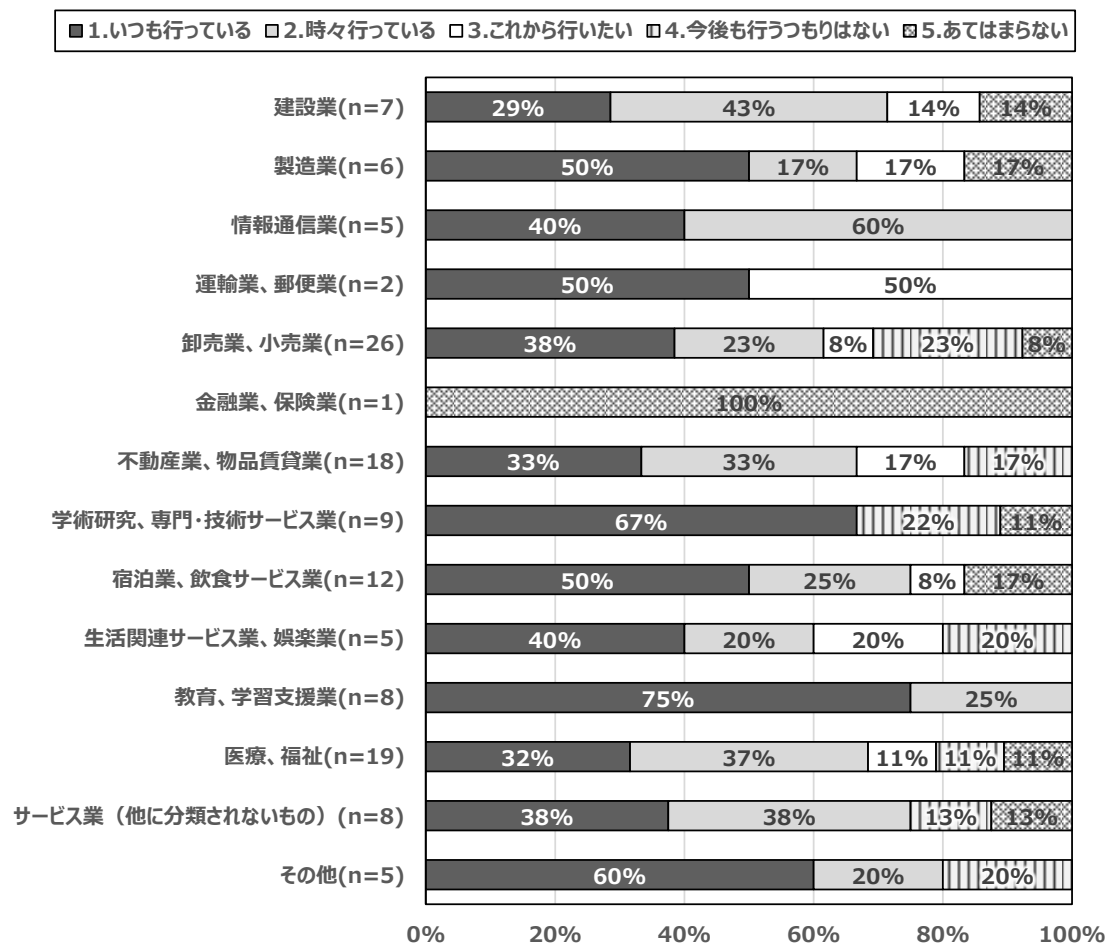
	行っている		行っていない		あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
①環境に配慮した取組を行うための担当者がいる	17%(24)	9%(13)	17%(24)	18%(25)	39%(54)	100%(140)
②環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している	15%(21)	41%(58)	11%(16)	10%(14)	22%(31)	100%(140)
③環境に関する情報を、業界団体等から収集している	11%(15)	31%(43)	16%(22)	19%(27)	24%(33)	100%(140)
④従業員に対する環境教育・研修を実施している	7%(10)	21%(29)	19%(26)	21%(29)	33%(46)	100%(140)
⑤環境に配慮した製品やサービスを提供している	13%(18)	19%(26)	9%(12)	12%(16)	48%(67)	100%(139)
⑥環境マネジメントシステムを構築・運用している	7%(10)	3%(4)	21%(29)	24%(33)	45%(62)	100%(138)
⑦環境会計の実施や環境報告書の作成をしている	7%(10)	2%(3)	15%(21)	28%(38)	47%(65)	100%(137)

2) 業種別分析

a) 省エネルギーに配慮した行動

①夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、金融業を除くいずれの業種において 50%以上である。



※無回答 6 件は除いている

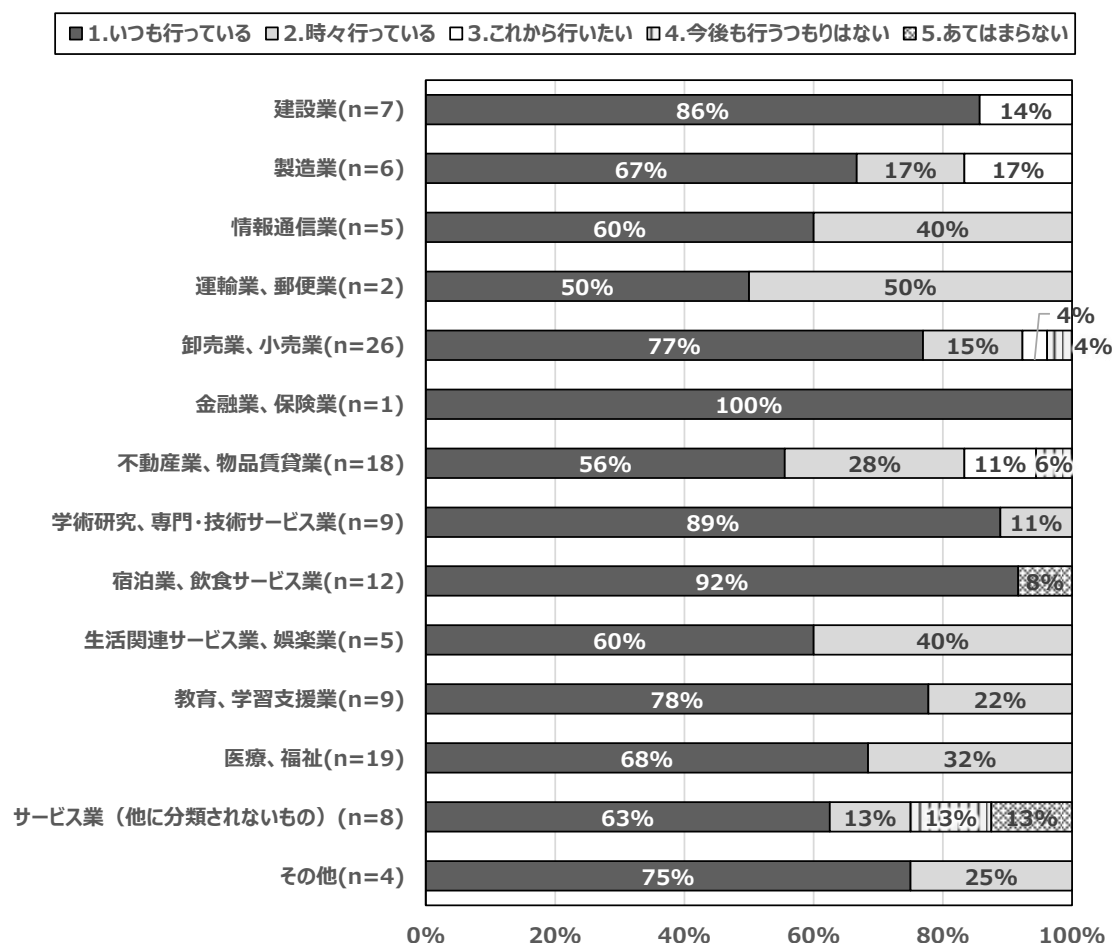
図 2-76 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている(業種別分析)

表 2-76 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	29%(2)	43%(3)	14%(1)	0%(0)	14%(1)	100%(7)
製造業	50%(3)	17%(1)	17%(1)	0%(0)	17%(1)	100%(6)
情報通信業	40%(2)	60%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
運輸業、郵便業	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	38%(10)	23%(6)	8%(2)	23%(6)	8%(2)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	33%(6)	33%(6)	17%(3)	17%(3)	0%(0)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	67%(6)	0%(0)	0%(0)	22%(2)	11%(1)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	50%(6)	25%(3)	8%(1)	0%(0)	17%(2)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	20%(1)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	75%(6)	25%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
医療、福祉	32%(6)	37%(7)	11%(2)	11%(2)	11%(2)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	38%(3)	38%(3)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	100%(8)
その他	60%(3)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	100%(5)

②使用していない照明はこまめに消している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「サービス業(他に分類されないもの)」以外の業種において 80%以上である。



※無回答 6 件は除いている

図 2-77 使用していない照明はこまめに消している(業種別分析)

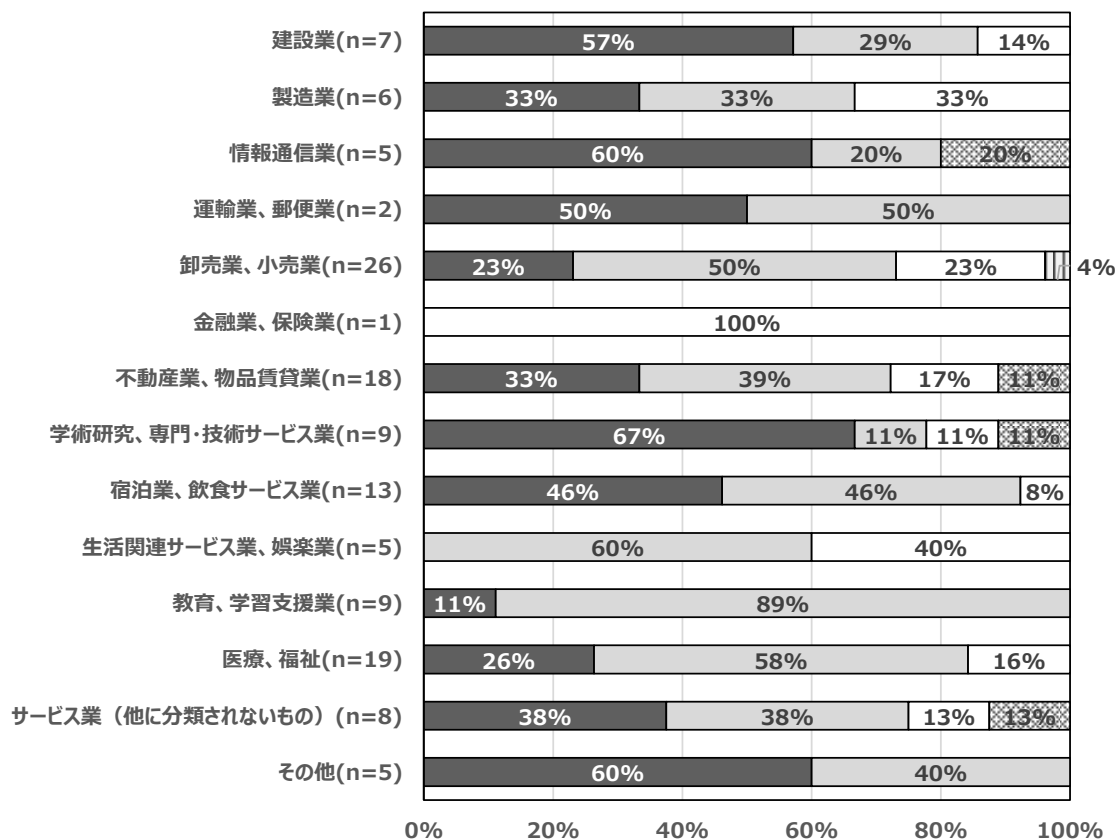
表 2-77 使用していない照明はこまめに消している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	86%(6)	0%(0)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	67%(4)	17%(1)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
運輸業、郵便業	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	77%(20)	15%(4)	4%(1)	4%(1)	0%(0)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	56%(10)	28%(5)	11%(2)	6%(1)	0%(0)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	89%(8)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	92%(11)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	8%(1)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	78%(7)	22%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	68%(13)	32%(6)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	63%(5)	13%(1)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	100%(8)
その他	75%(3)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(4)

③照明を LED 化している

業種別の傾向は見られない。

■ 1.すべて対応している □ 2.一部対応している □ 3.これから行いたい □ 4.今後も行うつもりはない □ 5.あてはまらない



※無回答 6 件は除いている

図 2-78 照明を LED 化している(業種別分析)

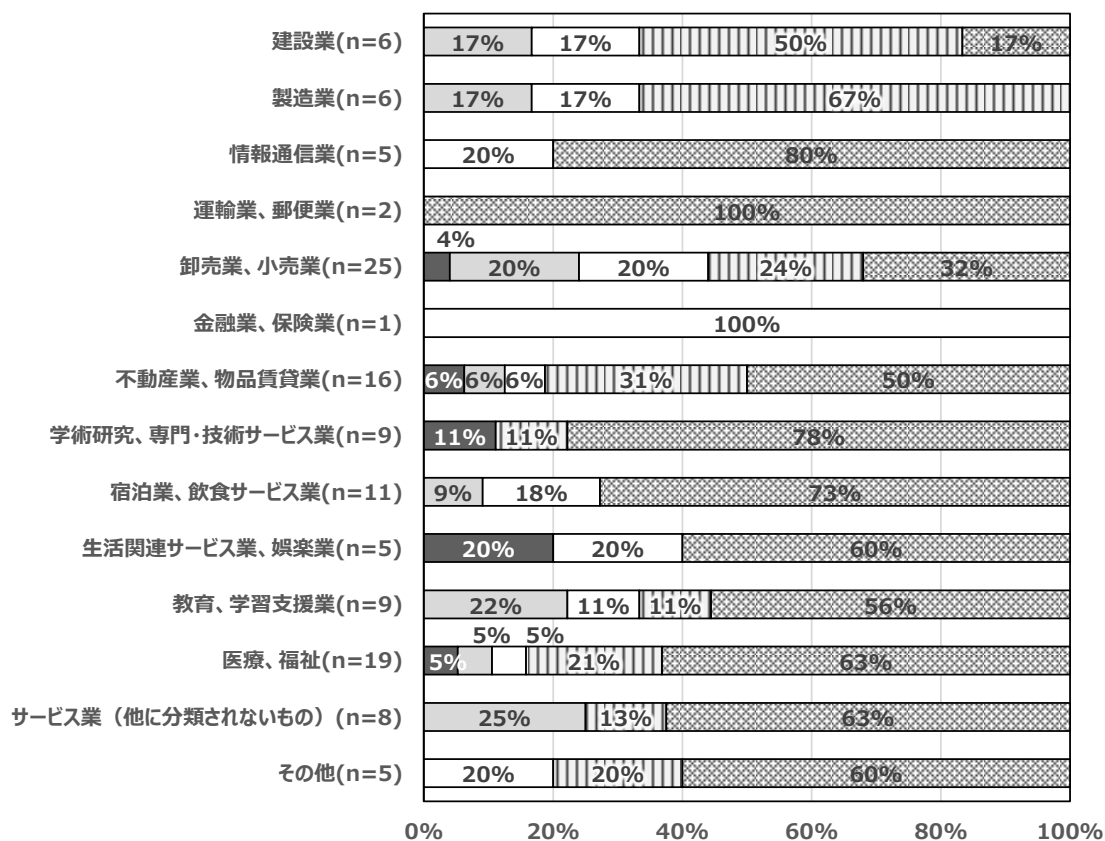
表 2-78 照明を LED 化している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	57%(4)	29%(2)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	33%(2)	33%(2)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	60%(3)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
運輸業、郵便業	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	23%(6)	50%(13)	23%(6)	4%(1)	0%(0)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	33%(6)	39%(7)	17%(3)	0%(0)	11%(2)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	67%(6)	11%(1)	11%(1)	0%(0)	11%(1)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	46%(6)	46%(6)	8%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(13)
生活関連サービス業、娯楽業	0%(0)	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	11%(1)	89%(8)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	26%(5)	58%(11)	16%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	38%(3)	38%(3)	13%(1)	0%(0)	13%(1)	100%(8)
その他	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)

④事業用車をEV化(PHEVも含む)している

金融業を除くいずれの業種においては「4.今後も行うつもりはない」、「5.あてはまらない」の合計割合は高い。

■ 1.すべて対応している □ 2.一部対応している ▨ 3.これから行いたい □ 4.今後も行うつもりはない ■ 5.あてはまらない



※無回答 6 件は除いている

図 2-79 事業用車をEV化(PHEVも含む)している(業種別分析)

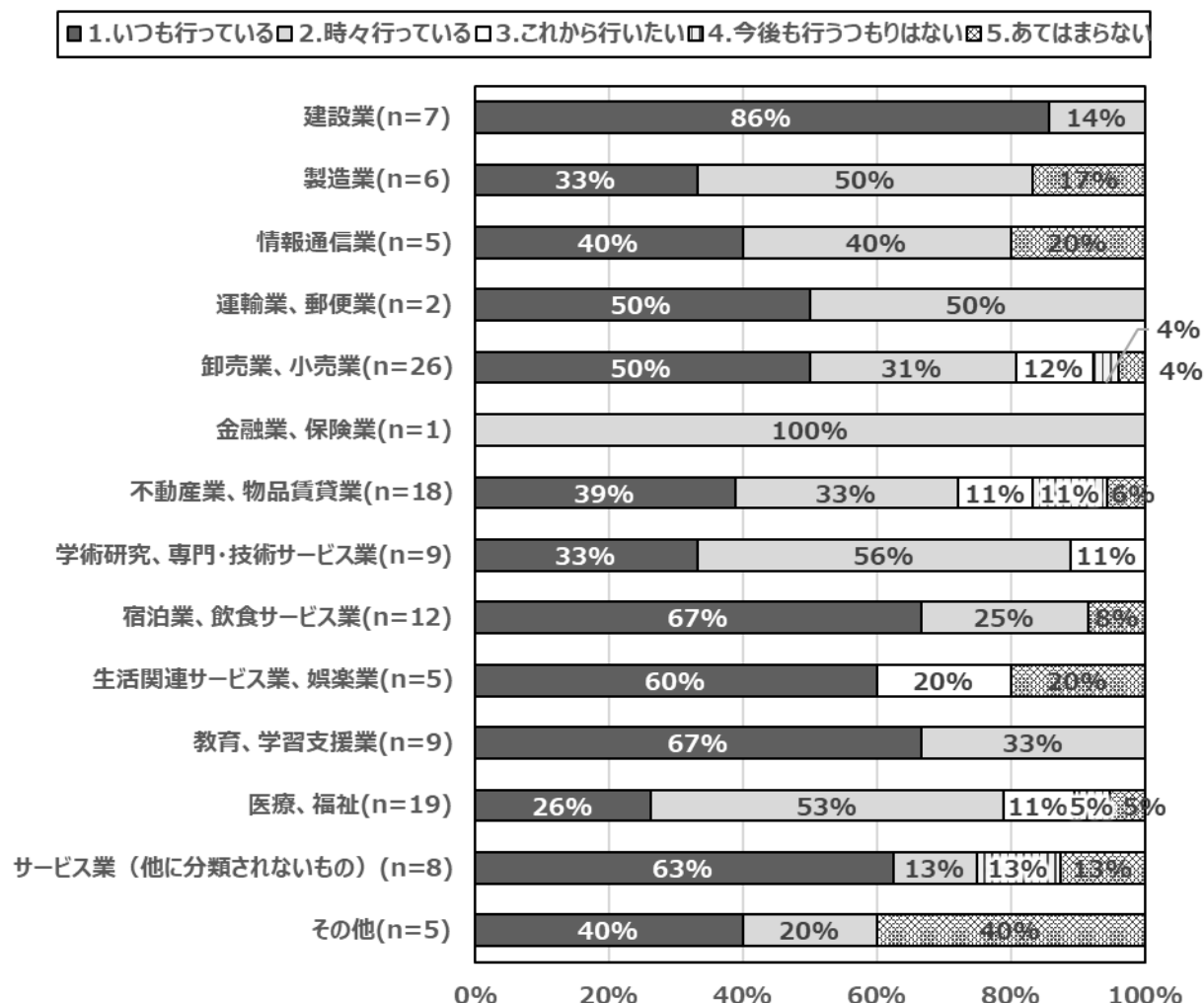
表 2-79 事業用車をEV化(PHEVも含む)している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	0%(0)	17%(1)	17%(1)	50%(3)	17%(1)	100%(6)
製造業	0%(0)	17%(1)	17%(1)	67%(4)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	0%(0)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	80%(4)	100%(5)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)	100%(2)
卸売業、小売業	4%(1)	20%(5)	20%(5)	24%(6)	32%(8)	100%(25)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	6%(1)	6%(1)	6%(1)	31%(5)	50%(8)	100%(16)
学術研究、専門・技術サービス業	11%(1)	0%(0)	0%(0)	11%(1)	78%(7)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	0%(0)	9%(1)	18%(2)	0%(0)	73%(8)	100%(11)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
教育、学習支援業	0%(0)	22%(2)	11%(1)	11%(1)	56%(5)	100%(9)
医療、福祉	5%(1)	5%(1)	5%(1)	21%(4)	63%(12)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	0%(0)	25%(2)	0%(0)	13%(1)	63%(5)	100%(8)
その他	0%(0)	0%(0)	20%(1)	20%(1)	60%(3)	100%(5)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

①事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの業種においても高い。



※無回答 6 件は除いている

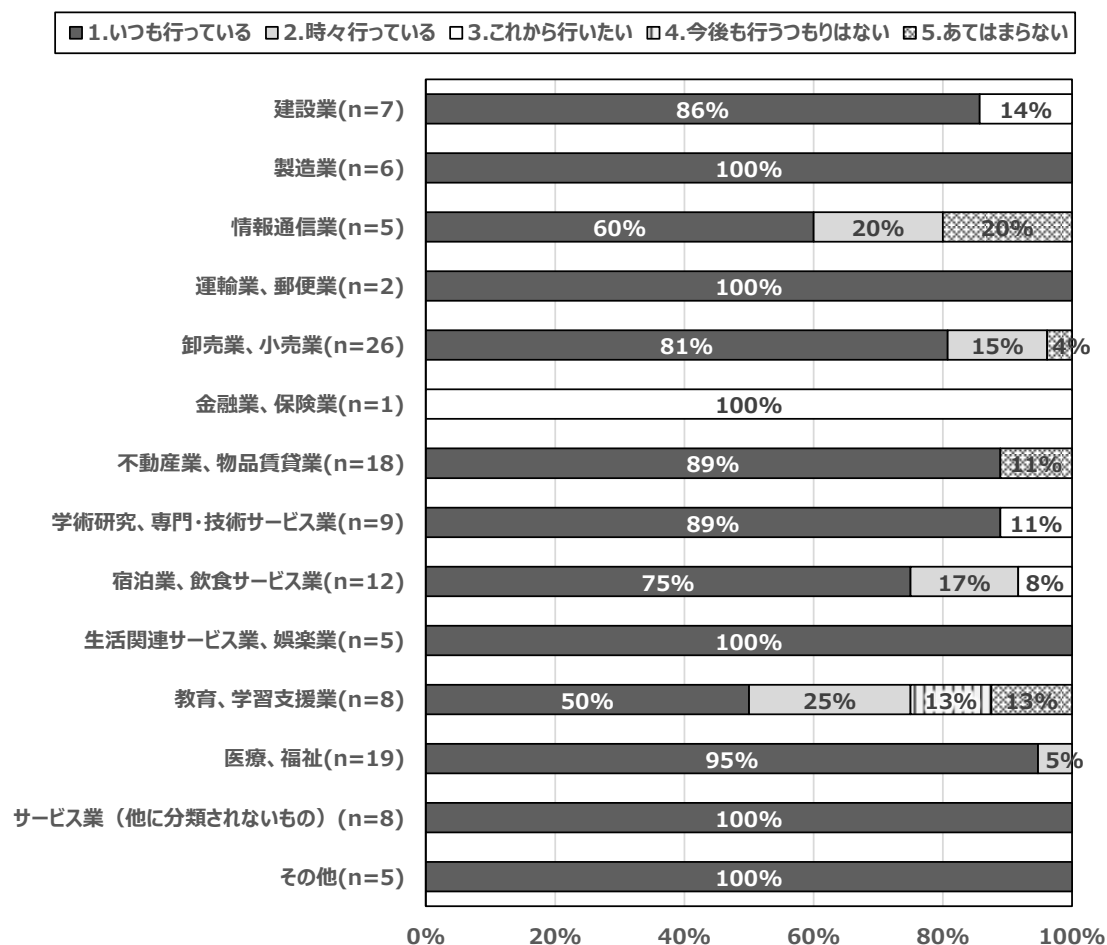
図 2-80 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している(業種別分析)

表 2-80 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	86%(6)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	33%(2)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	17%(1)	100%(6)
情報通信業	40%(2)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
運輸業、郵便業	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	50%(13)	31%(8)	12%(3)	4%(1)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	39%(7)	33%(6)	11%(2)	11%(2)	6%(1)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	33%(3)	56%(5)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	67%(8)	25%(3)	0%(0)	0%(0)	8%(1)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	60%(3)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	67%(6)	33%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	26%(5)	53%(10)	11%(2)	5%(1)	5%(1)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	63%(5)	13%(1)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	100%(8)
その他	40%(2)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	40%(2)	100%(5)

②プラスチックを分別している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、金融業を除くいずれの業種においても高い。



※無回答 6 件は除いている

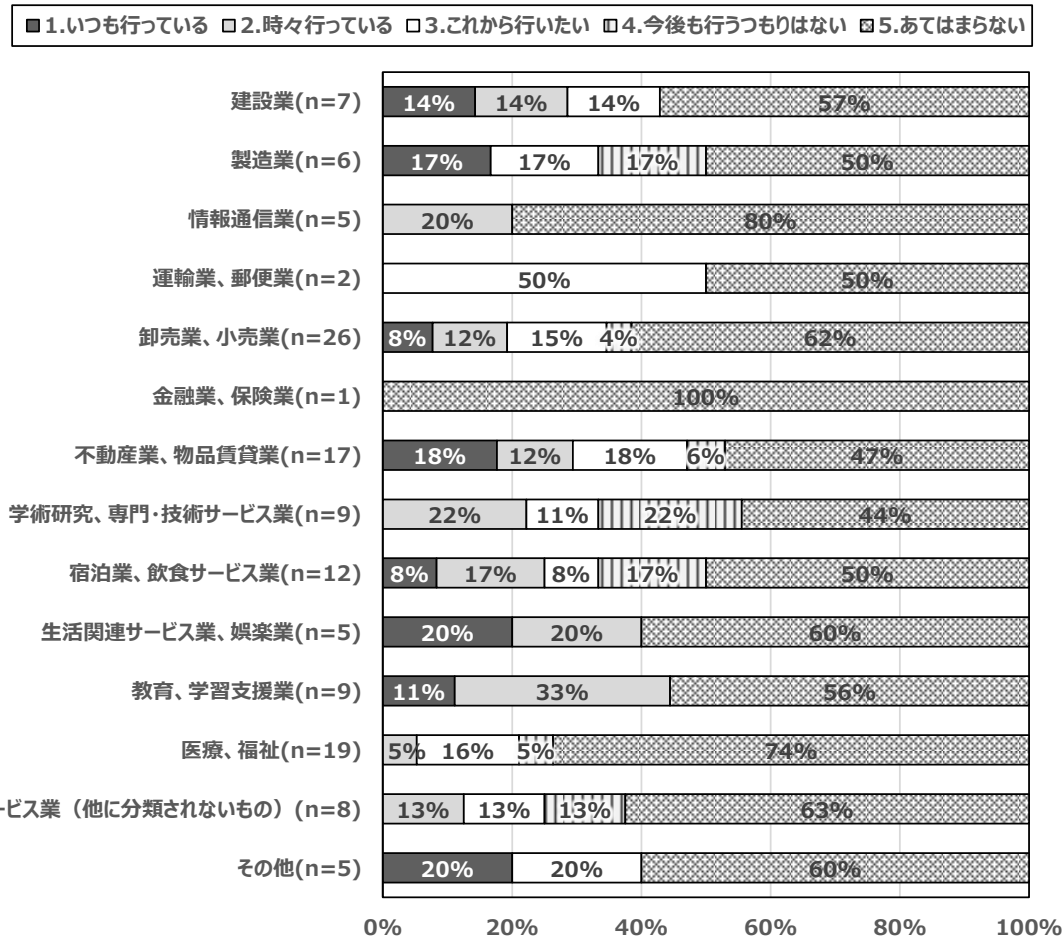
図 2-81 プラスチックを分別している(業種別分析)

表 2-81 プラスチックを分別している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	86%(6)	0%(0)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	100%(6)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	60%(3)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
運輸業、郵便業	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	81%(21)	15%(4)	0%(0)	0%(0)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	89%(16)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	11%(2)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	89%(8)	0%(0)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	75%(9)	17%(2)	8%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	100%(5)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	50%(4)	25%(2)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	100%(8)
医療、福祉	95%(18)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	100%(8)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	100%(5)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)

③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している

「5.あてはまらない」は、不動産業、学術研究を除くいずれの業種において、50%以上である。



※無回答 6 件は除いている

図 2-82 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(業種別分析)

表 2-82 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(業種別分析)

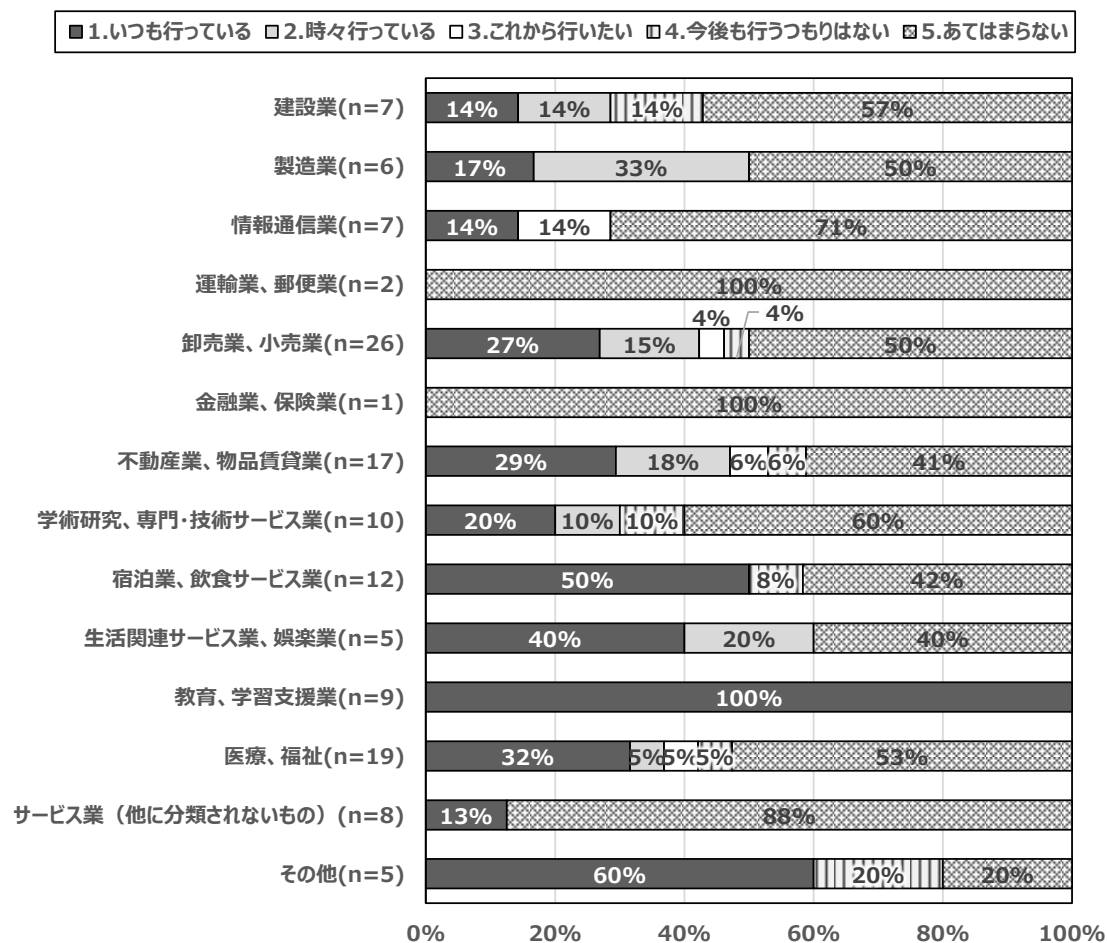
	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	14%(1)	14%(1)	14%(1)	0%(0)	57%(4)	100%(7)
製造業	17%(1)	0%(0)	17%(1)	17%(1)	50%(3)	100%(6)
情報通信業	0%(0)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	80%(4)	100%(5)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	8%(2)	12%(3)	15%(4)	4%(1)	62%(16)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	18%(3)	12%(2)	18%(3)	6%(1)	47%(8)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	0%(0)	22%(2)	11%(1)	22%(2)	44%(4)	100%(9)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	17%(2)	8%(1)	17%(2)	50%(6)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
教育、学習支援業	11%(1)	33%(3)	0%(0)	0%(0)	56%(5)	100%(9)
医療、福祉	0%(0)	5%(1)	16%(3)	5%(1)	74%(14)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	13%(1)	63%(5)	100%(8)
その他	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)

c) 自然環境に配慮した行動

①樹木や生垣などのみどりを保全している

「教育、学習支援業」は、「1.いつも行っている」の割合が 100%である。

一方で、「建設業」、「製造業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療、福祉」、「サービス業（他に分類されないもの）」は、「4.今後も行うつもりはない」、「5.あてはまらない」の合計が 50%以上の割合である。



※無回答 6 件は除いている

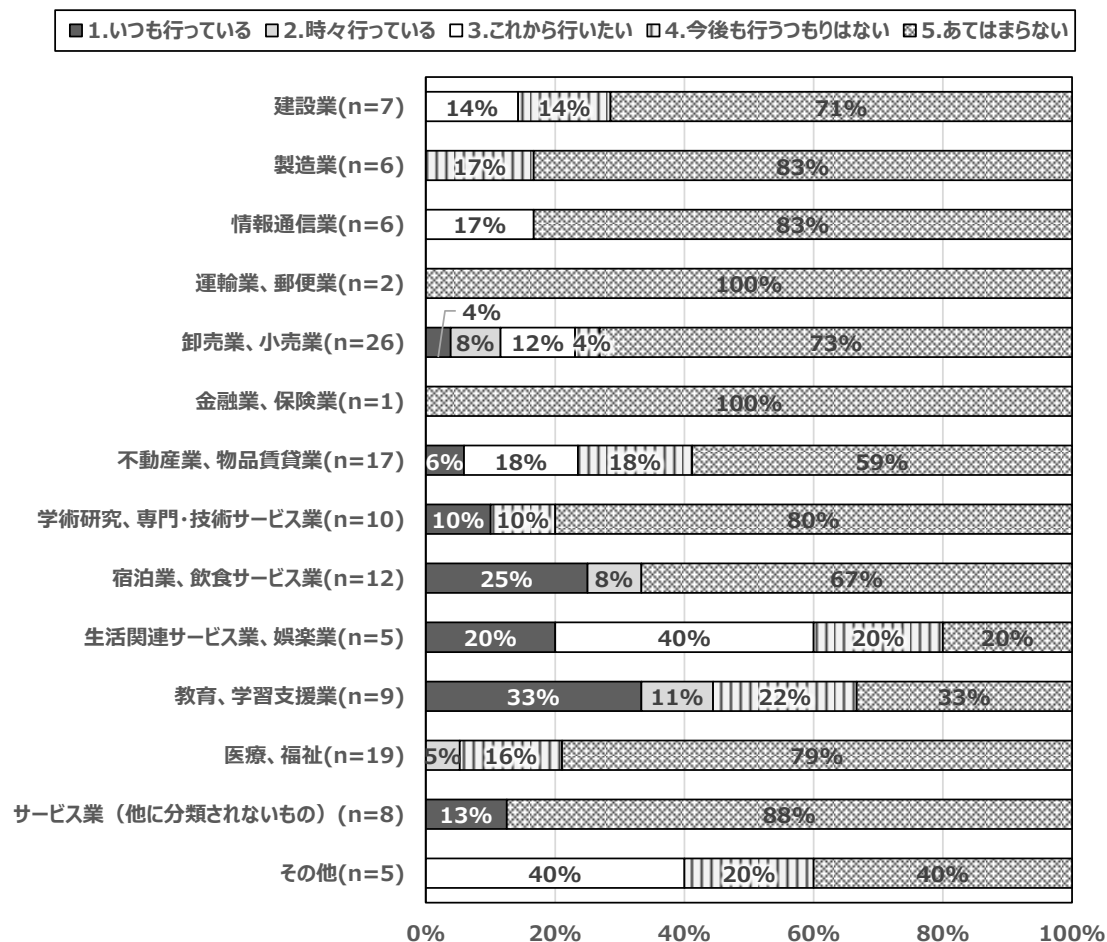
図 2-83 樹木や生垣などのみどりを保全している（業種別分析）

表 2-83 樹木や生垣などのみどりを保全している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	14%(1)	14%(1)	0%(0)	14%(1)	57%(4)	100%(7)
製造業	17%(1)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	50%(3)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	0%(0)	14%(1)	0%(0)	71%(5)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)	100%(2)
卸売業、小売業	27%(7)	15%(4)	4%(1)	4%(1)	50%(13)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	29%(5)	18%(3)	6%(1)	6%(1)	41%(7)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	20%(2)	10%(1)	0%(0)	10%(1)	60%(6)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	50%(6)	0%(0)	0%(0)	8%(1)	42%(5)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	40%(2)	100%(5)
教育、学習支援業	100%(9)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	32%(6)	5%(1)	5%(1)	5%(1)	53%(10)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	13%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	88%(7)	100%(8)
その他	60%(3)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	20%(1)	100%(5)

②ビオトープなどの水辺を保全・創出している

「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」は他の業種と比較すると、「4.今後も行うつもりはない」、「5.あてはまらない」の割合が低い。



※無回答 6 件は除いている

図 2-84 ビオトープなどの水辺を保全・創出している（業種別分析）

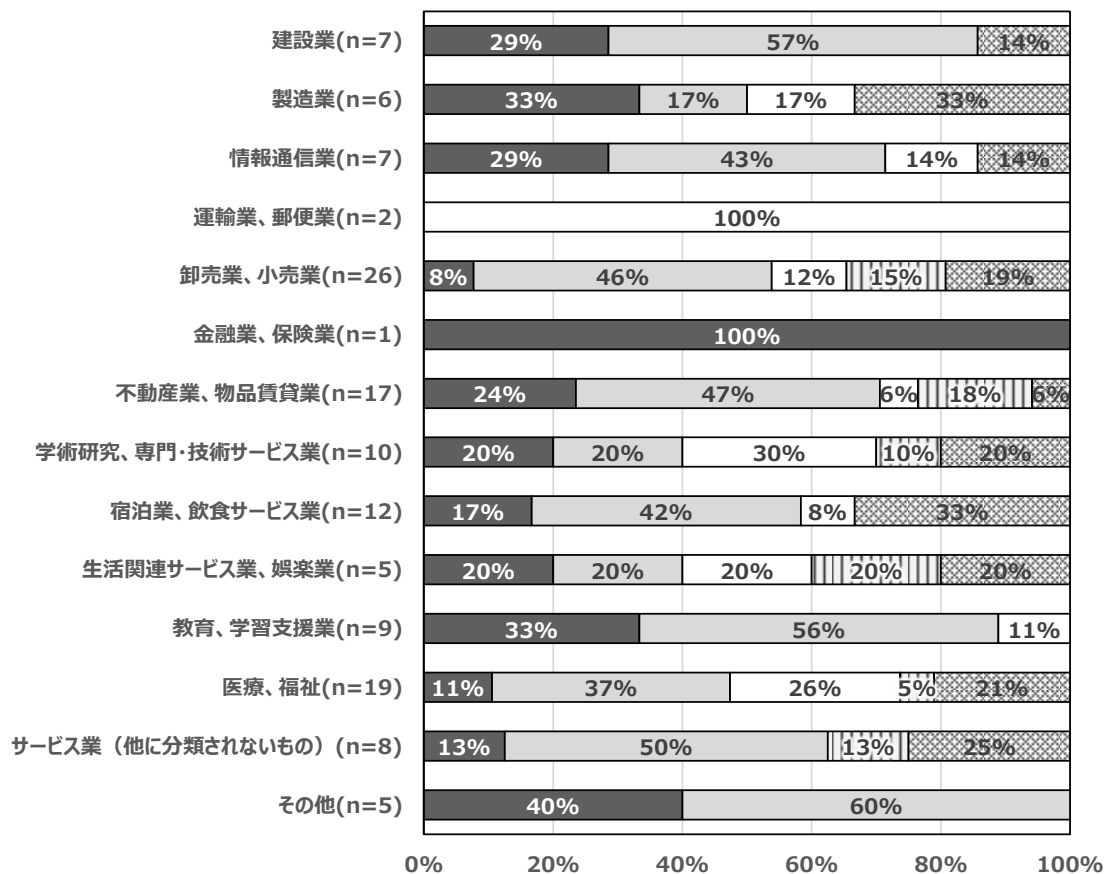
表 2-84 ビオトープなどの水辺を保全・創出している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	0%(0)	0%(0)	14%(1)	14%(1)	71%(5)	100%(7)
製造業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	17%(1)	83%(5)	100%(6)
情報通信業	0%(0)	0%(0)	17%(1)	0%(0)	83%(5)	100%(6)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)	100%(2)
卸売業、小売業	4%(1)	8%(2)	12%(3)	4%(1)	73%(19)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	6%(1)	0%(0)	18%(3)	18%(3)	59%(10)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	10%(1)	0%(0)	0%(0)	10%(1)	80%(8)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	25%(3)	8%(1)	0%(0)	0%(0)	67%(8)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	0%(0)	40%(2)	20%(1)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	33%(3)	11%(1)	0%(0)	22%(2)	33%(3)	100%(9)
医療、福祉	0%(0)	5%(1)	0%(0)	16%(3)	79%(15)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	13%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	88%(7)	100%(8)
その他	0%(0)	0%(0)	40%(2)	20%(1)	40%(2)	100%(5)

③エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている

業種別の傾向は見られない。

■ 1.いつも行っている □ 2.時々行っている □ 3.これから行いたい □ 4.今後も行うつもりはない ■ 5.あてはまらない



※無回答 6 件は除いている

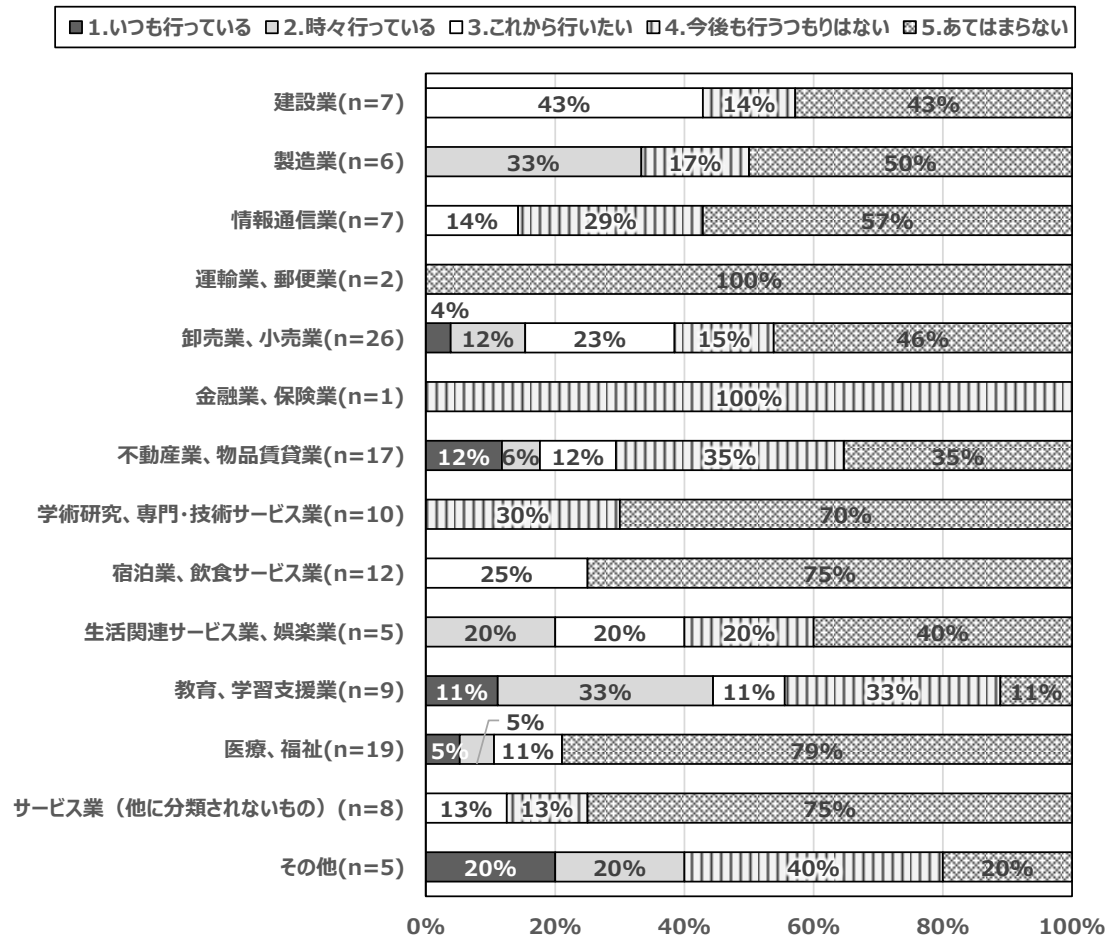
図 2-85 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(業種別分析)

表 2-85 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	29%(2)	57%(4)	0%(0)	0%(0)	14%(1)	100%(7)
製造業	33%(2)	17%(1)	17%(1)	0%(0)	33%(2)	100%(6)
情報通信業	29%(2)	43%(3)	14%(1)	0%(0)	14%(1)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	8%(2)	46%(12)	12%(3)	15%(4)	19%(5)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	24%(4)	47%(8)	6%(1)	18%(3)	6%(1)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	20%(2)	20%(2)	30%(3)	10%(1)	20%(2)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	17%(2)	42%(5)	8%(1)	0%(0)	33%(4)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	20%(1)	20%(1)	20%(1)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	33%(3)	56%(5)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	11%(2)	37%(7)	26%(5)	5%(1)	21%(4)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	13%(1)	50%(4)	0%(0)	13%(1)	25%(2)	100%(8)
その他	40%(2)	60%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)

④生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している

「4.今後も行うつもりはない」、「5.あてはまらない」は、「教育、学習支援業」において最も低い。



※無回答 6 件は除いている

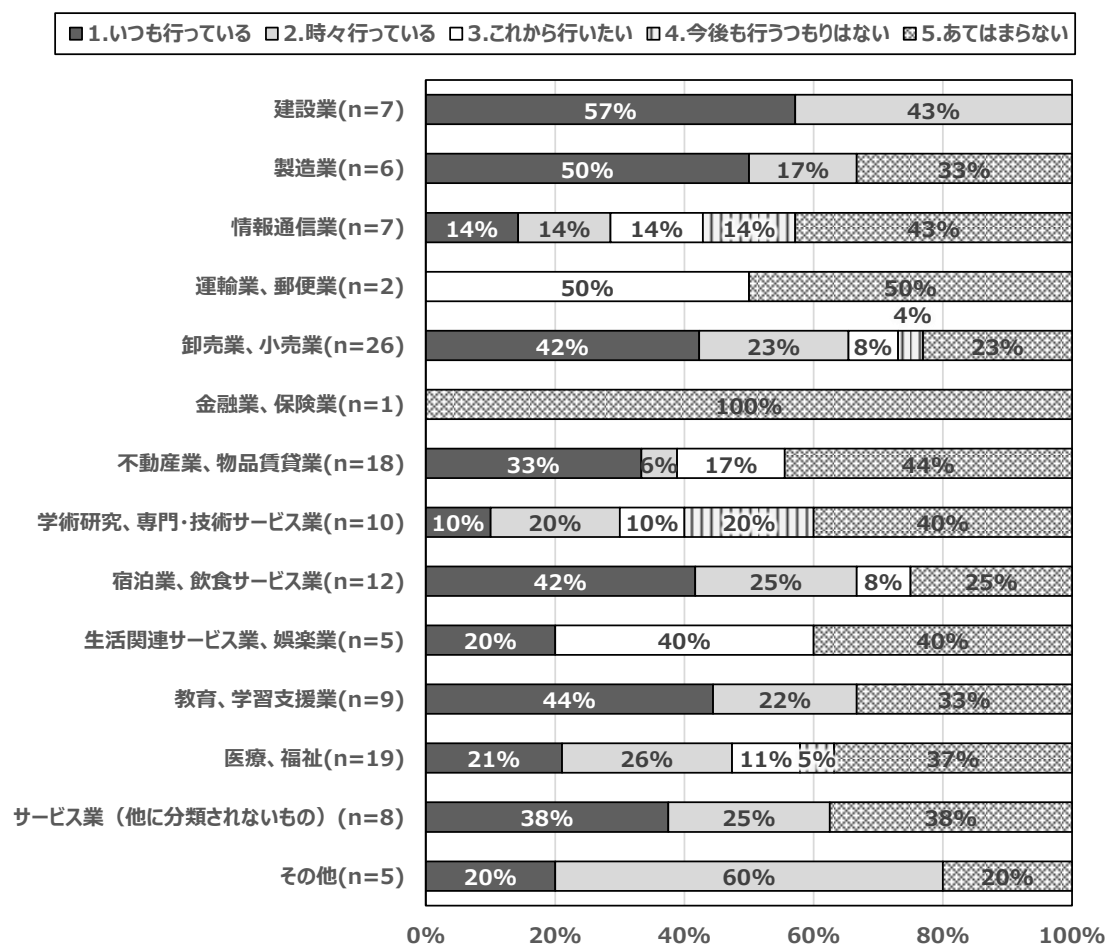
図 2-86 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(業種別分析)

表 2-86 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	0%(0)	0%(0)	43%(3)	14%(1)	43%(3)	100%(7)
製造業	0%(0)	33%(2)	0%(0)	17%(1)	50%(3)	100%(6)
情報通信業	0%(0)	0%(0)	14%(1)	29%(2)	57%(4)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)	100%(2)
卸売業、小売業	4%(1)	12%(3)	23%(6)	15%(4)	46%(12)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	12%(2)	6%(1)	12%(2)	35%(6)	35%(6)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	30%(3)	70%(7)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	0%(0)	0%(0)	25%(3)	0%(0)	75%(9)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	0%(0)	20%(1)	20%(1)	20%(1)	40%(2)	100%(5)
教育、学習支援業	11%(1)	33%(3)	11%(1)	33%(3)	11%(1)	100%(9)
医療、福祉	5%(1)	5%(1)	11%(2)	0%(0)	79%(15)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	0%(0)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	75%(6)	100%(8)
その他	20%(1)	20%(1)	0%(0)	40%(2)	20%(1)	100%(5)

d) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

①事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる
業種別の傾向は見られない。



※無回答 6 件は除いている

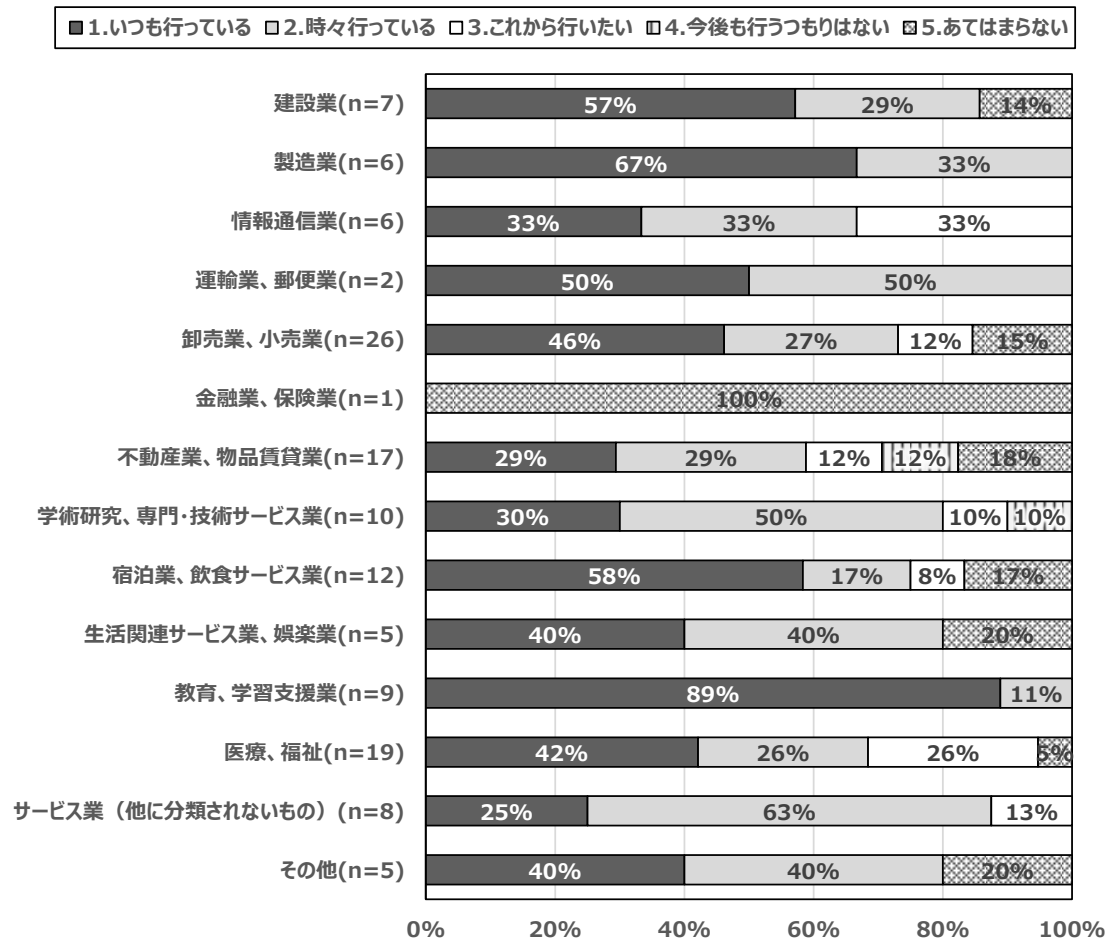
図 2-87 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる(業種別分析)

表 2-87 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	57%(4)	43%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	50%(3)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	33%(2)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	14%(1)	14%(1)	14%(1)	43%(3)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	42%(11)	23%(6)	8%(2)	4%(1)	23%(6)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	33%(6)	6%(1)	17%(3)	0%(0)	44%(8)	100%(18)
学術研究、専門・技術サービス業	10%(1)	20%(2)	10%(1)	20%(2)	40%(4)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	42%(5)	25%(3)	8%(1)	0%(0)	25%(3)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	0%(0)	40%(2)	0%(0)	40%(2)	100%(5)
教育、学習支援業	44%(4)	22%(2)	0%(0)	0%(0)	33%(3)	100%(9)
医療、福祉	21%(4)	26%(5)	11%(2)	5%(1)	37%(7)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	38%(3)	25%(2)	0%(0)	0%(0)	38%(3)	100%(8)
その他	20%(1)	60%(3)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

②事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる

「1. いつも行っている」は、「教育、学習支援業」が 89%と最も高い。



※無回答 6 件は除いている

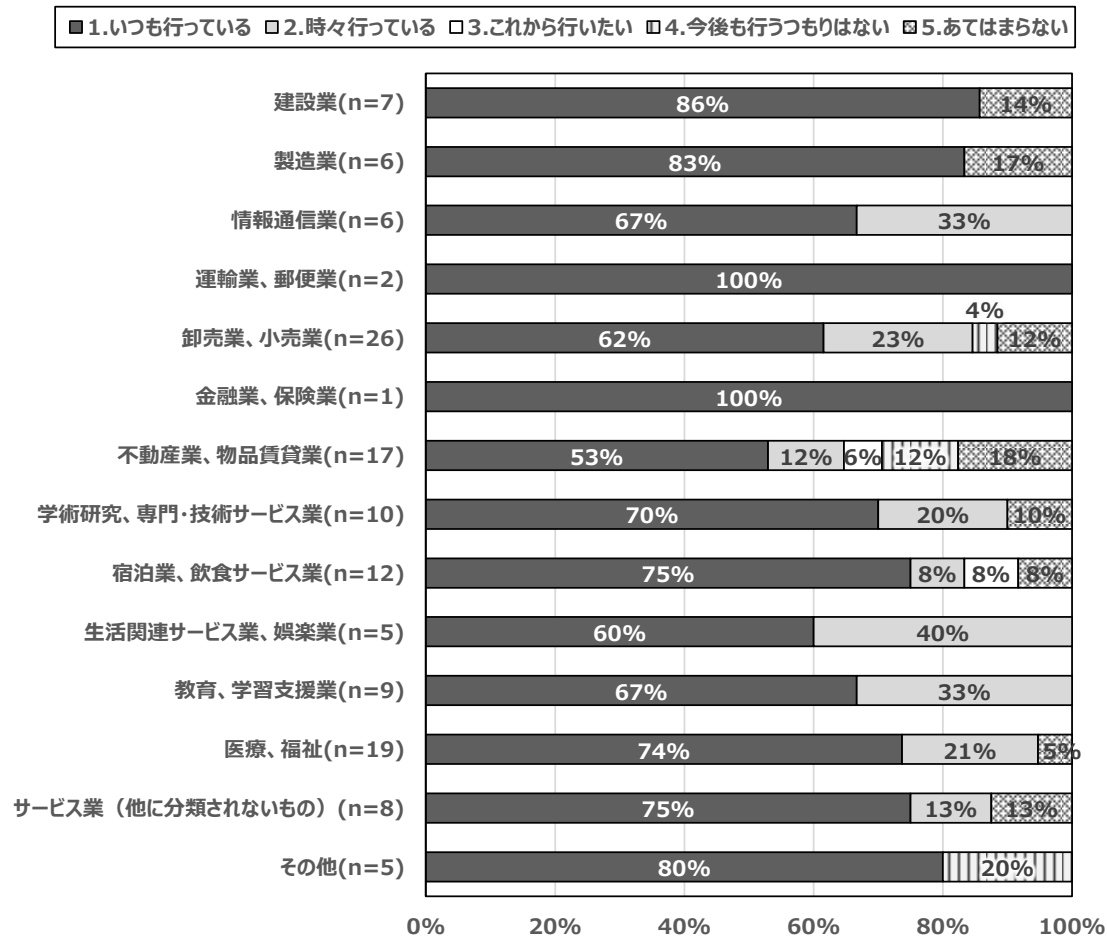
図 2-88 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる(業種別分析)

表 2-88 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	57%(4)	29%(2)	0%(0)	0%(0)	14%(1)	100%(7)
製造業	67%(4)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	33%(2)	33%(2)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	46%(12)	27%(7)	12%(3)	0%(0)	15%(4)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	29%(5)	29%(5)	12%(2)	12%(2)	18%(3)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	30%(3)	50%(5)	10%(1)	10%(1)	0%(0)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	58%(7)	17%(2)	8%(1)	0%(0)	17%(2)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	89%(8)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	42%(8)	26%(5)	26%(5)	0%(0)	5%(1)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	25%(2)	63%(5)	13%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	40%(2)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

③従業員の熱中症対策に取り組んでいる

「1.いつも行っている」は、いずれの業種においても高い。



※無回答 6 件は除いている

図 2-89 従業員の熱中症対策に取り組んでいる（業種別分析）

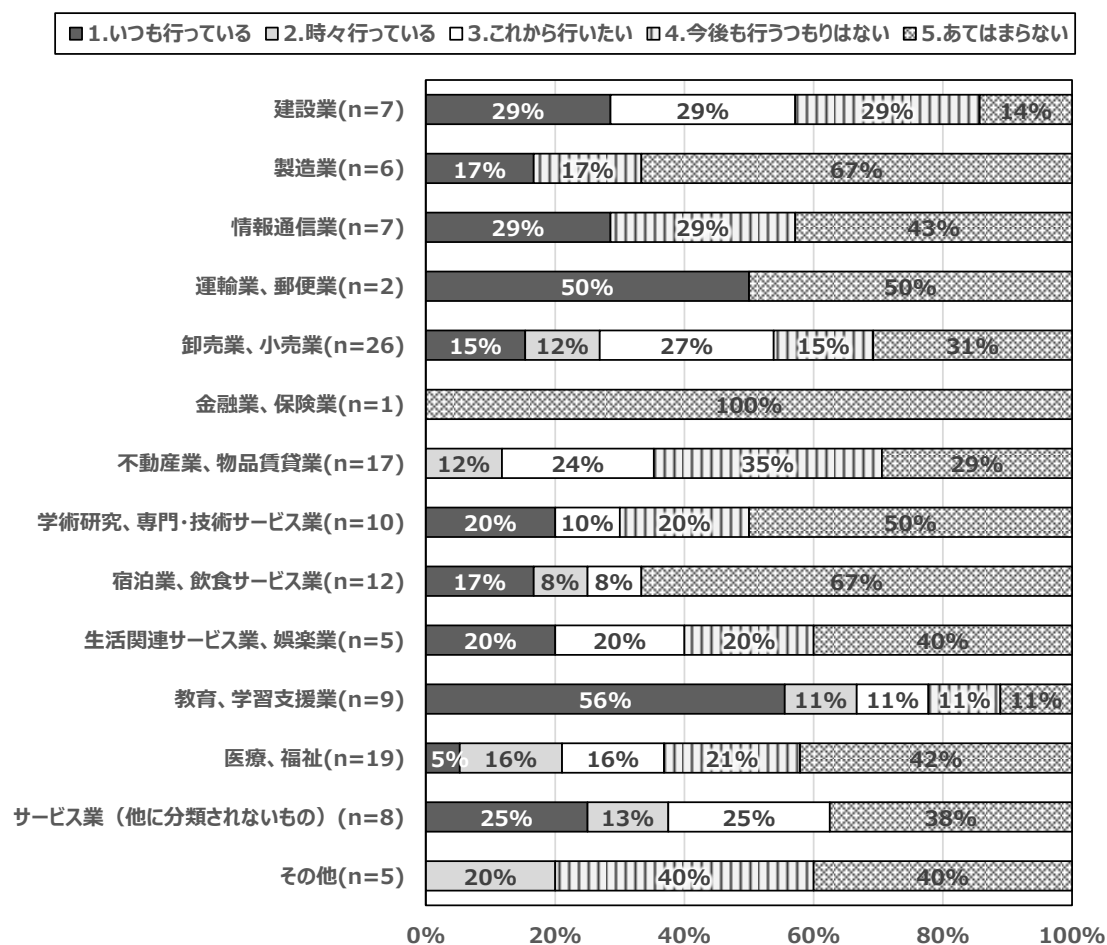
表 2-89 従業員の熱中症対策に取り組んでいる(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	86%(6)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	14%(1)	100%(7)
製造業	83%(5)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	17%(1)	100%(6)
情報通信業	67%(4)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	62%(16)	23%(6)	0%(0)	4%(1)	12%(3)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	53%(9)	12%(2)	6%(1)	12%(2)	18%(3)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	70%(7)	20%(2)	0%(0)	0%(0)	10%(1)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	75%(9)	8%(1)	8%(1)	0%(0)	8%(1)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	67%(6)	33%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	74%(14)	21%(4)	0%(0)	0%(0)	5%(1)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	75%(6)	13%(1)	0%(0)	0%(0)	13%(1)	100%(8)
その他	80%(4)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	100%(5)

e) 環境に配慮した取組を行うための制度の構築や従業員の教育

①環境に配慮した取組を行うための担当者がある

「1.いつも行っている」は、「運送業、郵便業」、「教育、学習支援業」において 50%以上である。



※無回答 6 件は除いている

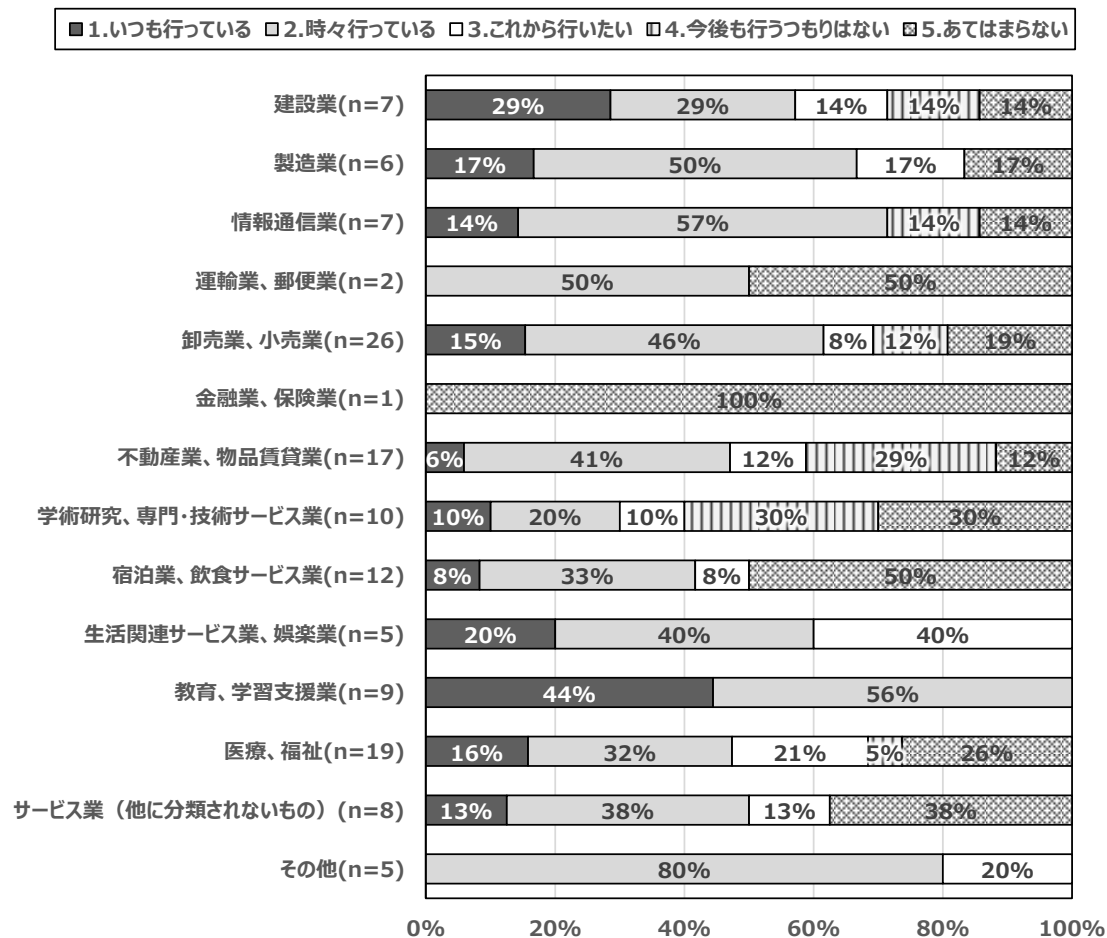
図 2-90 環境に配慮した取組を行うための担当者がある（業種別分析）

表 2-90 環境に配慮した取組を行うための担当者がいる(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	29%(2)	0%(0)	29%(2)	29%(2)	14%(1)	100%(7)
製造業	17%(1)	0%(0)	0%(0)	17%(1)	67%(4)	100%(6)
情報通信業	29%(2)	0%(0)	0%(0)	29%(2)	43%(3)	100%(7)
運輸業、郵便業	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	15%(4)	12%(3)	27%(7)	15%(4)	31%(8)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	12%(2)	24%(4)	35%(6)	29%(5)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	20%(2)	0%(0)	10%(1)	20%(2)	50%(5)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	17%(2)	8%(1)	8%(1)	0%(0)	67%(8)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	0%(0)	20%(1)	20%(1)	40%(2)	100%(5)
教育、学習支援業	56%(5)	11%(1)	11%(1)	11%(1)	11%(1)	100%(9)
医療、福祉	5%(1)	16%(3)	16%(3)	21%(4)	42%(8)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	25%(2)	13%(1)	25%(2)	0%(0)	38%(3)	100%(8)
その他	0%(0)	20%(1)	0%(0)	40%(2)	40%(2)	100%(5)

②環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している

「1.いつも行っている」は、「教育、学習支援業」において 44%と最も高い。



※無回答 6 件は除いている

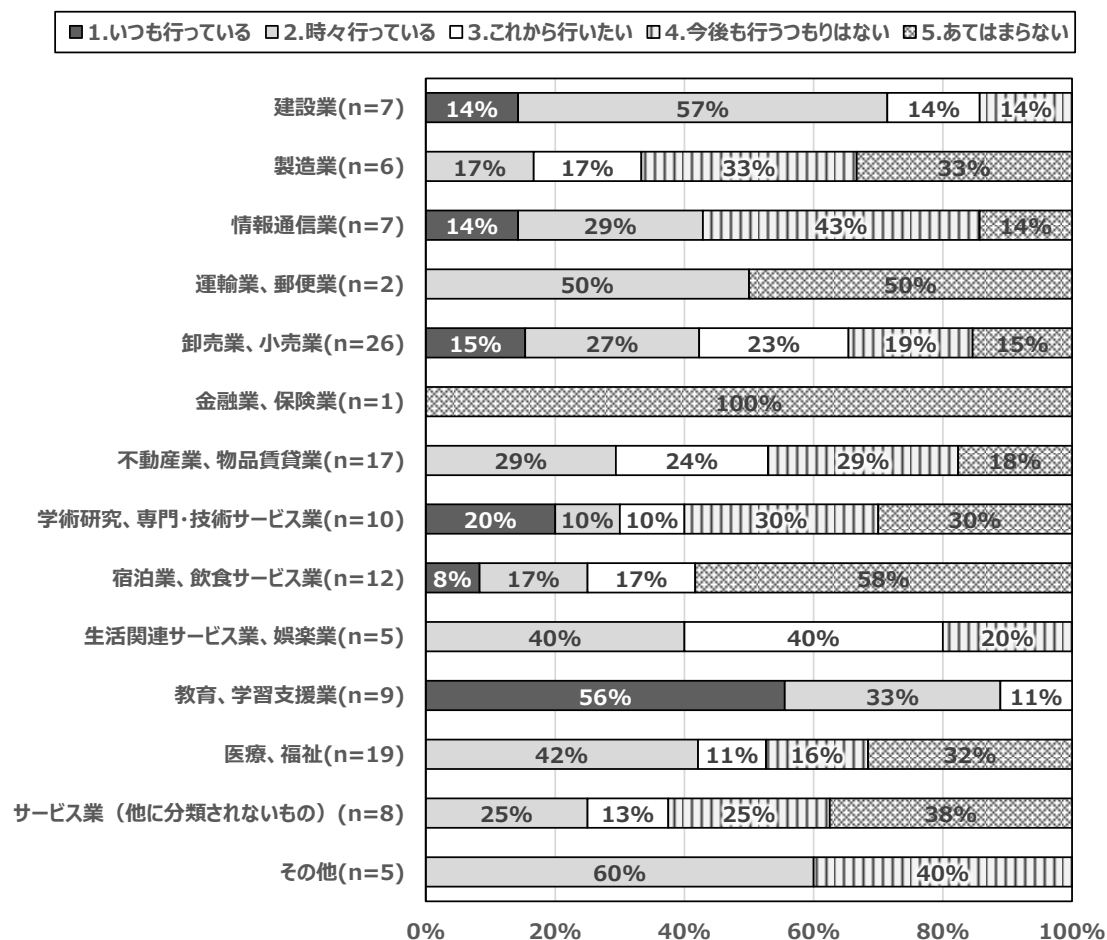
図 2-91 環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している(業種別分析)

表 2-91 環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	29%(2)	29%(2)	14%(1)	14%(1)	14%(1)	100%(7)
製造業	17%(1)	50%(3)	17%(1)	0%(0)	17%(1)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	57%(4)	0%(0)	14%(1)	14%(1)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	15%(4)	46%(12)	8%(2)	12%(3)	19%(5)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	6%(1)	41%(7)	12%(2)	29%(5)	12%(2)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	10%(1)	20%(2)	10%(1)	30%(3)	30%(3)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	33%(4)	8%(1)	0%(0)	50%(6)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	40%(2)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	44%(4)	56%(5)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	16%(3)	32%(6)	21%(4)	5%(1)	26%(5)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	13%(1)	38%(3)	13%(1)	0%(0)	38%(3)	100%(8)
その他	0%(0)	80%(4)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(5)

③環境に関する情報を、業界団体等から収集している

行っている(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「教育、学習支援業」のみ、80以上である。「3.これから行いたい」は、「生活関連サービス業、娯楽業」が最も多い。



※無回答 6 件は除いている

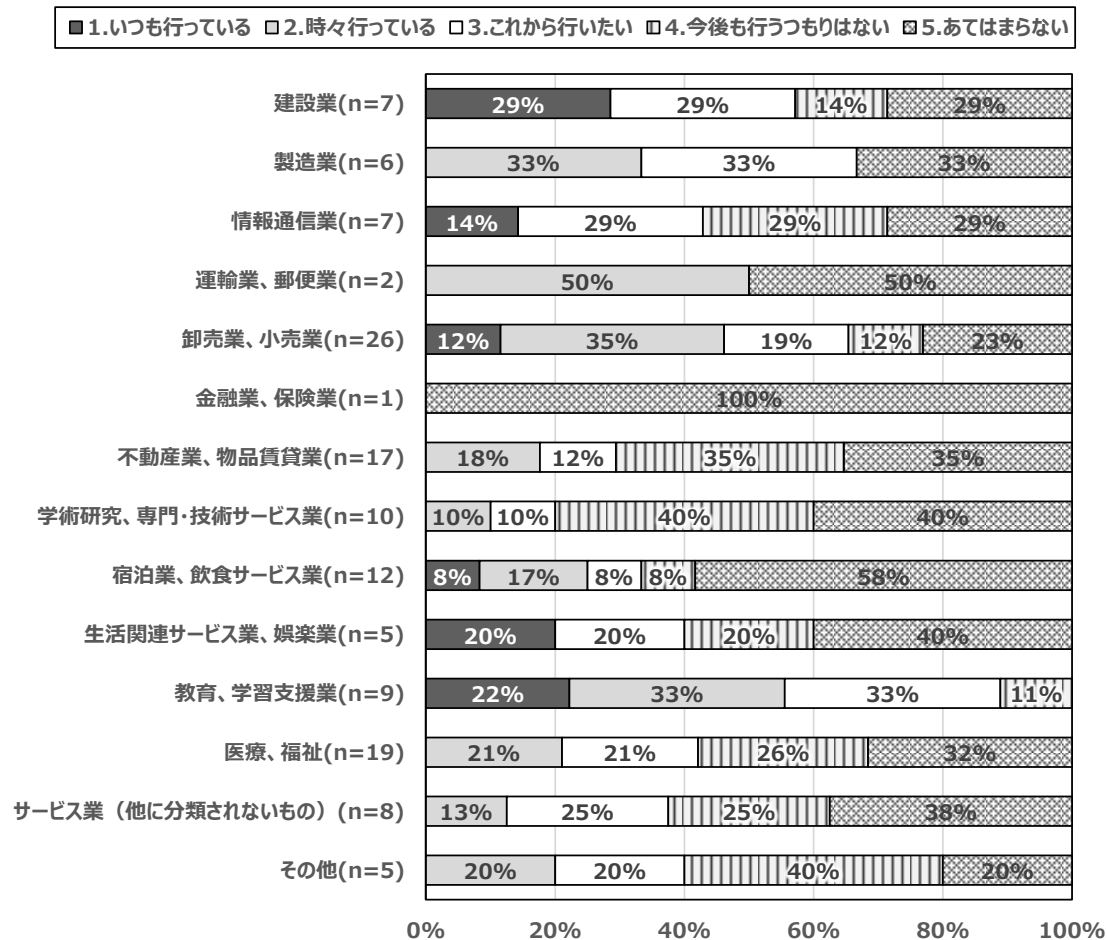
図 2-92 環境に関する情報を、業界団体等から収集している(業種別分析)

表 2-92 環境に関する情報を、業界団体等から収集している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	14%(1)	57%(4)	14%(1)	14%(1)	0%(0)	100%(7)
製造業	0%(0)	17%(1)	17%(1)	33%(2)	33%(2)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	29%(2)	0%(0)	43%(3)	14%(1)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	15%(4)	27%(7)	23%(6)	19%(5)	15%(4)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	29%(5)	24%(4)	29%(5)	18%(3)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	20%(2)	10%(1)	10%(1)	30%(3)	30%(3)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	17%(2)	17%(2)	0%(0)	58%(7)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	0%(0)	40%(2)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	56%(5)	33%(3)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	0%(0)	42%(8)	11%(2)	16%(3)	32%(6)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	0%(0)	25%(2)	13%(1)	25%(2)	38%(3)	100%(8)
その他	0%(0)	60%(3)	0%(0)	40%(2)	0%(0)	100%(5)

④従業員に対する環境教育・研修を実施している

「1.いつも行っている」は、「建設業」において 29%と最も高い。。



※無回答 6 件は除いている

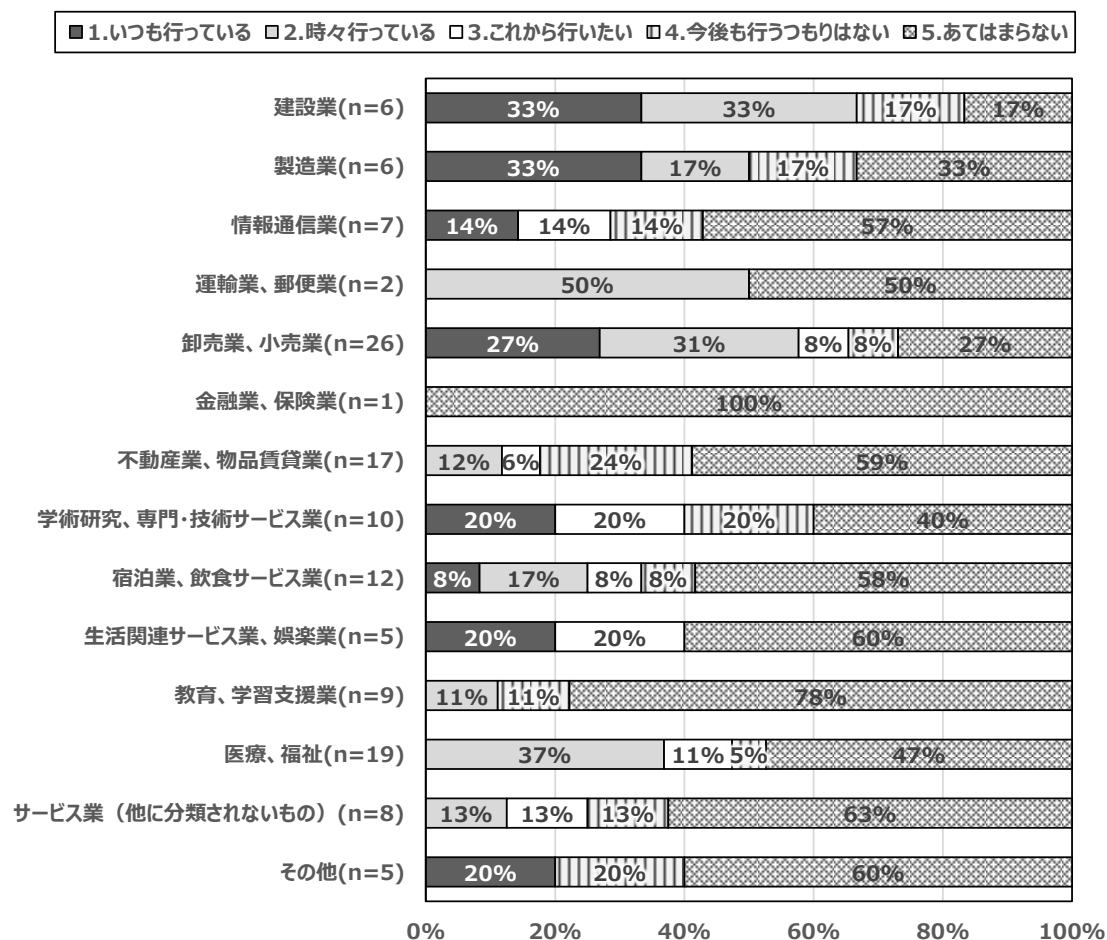
図 2-93 従業員に対する環境教育・研修を実施している

表 2-93 従業員に対する環境教育・研修を実施している

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	29%(2)	0%(0)	29%(2)	14%(1)	29%(2)	100%(7)
製造業	0%(0)	33%(2)	33%(2)	0%(0)	33%(2)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	0%(0)	29%(2)	29%(2)	29%(2)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	12%(3)	35%(9)	19%(5)	12%(3)	23%(6)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	18%(3)	12%(2)	35%(6)	35%(6)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	0%(0)	10%(1)	10%(1)	40%(4)	40%(4)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	17%(2)	8%(1)	8%(1)	58%(7)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	0%(0)	20%(1)	20%(1)	40%(2)	100%(5)
教育、学習支援業	22%(2)	33%(3)	33%(3)	11%(1)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	0%(0)	21%(4)	21%(4)	26%(5)	32%(6)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	0%(0)	13%(1)	25%(2)	25%(2)	38%(3)	100%(8)
その他	0%(0)	20%(1)	20%(1)	40%(2)	20%(1)	100%(5)

⑤環境に配慮した製品やサービスを提供している

「建設業」、「製造業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」以外の業種では、「4.今後行うつもりはない」、「5.あてはまらない」の合計が 50%を超えている。



※無回答 6 件は除いている

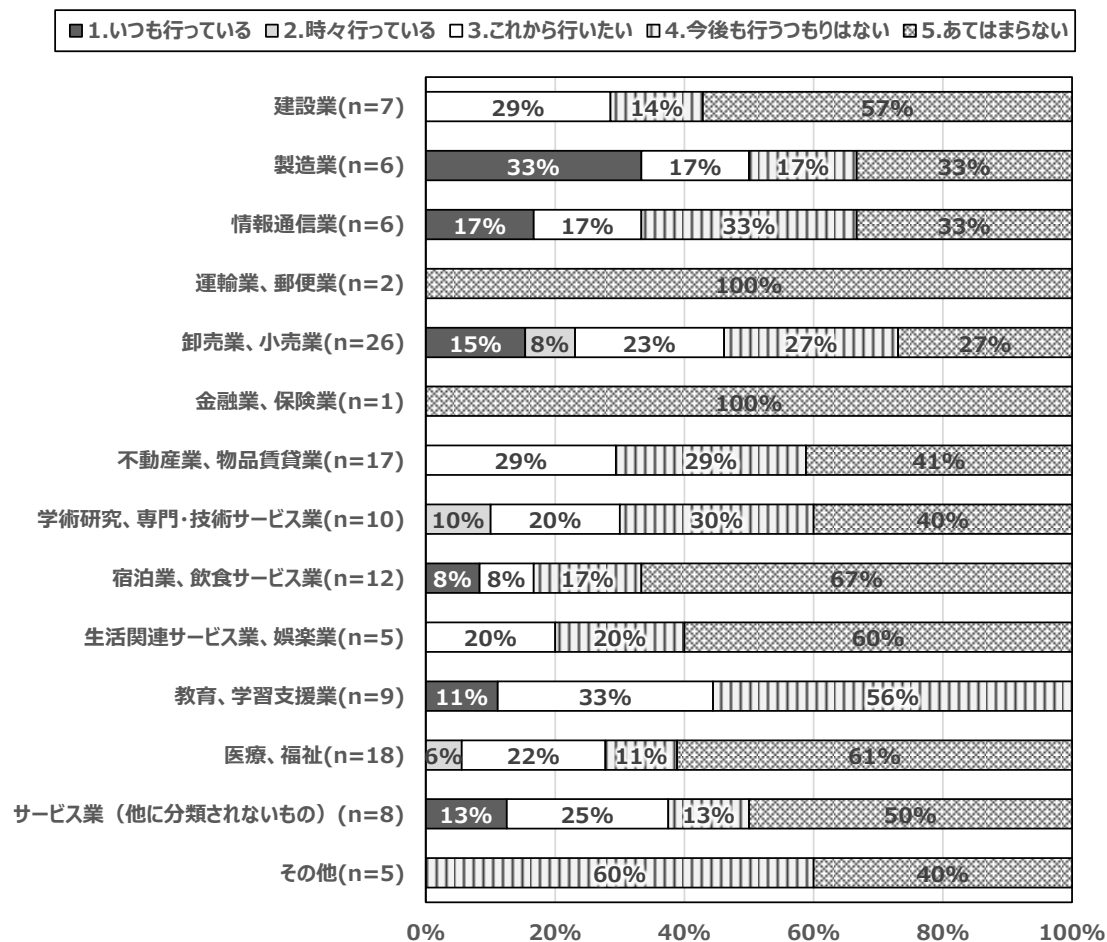
図 2-94 環境に配慮した製品やサービスを提供している

表 2-94 環境に配慮した製品やサービスを提供している

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	33%(2)	33%(2)	0%(0)	17%(1)	17%(1)	100%(6)
製造業	33%(2)	17%(1)	0%(0)	17%(1)	33%(2)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	0%(0)	14%(1)	14%(1)	57%(4)	100%(7)
運輸業、郵便業	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	27%(7)	31%(8)	8%(2)	8%(2)	27%(7)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	12%(2)	6%(1)	24%(4)	59%(10)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	20%(2)	0%(0)	20%(2)	20%(2)	40%(4)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	17%(2)	8%(1)	8%(1)	58%(7)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
教育、学習支援業	0%(0)	11%(1)	0%(0)	11%(1)	78%(7)	100%(9)
医療、福祉	0%(0)	37%(7)	11%(2)	5%(1)	47%(9)	100%(19)
サービス業(他に分類されないもの)	0%(0)	13%(1)	13%(1)	13%(1)	63%(5)	100%(8)
その他	20%(1)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	60%(3)	100%(5)

⑥環境マネジメントシステムを構築・運用している

いずれの業種においても「4.今後も行うつもりはない」、「5.あてはまらない」の合計が 50%以上と高い。



※無回答 6 件は除いている

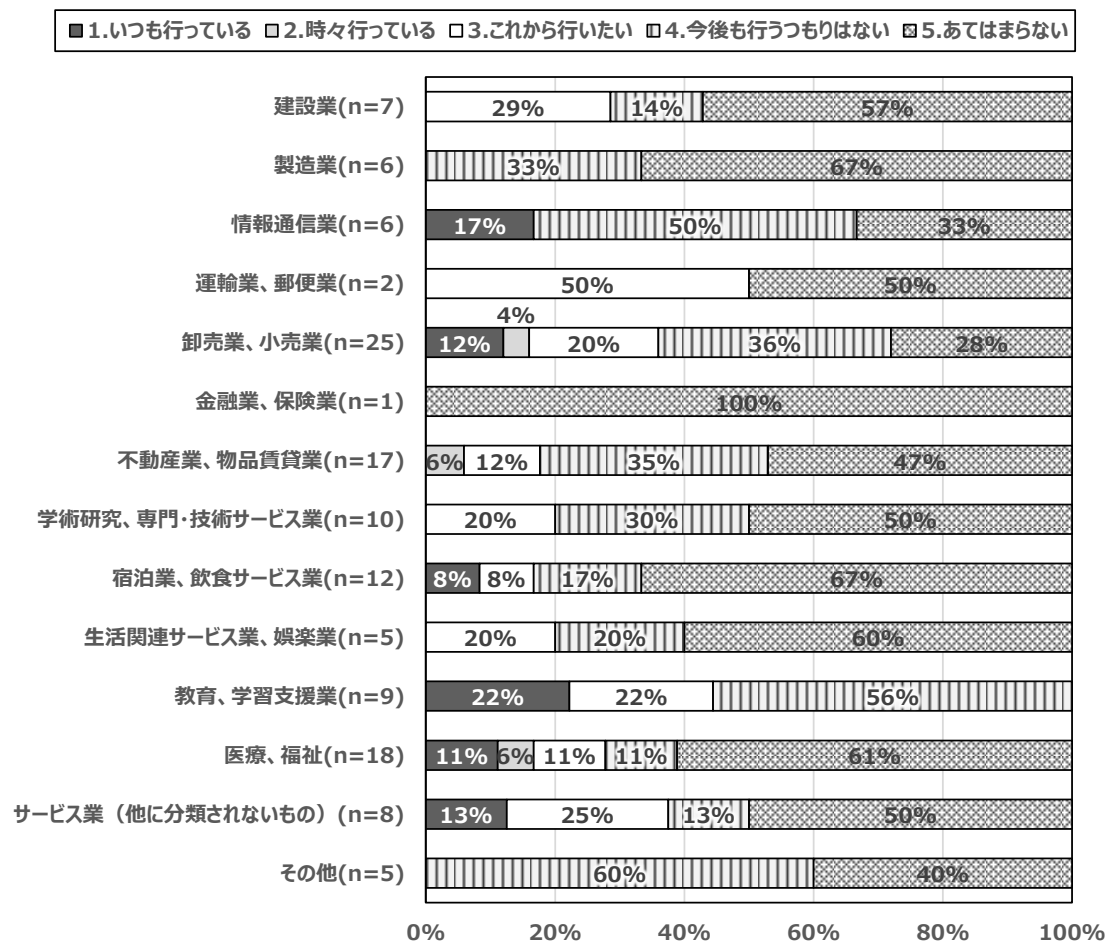
図 2-95 環境マネジメントシステムを構築・運用している（業種別分析）

表 2-95 環境マネジメントシステムを構築・運用している(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	0%(0)	0%(0)	29%(2)	14%(1)	57%(4)	100%(7)
製造業	33%(2)	0%(0)	17%(1)	17%(1)	33%(2)	100%(6)
情報通信業	17%(1)	0%(0)	17%(1)	33%(2)	33%(2)	100%(6)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)	100%(2)
卸売業、小売業	15%(4)	8%(2)	23%(6)	27%(7)	27%(7)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	0%(0)	29%(5)	29%(5)	41%(7)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	0%(0)	10%(1)	20%(2)	30%(3)	40%(4)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	0%(0)	8%(1)	17%(2)	67%(8)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	0%(0)	0%(0)	20%(1)	20%(1)	60%(3)	100%(5)
教育、学習支援業	11%(1)	0%(0)	33%(3)	56%(5)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	0%(0)	6%(1)	22%(4)	11%(2)	61%(11)	100%(18)
サービス業(他に分類されないもの)	13%(1)	0%(0)	25%(2)	13%(1)	50%(4)	100%(8)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	60%(3)	40%(2)	100%(5)

⑦環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

「4.今後も行うつもりはない」、「5.あてはまらない」の合計は、いずれの業種においても 50%以上と高い。



※無回答 6 件は除いている

図 2-96 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている(業種別分析)

表 2-96 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている(業種別分析)

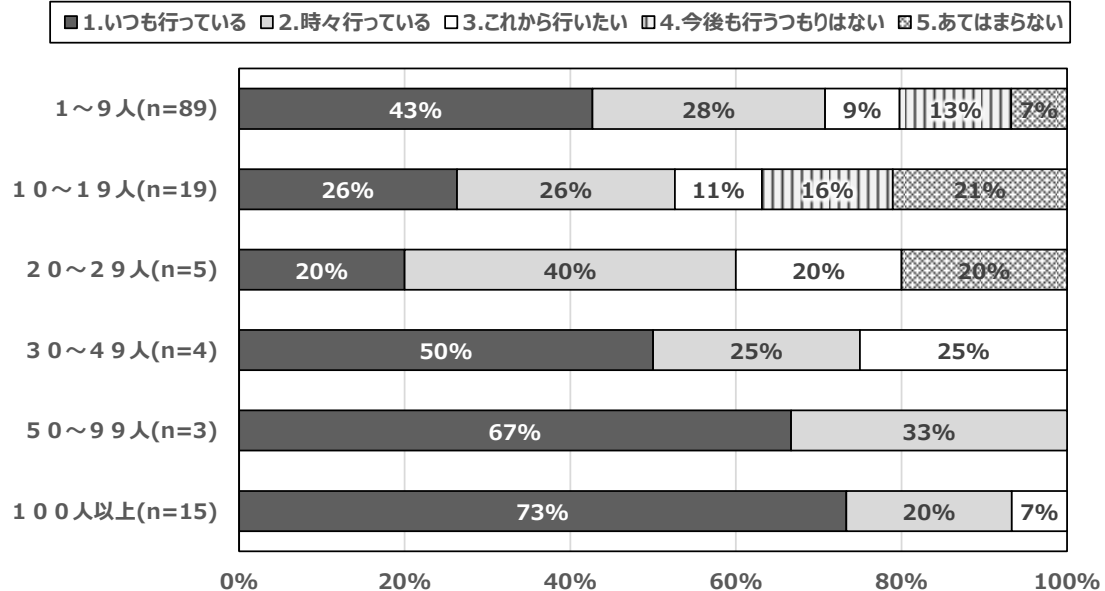
	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
建設業	0%(0)	0%(0)	29%(2)	14%(1)	57%(4)	100%(7)
製造業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	33%(2)	67%(4)	100%(6)
情報通信業	17%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(3)	33%(2)	100%(6)
運輸業、郵便業	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	50%(1)	100%(2)
卸売業、小売業	12%(3)	4%(1)	20%(5)	36%(9)	28%(7)	100%(25)
金融業、保険業	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	6%(1)	12%(2)	35%(6)	47%(8)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	0%(0)	0%(0)	20%(2)	30%(3)	50%(5)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	8%(1)	0%(0)	8%(1)	17%(2)	67%(8)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	0%(0)	0%(0)	20%(1)	20%(1)	60%(3)	100%(5)
教育、学習支援業	22%(2)	0%(0)	22%(2)	56%(5)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	11%(2)	6%(1)	11%(2)	11%(2)	61%(11)	100%(18)
サービス業(他に分類されないもの)	13%(1)	0%(0)	25%(2)	13%(1)	50%(4)	100%(8)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	60%(3)	40%(2)	100%(5)

3) 従業員数別分析

a) 省エネルギーに配慮した行動

①夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は従業員数 10～19 人が 52%と最も低い。20～29 人以上において従業員数の増加とともに「1.いつも行っている」の割合は上昇している。



※無回答 2 件は除いている

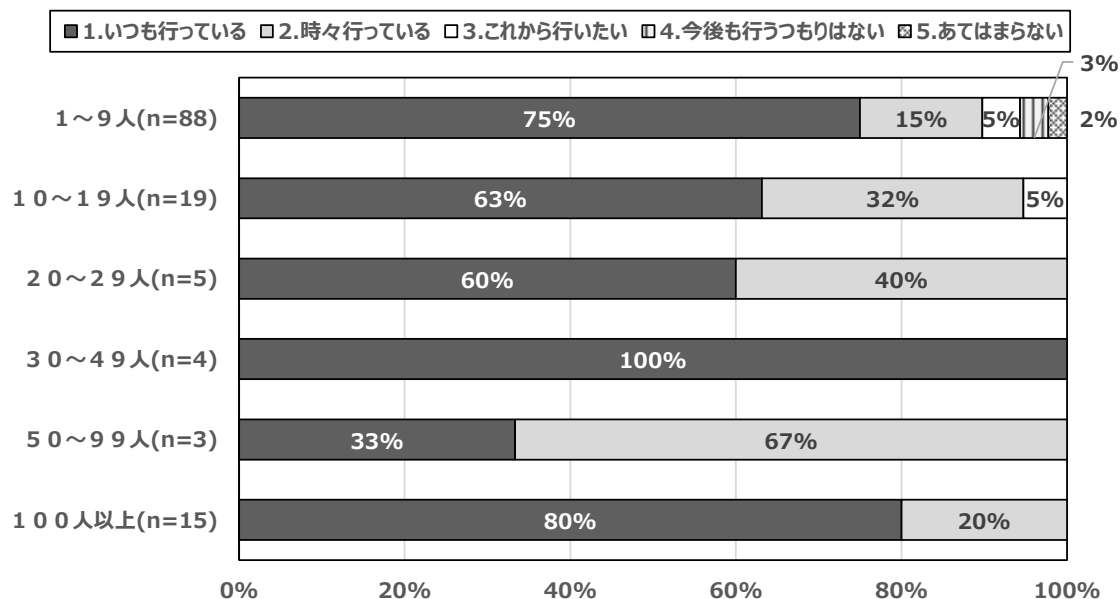
図 2-97 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている(従業員数別分析)

表 2-97 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつもも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	43%(38)	28%(25)	9%(8)	13%(12)	7%(6)	100%(89)
10～19 人	26%(5)	26%(5)	11%(2)	16%(3)	21%(4)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
30～49 人	50%(2)	25%(1)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	73%(11)	20%(3)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

②使用していない照明はこまめに消している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの従業員数においても 90% 以上と高い。



※無回答 3 件は除いている

図 2-98 使用していない照明はこまめに消している(従業員数別分析)

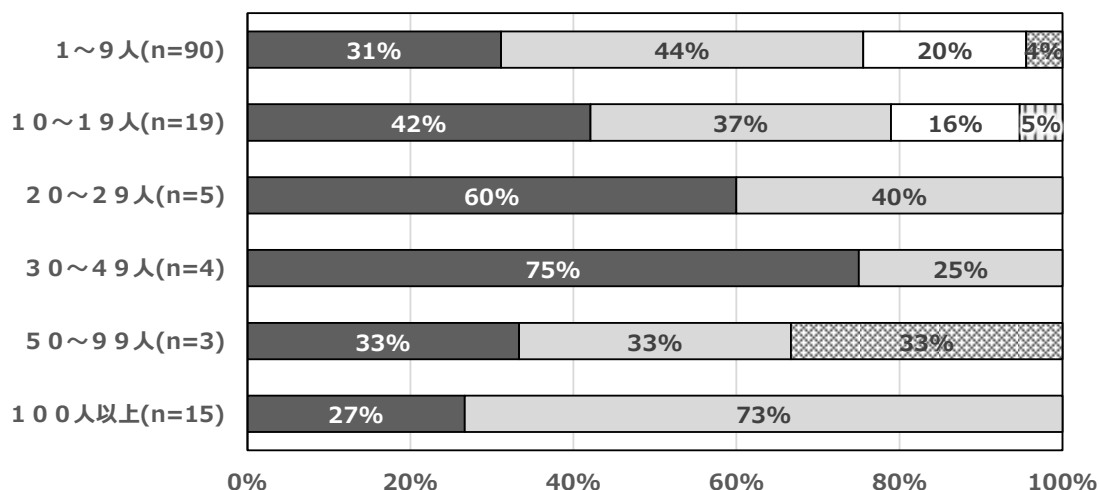
表 2-98 使用していない照明はこまめに消している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	75%(66)	15%(13)	5%(4)	3%(3)	2%(2)	100%(88)
10～19 人	63%(12)	32%(6)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29 人	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
30～49 人	100%(4)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	80%(12)	20%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

③照明を LED 化している

実施率(「1.すべて対応している」、「2.一部対応している」の合計)は従業員数 50～99 人を除いて 70%以上である。

■ 1.すべて対応している □ 2.一部対応している □ 3.これから行いたい □ 4.今後も行うつもりはない □ 5.あてはまらない



※無回答 3 件は除いている

図 2-99 照明を LED 化している(従業員数別分析)

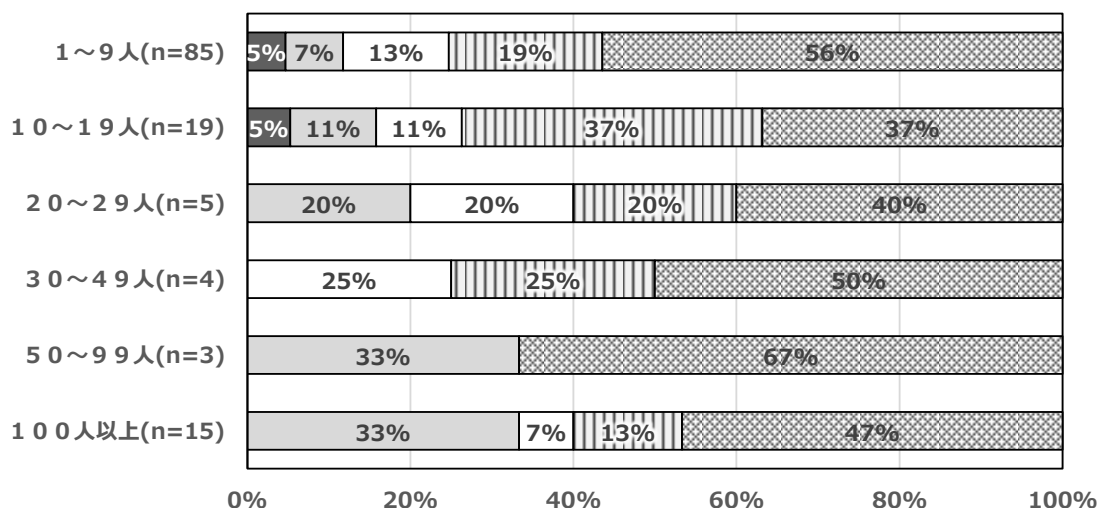
表 2-99 照明を LED 化している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	31%(28)	44%(40)	20%(18)	0%(0)	4%(4)	100%(90)
10～19 人	42%(8)	37%(7)	16%(3)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
20～29 人	60%(3)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
30～49 人	75%(3)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	33%(1)	100%(3)
100 人以上	27%(4)	73%(11)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

④事業用車をEV化(PHEVも含む)している

実施率(「1.すべて対応している」、「2.一部対応している」の合計)は従業員数 50 人以上において 30%程度である。

■ 1.すべて対応している □ 2.一部対応している □ 3.これから行いたい □ 4.今後も行うつもりはない □ 5.あてはまらない



※無回答 2 件は除いている

図 2-100 事業用車をEV化(PHEVも含む)している(従業員数別分析)

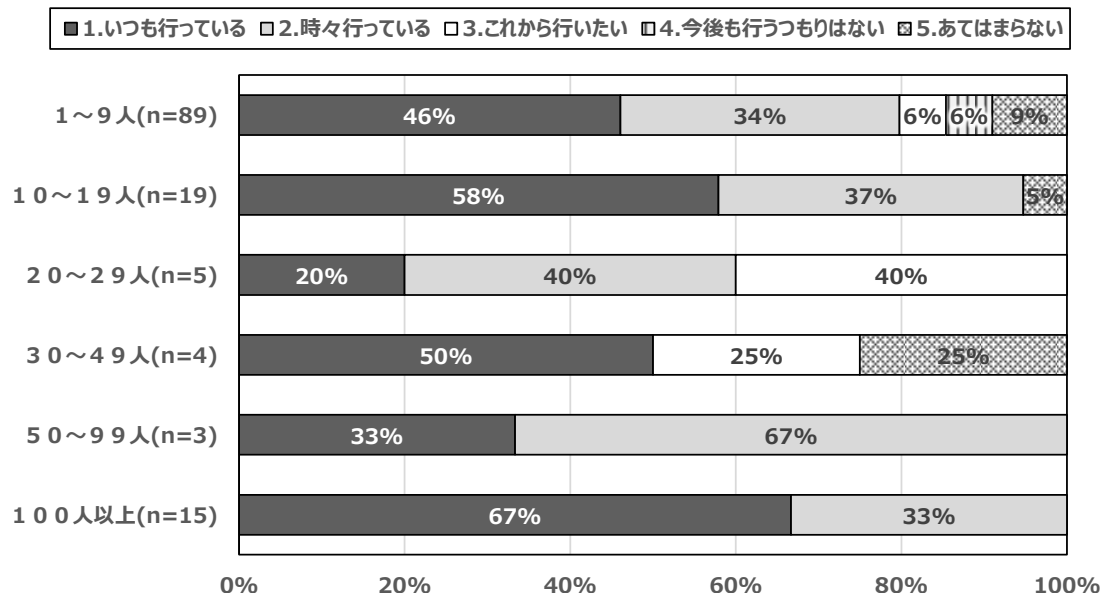
表 2-100 事業用車をEV化(PHEVも含む)している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	5%(4)	7%(6)	13%(11)	19%(16)	56%(48)	100%(85)
10～19 人	5%(1)	11%(2)	11%(2)	37%(7)	37%(7)	100%(19)
20～29 人	0%(0)	20%(1)	20%(1)	20%(1)	40%(2)	100%(5)
30～49 人	0%(0)	0%(0)	25%(1)	25%(1)	50%(2)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	67%(2)	100%(3)
100 人以上	0%(0)	33%(5)	7%(1)	13%(2)	47%(7)	100%(15)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

①事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 20～49 人を除いて 80% 以上である。



※無回答 3 件は除いている

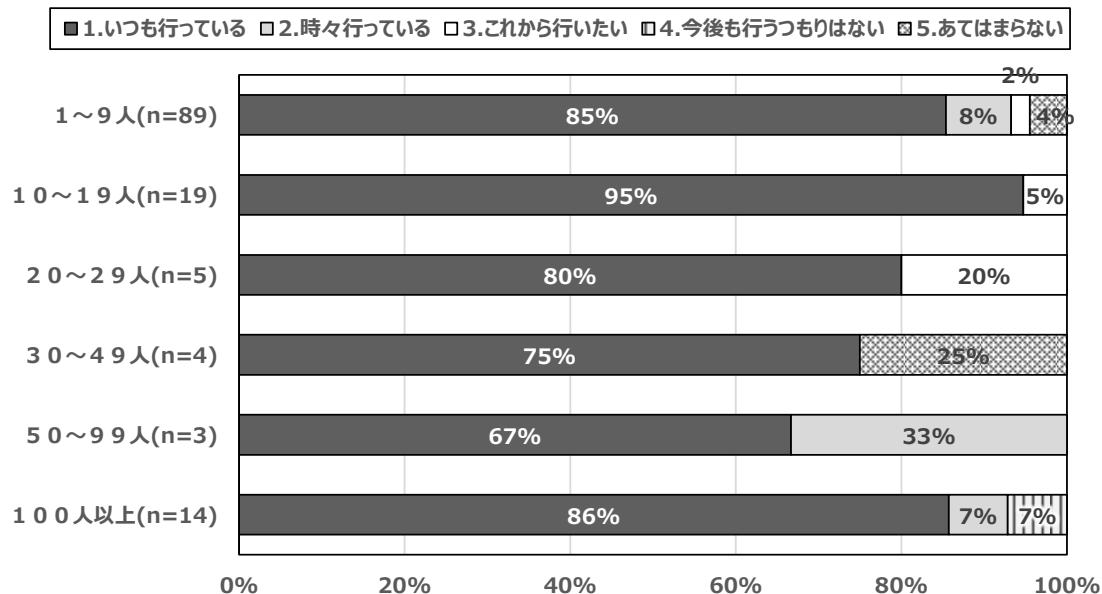
図 2-101 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している(従業員数別分析)

表 2-101 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	46%(41)	34%(30)	6%(5)	6%(5)	9%(8)	100%(89)
10～19 人	58%(11)	37%(7)	0%(0)	0%(0)	5%(1)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	40%(2)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
30～49 人	50%(2)	0%(0)	25%(1)	0%(0)	25%(1)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	67%(10)	33%(5)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

②プラスチックを分別している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は従業員数 20～49 人を除いて 80%以上と高い。



※無回答 3 件は除いている

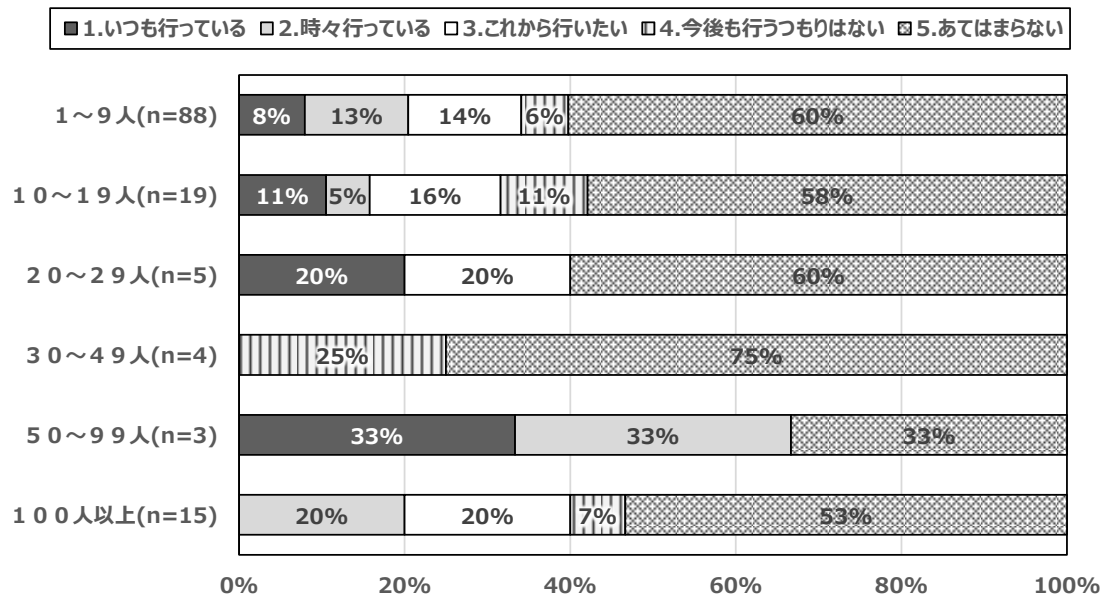
図 2-102 プラスチックを分別している(従業員数別分析)

表 2-102 プラスチックを分別している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	85%(76)	8%(7)	2%(2)	0%(0)	4%(4)	100%(89)
10～19 人	95%(18)	0%(0)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29 人	80%(4)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
30～49 人	75%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	25%(1)	100%(4)
50～99 人	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	86%(12)	7%(1)	0%(0)	7%(1)	0%(0)	100%(14)

③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は従業員数 50～99 人において最も高い。



※無回答 3 件は除いている

図 2-103 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(従業員数別分析)

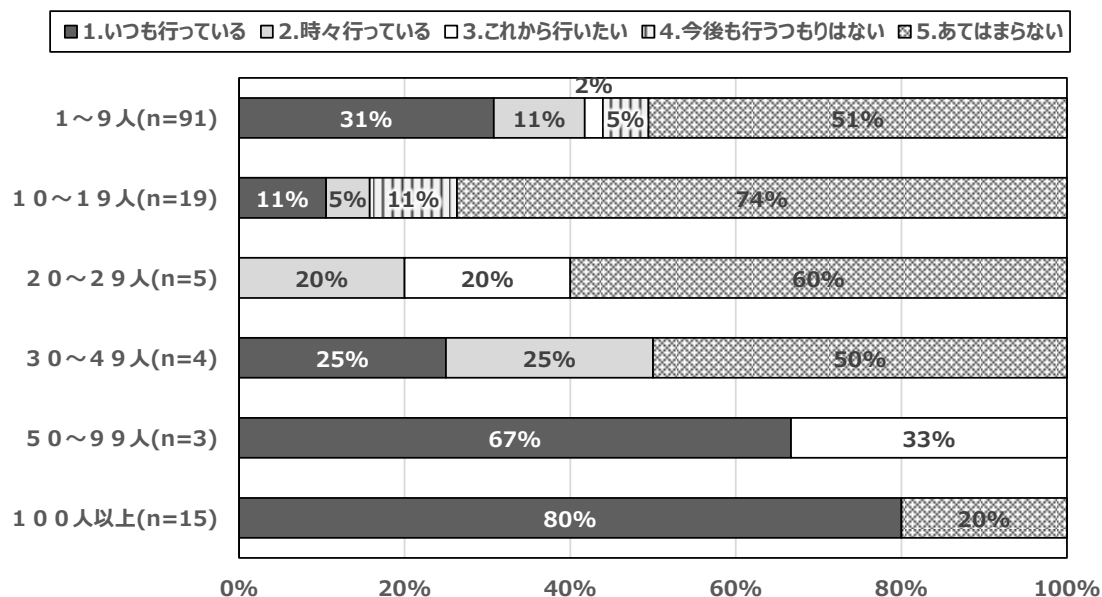
表 2-103 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	8%(7)	13%(11)	14%(12)	6%(5)	60%(53)	100%(88)
10～19 人	11%(2)	5%(1)	16%(3)	11%(2)	58%(11)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	0%(0)	0%(0)	0%(0)	25%(1)	75%(3)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	33%(1)	100%(3)
100 人以上	0%(0)	20%(3)	20%(3)	7%(1)	53%(8)	100%(15)

c) 自然環境に配慮した行動

①樹木や生垣などのみどりを保全している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は従業員数 100 人以上が最も高い。



※無回答 3 件は除いている

図 2-104 樹木や生垣などのみどりを保全している(従業員数別分析)

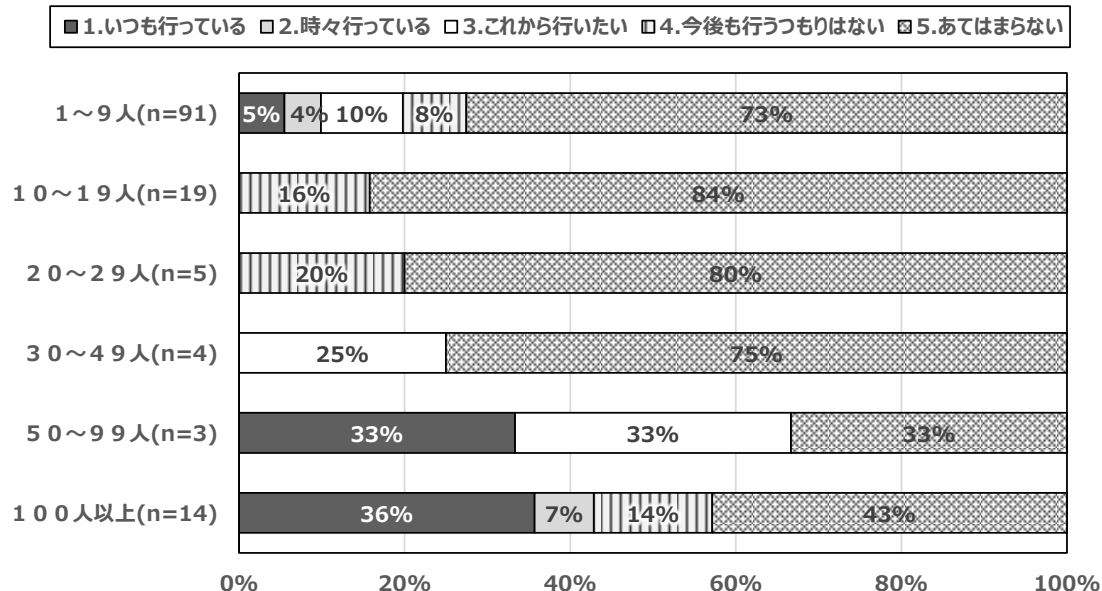
表 2-104 樹木や生垣などのみどりを保全している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	31%(28)	11%(10)	2%(2)	5%(5)	51%(46)	100%(91)
10～19 人	11%(2)	5%(1)	0%(0)	11%(2)	74%(14)	100%(19)
20～29 人	0%(0)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	25%(1)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(2)	100%(4)
50～99 人	67%(2)	0%(0)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	80%(12)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	20%(3)	100%(15)

②ビオトープなどの水辺を保全・創出している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は従業員数 10～19 人、20～29 人、30～49 人で 0%である。

一方、従業員数 100 人以上では 40%程度と最も高い。



※無回答 3 件は除いている

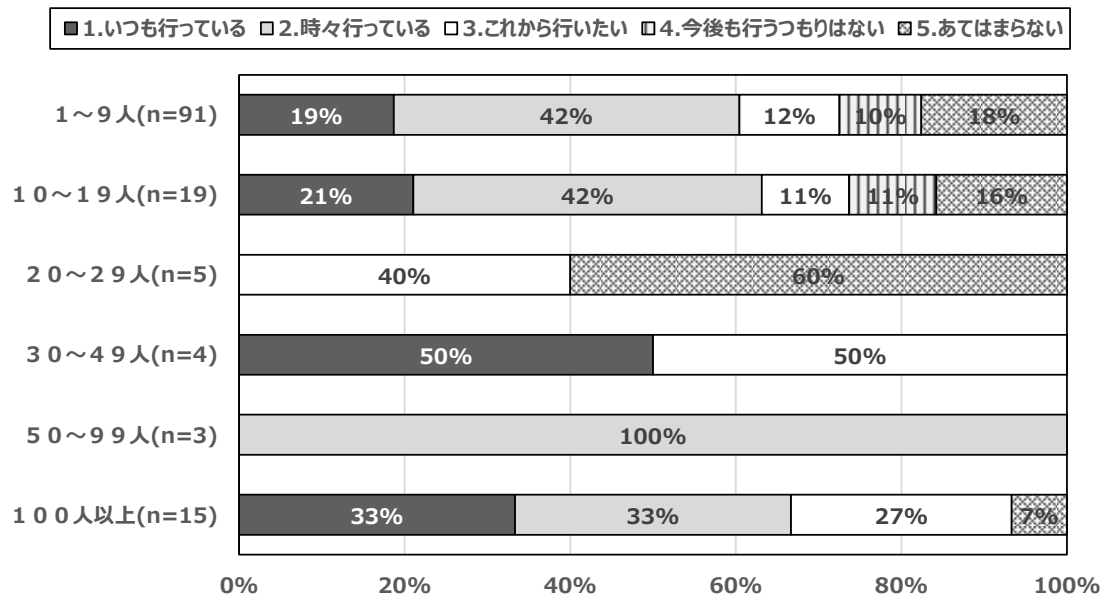
図 2-105 ビオトープなどの水辺を保全・創出している(従業員数別分析)

表 2-105 ビオトープなどの水辺を保全・創出している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	5%(5)	4%(4)	10%(9)	8%(7)	73%(66)	100%(91)
10～19 人	0%(0)	0%(0)	0%(0)	16%(3)	84%(16)	100%(19)
20～29 人	0%(0)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	80%(4)	100%(5)
30～49 人	0%(0)	0%(0)	25%(1)	0%(0)	75%(3)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	0%(0)	33%(1)	0%(0)	33%(1)	100%(3)
100 人以上	36%(5)	7%(1)	0%(0)	14%(2)	43%(6)	100%(14)

③エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 20～29 人、50～99 人を除いて 50%～70%程度である。



※無回答 3 件は除いている

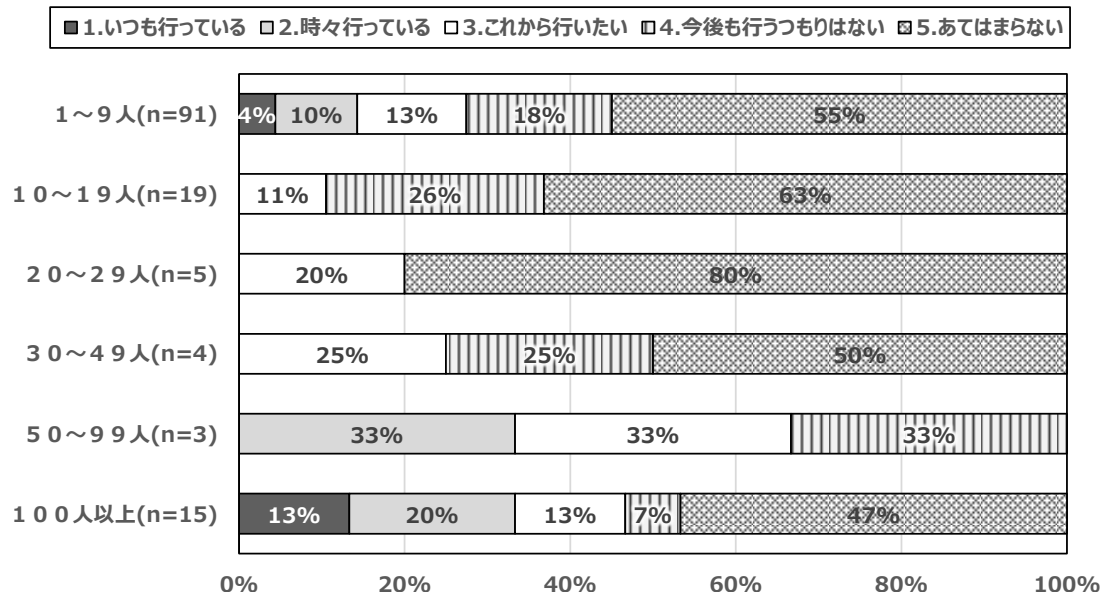
図 2-106 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(従業員数別分析)

表 2-106 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	19%(17)	42%(38)	12%(11)	10%(9)	18%(16)	100%(91)
10～19 人	21%(4)	42%(8)	11%(2)	11%(2)	16%(3)	100%(19)
20～29 人	0%(0)	0%(0)	40%(2)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	50%(2)	0%(0)	50%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	100%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	33%(5)	33%(5)	27%(4)	0%(0)	7%(1)	100%(15)

④生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は従業員数 10～49 人で 0%である。



※無回答 3 件は除いている

図 2-107 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(従業員数別分析)

表 2-107 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(従業員数別分析)

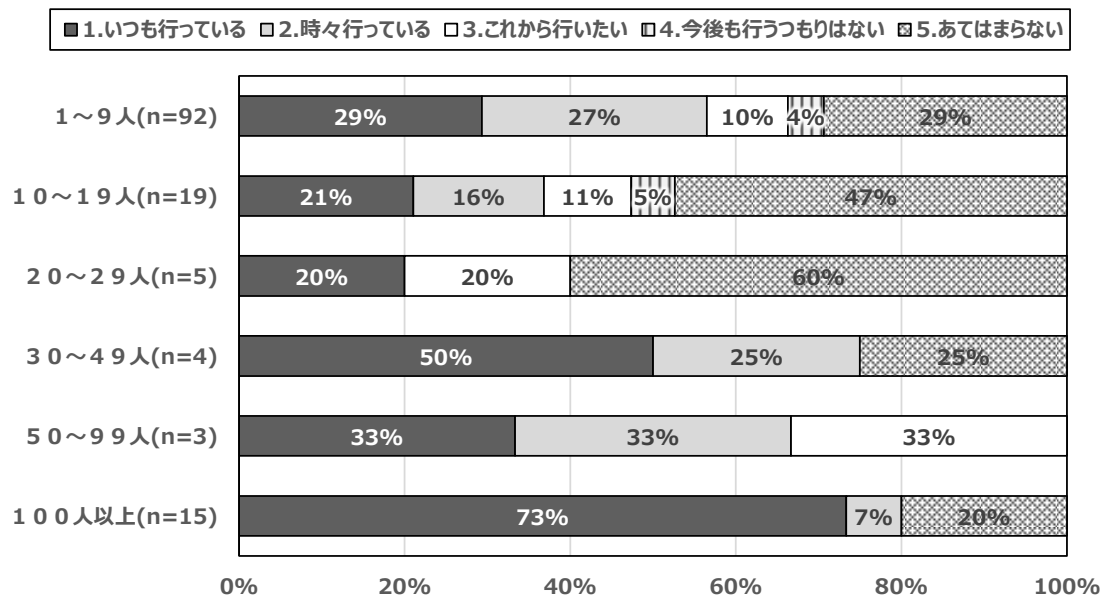
	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	4%(4)	10%(9)	13%(12)	18%(16)	55%(50)	100%(91)
10～19 人	0%(0)	0%(0)	11%(2)	26%(5)	63%(12)	100%(19)
20～29 人	0%(0)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	80%(4)	100%(5)
30～49 人	0%(0)	0%(0)	25%(1)	25%(1)	50%(2)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	33%(1)	33%(1)	33%(1)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	13%(2)	20%(3)	13%(2)	7%(1)	47%(7)	100%(15)

d) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

①事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 100 人以上において 80%と最も高い。

一方、従業員数 20～29 人において 20%と最も低い。



※無回答 3 件は除いている

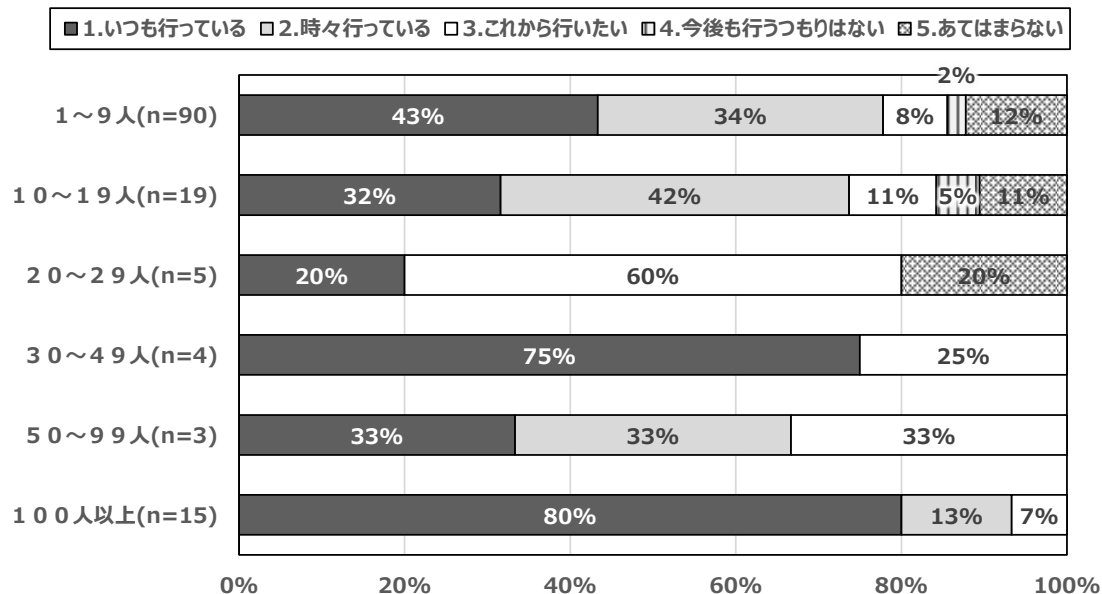
図 2-108 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる(従業員数別分析)

表 2-108 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	29%(27)	27%(25)	10%(9)	4%(4)	29%(27)	100%(92)
10～19 人	21%(4)	16%(3)	11%(2)	5%(1)	47%(9)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	50%(2)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	25%(1)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	33%(1)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	73%(11)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	20%(3)	100%(15)

②事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 100 人以上において 90% 以上と最も高い。一方、従業員数 20～29 人において 20%と最も低い。



※無回答 3 件は除いている

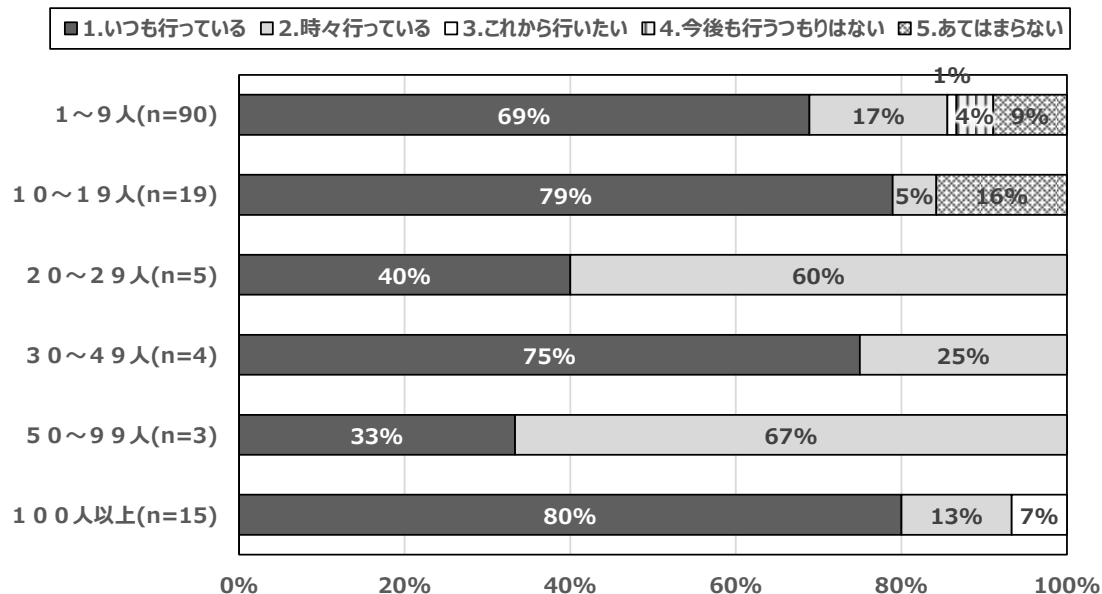
図 2-109 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる(従業員数別分析)

表 2-109 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	43%(39)	34%(31)	8%(7)	2%(2)	12%(11)	100%(90)
10～19 人	32%(6)	42%(8)	11%(2)	5%(1)	11%(2)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	60%(3)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
30～49 人	75%(3)	0%(0)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	33%(1)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	80%(12)	13%(2)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

③従業員の熱中症対策に取り組んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの従業員数においても 80% 以上である。



※無回答 3 件は除いている

図 2-110 従業員の熱中症対策に取り組んでいる(従業員数別分析)

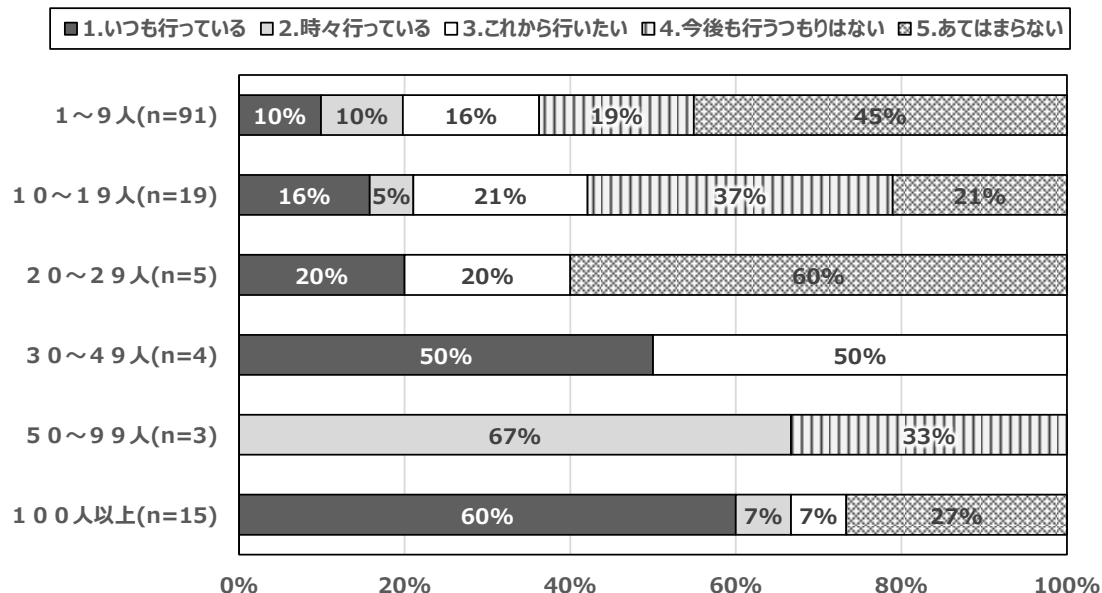
表 2-110 従業員の熱中症対策に取り組んでいる(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	69%(62)	17%(15)	1%(1)	4%(4)	9%(8)	100%(90)
10～19 人	79%(15)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	16%(3)	100%(19)
20～29 人	40%(2)	60%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
30～49 人	75%(3)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	80%(12)	13%(2)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

e) 環境に配慮した取組を行うための制度の構築や従業員の教育

①環境に配慮した取組を行うための担当者がある

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 30～49 人を境に増加している。



※無回答 3 件は除いている

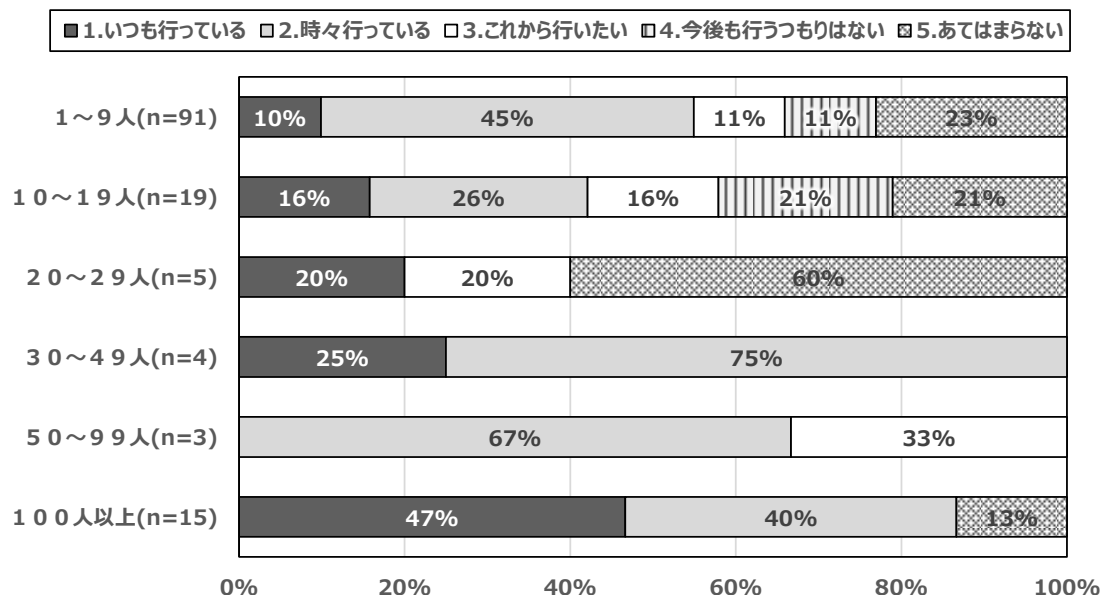
図 2-111 環境に配慮した取組を行うための担当者がある(従業員数別分析)

表 2-111 環境に配慮した取組を行うための担当者がある(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	10%(9)	10%(9)	16%(15)	19%(17)	45%(41)	100%(91)
10～19 人	16%(3)	5%(1)	21%(4)	37%(7)	21%(4)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	50%(2)	0%(0)	50%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	67%(2)	0%(0)	33%(1)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	60%(9)	7%(1)	7%(1)	0%(0)	27%(4)	100%(15)

②環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している

「1.いつも行っている」は従業員数 50～99 人を除き、従業員数の増加に従い、割合が増加している。



※無回答 3 件は除いている

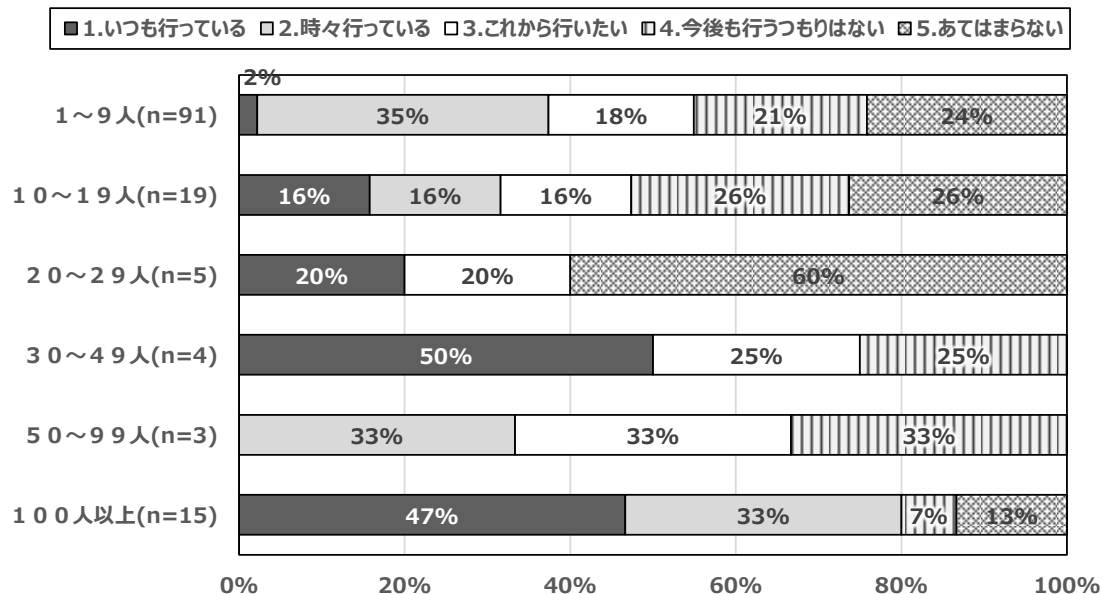
図 2-112 環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している(従業員数別分析)

表 2-112 環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	10%(9)	45%(41)	11%(10)	11%(10)	23%(21)	100%(91)
10～19 人	16%(3)	26%(5)	16%(3)	21%(4)	21%(4)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	25%(1)	75%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	47%(7)	40%(6)	0%(0)	0%(0)	13%(2)	100%(15)

③環境に関する情報を、業界団体等から収集している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 100 人以上において 80%と最も高い。



※無回答 3 件は除いている

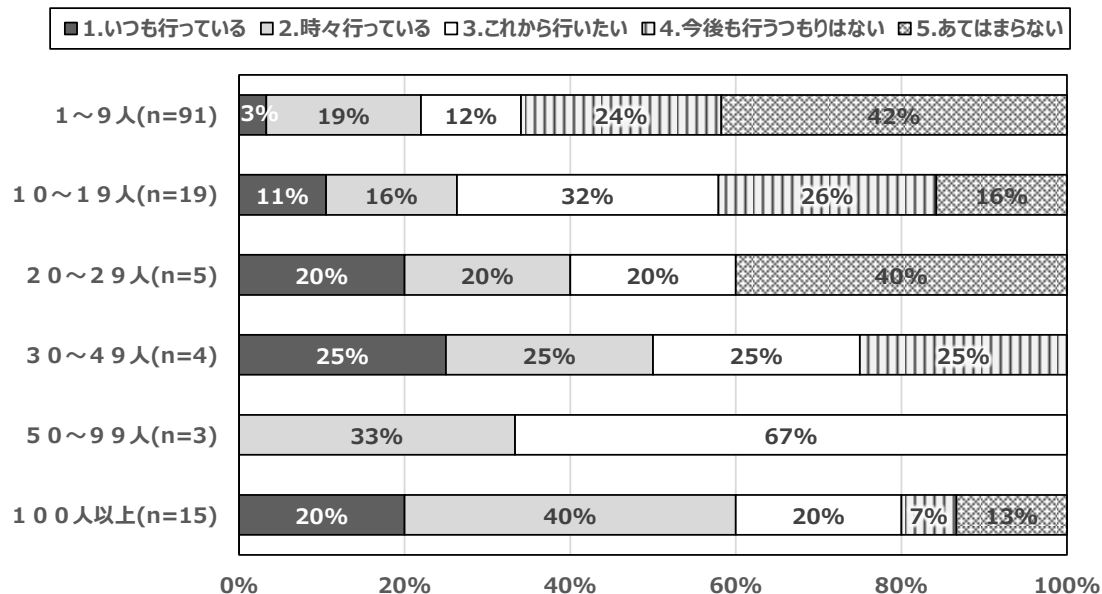
図 2-113 環境に関する情報を、業界団体等から収集している(従業員数別分析)

表 2-113 環境に関する情報を、業界団体等から収集している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	2%(2)	35%(32)	18%(16)	21%(19)	24%(22)	100%(91)
10～19 人	16%(3)	16%(3)	16%(3)	26%(5)	26%(5)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	50%(2)	0%(0)	25%(1)	25%(1)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	33%(1)	33%(1)	33%(1)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	47%(7)	33%(5)	0%(0)	7%(1)	13%(2)	100%(15)

④従業員に対する環境教育・研修を実施している

概ね従業員数 50～99 人を除いて、従業員数の増加に従い、実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は増加している。



※無回答 3 件は除いている

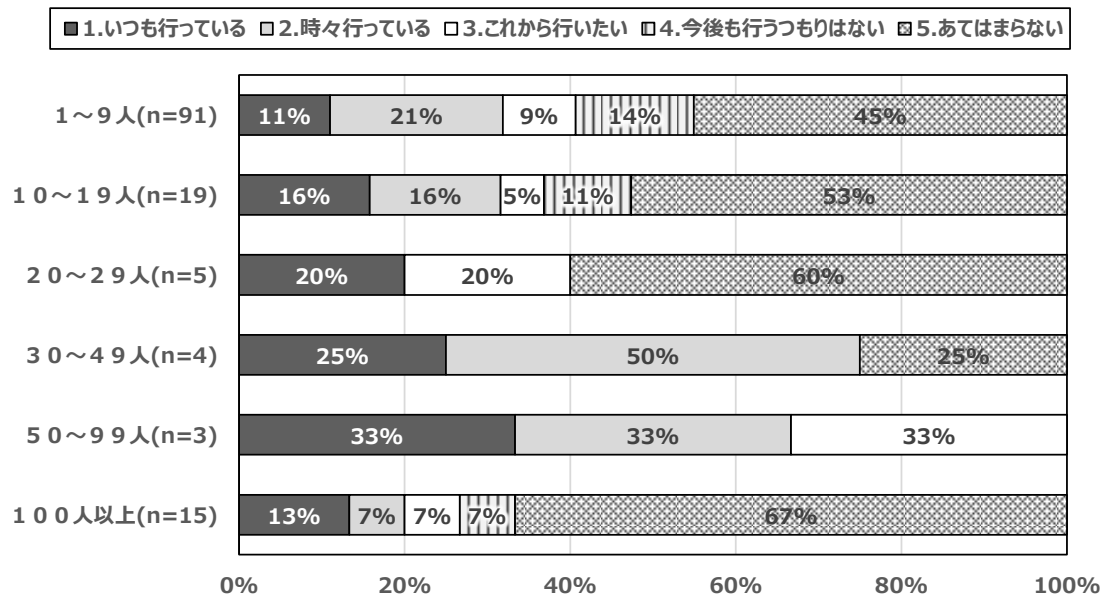
図 2-114 従業員に対する環境教育・研修を実施している(従業員数別分析)

表 2-114 従業員に対する環境教育・研修を実施している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	3%(3)	19%(17)	12%(11)	24%(22)	42%(38)	100%(91)
10～19 人	11%(2)	16%(3)	32%(6)	26%(5)	16%(3)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	40%(2)	100%(5)
30～49 人	25%(1)	25%(1)	25%(1)	25%(1)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	20%(3)	40%(6)	20%(3)	7%(1)	13%(2)	100%(15)

⑤環境に配慮した製品やサービスを提供している

概ね従業員数 100 人以上を除いて、従業員数の増加に従い、「1.いつも行っている」の割合は増加している。



※無回答 2 件は除いている

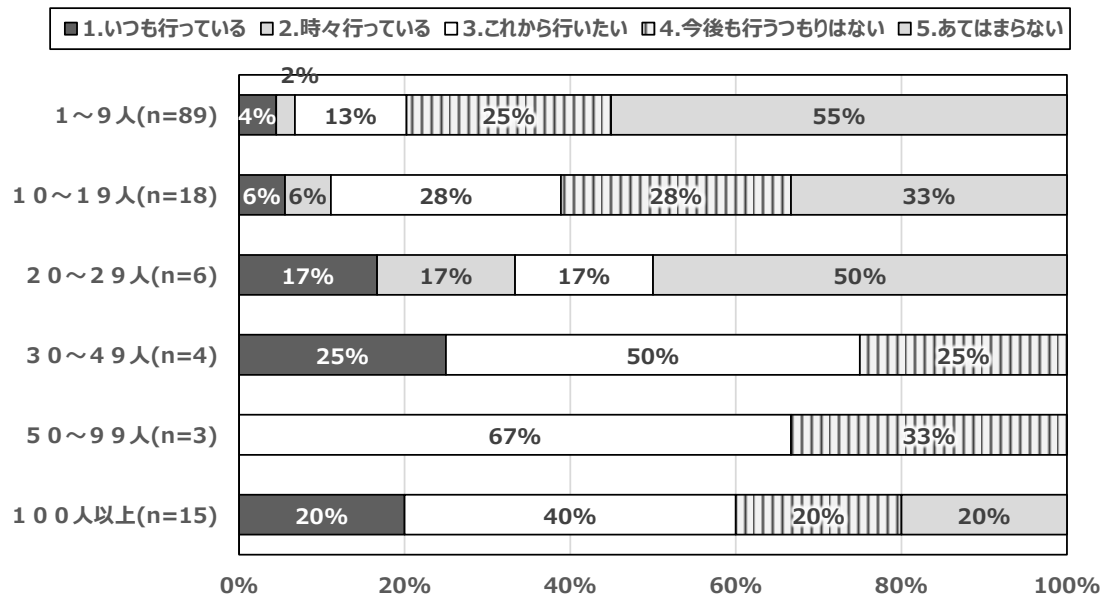
図 2-115 環境に配慮した製品やサービスを提供している(従業員数別分析)

表 2-115 環境に配慮した製品やサービスを提供している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	11%(10)	21%(19)	9%(8)	14%(13)	45%(41)	100%(91)
10～19 人	16%(3)	16%(3)	5%(1)	11%(2)	53%(10)	100%(19)
20～29 人	20%(1)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	60%(3)	100%(5)
30～49 人	25%(1)	50%(2)	0%(0)	0%(0)	25%(1)	100%(4)
50～99 人	33%(1)	33%(1)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	13%(2)	7%(1)	7%(1)	7%(1)	67%(10)	100%(15)

⑥環境マネジメントシステムを構築・運用している

概ね従業員数 50 人以上を除いて、従業員数の増加に従い、「1.いつも行っている」の割合は増加している。



※無回答 3 件は除いている

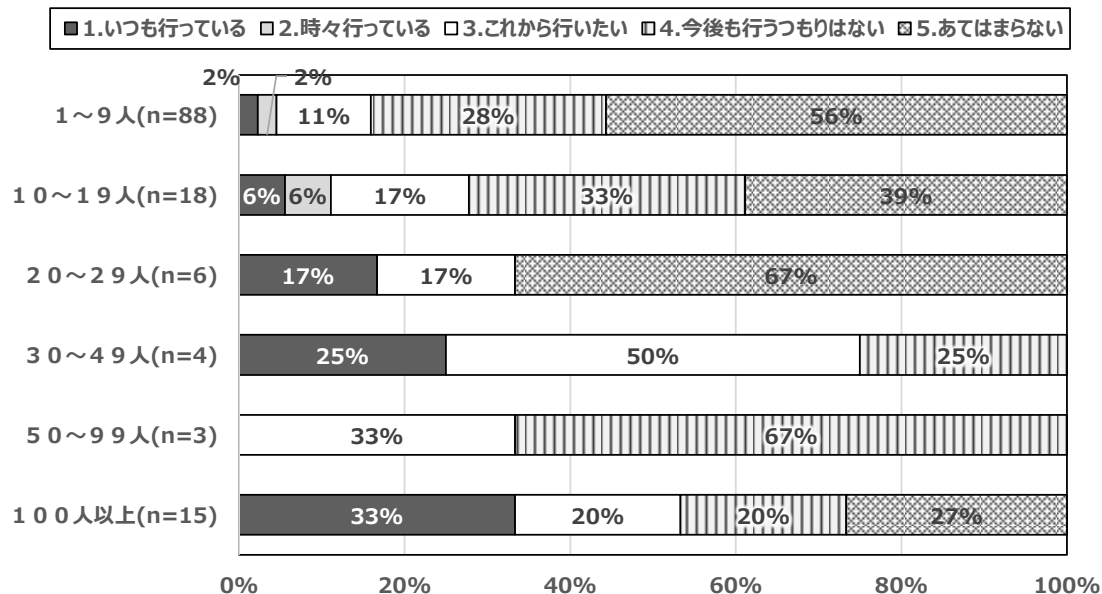
図 2-116 環境マネジメントシステムを構築・運用している(従業員数別分析)

表 2-116 環境マネジメントシステムを構築・運用している(従業員数別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	4%(4)	2%(2)	13%(12)	25%(22)	55%(49)	100%(89)
10～19 人	6%(1)	6%(1)	28%(5)	28%(5)	33%(6)	100%(18)
20～29 人	17%(1)	17%(1)	17%(1)	0%(0)	50%(3)	100%(6)
30～49 人	25%(1)	0%(0)	50%(2)	25%(1)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	0%(0)	67%(2)	33%(1)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	20%(3)	0%(0)	40%(6)	20%(3)	20%(3)	100%(15)

⑦環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、従業員数 50~99 人を除き従業員の増加とともに高くなる。



※無回答 3 件は除いている

図 2-117 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている(従業員数別分析)

表 2-117 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている(従業員数別分析)

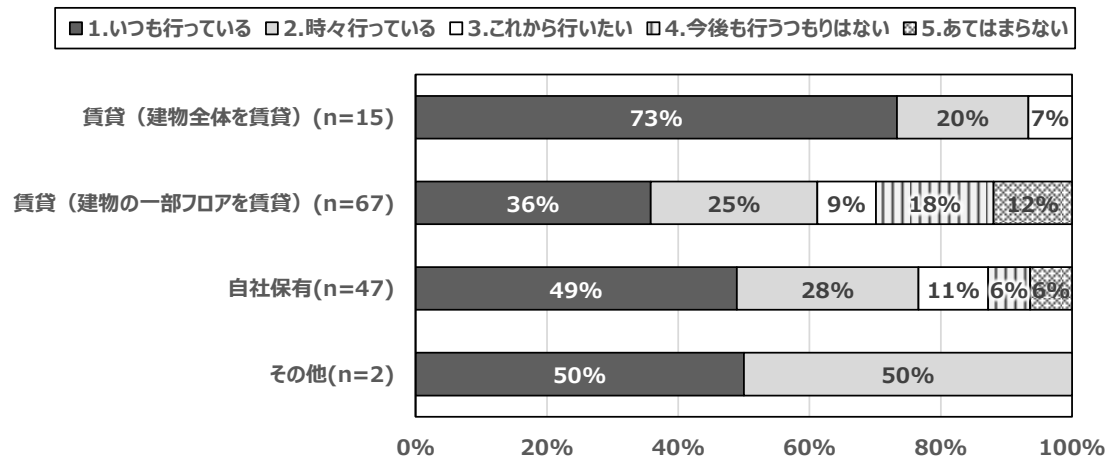
	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
1～9 人	2%(2)	2%(2)	11%(10)	28%(25)	56%(49)	100%(88)
10～19 人	6%(1)	6%(1)	17%(3)	33%(6)	39%(7)	100%(18)
20～29 人	17%(1)	0%(0)	17%(1)	0%(0)	67%(4)	100%(6)
30～49 人	25%(1)	0%(0)	50%(2)	25%(1)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	0%(0)	33%(1)	67%(2)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	33%(5)	0%(0)	20%(3)	20%(3)	27%(4)	100%(15)

4) 建物所有形態別分析

a) 省エネルギーに配慮した行動

①夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている

「1.いつも行っている」は、賃貸(建物全体を賃貸)で 70%以上と最も高い。



※無回答 6 件は除いている

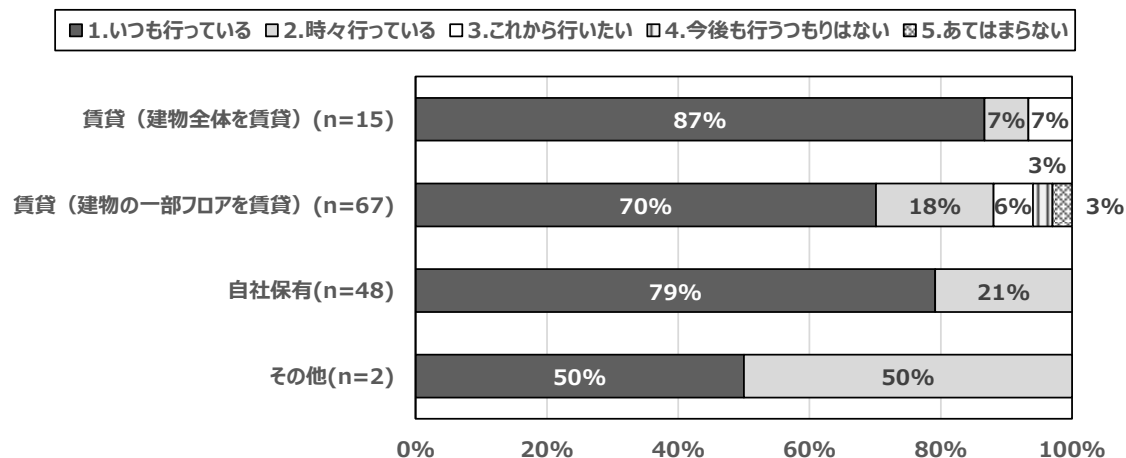
図 2-118 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている(建物所有形態別分析)

表 2-118 夏は 28℃、冬は 20℃を目安に空調の温度設定をしている(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	73%(11)	20%(3)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	36%(24)	25%(17)	9%(6)	18%(12)	12%(8)	100%(67)
自社保有	49%(23)	28%(13)	11%(5)	6%(3)	6%(3)	100%(47)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

②使用していない照明はこまめに消している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの建物所有形態においても80%以上と高い。



※無回答 5 件は除いている

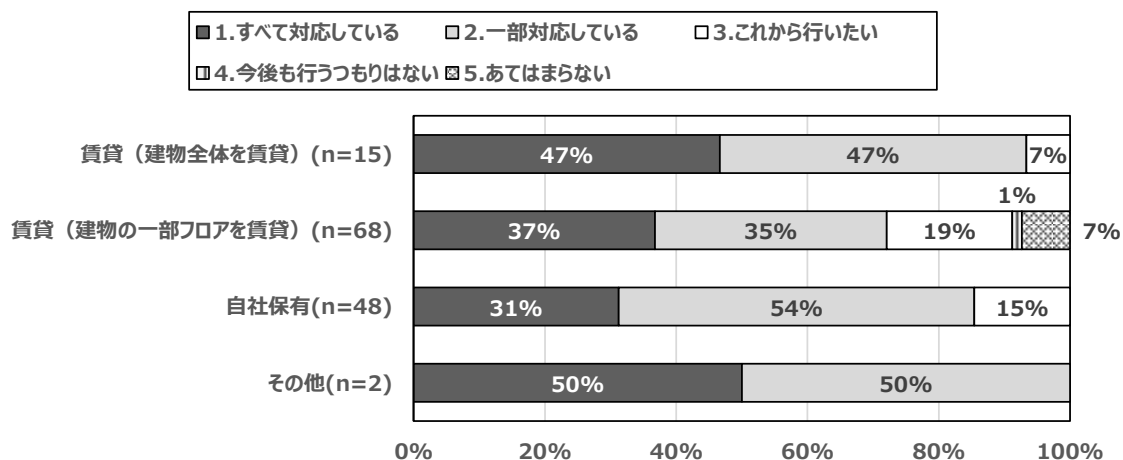
図 2-119 使用していない照明はこまめに消している(建物所有形態別分析)

表 2-119 使用していない照明はこまめに消している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	87%(13)	7%(1)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	70%(47)	18%(12)	6%(4)	3%(2)	3%(2)	100%(67)
自社保有	79%(38)	21%(10)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(48)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

③照明を LED 化している

実施率(「1.すべて対応している」、「2.一部対応している」の合計)は、いずれの建物所有形態においても 70%以上と高い。



※無回答 6 件は除いている

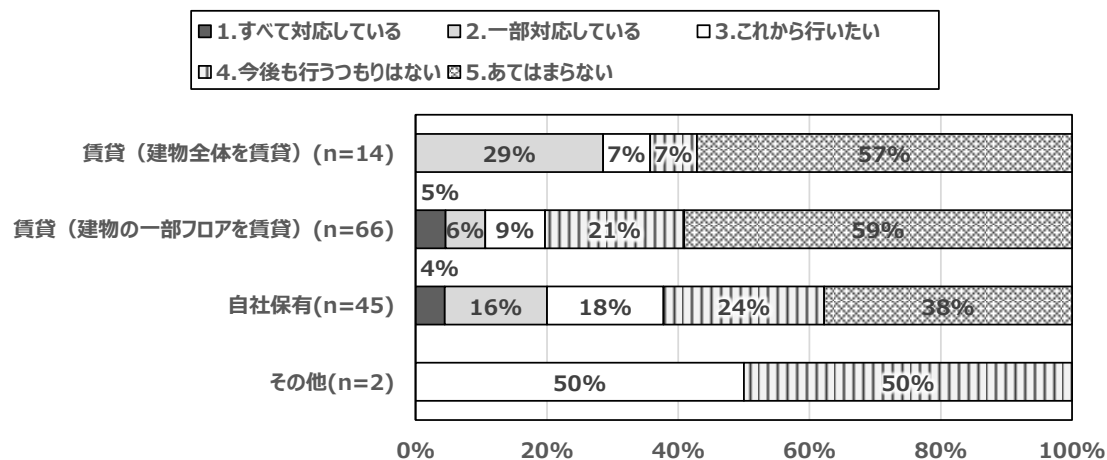
図 2-120 照明を LED 化している(建物所有形態別分析)

表 2-120 照明を LED 化している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	47%(7)	47%(7)	7%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	37%(25)	35%(24)	19%(13)	1%(1)	7%(5)	100%(68)
自社保有	31%(15)	54%(26)	15%(7)	0%(0)	0%(0)	100%(48)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

④事業用車をEV化(PHEVも含む)している

建築所有形態別の傾向は見られない。



※無回答 6 件は除いている

図 2-121 事業用車をEV化(PHEVも含む)している(建物所有形態別分析)

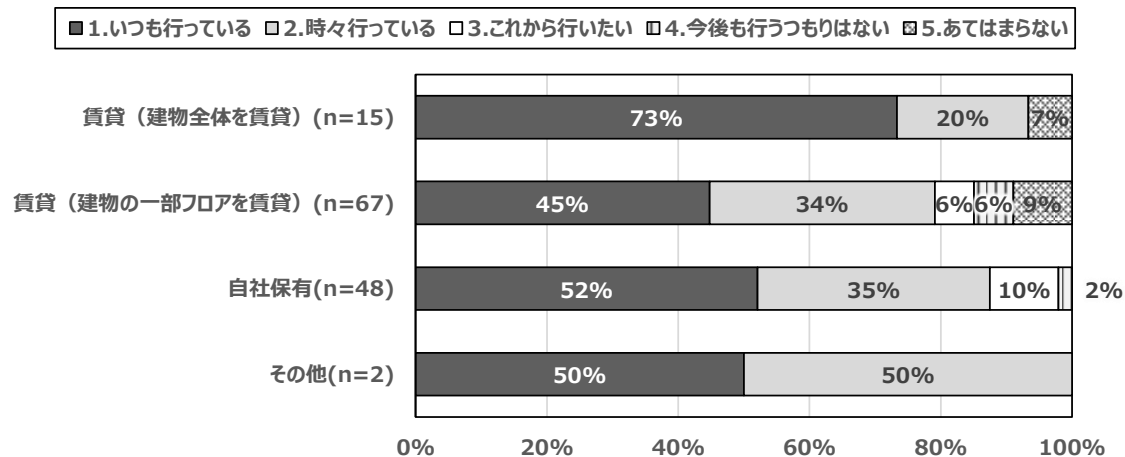
表 2-121 事業用車をEV化(PHEVも含む)している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.すべて対応している	2.一部対応している	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	0%(0)	29%(4)	7%(1)	7%(1)	57%(8)	100%(14)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	5%(3)	6%(4)	9%(6)	21%(14)	59%(39)	100%(66)
自社保有	4%(2)	16%(7)	18%(8)	24%(11)	38%(17)	100%(45)
その他	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	0%(0)	100%(2)

b) 資源の循環利用に配慮した行動

①事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの建物所有形態においても70%以上と高い。



※無回答 6 件は除いている

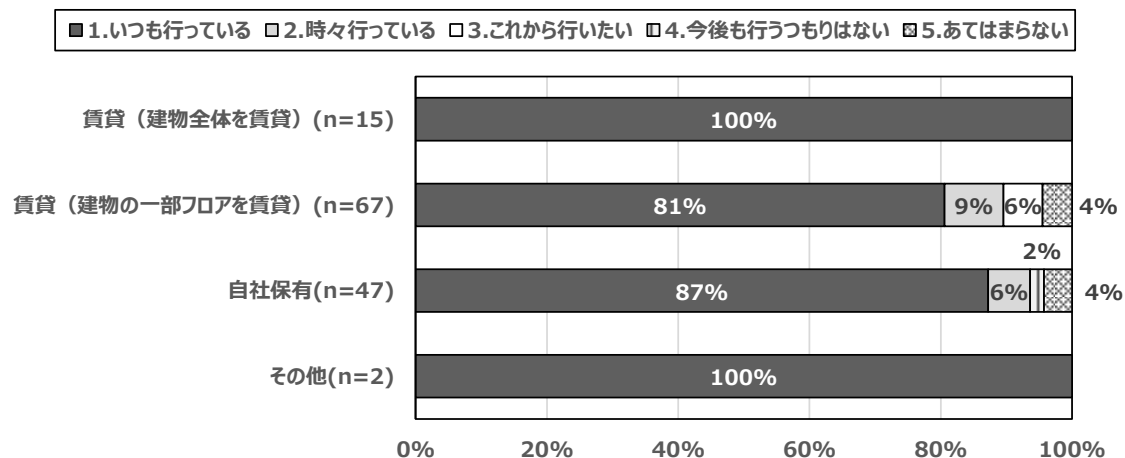
図 2-122 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している(建物所有形態別分析)

表 2-122 事業活動から出る廃棄物が少なくなるよう活動を見直している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	73%(11)	20%(3)	0%(0)	0%(0)	7%(1)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	45%(30)	34%(23)	6%(4)	6%(4)	9%(6)	100%(67)
自社保有	52%(25)	35%(17)	10%(5)	2%(1)	0%(0)	100%(48)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

②プラスチックを分別している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの建物所有形態においても90%以上と高い。



※無回答 6 件は除いている

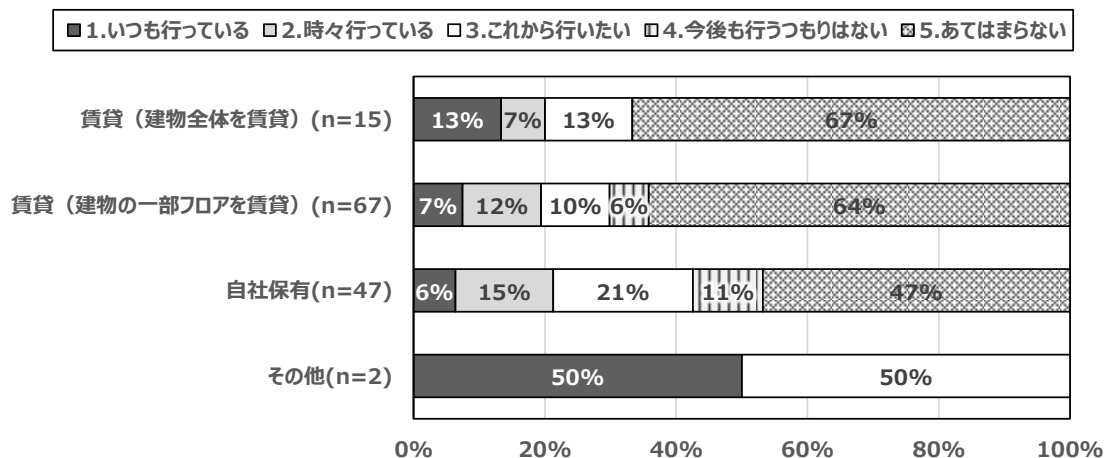
図 2-123 プラスチックを分別している(建物所有形態別分析)

表 2-123 プラスチックを分別している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	100%(15)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	81%(54)	9%(6)	6%(4)	0%(0)	4%(3)	100%(67)
自社保有	87%(41)	6%(3)	0%(0)	2%(1)	4%(2)	100%(47)
その他	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

③フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いた建物所有形態において 20%程度と低い。



※無回答 6 件は除いている

図 2-124 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(建物所有形態別分析)

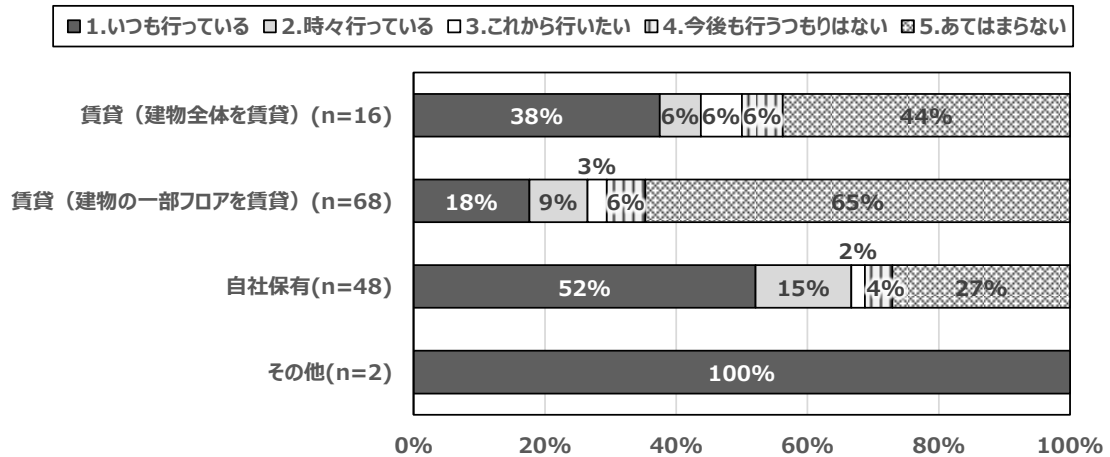
表 2-124 フードドライブ(未利用食品の回収)に協力している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	13%(2)	7%(1)	13%(2)	0%(0)	67%(10)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	7%(5)	12%(8)	10%(7)	6%(4)	64%(43)	100%(67)
自社保有	6%(3)	15%(7)	21%(10)	11%(5)	47%(22)	100%(47)
その他	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

c) 自然環境に配慮した行動

①樹木や生垣などのみどりを保全している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いて自社保有が67%と最も高い。次いで「賃貸(建物全体を賃貸)」が44%である。



※無回答 6 件は除いている

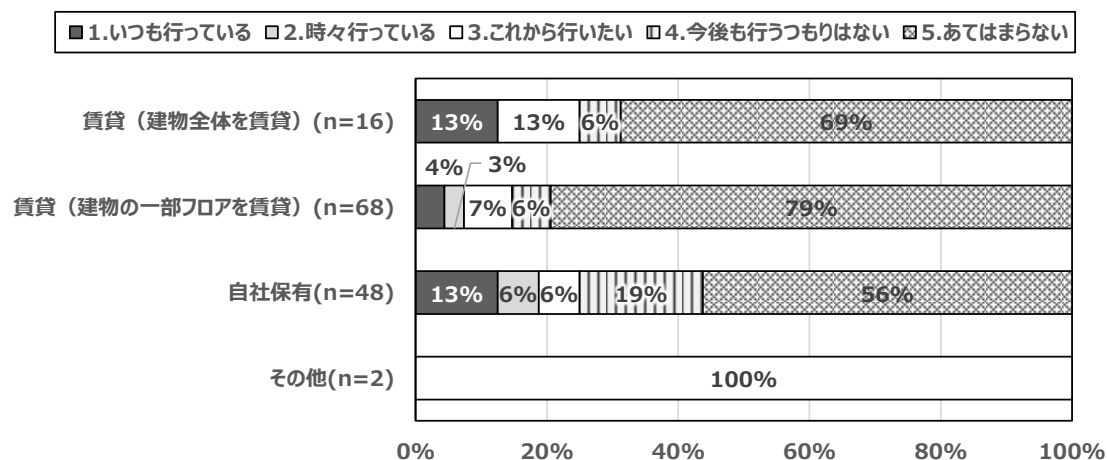
図 2-125 樹木や生垣などのみどりを保全している(建物所有形態別分析)

表 2-125 樹木や生垣などのみどりを保全している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつもも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	38%(6)	6%(1)	6%(1)	6%(1)	44%(7)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	18%(12)	9%(6)	3%(2)	6%(4)	65%(44)	100%(68)
自社保有	52%(25)	15%(7)	2%(1)	4%(2)	27%(13)	100%(48)
その他	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

②ビオトープなどの水辺を保全・創出している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、いずれの建物所有形態においても20%未満である。



※無回答 5 件は除いている

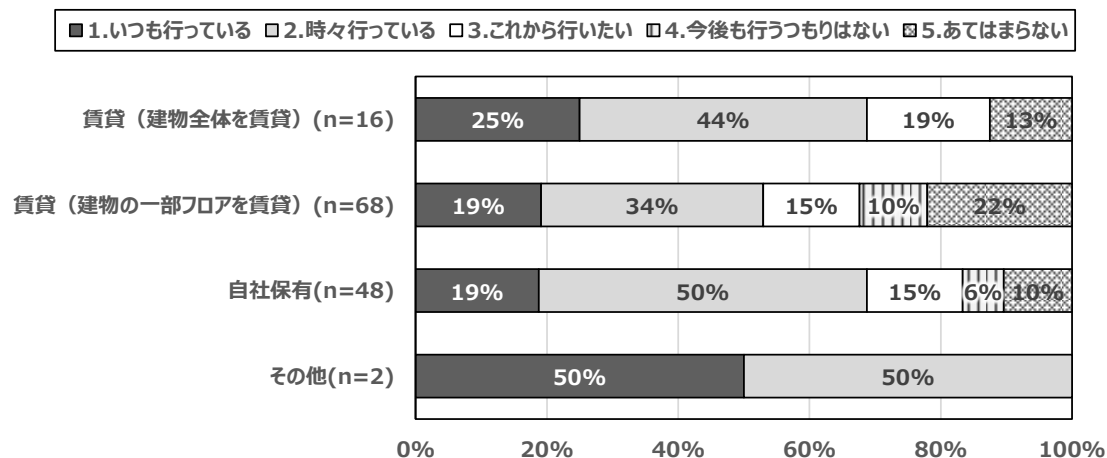
図 2-126 ビオトープなどの水辺を保全・創出している(建物所有形態別分析)

表 2-126 ビオトープなどの水辺を保全・創出している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	13%(2)	0%(0)	13%(2)	6%(1)	69%(11)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	4%(3)	3%(2)	7%(5)	6%(4)	79%(54)	100%(68)
自社保有	13%(6)	6%(3)	6%(3)	19%(9)	56%(27)	100%(48)
その他	0%(0)	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

③エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「賃貸(建物全体を賃貸)」、「自社保有」で 70%程度である。



※無回答 6 件は除いている

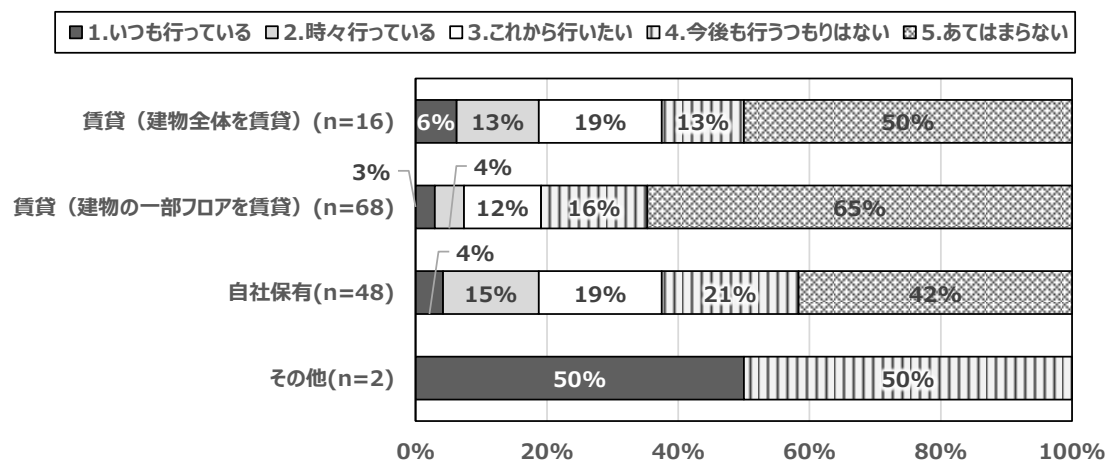
図 2-127 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(建物所有形態別分析)

表 2-127 エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を買うようにしている(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	25%(4)	44%(7)	19%(3)	0%(0)	13%(2)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	19%(13)	34%(23)	15%(10)	10%(7)	22%(15)	100%(68)
自社保有	19%(9)	50%(24)	15%(7)	6%(3)	10%(5)	100%(48)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

④生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いた建物所有形態において 20%未満である。



※無回答 6 件は除いている

図 2-128 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(建物所有形態別分析)

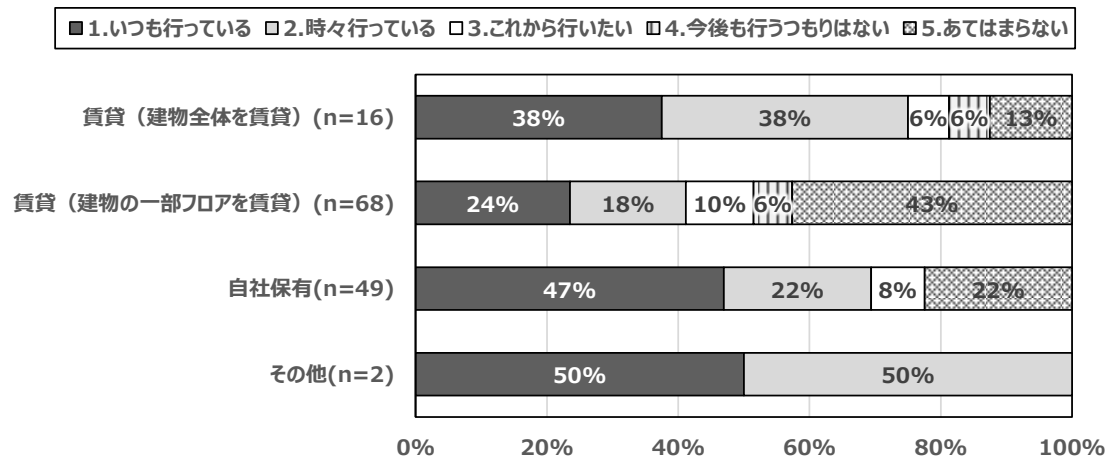
表 2-128 生きものの保護や外来生物の駆除などの活動に参加している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	6%(1)	13%(2)	19%(3)	13%(2)	50%(8)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	3%(2)	4%(3)	12%(8)	16%(11)	65%(44)	100%(68)
自社保有	4%(2)	15%(7)	19%(9)	21%(10)	42%(20)	100%(48)
その他	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)

d) 暮らしの快適・安全に配慮した行動

①事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いた建物所有形態において「賃貸(建物全体を賃貸)」で76%と最も高く、次いで「自社保有」で69%である。



※無回答 6 件は除いている

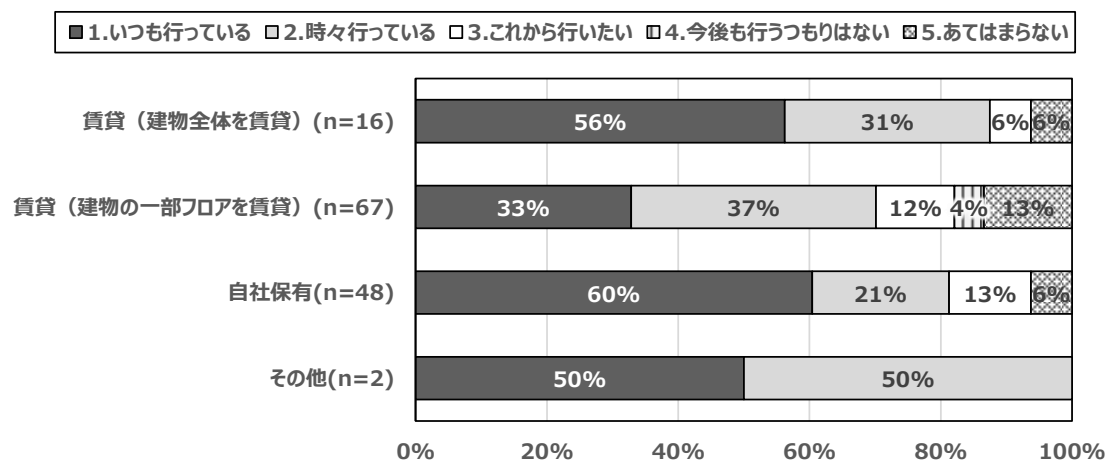
図 2-129 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる(建物所有形態別分析)

表 2-129 事業活動に伴う公害(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭など)の対策に取り組んでいる(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	38%(6)	38%(6)	6%(1)	6%(1)	13%(2)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	24%(16)	18%(12)	10%(7)	6%(4)	43%(29)	100%(68)
自社保有	47%(23)	22%(11)	8%(4)	0%(0)	22%(11)	100%(49)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

②事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「賃貸(建物の一部フロアを賃貸)」を除いた建物所有形態において 80%以上である。



※無回答 6 件は除いている

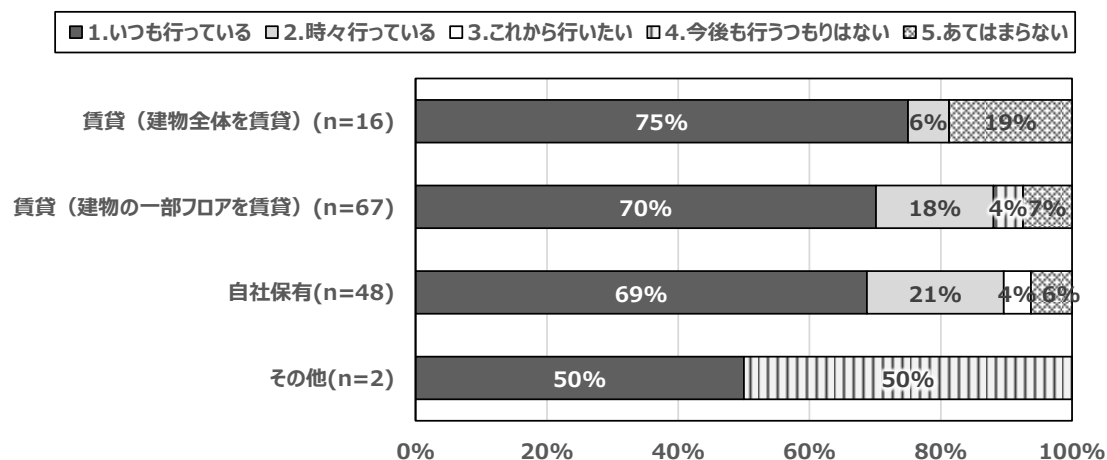
図 2-130 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる(建物所有形態別分析)

表 2-130 事業所内や周辺の美化活動に取り組んでいる(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	56%(9)	31%(5)	6%(1)	0%(0)	6%(1)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	33%(22)	37%(25)	12%(8)	4%(3)	13%(9)	100%(67)
自社保有	60%(29)	21%(10)	13%(6)	0%(0)	6%(3)	100%(48)
その他	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

③従業員の熱中症対策に取り組んでいる

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いた建物所有形態において 80%以上である。



※無回答 6 件は除いている

図 2-131 従業員の熱中症対策に取り組んでいる(建物所有形態別分析)

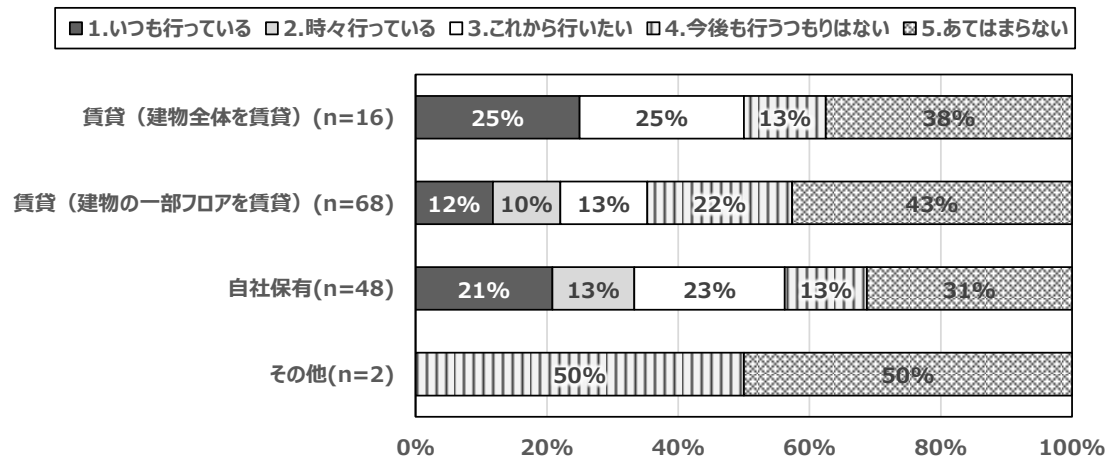
表 2-131 従業員の熱中症対策に取り組んでいる(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	75%(12)	6%(1)	0%(0)	0%(0)	19%(3)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	70%(47)	18%(12)	0%(0)	4%(3)	7%(5)	100%(67)
自社保有	69%(33)	21%(10)	4%(2)	0%(0)	6%(3)	100%(48)
その他	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)

e) 環境に配慮した取組を行うための制度の構築や従業員の教育

①環境に配慮した取組を行うための担当者がある

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いた建物所有形態において 20～30%程度である。



※無回答 6 件は除いている

図 2-132 環境に配慮した取組を行うための担当者がある(建物所有形態別分析)

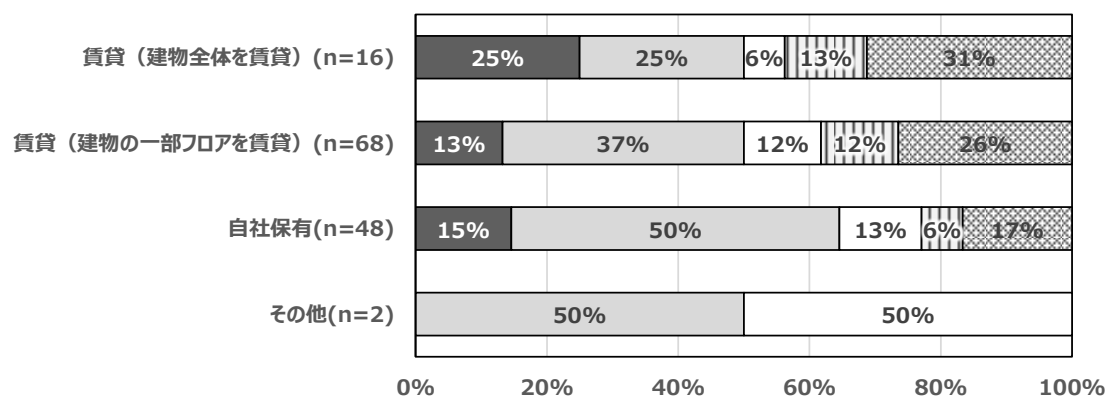
表 2-132 環境に配慮した取組を行うための担当者がある(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	25%(4)	0%(0)	25%(4)	13%(2)	38%(6)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	12%(8)	10%(7)	13%(9)	22%(15)	43%(29)	100%(68)
自社保有	21%(10)	13%(6)	23%(11)	13%(6)	31%(15)	100%(48)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)

②環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「自社保有」が65%と最も高い。

■ 1.いつも行っている □ 2.時々行っている □ 3.これから行いたい □ 4.今後も行うつもりはない □ 5.あてはまらない



※無回答 6 件は除いている

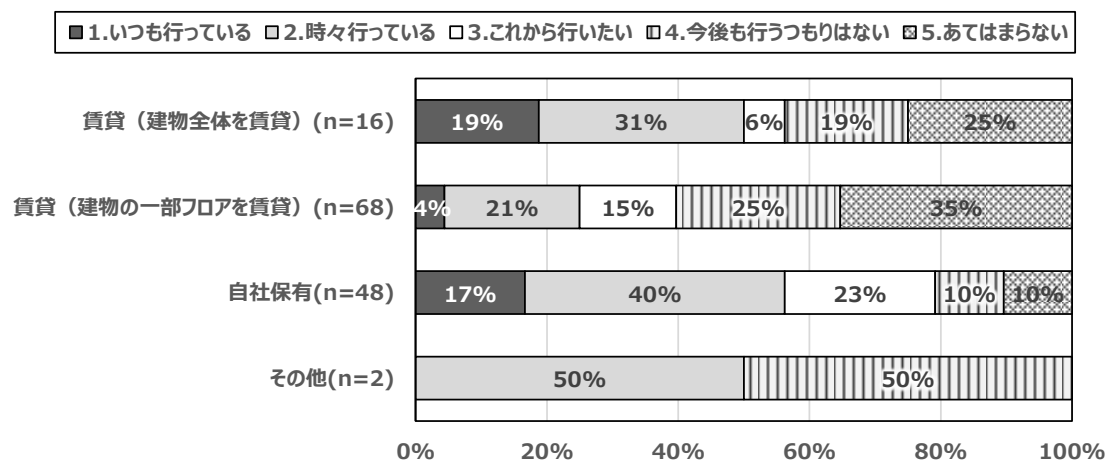
図 2-133 環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している(建物所有形態別分析)

表 2-133 環境に関する情報を、オープンソース(インターネット、一般雑誌など)から収集している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	25%(4)	25%(4)	6%(1)	13%(2)	31%(5)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	13%(9)	37%(25)	12%(8)	12%(8)	26%(18)	100%(68)
自社保有	15%(7)	50%(24)	13%(6)	6%(3)	17%(8)	100%(48)
その他	0%(0)	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)

③環境に関する情報を、業界団体等から収集している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「賃貸(建物の一部フロアを賃貸)」が25%と最も低い。



※無回答 6 件は除いている

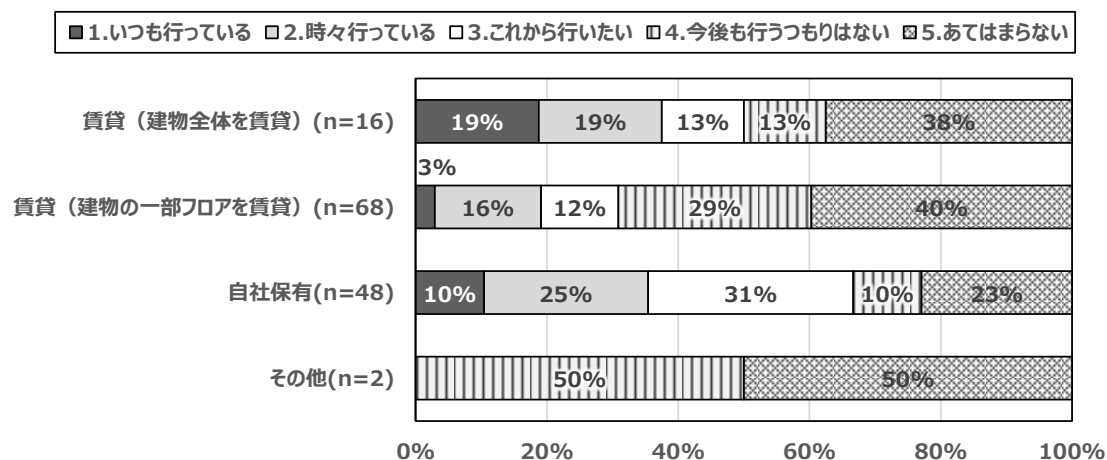
図 2-134 環境に関する情報を、業界団体等から収集している(建物所有形態別分析)

表 2-134 環境に関する情報を、業界団体等から収集している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	19%(3)	31%(5)	6%(1)	19%(3)	25%(4)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	4%(3)	21%(14)	15%(10)	25%(17)	35%(24)	100%(68)
自社保有	17%(8)	40%(19)	23%(11)	10%(5)	10%(5)	100%(48)
その他	0%(0)	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)

④従業員に対する環境教育・研修を実施している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「その他」を除いて 20～40%程度である。「1.いつも行っている」は、「賃貸(建物の一部フロアを賃貸)」が 3%と最も低い。



※無回答 6 件は除いている

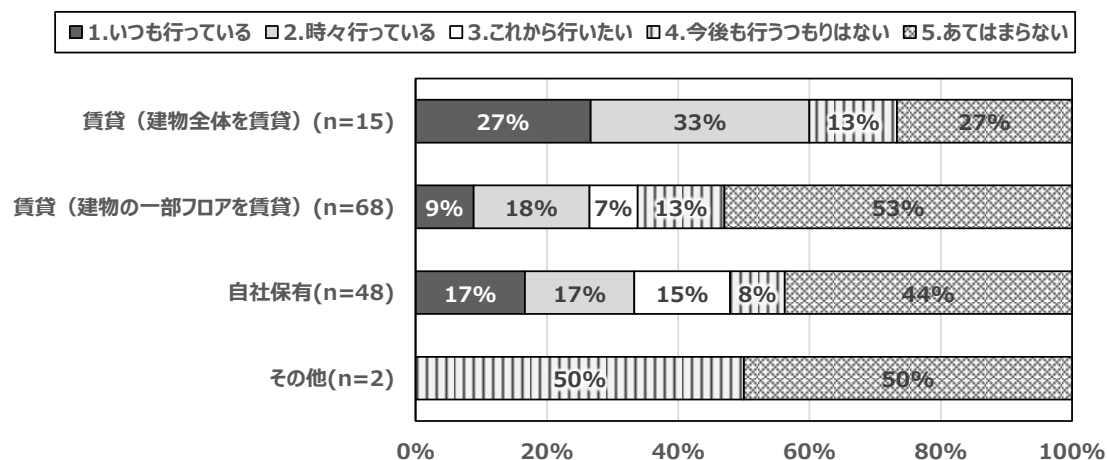
図 2-135 従業員に対する環境教育・研修を実施している(建物所有形態別分析)

表 2-135 従業員に対する環境教育・研修を実施している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	19%(3)	19%(3)	13%(2)	13%(2)	38%(6)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	3%(2)	16%(11)	12%(8)	29%(20)	40%(27)	100%(68)
自社保有	10%(5)	25%(12)	31%(15)	10%(5)	23%(11)	100%(48)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)

⑤環境に配慮した製品やサービスを提供している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「賃貸(建物全体を賃貸)」が 60%と最も高い。



※無回答 6 件は除いている

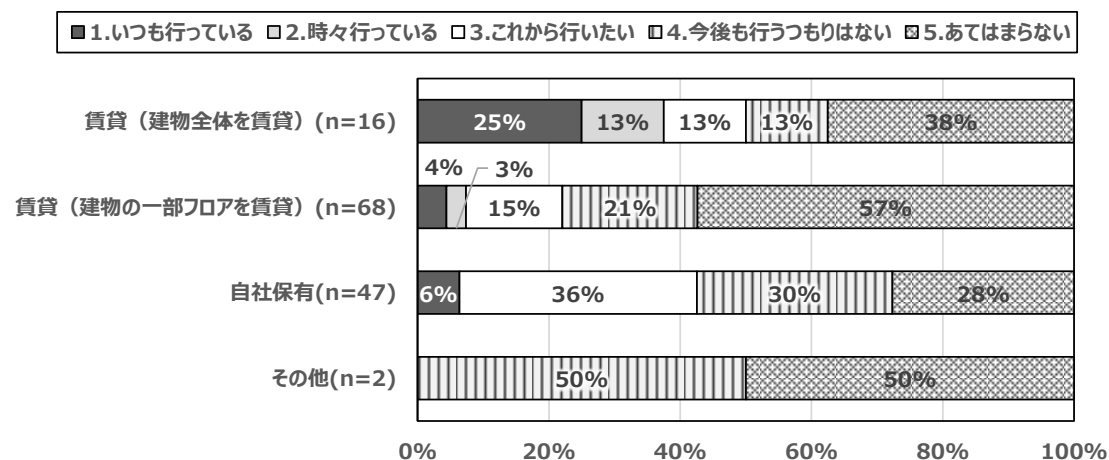
図 2-136 環境に配慮した製品やサービスを提供している(建物所有形態別分析)

表 2-136 環境に配慮した製品やサービスを提供している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	27%(4)	33%(5)	0%(0)	13%(2)	27%(4)	100%(15)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	9%(6)	18%(12)	7%(5)	13%(9)	53%(36)	100%(68)
自社保有	17%(8)	17%(8)	15%(7)	8%(4)	44%(21)	100%(48)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)

⑥環境マネジメントシステムを構築・運用している

実施率(「1.いつも行っている」、「2.時々行っている」の合計)は、「賃貸(建物全体を賃貸)」が 40%程度である。



※無回答 5 件は除いている

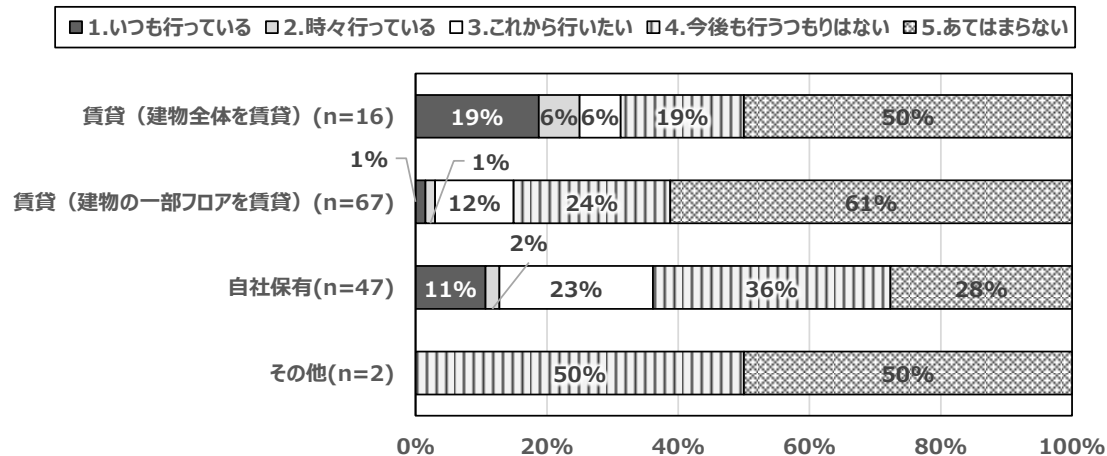
図 2-137 環境マネジメントシステムを構築・運用している(建物所有形態別分析)

表 2-137 環境マネジメントシステムを構築・運用している(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	25%(4)	13%(2)	13%(2)	13%(2)	38%(6)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	4%(3)	3%(2)	15%(10)	21%(14)	57%(39)	100%(68)
自社保有	6%(3)	0%(0)	36%(17)	30%(14)	28%(13)	100%(47)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)

⑦環境会計の実施や環境報告書の作成をしている

建物所有形態による傾向は見られない。



※無回答 5 件は除いている

図 2-138 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている(建物所有形態別分析)

表 2-138 環境会計の実施や環境報告書の作成をしている(建物所有形態別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	行っている		行っていない		5.あてはまらない	計(無回答を除く)
	1.いつも行っている	2.時々行っている	3.これから行いたい	4.今後も行うつもりはない		
賃貸(建物全体を賃貸)	19%(3)	6%(1)	6%(1)	19%(3)	50%(8)	100%(16)
賃貸(建物の一部フロアを賃貸)	1%(1)	1%(1)	12%(8)	24%(16)	61%(41)	100%(67)
自社保有	11%(5)	2%(1)	23%(11)	36%(17)	28%(13)	100%(47)
その他	0%(0)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	50%(1)	100%(2)

2.2.4 文京区内の Well-Being(幸福)な状態について

(1) 問 4

文京区内で“働く”視点で見た場合に、Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うものの枠を塗りつぶしてください。

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 1.とても重要
2.どちらかという重要
3.どちらともいえない | 4.どちらかという重要ではない
5.重要ではない |
|---------------------------------------|-----------------------------|

1) 全体

重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」の合計)は、「快適・安全社会」が 90%以上である。次いで「歴史や文化を身近に感じられる社会」が高い。

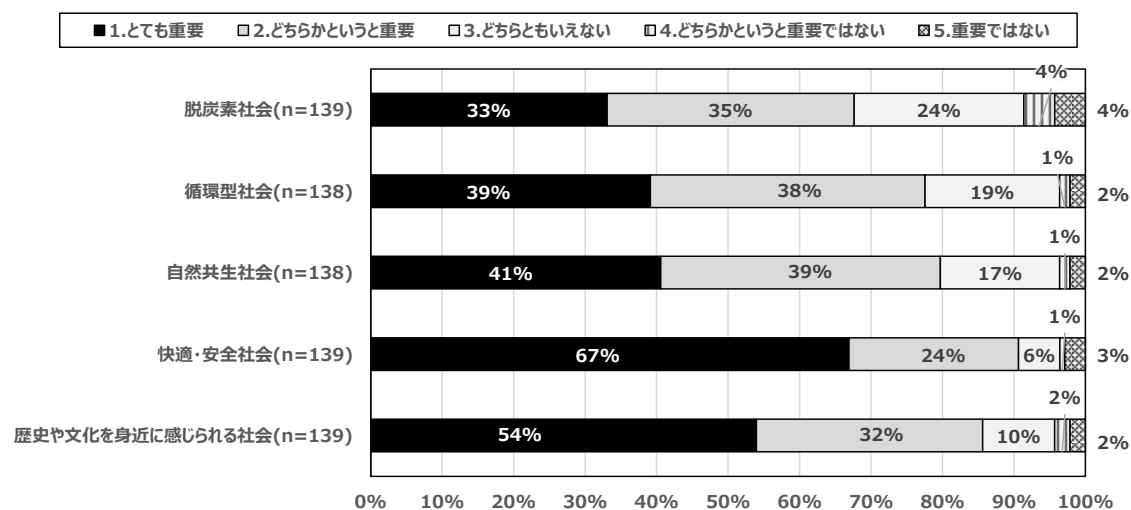


図 2-139 Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うもの

表 2-139 Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うもの

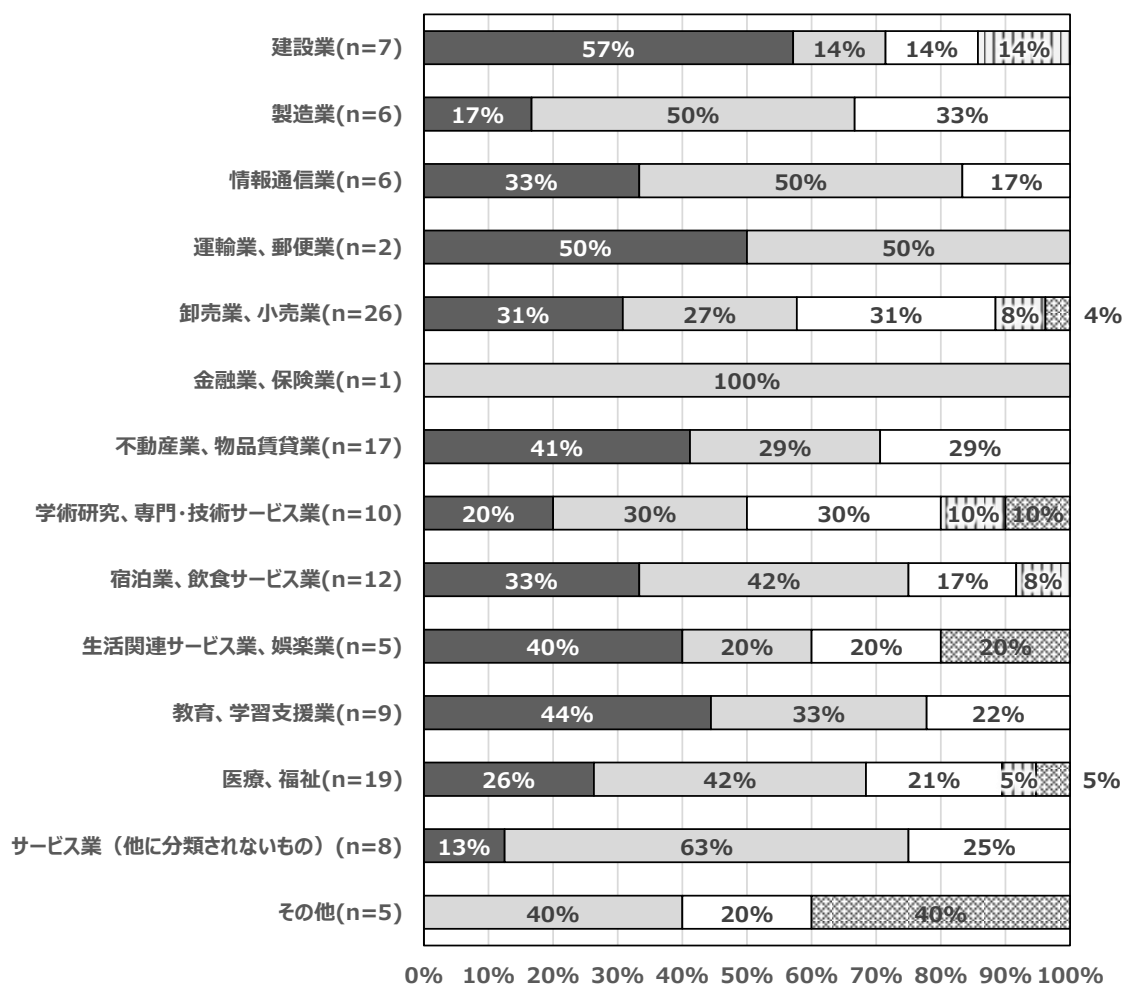
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	計(無回答を除く)
脱炭素社会	33%(46)	35%(48)	24%(33)	4%(6)	4%(6)	100%(139)
循環型社会	39%(54)	38%(53)	19%(26)	1%(2)	2%(3)	100%(138)
自然共生社会	41%(56)	39%(54)	17%(23)	1%(2)	2%(3)	100%(138)
快適・安全社会	67%(93)	24%(33)	6%(8)	1%(1)	3%(4)	100%(139)
歴史や文化を身近に感じられる社会	54%(75)	32%(44)	10%(14)	2%(3)	2%(3)	100%(139)

2) 業種別分析

a) 脱炭素社会

「1.とても重要」は「建設業」が 60%程度と最も高い。。

■ 1.とても重要 □ 2.どちらかという重要 □ 3.どちらともいえない □ 4.どちらかという重要ではない □ 5.重要ではない



※無回答 6 件は除いている

図 2-140 脱炭素社会(業種別分析)

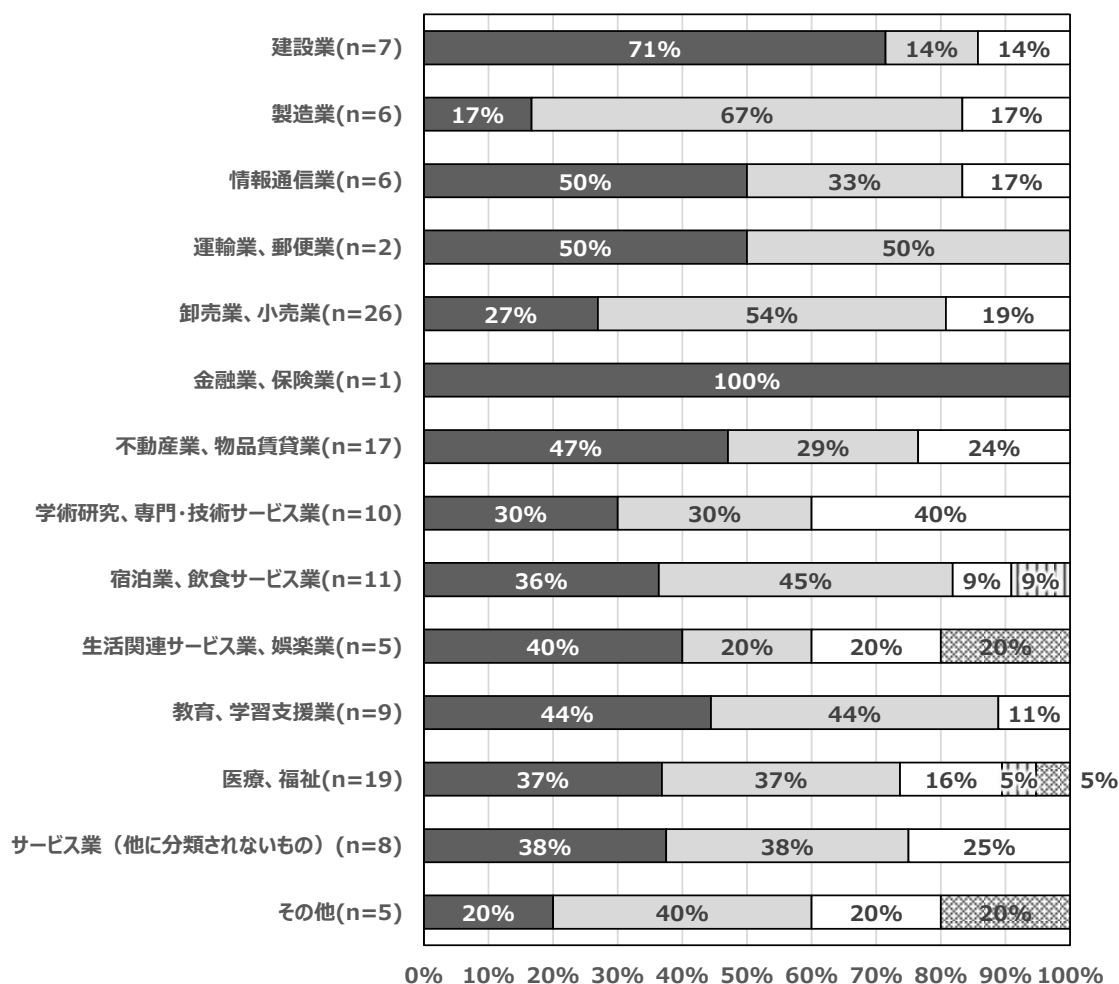
表 2-140 脱炭素社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちらかという と重要 ではない	5.重要では ない	計(無回答を 除く)
建設業	57%(4)	14%(1)	14%(1)	14%(1)	0%(0)	100%(7)
製造業	17%(1)	50%(3)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	33%(2)	50%(3)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	31%(8)	27%(7)	31%(8)	8%(2)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	41%(7)	29%(5)	29%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	20%(2)	30%(3)	30%(3)	10%(1)	10%(1)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	33%(4)	42%(5)	17%(2)	8%(1)	0%(0)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	44%(4)	33%(3)	22%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	26%(5)	42%(8)	21%(4)	5%(1)	5%(1)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	13%(1)	63%(5)	25%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	0%(0)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	40%(2)	100%(5)

b) 循環型社会

業種別の傾向は見られない。

■ 1.とても重要 □ 2.どちらかという重要 □ 3.どちらともいえない □ 4.どちらかという重要ではない □ 5.重要ではない



※無回答 6 件は除いている

図 2-141 循環型社会(業種別分析)

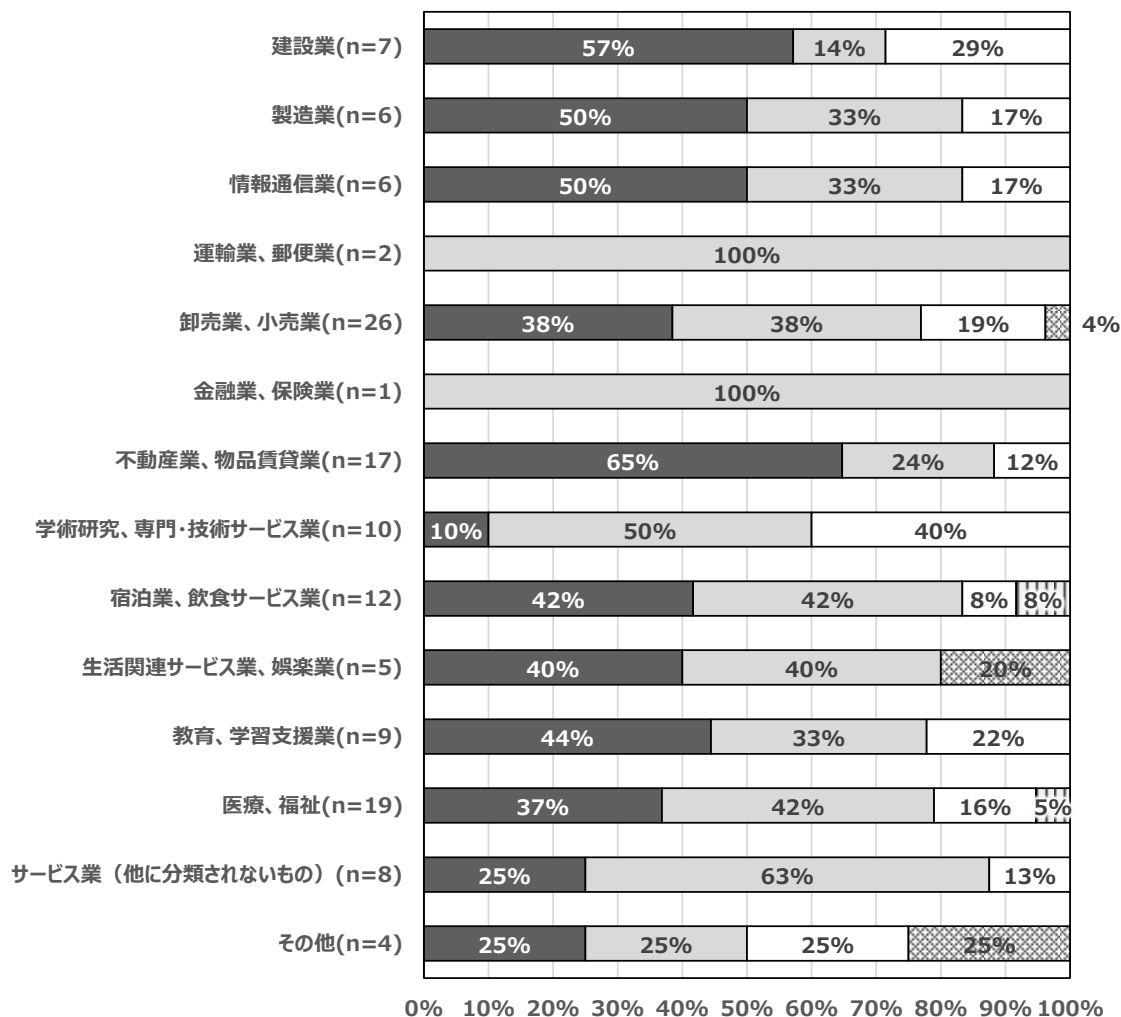
表 2-141 循環型社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちらかという と重要 ではない	5.重要では ない	計(無回答を 除く)
建設業	71%(5)	14%(1)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	17%(1)	67%(4)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	50%(3)	33%(2)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	50%(1)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	27%(7)	54%(14)	19%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	47%(8)	29%(5)	24%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	30%(3)	30%(3)	40%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	36%(4)	45%(5)	9%(1)	9%(1)	0%(0)	100%(11)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	44%(4)	44%(4)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	37%(7)	37%(7)	16%(3)	5%(1)	5%(1)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	38%(3)	38%(3)	25%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	20%(1)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

c) 自然共生社会

「1.とても重要」は「不動産業、物品賃貸業」が70%程度と最も高い。

■ 1.とても重要 □ 2.どちらかという重要 □ 3.どちらともいえない □ 4.どちらかという重要ではない □ 5.重要ではない



※無回答 6 件は除いている

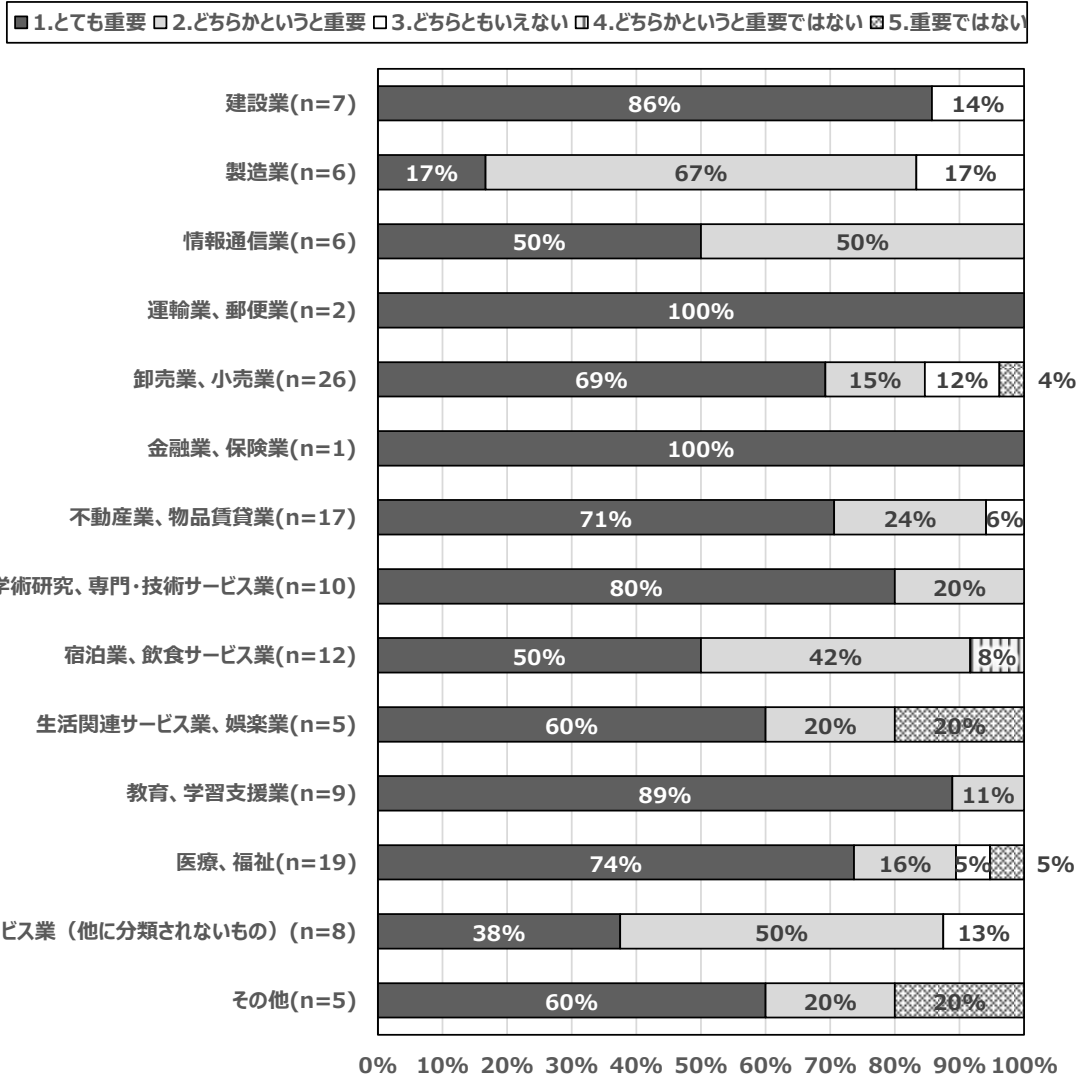
図 2-142 自然共生社会(業種別分析)

表 2-142 自然共生社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちらかという と重要 ではない	5.重要では ない	計(無回答を 除く)
建設業	57%(4)	14%(1)	29%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	50%(3)	33%(2)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	50%(3)	33%(2)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	38%(10)	38%(10)	19%(5)	0%(0)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	65%(11)	24%(4)	12%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	10%(1)	50%(5)	40%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	42%(5)	42%(5)	8%(1)	8%(1)	0%(0)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	40%(2)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	44%(4)	33%(3)	22%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	37%(7)	42%(8)	16%(3)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	25%(2)	63%(5)	13%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	25%(1)	25%(1)	25%(1)	0%(0)	25%(1)	100%(4)

d) 快適・安全社会

いずれの業種においても重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」)の割合は80%以上と高い。



※無回答 6 件は除いている

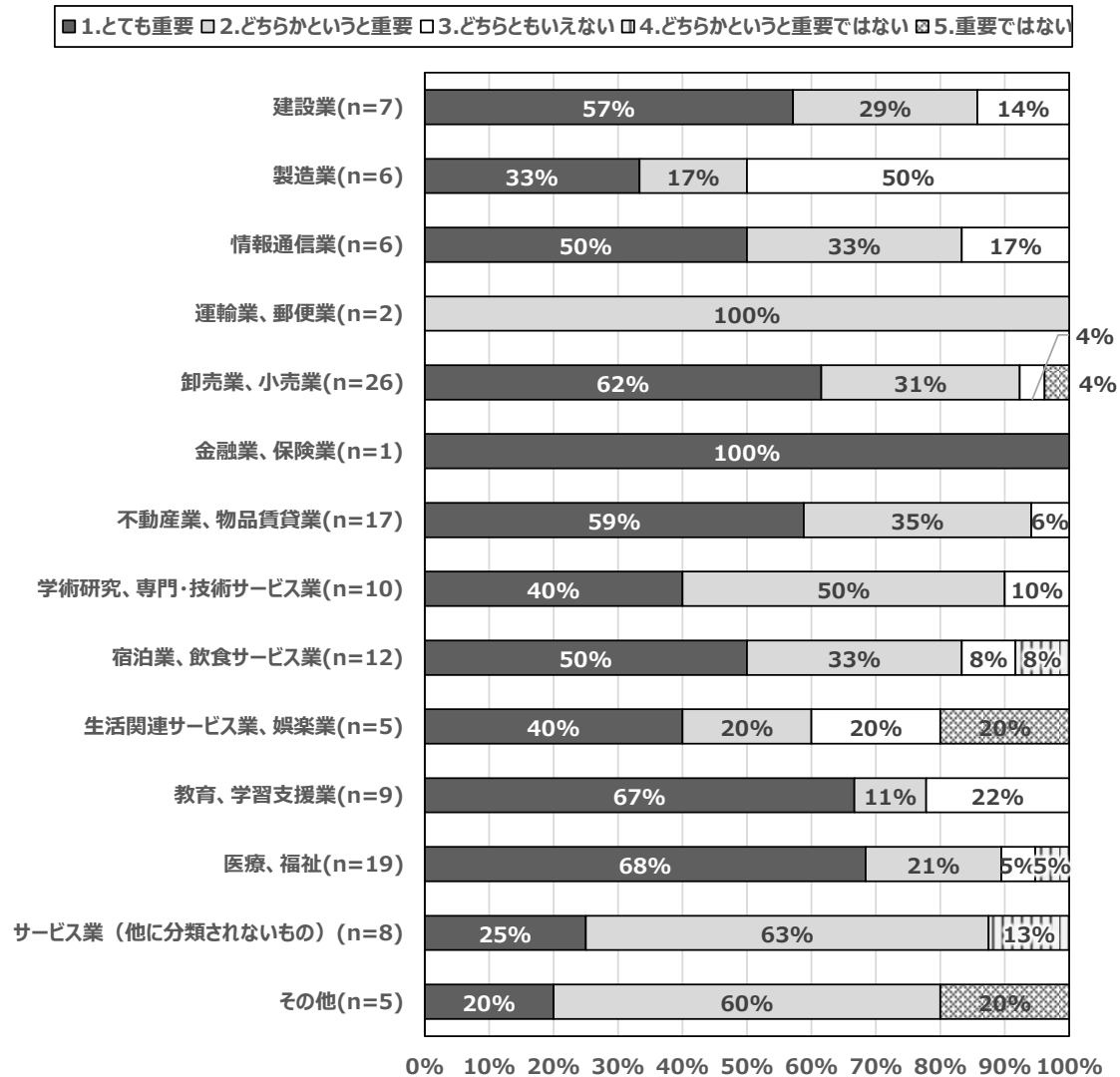
図 2-143 快適・安全社会(業種別分析)

表 2-143 快適・安全社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちらかという と重要 ではない	5.重要では ない	計(無回答を 除く)
建設業	86%(6)	0%(0)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	17%(1)	67%(4)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	50%(3)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	69%(18)	15%(4)	12%(3)	0%(0)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	71%(12)	24%(4)	6%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	80%(8)	20%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	50%(6)	42%(5)	0%(0)	8%(1)	0%(0)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	60%(3)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	89%(8)	11%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	74%(14)	16%(3)	5%(1)	0%(0)	5%(1)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	38%(3)	50%(4)	13%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	60%(3)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

e) 歴史や文化を身近に感じられる社会

「製造業」、「生活関連サービス業、娯楽業」について、重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」)の割合は低い。



※無回答 6 件は除いている

図 2-144 歴史や文化を身近に感じられる社会(業種別分析)

表 2-144 歴史や文化を身近に感じられる社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちらかという と重要 ではない	5.重要では ない	計(無回答を 除く)
建設業	57%(4)	29%(2)	14%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	33%(2)	17%(1)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	50%(3)	33%(2)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
運輸業、郵便業	0%(0)	100%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	62%(16)	31%(8)	4%(1)	0%(0)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険業	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	59%(10)	35%(6)	6%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(17)
学術研究、専門・技術サービス業	40%(4)	50%(5)	10%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(10)
宿泊業、飲食サービス業	50%(6)	33%(4)	8%(1)	8%(1)	0%(0)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	20%(1)	100%(5)
教育、学習支援業	67%(6)	11%(1)	22%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	68%(13)	21%(4)	5%(1)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	25%(2)	63%(5)	0%(0)	13%(1)	0%(0)	100%(8)
その他	20%(1)	60%(3)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

3) 従業員数別分析

a) 脱炭素社会

重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」)の割合はいずれの従業員数においても60%以上である。

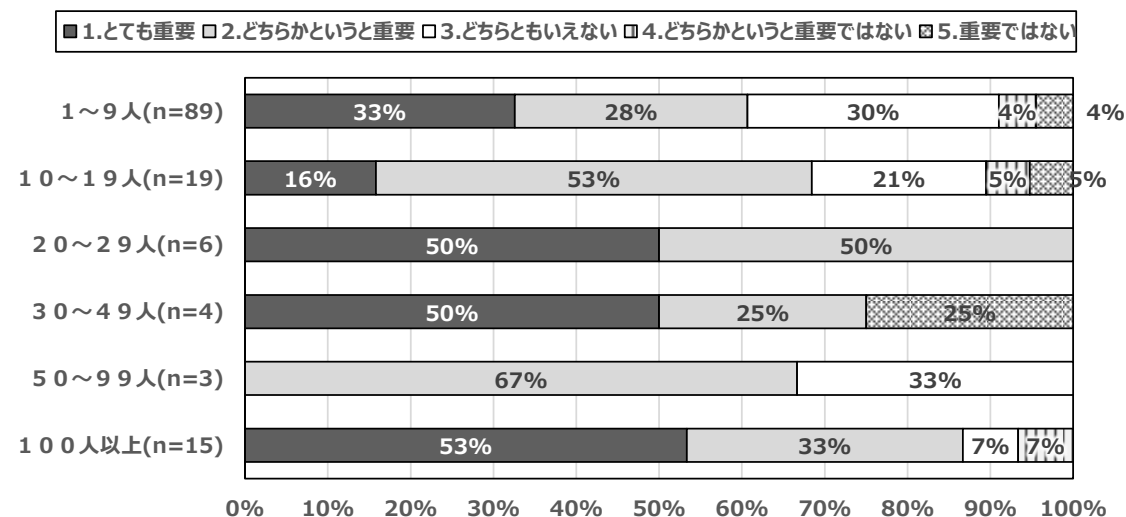


図 2-145 脱炭素社会(従業員数別)

表 2-145 脱炭素社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
1～9人	33%(29)	28%(25)	30%(27)	4%(4)	4%(4)	100%(89)
10～19人	16%(3)	53%(10)	21%(4)	5%(1)	5%(1)	100%(19)
20～29人	50%(3)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49人	50%(2)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	25%(1)	100%(4)
50～99人	0%(0)	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	53%(8)	33%(5)	7%(1)	7%(1)	0%(0)	100%(15)

b) 循環型社会

重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」)の割合はいずれの従業員数においても70%以上である。

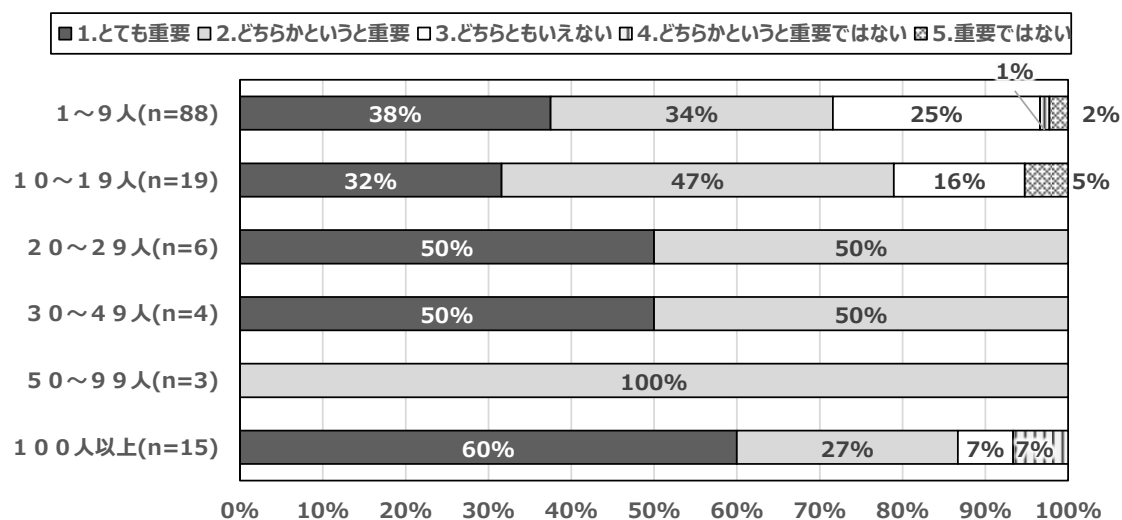


図 2-146 循環型社会(従業員数別)

表 2-146 循環型社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
1～9人	38%(33)	34%(30)	25%(22)	1%(1)	2%(2)	100%(88)
10～19人	32%(6)	47%(9)	16%(3)	0%(0)	5%(1)	100%(19)
20～29人	50%(3)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49人	50%(2)	50%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	0%(0)	100%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	60%(9)	27%(4)	7%(1)	7%(1)	0%(0)	100%(15)

c) 自然共生社会

重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」)の割合はいずれの従業員数においても70%以上である。

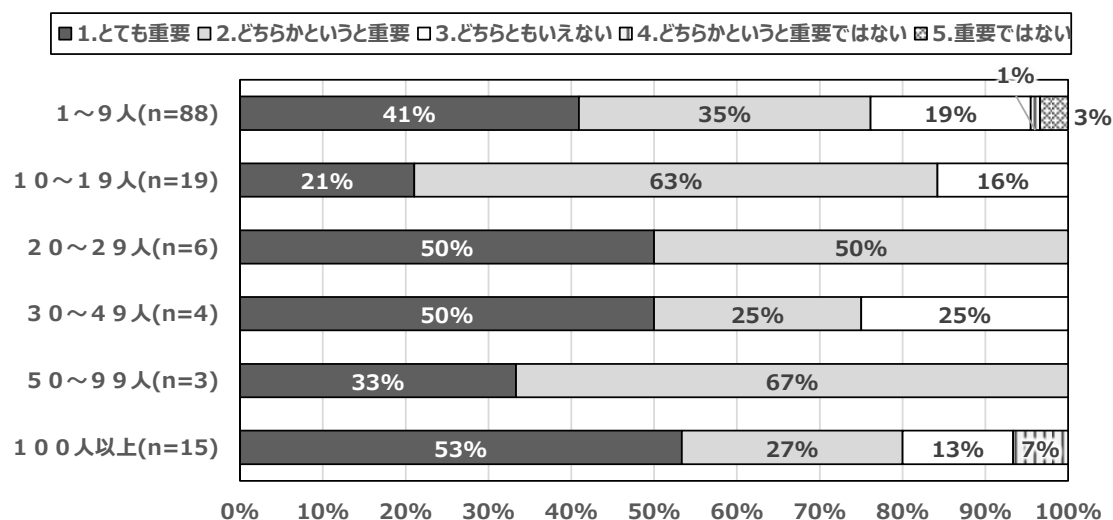


図 2-147 自然共生社会(従業員数別)

表 2-147 自然共生社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
1～9人	41%(36)	35%(31)	19%(17)	1%(1)	3%(3)	100%(88)
10～19人	21%(4)	63%(12)	16%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	50%(3)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49人	50%(2)	25%(1)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	53%(8)	27%(4)	13%(2)	7%(1)	0%(0)	100%(15)

d) 快適・安全社会

重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかというと重要」)の割合はいずれの従業員数においても70%以上である。

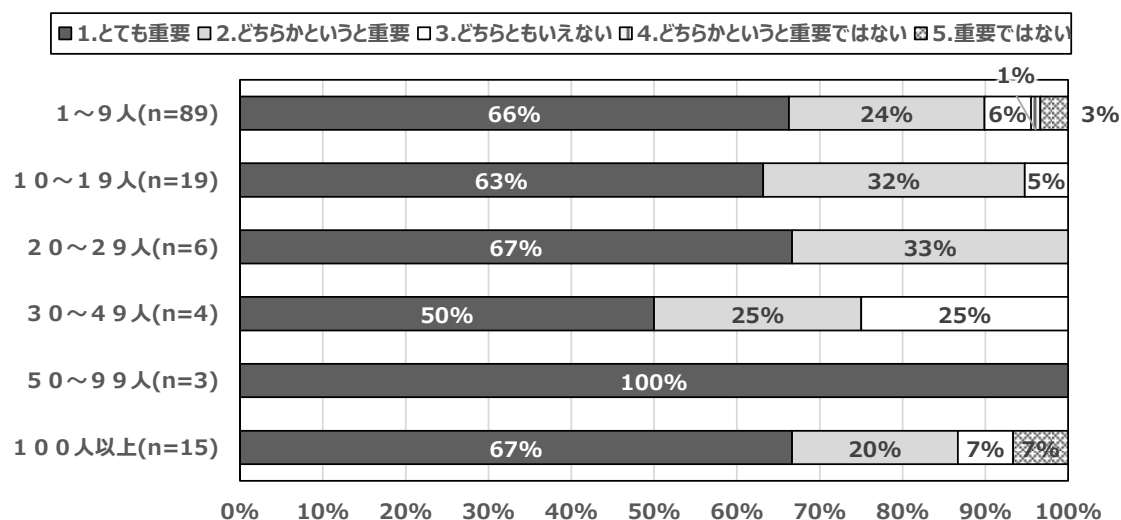


図 2-148 快適・安全社会(従業員数別)

表 2-148 快適・安全社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちらか というとは重要 ではない	5.重要では ない	計(無回答を 除く)
1～9人	66%(59)	24%(21)	6%(5)	1%(1)	3%(3)	100%(89)
10～19人	63%(12)	32%(6)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	67%(4)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49人	50%(2)	25%(1)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	100%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	67%(10)	20%(3)	7%(1)	0%(0)	7%(1)	100%(15)

e) 歴史や文化を身近に感じられる社会

重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかという重要」)の割合はいずれの従業員数においても70%以上である。

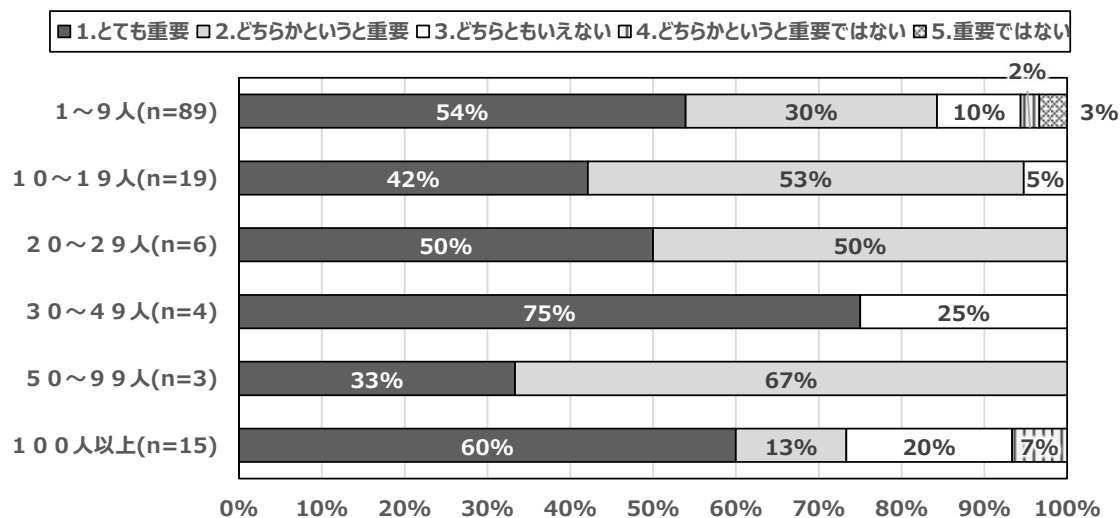


図 2-149 歴史や文化を身近に感じられる社会(従業員数別)

表 2-149 歴史や文化を身近に感じられる社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても重要	2.どちらかという重要	3.どちらともいえない	4.どちらかという重要ではない	5.重要ではない	
1～9人	54%(48)	30%(27)	10%(9)	2%(2)	3%(3)	100%(89)
10～19人	42%(8)	53%(10)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	50%(3)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49人	75%(3)	0%(0)	25%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	60%(9)	13%(2)	20%(3)	7%(1)	0%(0)	100%(15)

(2) 問 5

1) 全体

文京区内での満足度の現状について該当するものの枠を塗りつぶしてください。	
1.全く満足していない	4.どちらかという満足している
2.どちらかという満足していない	5.とても満足している
3.どちらともいえない	

満足度(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、「歴史や文化を身近に感じられる社会」が 70%前後と最も高い。次いで「快適・安全社会」が 60%と高い。

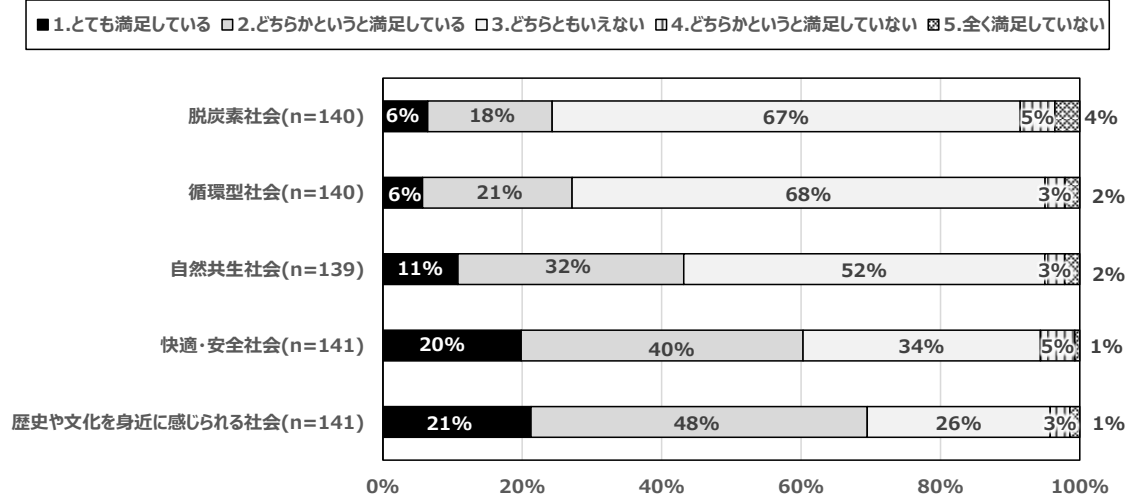


図 2-150 文京区内での満足度の現状

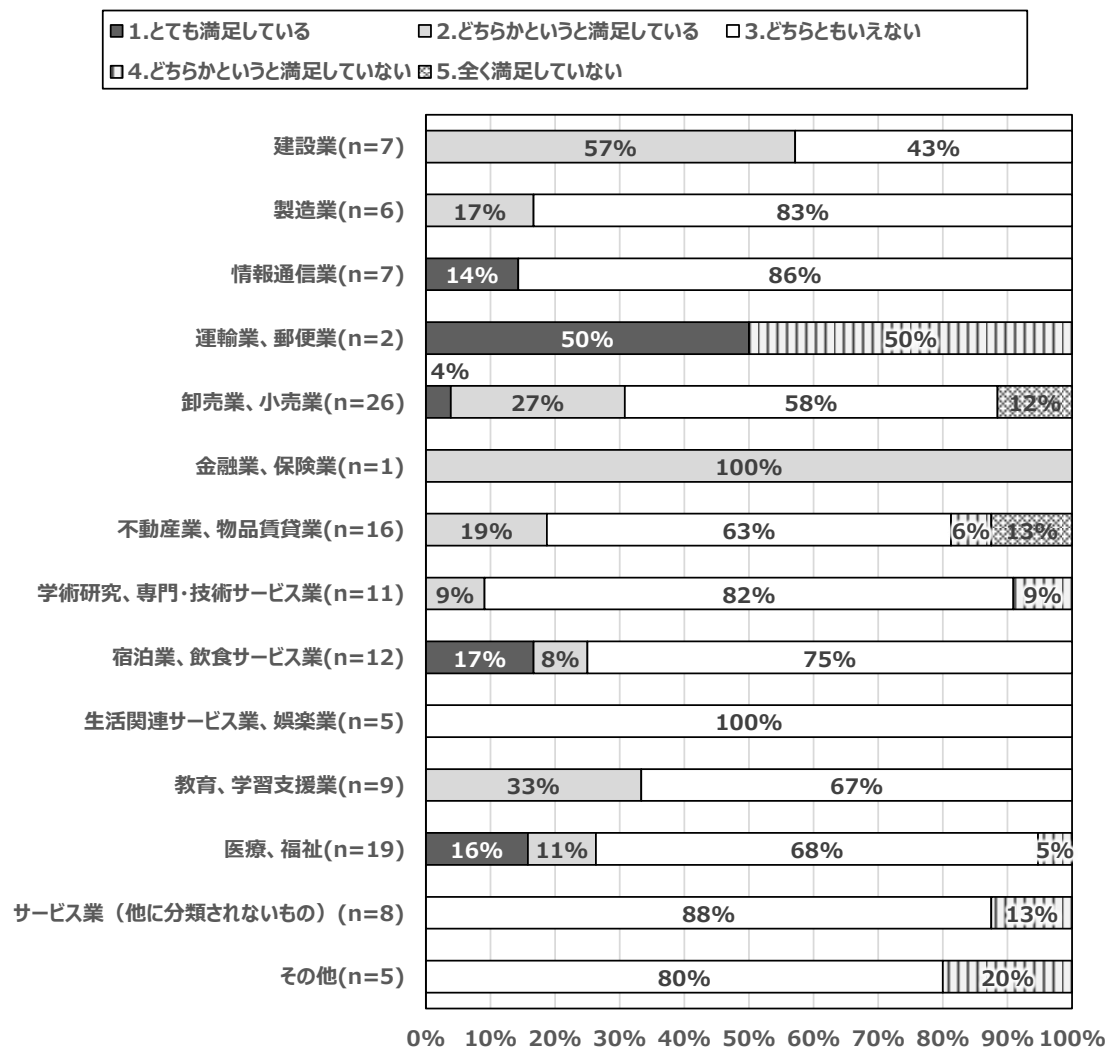
表 2-150 文京区内での満足度の現状

	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	計(無回答を除く)
脱炭素社会	6%(9)	18%(25)	67%(94)	5%(7)	4%(5)	100%(140)
循環型社会	6%(8)	21%(30)	68%(95)	3%(4)	2%(3)	100%(140)
自然共生社会	11%(15)	32%(45)	52%(72)	3%(4)	2%(3)	100%(139)
快適・安全社会	20%(28)	40%(57)	34%(48)	5%(7)	1%(1)	100%(141)
歴史や文化を身近に感じられる社会	21%(30)	48%(68)	26%(37)	3%(4)	1%(2)	100%(141)

2) 業種別分析

a) 脱炭素社会

「建設業」、「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」を除く業種で「3.どちらともいえない」の割合が最も高い。



※無回答 6 件は除いている

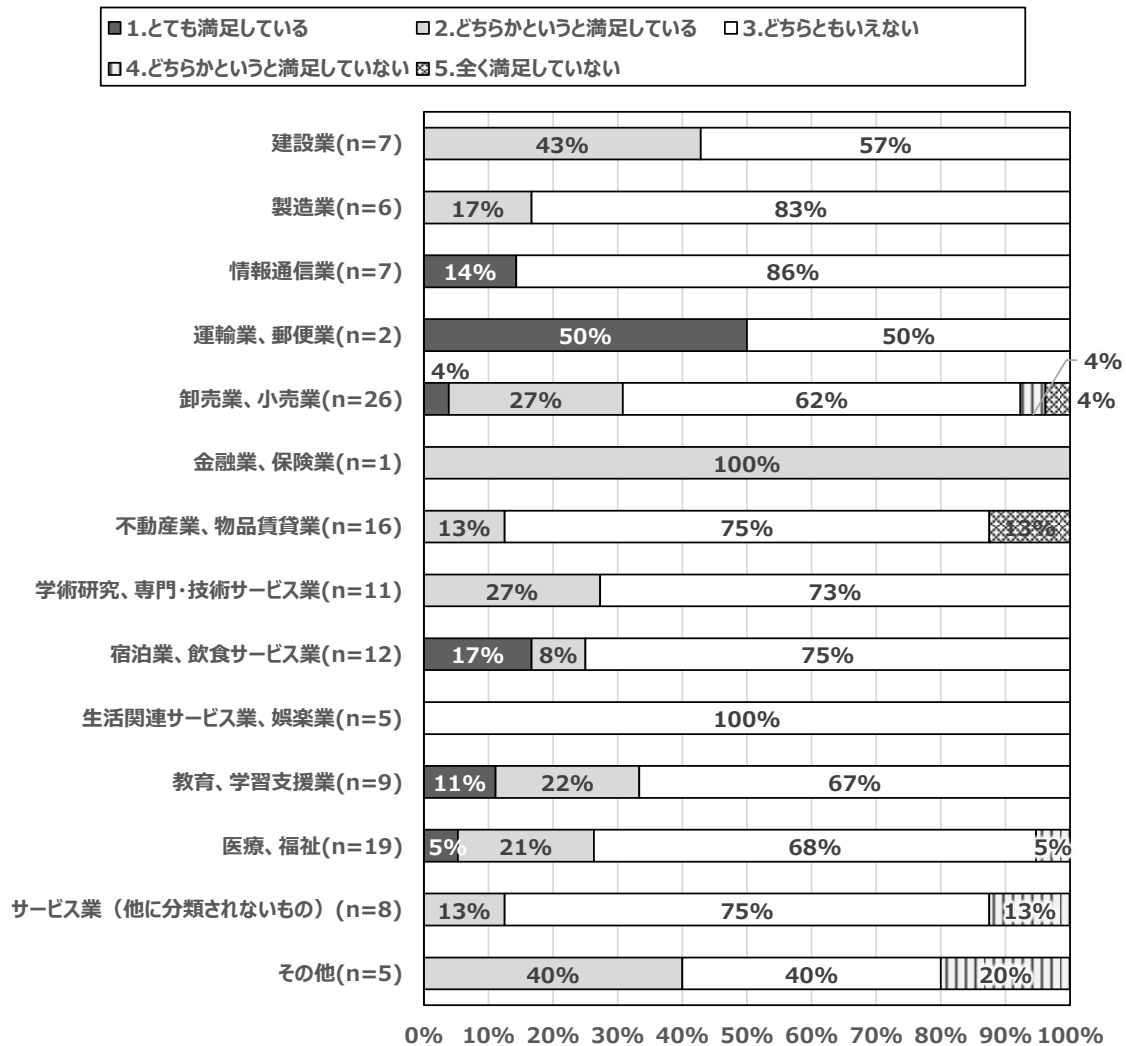
図 2-151 脱炭素社会(業種別分析)

表 2-151 脱炭素社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても満足 している	2.どちらか という満足 している	3.どちらとも いえない	4.どちらか という満足 していない	5.全く満足 していない	計(無回答を 除く)
建設業	0%(0)	57%(4)	43%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	0%(0)	17%(1)	83%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	0%(0)	86%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
運輸業、郵便業	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	4%(1)	27%(7)	58%(15)	0%(0)	12%(3)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	0%(0)	19%(3)	63%(10)	6%(1)	13%(2)	100%(16)
学術研究、専門・技術サービス業	0%(0)	9%(1)	82%(9)	9%(1)	0%(0)	100%(11)
宿泊業、飲食サービス業	17%(2)	8%(1)	75%(9)	0%(0)	0%(0)	100%(12)
生活関連サービス業、娯楽業	0%(0)	0%(0)	100%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	0%(0)	33%(3)	67%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	16%(3)	11%(2)	68%(13)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	0%(0)	0%(0)	88%(7)	13%(1)	0%(0)	100%(8)
その他	0%(0)	0%(0)	80%(4)	20%(1)	0%(0)	100%(5)

b) 循環型社会

「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」を除く業種では、「3.どちらともえない」の割合が最も高い。



※無回答 6 件は除いている

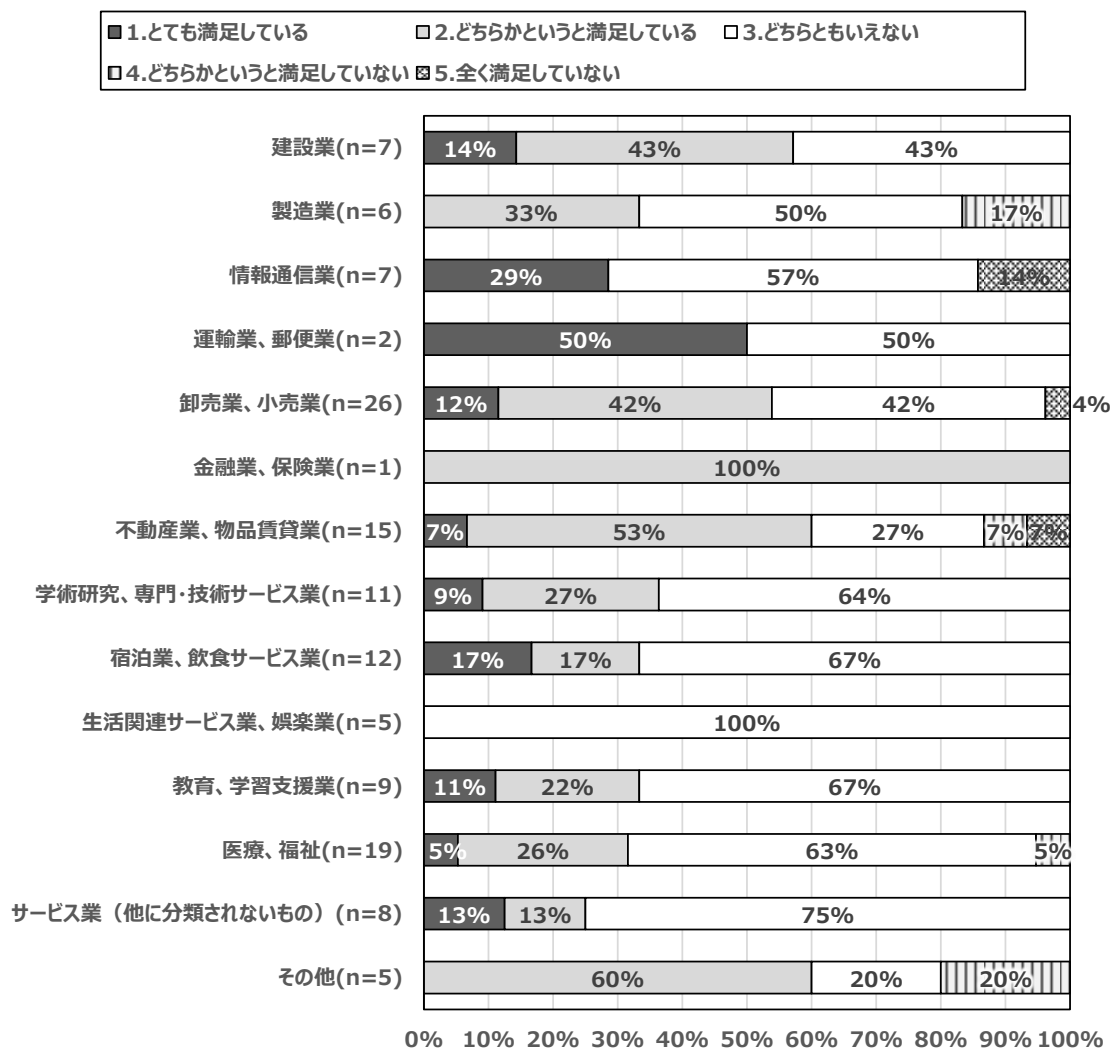
図 2-152 循環型社会(業種別分析)

表 2-152 循環型社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても満足 している	2.どちらか というと満足 している	3.どちらとも いえない	4.どちらか というと満足 していない	5.全く満足 していない	計(無回答を 除く)
建設業	0%(0)	43%(3)	57%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	0%(0)	17%(1)	83%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	0%(0)	86%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
運輸業、郵便 業	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売 業	4%(1)	27%(7)	62%(16)	4%(1)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険 業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物 品賃貸業	0%(0)	13%(2)	75%(12)	0%(0)	13%(2)	100%(16)
学術研究、専 門・技術サー ビス業	0%(0)	27%(3)	73%(8)	0%(0)	0%(0)	100%(11)
宿泊業、飲食 サービス業	17%(2)	8%(1)	75%(9)	0%(0)	0%(0)	100%(12)
生活関連サ ービス業、娯 楽業	0%(0)	0%(0)	100%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支 援業	11%(1)	22%(2)	67%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	5%(1)	21%(4)	68%(13)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類さ れないもの)	0%(0)	13%(1)	75%(6)	13%(1)	0%(0)	100%(8)
その他	0%(0)	40%(2)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	100%(5)

c) 自然共生社会

業種別の傾向は見られない。



※無回答 6 件は除いている

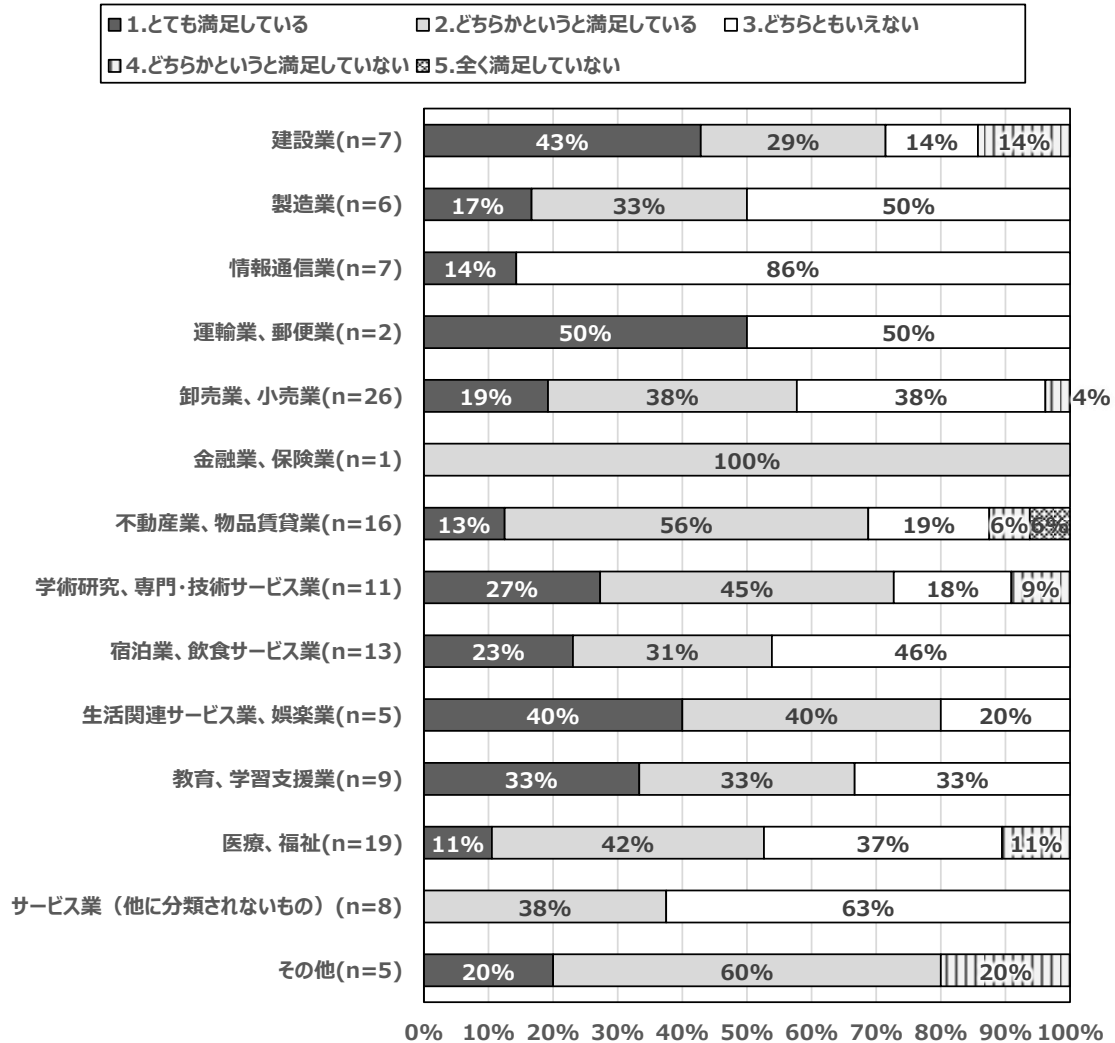
図 2-153 自然共生社会(業種別分析)

表 2-153 自然共生社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても満足 している	2.どちらか というと満足 している	3.どちらとも いえない	4.どちらか というと満足 していない	5.全く満足 していない	計(無回答を 除く)
建設業	14%(1)	43%(3)	43%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
製造業	0%(0)	33%(2)	50%(3)	17%(1)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	29%(2)	0%(0)	57%(4)	0%(0)	14%(1)	100%(7)
運輸業、郵便 業	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売 業	12%(3)	42%(11)	42%(11)	0%(0)	4%(1)	100%(26)
金融業、保険 業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物 品質貸業	7%(1)	53%(8)	27%(4)	7%(1)	7%(1)	100%(15)
学術研究、専 門・技術サー ビス業	9%(1)	27%(3)	64%(7)	0%(0)	0%(0)	100%(11)
宿泊業、飲食 サービス業	17%(2)	17%(2)	67%(8)	0%(0)	0%(0)	100%(12)
生活関連サ ービス業、娯 楽業	0%(0)	0%(0)	100%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支 援業	11%(1)	22%(2)	67%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	5%(1)	26%(5)	63%(12)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類さ れないもの)	13%(1)	13%(1)	75%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	0%(0)	60%(3)	20%(1)	20%(1)	0%(0)	100%(5)

d) 快適・安全社会

業種別の傾向は見られない。



※無回答 6 件は除いている

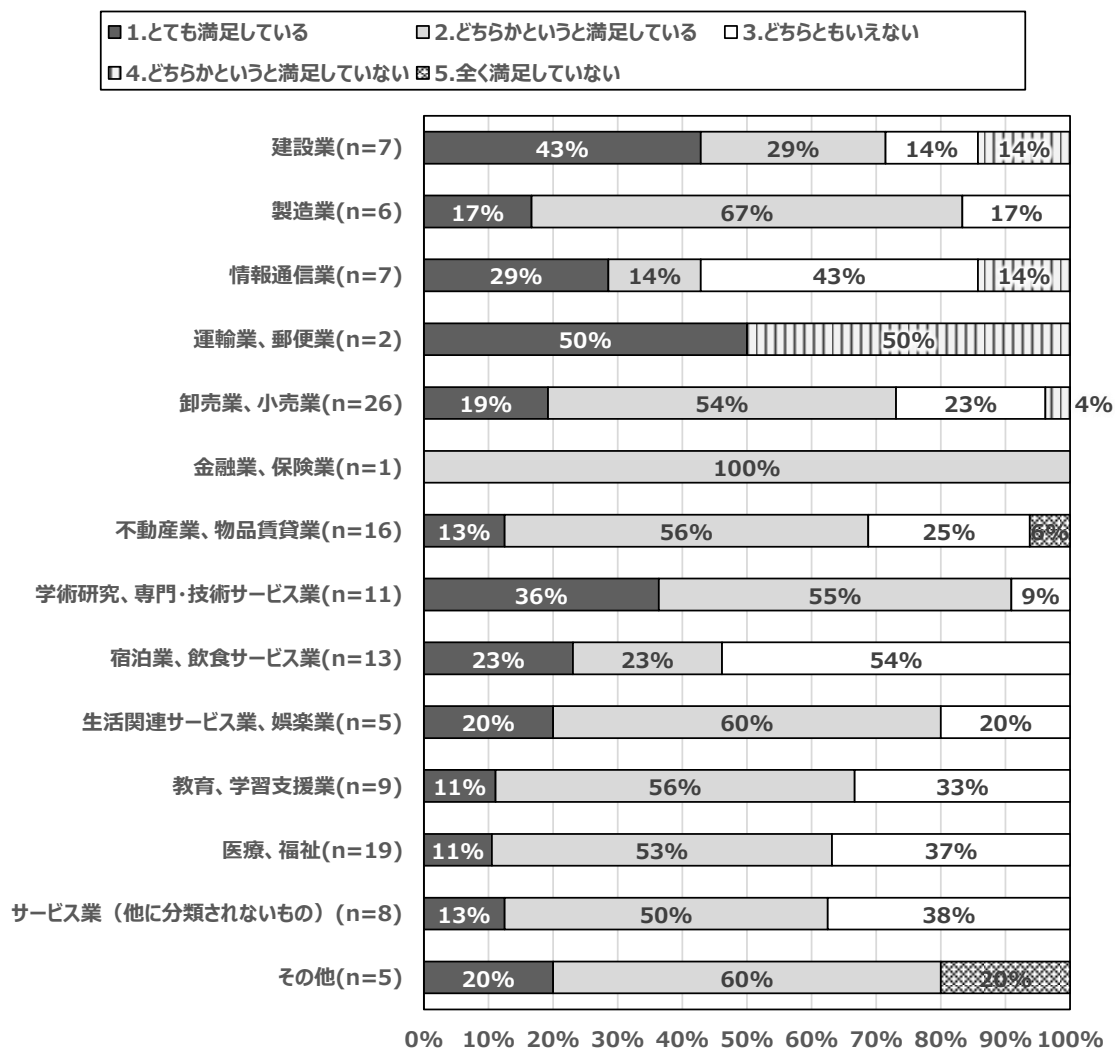
図 2-154 快適・安全社会(業種別分析)

表 2-154 快適・安全社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても満足 している	2.どちらか という満足 している	3.どちらとも いえない	4.どちらか という満足 していない	5.全く満足 していない	計(無回答を 除く)
建設業	43%(3)	29%(2)	14%(1)	14%(1)	0%(0)	100%(7)
製造業	17%(1)	33%(2)	50%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	14%(1)	0%(0)	86%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(7)
運輸業、郵便業	50%(1)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売業	19%(5)	38%(10)	38%(10)	4%(1)	0%(0)	100%(26)
金融業、保険業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物品賃貸業	13%(2)	56%(9)	19%(3)	6%(1)	6%(1)	100%(16)
学術研究、専門・技術サービス業	27%(3)	45%(5)	18%(2)	9%(1)	0%(0)	100%(11)
宿泊業、飲食サービス業	23%(3)	31%(4)	46%(6)	0%(0)	0%(0)	100%(13)
生活関連サービス業、娯楽業	40%(2)	40%(2)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支援業	33%(3)	33%(3)	33%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	11%(2)	42%(8)	37%(7)	11%(2)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類されないもの)	0%(0)	38%(3)	63%(5)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	20%(1)	60%(3)	0%(0)	20%(1)	0%(0)	100%(5)

e) 歴史や文化を身近に感じられる社会

業種別の傾向は見られない。



※無回答 6 件は除いている

図 2-155 歴史や文化を身近に感じられる社会(業種別分析)

表 2-155 歴史や文化を身近に感じられる社会(業種別分析)

	R7 結果 回答率%(回答数)					
	1.とても満足 している	2.どちらか というと満足 している	3.どちらとも いえない	4.どちらか というと満足 していない	5.全く満足 していない	計(無回答を 除く)
建設業	43%(3)	29%(2)	14%(1)	14%(1)	0%(0)	100%(7)
製造業	17%(1)	67%(4)	17%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
情報通信業	29%(2)	14%(1)	43%(3)	14%(1)	0%(0)	100%(7)
運輸業、郵便 業	50%(1)	0%(0)	0%(0)	50%(1)	0%(0)	100%(2)
卸売業、小売 業	19%(5)	54%(14)	23%(6)	4%(1)	0%(0)	100%(26)
金融業、保険 業	0%(0)	100%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(1)
不動産業、物 品賃貸業	13%(2)	56%(9)	25%(4)	0%(0)	6%(1)	100%(16)
学術研究、専 門・技術サー ビス業	36%(4)	55%(6)	9%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(11)
宿泊業、飲食 サービス業	23%(3)	23%(3)	54%(7)	0%(0)	0%(0)	100%(13)
生活関連サ ービス業、娯 楽業	20%(1)	60%(3)	20%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(5)
教育、学習支 援業	11%(1)	56%(5)	33%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(9)
医療、福祉	11%(2)	53%(10)	37%(7)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
サービス業 (他に分類さ れないもの)	13%(1)	50%(4)	38%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(8)
その他	20%(1)	60%(3)	0%(0)	0%(0)	20%(1)	100%(5)

3) 従業員数別分析

a) 脱炭素社会

全ての従業員数で「3.どちらともいえない」の割合が最も高い。

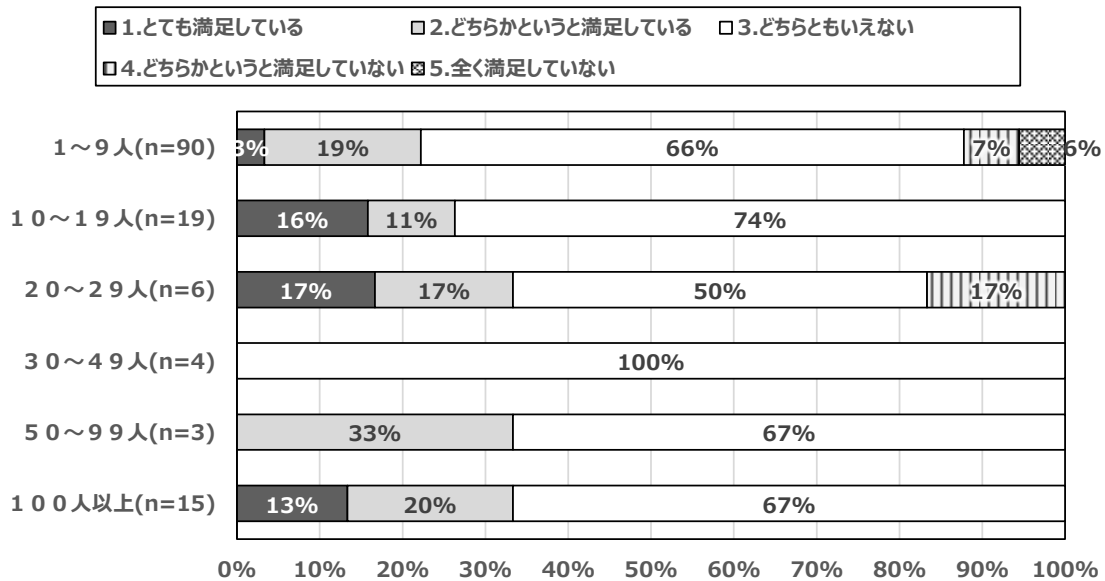


図 2-156 脱炭素社会(従業員数別)

表 2-156 脱炭素社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
1～9人	3%(3)	19%(17)	66%(59)	7%(6)	6%(5)	100%(90)
10～19人	16%(3)	11%(2)	74%(14)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	17%(1)	17%(1)	50%(3)	17%(1)	0%(0)	100%(6)
30～49人	0%(0)	0%(0)	100%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	0%(0)	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	13%(2)	20%(3)	67%(10)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

b) 循環型社会

概ね従業員数 20～29 人を除き全ての従業員数で「3.どちらともいえない」の割合が最も高い。

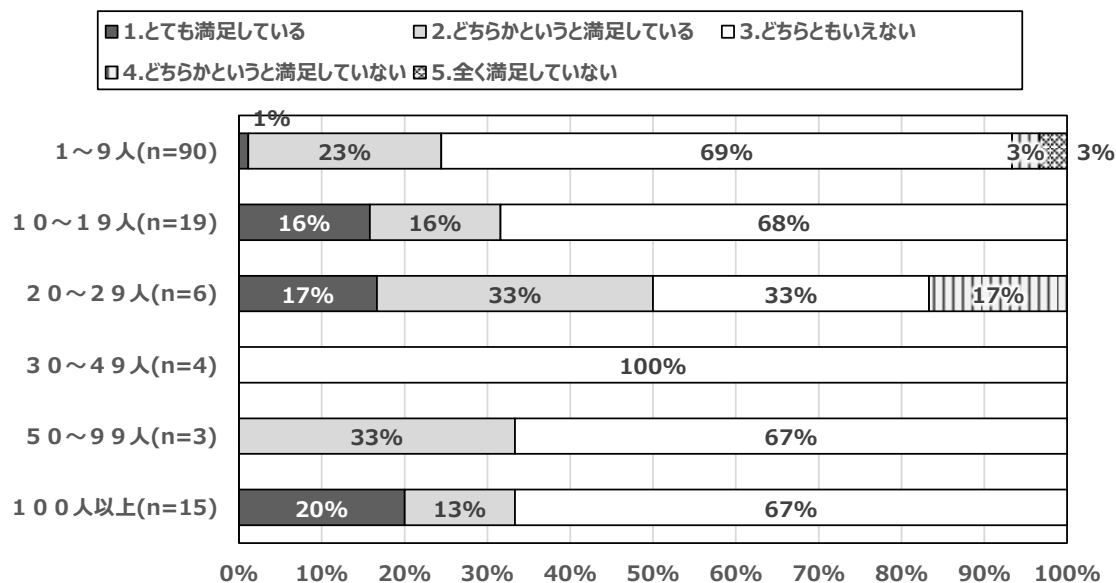


図 2-157 循環型社会(従業員数別)

表 2-157 循環型社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
1～9人	1%(1)	23%(21)	69%(62)	3%(3)	3%(3)	100%(90)
10～19人	16%(3)	16%(3)	68%(13)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	17%(1)	33%(2)	33%(2)	17%(1)	0%(0)	100%(6)
30～49人	0%(0)	0%(0)	100%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	0%(0)	33%(1)	67%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	20%(3)	13%(2)	67%(10)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

c) 自然共生社会

満足度(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、従業員数 20～29 人、50～99 人において 70%程度である。一方、従業員数 30～49 人、100 人以上における満足度は、30%未満と低い。

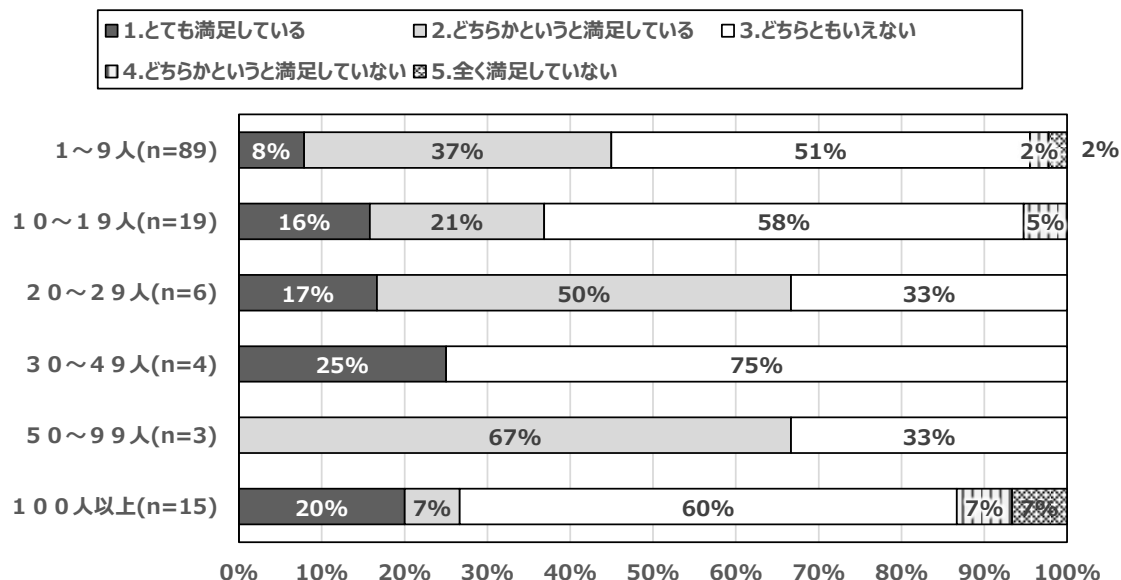


図 2-158 自然共生社会(従業員数別)

表 2-158 自然共生社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
1～9 人	8%(7)	37%(33)	51%(45)	2%(2)	2%(2)	100%(89)
10～19 人	16%(3)	21%(4)	58%(11)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
20～29 人	17%(1)	50%(3)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49 人	25%(1)	0%(0)	75%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99 人	0%(0)	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100 人以上	20%(3)	7%(1)	60%(9)	7%(1)	7%(1)	100%(15)

d) 快適・安全社会

満足度(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、従業員数 30～49 人において 0%である。

また、満足していない(「4.どちらかという満足していない」、「5.全く満足していない」の合計)の割合は、従業員数 20～29 人で 20%程度と最も高い。

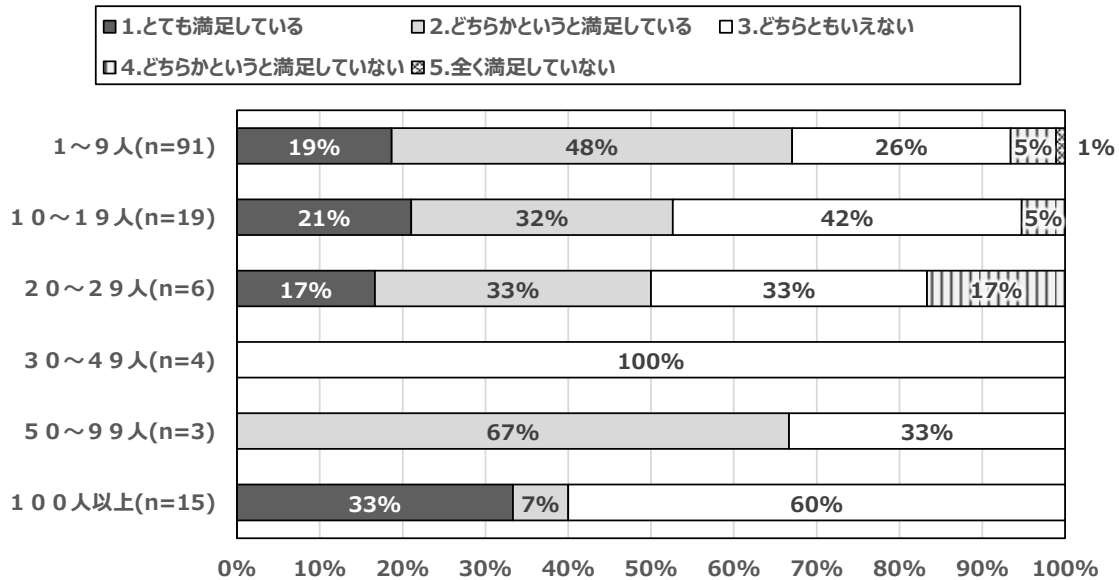


図 2-159 快適・安全社会(従業員数別)

表 2-159 快適・安全社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
1～9人	19%(17)	48%(44)	26%(24)	5%(5)	1%(1)	100%(91)
10～19人	21%(4)	32%(6)	42%(8)	5%(1)	0%(0)	100%(19)
20～29人	17%(1)	33%(2)	33%(2)	17%(1)	0%(0)	100%(6)
30～49人	0%(0)	0%(0)	100%(4)	0%(0)	0%(0)	100%(4)
50～99人	0%(0)	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	33%(5)	7%(1)	60%(9)	0%(0)	0%(0)	100%(15)

e) 歴史や文化を身近に感じられる社会

満足度(「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の合計)は、従業員数 10～19 人が 80%以上と最も高く、従業員数 30～49 人が 30%未満と最も低い。

また、満足していない(「4.どちらかという満足していない」、「5.全く満足していない」の合計)の割合は、従業員数 30～49 人で 30%程度と最も高い。

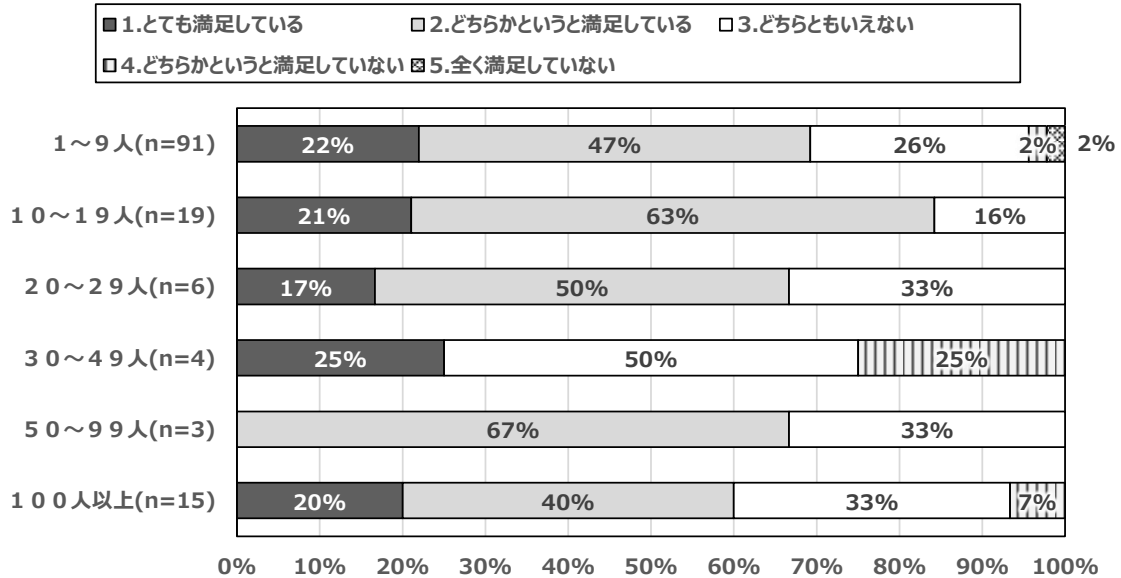


図 2-160 歴史や文化を身近に感じられる社会(従業員数別)

表 2-160 歴史や文化を身近に感じられる社会(従業員数別)

	R7 結果 回答率%(回答数)					計(無回答を除く)
	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	
1～9人	22%(20)	47%(43)	26%(24)	2%(2)	2%(2)	100%(91)
10～19人	21%(4)	63%(12)	16%(3)	0%(0)	0%(0)	100%(19)
20～29人	17%(1)	50%(3)	33%(2)	0%(0)	0%(0)	100%(6)
30～49人	25%(1)	0%(0)	50%(2)	25%(1)	0%(0)	100%(4)
50～99人	0%(0)	67%(2)	33%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(3)
100人以上	20%(3)	40%(6)	33%(5)	7%(1)	0%(0)	100%(15)

2.2.5 区に期待する環境施策

(1) 問 6

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか。該当する選択肢の枠を塗りつぶしてください。	
脱炭素社会	1.区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発 2.省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進 3.再生可能エネルギーの普及促進
循環型社会	4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース) 5.ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)
自然共生社会	6.植物や動物などの多様な生き物の保全 7.みどり・水辺の保全
快適・安全社会	8.公害の改善 9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応
歴史や文化を身近に感じられる社会	10.歴史・文化の保全・継承 11.景観の保全・形成
各分野共通	12.区民への体験・知識習得の機会提供 13.環境学習・環境教育の推進 14.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり

1) 全体

「快適・安全社会」分野の「9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応」が 50%を越して最も高い。次いで「循環型社会」分野の「4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)」が 50%程度と高い。

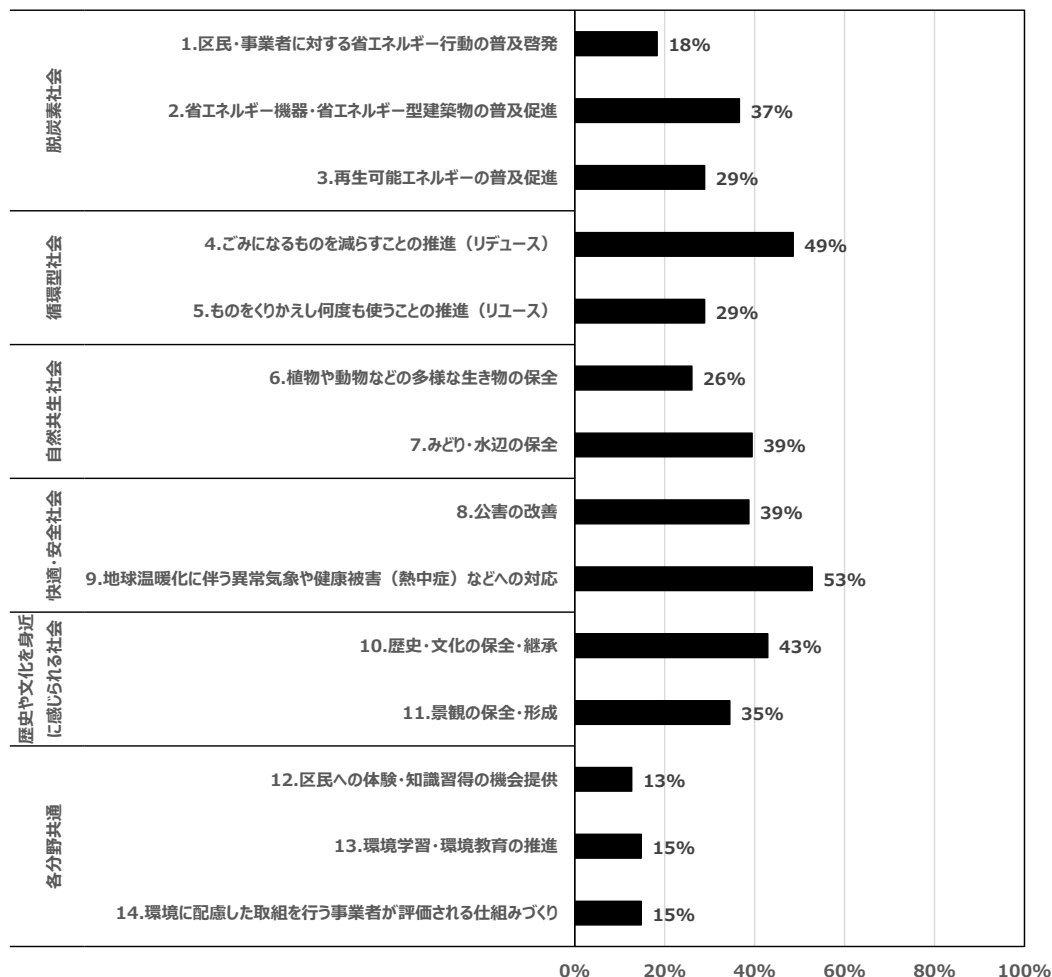


図 2-161 区に期待する環境施策

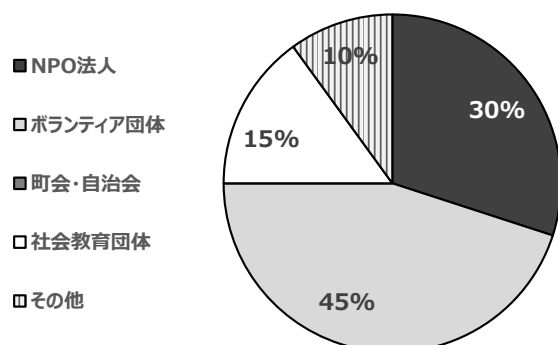
表 2-161 区に期待する環境施策

		R7 結果 (%(回答数))
脱炭素社会	1.区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	18%(26)
	2.省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	37%(52)
	3.再生可能エネルギーの普及促進	29%(41)
循環型社会	4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	49%(69)
	5.ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	29%(41)
自然共生社会	6.植物や動物などの多様な生き物の保全	26%(37)
	7.みどり・水辺の保全	39%(56)
快適・安全社会	8.公害の改善	39%(55)
	9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応	53%(75)
歴史や文化を身近に感じられる社会	10.歴史・文化の保全・継承	43%(61)
	11.景観の保全・形成	35%(49)
各分野共通	12.区民への体験・知識習得の機会提供	13%(18)
	13.環境学習・環境教育の推進	15%(21)
	14.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	15%(21)

2.3 団体

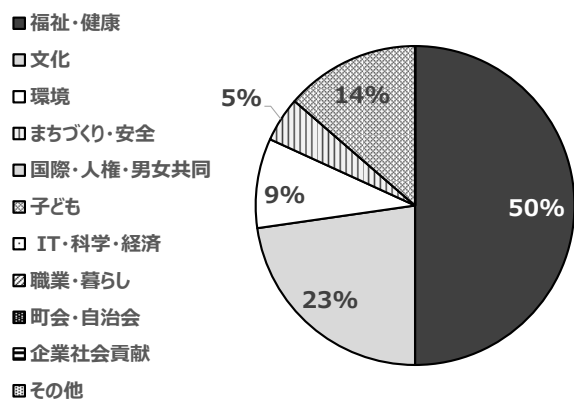
2.3.1 回答者の属性

(1) 問1 団体の組織分類



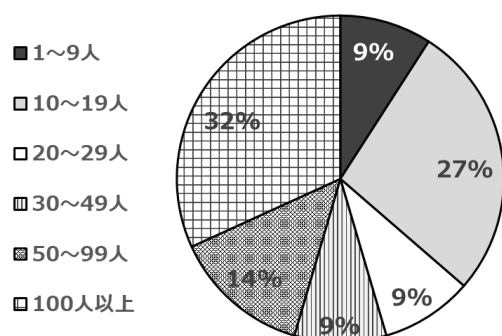
	回答	回答率(%)
NPO法人	6	30
ボランティア団体	9	45
町会・自治会	0	0
社会教育団体	3	15
その他	2	10
計	20	—

(2) 問2 活動分野



	回答	回答率(%)
福祉・健康	11	50
文化	5	23
環境	2	9
まちづくり・安全	1	5
国際・人権・男女共同	0	0
子ども	3	14
IT・科学・経済	0	0
職業・暮らし	0	0
町会・自治会	0	0
企業社会貢献	0	0
その他	0	0
計	22	—

(3) 問3 会員数(事務局職員含む)



	回答	回答率(%)
1~9人	2	9
10~19人	6	27
20~29人	2	9
30~49人	2	9
50~99人	3	14
100人以上	7	32
計	22	—

2.3.2 環境問題への関心

(1) 問 2

貴団体は環境問題に関心がありますか。			
1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない

1) 全体

「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計は両方の年度で 90%以上である。
一方で、「1.とても関心がある」の割合は平成 27 年度の半分程度となっている。

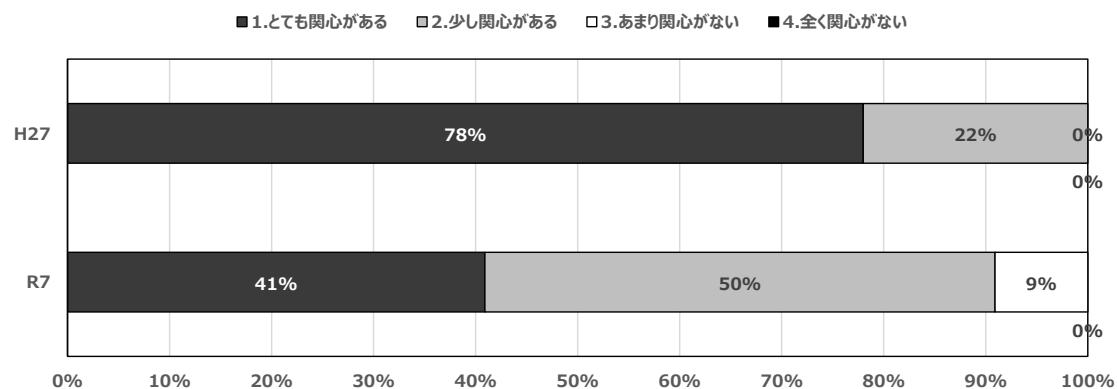


図 2-162 環境問題への関心

表 2-162 環境問題への関心

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)
1.とても関心がある	9	41%	78%
2.少し関心がある	11	50%	22%
3.あまり関心がない	2	9%	0%
4.全く関心がない	0	0%	0%
計(無回答数を除く)	22	—	—
無回答数	0	—	—

2.3.3 環境問題に配慮した取組の状況

(1) 問 3

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。

- 1.地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)
- 2.再生可能エネルギー(地球温暖化への影響が少ないクリーンなエネルギーのこと)
- 3.オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)
- 4.廃棄物の 2R(多くのごみが出ないように、①減量、②再利用すること)
- 5.ごみの不法投棄(捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)
- 6.プラスチック汚染(プラスチックごみが河川・海に流出し、生き物とその生息地に悪影響すること)
- 7.自然環境の悪化(みどりが減ったり、生き物が住みやすい環境が減ること)
- 8.生物多様性の危機(生き物の種類が減ること)
- 9.大気汚染(空気が汚されること)
- 10.水質汚濁(海や川の水が汚されること)
- 11.土壌汚染(土や地下が汚されること)
- 12.騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)
- 13.歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)
- 14.景観の悪化(建物や看板などで景色が悪くなること)
- 15.光害(街の光が明るすぎて、星空が見えにくくなったり、生き物の生態に悪影響すること)
- 16.その他

1) 全体

「地球温暖化」が 68%と最も高い。次いで「自然環境の悪化」が 50%と高い。

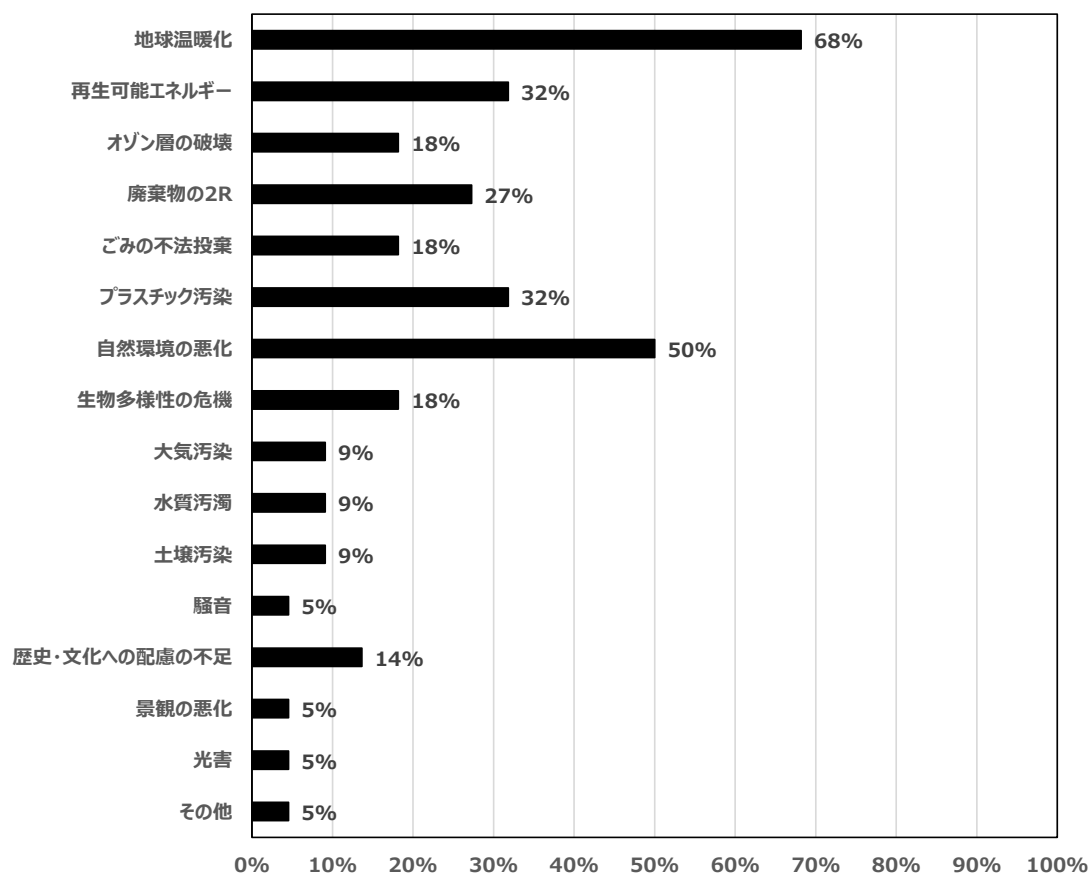


図 2-163 環境問題に配慮した取組の状況

表 2-163 もっと知りたいと思う環境問題

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。	回答数 (%(回答数))
地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	68%(15)
再生可能エネルギー(地球温暖化への影響が少ないクリーンなエネルギーのこと)	32%(7)
オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	18%(4)
廃棄物の 2R(多くのごみが出ないように、①減量、②再利用すること)	27%(6)
ごみの不法投棄(捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)	18%(4)
プラスチック汚染(プラスチックごみが河川・海に流出し、生き物とその生息地に悪影響すること)	32%(7)
自然環境の悪化(みどりが減ったり、生き物が住みやすい環境が減ること)	50%(11)
生物多様性の危機(生き物の種類が減ること)	18%(4)
大気汚染(空気が汚されること)	9%(2)
水質汚濁(海や川の水が汚されること)	9%(2)
土壌汚染(土や地下が汚されること)	9%(2)
騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)	5%(1)
歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)	14%(3)
景観の悪化(建物や看板などで景色が悪くなること)	5%(1)
光害(街の光が明るすぎて、星空が見えにくくなったり、生き物の生態に悪影響すること)	5%(1)
その他	5%(1)

(2) 問 4

文京区の未来のために重要だと思うものはどれですか。
1.脱炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)
2.循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)
3.自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)
4.快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
5.歴史や文化を身近に感じられる社会

1) 全体

「循環型社会」が 60%程度と最も高い。次いで「自然共生型社会」、「快適・安全社会」が 45%である。

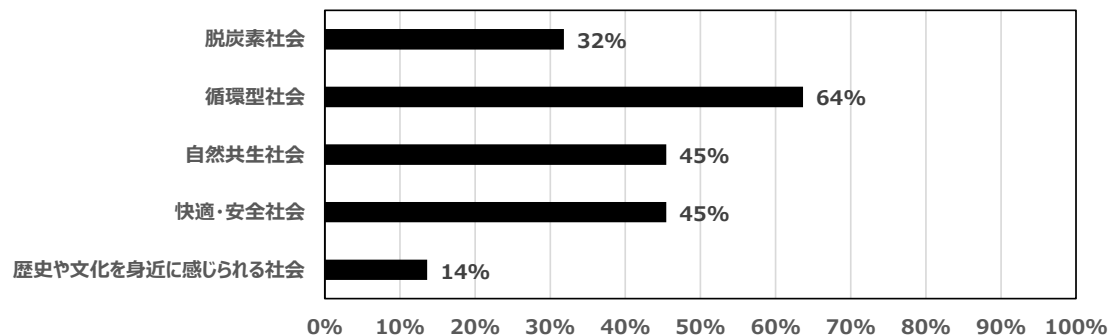


図 2-164 文京区の未来のために重要だと思うもの

表 2-164 文京区の未来のために重要だと思うもの

文京区の未来のために重要だと思うものはどれですか。	回答数 (%(回答数))
脱炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	32%(7)
循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	64%(14)
自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	45%(10)
快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	45%(10)
歴史や文化を身近に感じられる社会	14%(3)

2.3.4 文京区内の Well-Being(幸福)な状態について

(1) 問 5

文京区内で“住む・働く・学ぶ”視点で見た場合に、Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うものの枠を塗りつぶしてください。

1.とても重要 2.どちらかというと重要 3.どちらともいえない	4.どちらかというと重要ではない 5.重要ではない
--	------------------------------

1) 全体

すべての項目において、重要である(「1.とても重要」、「2.どちらかというと重要」)の割合は高い。特に、「快適・安全社会」、「自然共生社会」、「循環型社会」は 100%である。

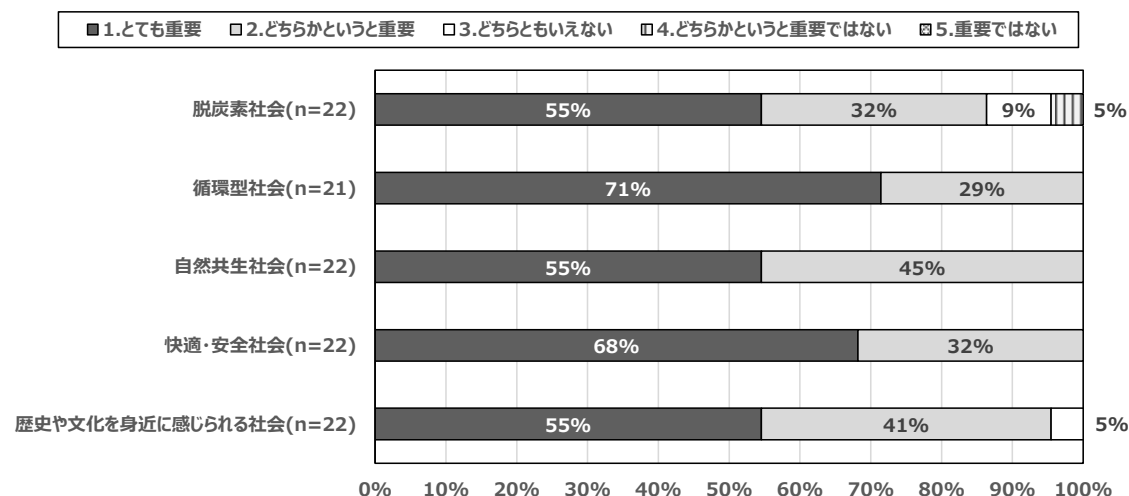


図 2-165 Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うもの

表 2-165 Well-Being(幸福)を感じるために重要だと思うもの

	1.とても重要	2.どちらかという と重要	3.どちらとも いえない	4.どちら かという と重要で はない	5.重要で はない	計(無回答 を除く)
脱炭素社会	55%(12)	32%(7)	9%(2)	5%(1)	0%(0)	100%(22)
循環型社会	71%(15)	29%(6)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(21)
自然共生社会	55%(12)	45%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(22)
快適・安全社会	68%(15)	32%(7)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	100%(22)
歴史や文化を身近に感じ られる社会	55%(12)	41%(9)	5%(1)	0%(0)	0%(0)	100%(22)

(2) 問 6

“住む・働く・学ぶ”視点での文京区民の満足度の現状について、貴団体が思うものの枠を塗りつぶしてください。	
1.とても満足している 2.どちらかという満足している 3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない 5.全く満足していない

1) 全体

「歴史や文化を身近に感じられる社会」は、「1.とても満足している」、「2.どちらかという満足している」の割合が最も高い。一方、「自然共生社会」は、「5.全く満足していない」、「4.どちらかという満足していない」の割合が比較的高い。

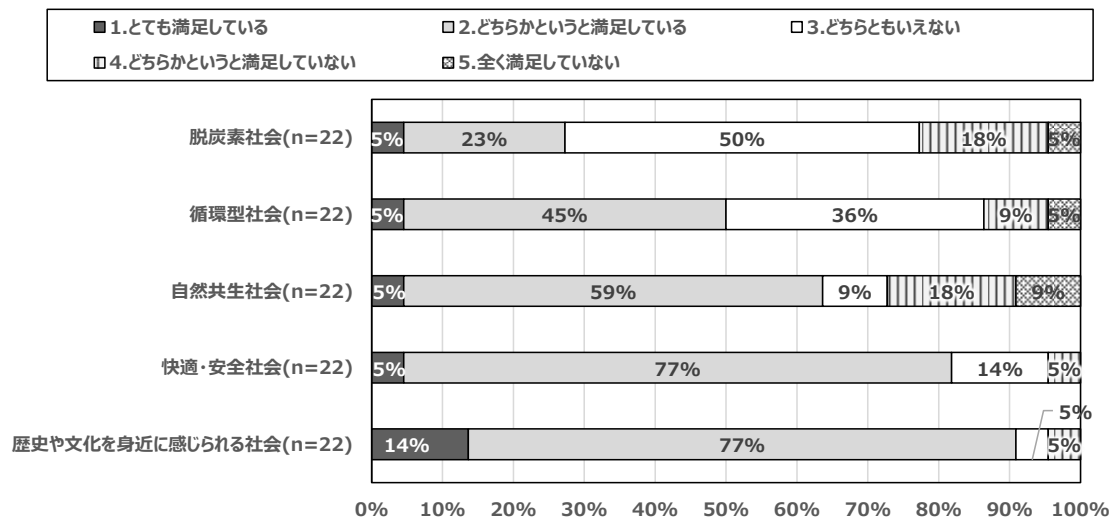


図 2-166 文京区内での満足度の現状

表 2-166 文京区内での満足度の現状

	1.とても満足している	2.どちらかという満足している	3.どちらともいえない	4.どちらかという満足していない	5.全く満足していない	計(無回答を除く)
脱炭素社会	5%(1)	23%(5)	50%(11)	18%(4)	5%(1)	100%(22)
循環型社会	5%(1)	45%(10)	36%(8)	9%(2)	5%(1)	100%(22)
自然共生社会	5%(1)	59%(13)	9%(2)	18%(4)	9%(2)	100%(22)
快適・安全社会	5%(1)	77%(17)	14%(3)	5%(1)	0%(0)	100%(22)
歴史や文化を身近に感じられる社会	14%(3)	77%(17)	5%(1)	5%(1)	0%(0)	100%(22)

2.3.5 区に期待する環境施策

(1) 問 7

文京区(行政)が取り組むべきと考える環境施策について、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか。該当する選択肢の枠を塗りつぶしてください。	
脱炭素社会	1.区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発 2.省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進 3.再生可能エネルギーの普及促進
循環型社会	4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース) 5.ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)
自然共生社会	6.植物や動物などの多様な生き物の保全 7.みどり・水辺の保全
快適・安全社会	8.公害の改善 9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応
歴史や文化を身近に感じられる社会	10.歴史・文化の保全・継承 11.景観の保全・形成
各分野共通	12.区民への体験・知識習得の機会提供 13.環境学習・環境教育の推進 14.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり

1) 全体

「循環型社会」分野の「4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)」が 60%以上と最も割合が高い。次いで「自然共生社会」の「6.植物や動物などの多様な生き物の保全」が 55%と高い。

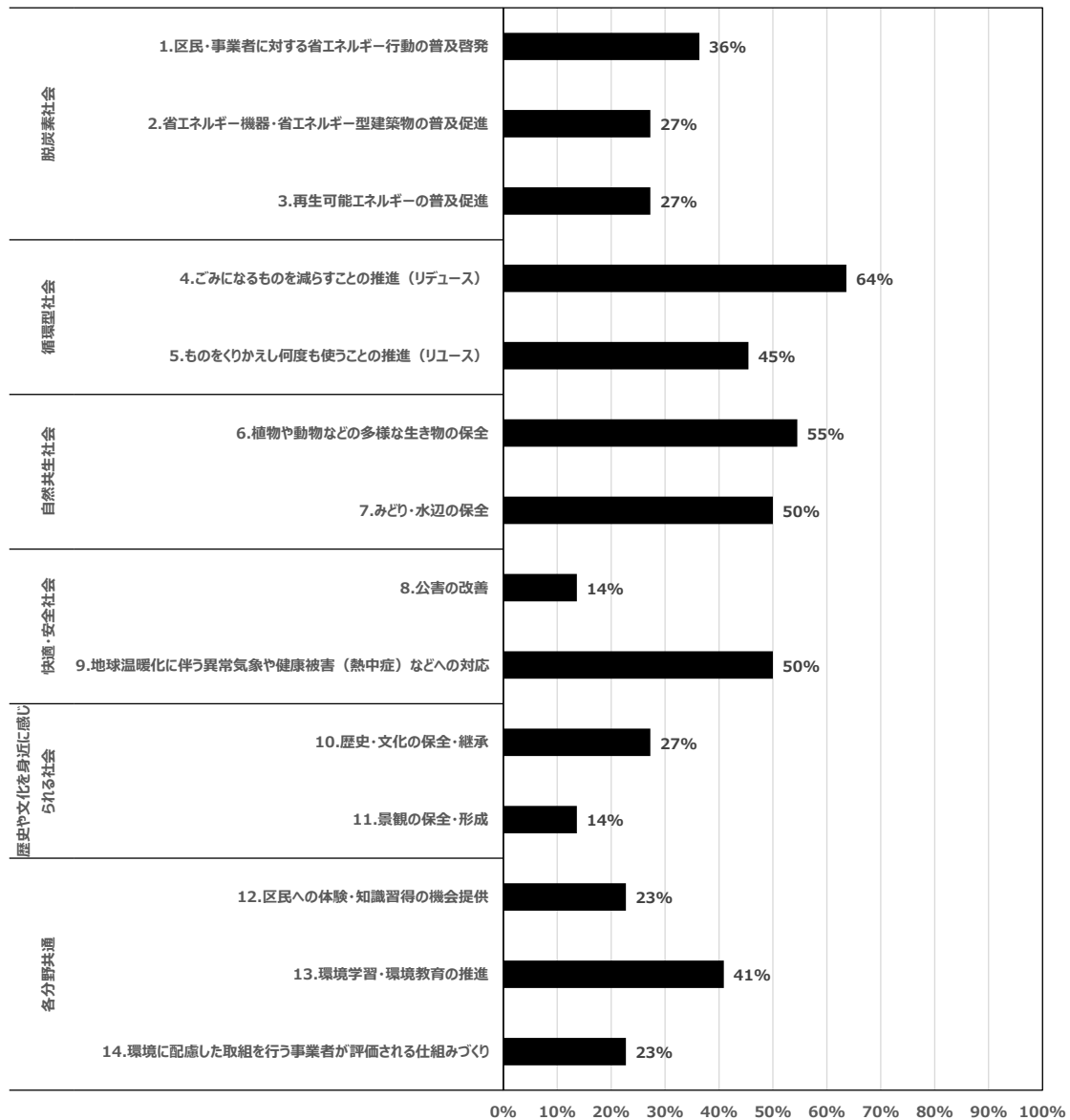


図 2-167 区に期待する環境施策

表 2-167 区に期待する環境施策

		R7 結果 (回答数)
脱炭素社会	1.区民・事業者に対する省エネルギー行動の普及啓発	36%(8)
	2.省エネルギー機器・省エネルギー型建築物の普及促進	27%(6)
	3.再生可能エネルギーの普及促進	27%(6)
循環型社会	4.ごみになるものを減らすことの推進(リデュース)	64%(14)
	5.ものをくりかえし何度も使うことの推進(リユース)	45%(10)
自然共生社会	6.植物や動物などの多様な生き物の保全	55%(12)
	7.みどり・水辺の保全	50%(11)
快適・安全社会	8.公害の改善	14%(3)
	9.地球温暖化に伴う異常気象や健康被害(熱中症)などへの対応	50%(11)
歴史や文化を身近に感じられる社会	10.歴史・文化の保全・継承	27%(6)
	11.景観の保全・形成	14%(3)
各分野共通	12.区民への体験・知識習得の機会提供	23%(5)
	13.環境学習・環境教育の推進	41%(9)
	14.環境に配慮した取組を行う事業者が評価される仕組みづくり	23%(5)

2.4 小学生

2.4.1 環境問題への関心

(1) 問 2

環境問題に関心がありますか。(1 つだけ選択)			
1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない

1) 全体

関心がある(「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計)の割合は、2025(令和 7)年度で 90%程度と他の年と比較して最も高い。

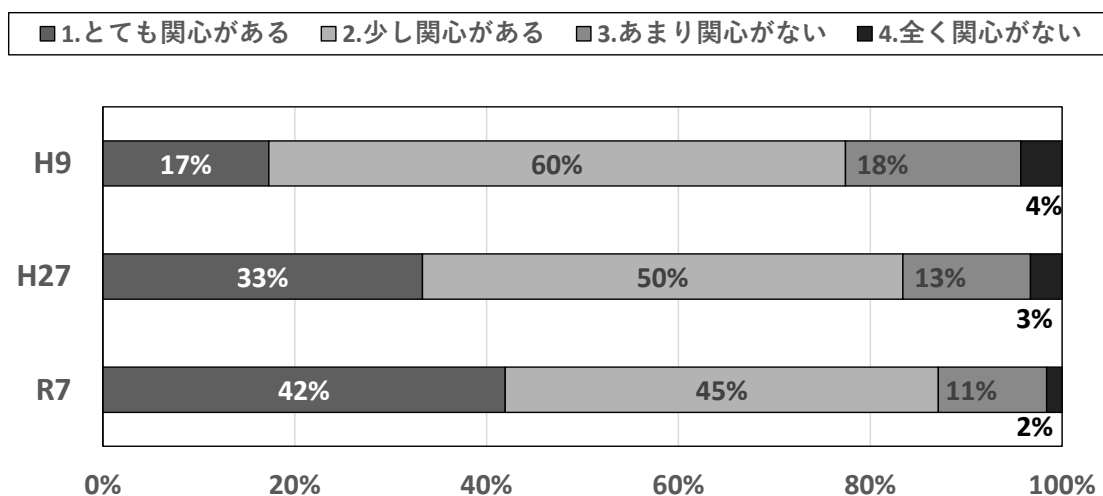


図 2-168 環境問題への関心

表 2-168 環境問題への関心

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)	H9 結果 (%)
1.とても関心がある	26	42%	33%	17%
2.少し関心がある	28	45%	50%	60%
3.あまり関心がない	7	11%	13%	18%
4.全く関心がない	1	2%	3%	4%
計(無回答数を除く)	62	—	—	—
無回答数	0	—	—	—

2.4.2 環境問題に配慮した取組の状況

(1) 問 3～5

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。(3 つまで選択)

- 1.地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)
- 2.再生可能エネルギー(地球温暖化への影響が少ないクリーンなエネルギーのこと)
- 3.オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)
- 4.廃棄物の 2R(多くのごみが出ないように、①減量、②再利用すること)
- 5.ごみの不法投棄(捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)
- 6.プラスチック汚染(プラスチックごみが河川・海に流出し、生き物とその生息地に悪影響すること)
- 7.自然環境の悪化(みどりが減ったり、生き物が住みやすい環境が減ること)
- 8.生物多様性の危機(生き物の種類が減ること)
- 9.大気汚染(空気が汚されること)
- 10.水質汚濁(海や川の水が汚されること)
- 11.土壌汚染(土や地下が汚されること)
- 12.騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)
- 13.歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)
- 14.景観の悪化(建物や看板などで景色が悪くなること)
- 15.光害(街の光が明るすぎて、星空が見えにくくなったり、生き物の生態に悪影響すること)

1) 全体

「1.地球温暖化」が 60%以上と最も高い。次いで「2. 再生可能エネルギー」、「7.自然環境の悪化」が 30%以上と高い。

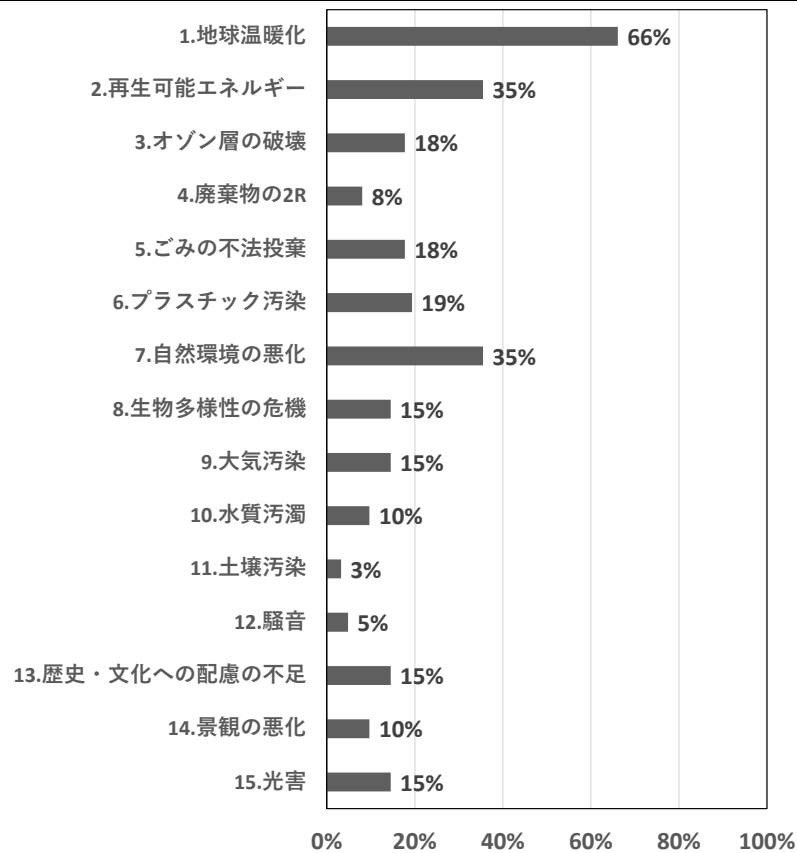


図 2-169 もっと知りたいと思う環境問題

表 2-169 もっと知りたいと思う環境問題

	回答数 (%(回答数))
1.地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	66%(41)
2.再生可能エネルギー(地球温暖化への影響が少ないクリーンなエネルギーのこと)	35%(22)
3.オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	18%(11)
4.廃棄物の 2R(多くのごみが出ないように、①減量、②再利用すること)	8%(5)
5.ごみの不法投棄(捨ててはいけない場所にゴミが捨てられること)	18%(11)
6.プラスチック汚染(プラスチックごみが河川・海に流出し、生き物とその生息地に悪影響すること)	19%(12)
7.自然環境の悪化(みどりが減ったり、生き物が住みやすい環境が減ること)	35%(22)
8.生物多様性の危機(生き物の種類が減ること)	15%(9)
9.大気汚染(空気が汚されること)	15%(9)
10.水質汚濁(海や川の水が汚されること)	10%(6)
11.土壌汚染(土や地下が汚されること)	3%(2)
12.騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)	5%(3)
13.歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)	15%(9)
14.景観の悪化(建物や看板などで景色が悪くなること)	10%(6)
15.光害(街の光が明るすぎて、星空が見えにくくなったり、生き物の生態に悪影響すること)	15%(9)

(2) 問6

あなたが行っていることは何ですか。(複数選択可)

- 1.節電(こまめに電気スイッチを切ることや、使わないものの電源を消すことなど)
- 2.節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めることなど)
- 3.ごみの分別
- 4.マイバッグの持参(お買い物をするときにマイバッグを持って行き、レジ袋をもらわないこと)
- 5.動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている)
- 6.環境学習(環境に関するイベントに参加したり、環境に関する本を読んだりすることなど)

1) 全体

2025(令和 7)年度の実施率は、「3.ごみの分別」、「4.マイバッグの持参」が 70%以上と高い。特に、「4.マイバッグの持参」は 2015(平成 27)年度から 30%程度の増加と最も上昇している。
一方で、実施率は、「6.環境学習」が 30%未満と両年度ともに最も低い。

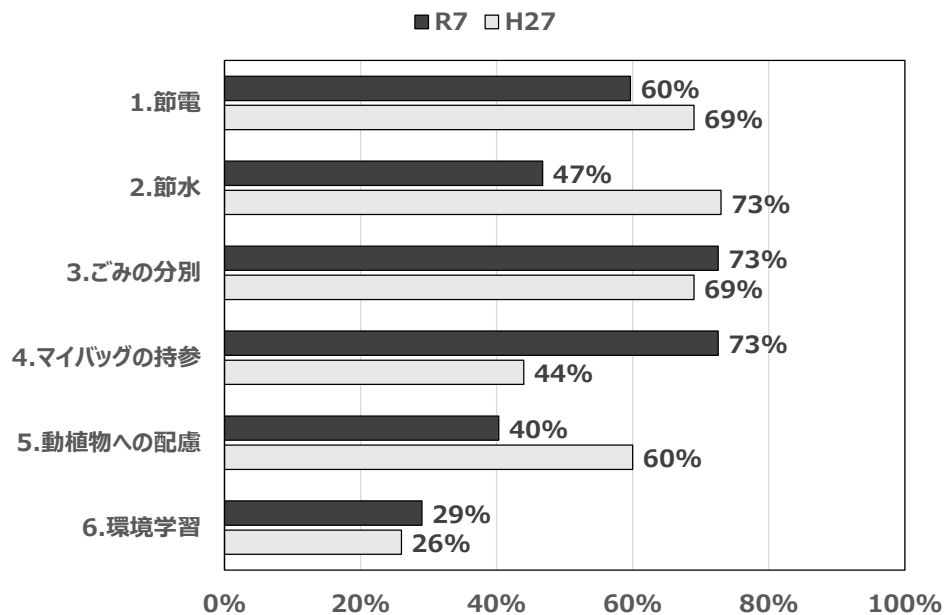


図 2-170 あなたが行っているもの

表 2-170 あなたが行っているもの

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)
1.節電(こまめに電気スイッチを切ることや、使わないものの電源を消すことなど)	37	60%	69%
2.節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めることなど)	29	47%	73%
3.ごみの分別	45	73%	69%
4.マイバッグの持参(お買い物をするときにマイバッグを持って行き、レジ袋をもらわないこと)	45	73%	44%
5.動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている)	25	40%	60%
6.環境学習(環境に関するイベントに参加したり、環境に関する本を読んだりすることなど)	18	29%	26%

2.4.3 区に期待する環境施策

(1) 問 7

文京区の未来のために重要だと思うものはどれですか。(2 つまで選択)
1.脱炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)
2.循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)
3.自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)
4.快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
5.歴史や文化を身近に感じられる社会

1) 全体

2015(平成 27)年度、2025(令和 7)年度ともに「4.快適・安全社会」が 60%と最も重視されている。また、「2.循環型社会」は 2015(平成 27)年度から 20%程度の増加と最も上昇している。

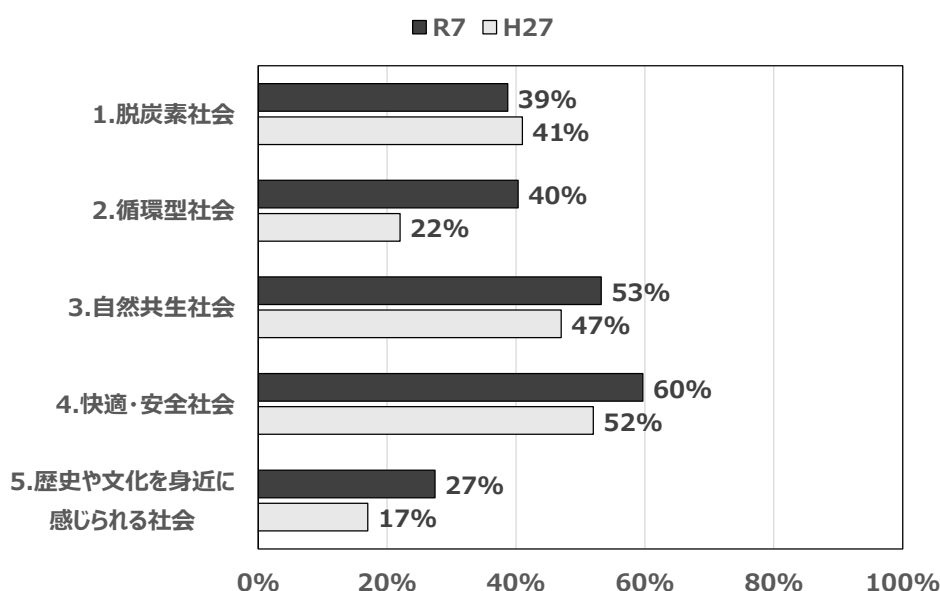


図 2-171 文京区の未来のために重要だと思うもの

表 2-171 文京区の未来のために重要だと思うもの

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)
1.脱炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	24	39%	41%
2.循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	25	40%	22%
3.自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	33	53%	47%
4.快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	37	60%	52%
5.歴史や文化を身近に感じられる社会	17	27%	17%

(1) 問 8

ご意見や感想などがあれば、教えてください。

- [illegible]

※原文のまま表記しています。

2.5 中学生

2.5.1 環境問題への関心

(1) 問 2

環境問題に関心がありますか。(1 つだけ選択)			
1.とても関心がある	2.少し関心がある	3.あまり関心がない	4.全く関心がない

1) 全体

関心がある(「1.とても関心がある」、「2.少し関心がある」の合計)割合は、2025(令和 7)年度で 80% 程度と 2015(平成 27)年度よりも高い。

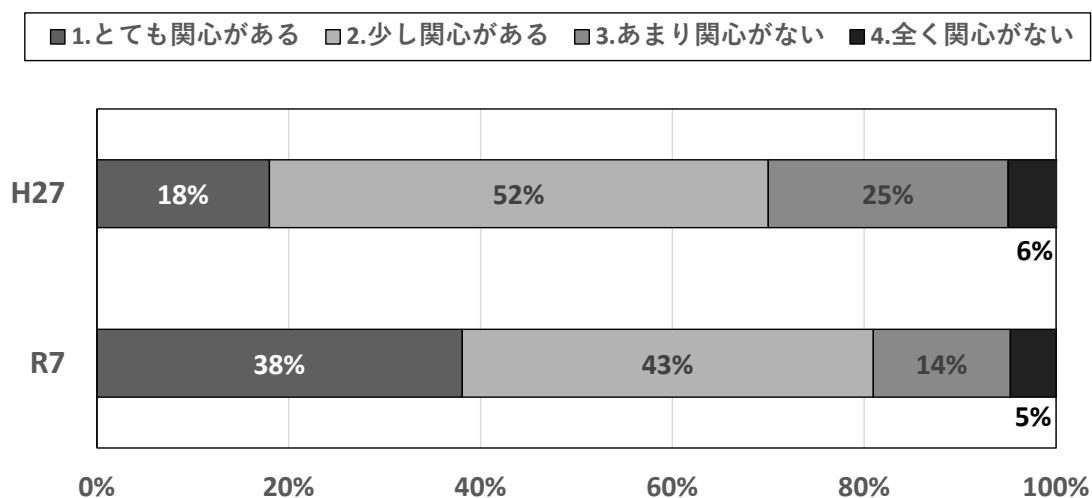


図 2-172 環境問題への関心

表 2-173 環境問題への関心

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結 果 (%)
1.とても関心がある	8	38%	18%
2.少し関心がある	9	43%	52%
3.あまり関心がない	3	14%	25%
4.全く関心がない	1	5%	6%
計(無回答数を除く)	21	—	—
無回答数	0	—	—

2.5.2 環境問題に配慮した取組の状況

(1) 問 3～5

もっと知りたいと思う環境問題は何ですか。(3 つまで選択)

- 1.地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)
- 2.再生可能エネルギー(地球温暖化への影響が少ないクリーンなエネルギーのこと)
- 3.オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)
- 4.廃棄物の 2R(多くのごみが出ないように、①減量、②再利用すること)
- 5.ごみの不法投棄(捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)
- 6.プラスチック汚染(プラスチックごみが河川・海に流出し、生き物とその生息地に悪影響すること)
- 7.自然環境の悪化(みどりが減ったり、生き物が住みやすい環境が減ること)
- 8.生物多様性の危機(生き物の種類が減ること)
- 9.大気汚染(空気が汚されること)
- 10.水質汚濁(海や川の水が汚されること)
- 11.土壌汚染(土や地下が汚されること)
- 12.騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)
- 13.歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)
- 14.景観の悪化(建物や看板などで景色が悪くなること)
- 15.光害(街の光が明るすぎて、星空が見えにくくなったり、生き物の生態に悪影響すること)

1) 全体

「1.地球温暖化」が 60%程度と最も高い。次いで「2.再生可能エネルギー」が 40%程度と高い。

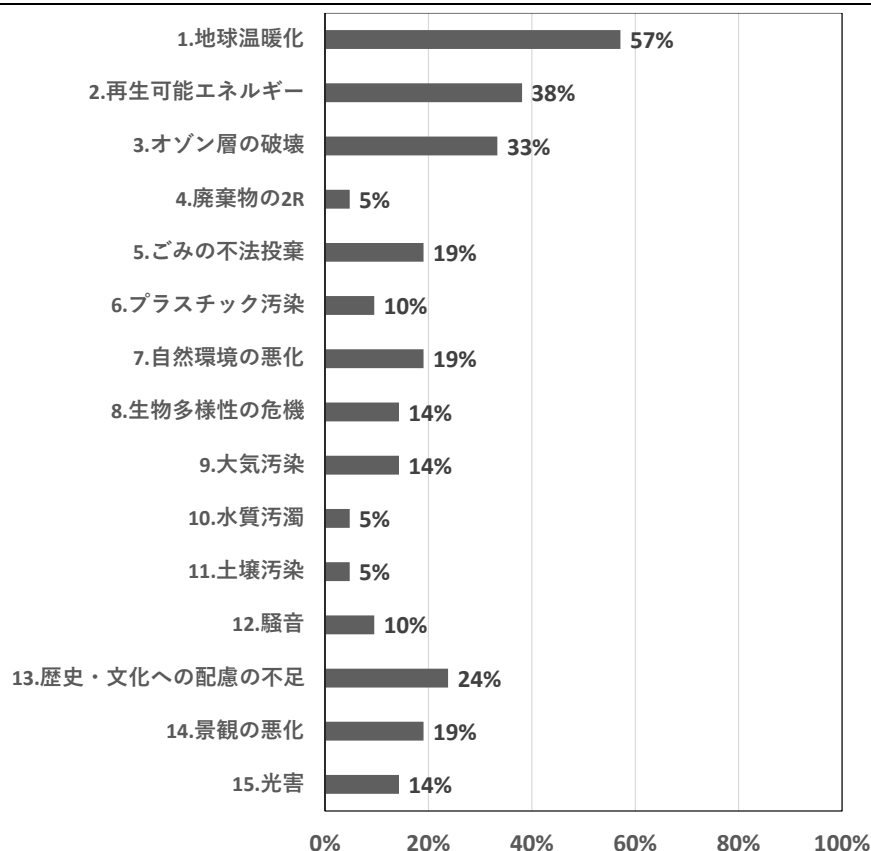


図 2-173 もっと知りたいと思う環境問題

表 2-174 もっと知りたいと思う環境問題

	回答数 (%(回答数))
1.地球温暖化(地球の気温が上がり、気候が変化すること)	57%(12)
2.再生可能エネルギー(地球温暖化への影響が少ないクリーンなエネルギーのこと)	38%(8)
3.オゾン層の破壊(地球を紫外線から守ってくれるオゾン層が破壊されること)	33%(7)
4.廃棄物の 2R(多くのごみが出ないように、①減量、②再利用すること)	5%(1)
5.ごみの不法投棄(捨ててはいけない場所にごみ捨てられること)	19%(4)
6.プラスチック汚染(プラスチックごみが河川・海に流出し、生き物とその生息地に悪影響すること)	10%(2)
7.自然環境の悪化(みどりが減ったり、生き物が住みやすい環境が減ること)	19%(4)
8.生物多様性の危機(生き物の種類が減ること)	14%(3)
9.大気汚染(空気が汚されること)	14%(3)
10.水質汚濁(海や川の水が汚されること)	5%(1)
11.土壌汚染(土や地下が汚されること)	5%(1)
12.騒音(道路や工場などのまわりがうるさいこと)	10%(2)
13.歴史・文化への配慮の不足(伝統ある歴史や文化が守られないこと)	24%(5)
14.景観の悪化(建物や看板などで景色が悪くなること)	19%(4)
15.光害(街の光が明るすぎて、星空が見えにくくなったり、生き物の生態に悪影響すること)	14%(3)

(2) 問6

あなたが行っていることは何ですか。(複数選択可)

- 1.節電(こまめに電気スイッチを切ることや、使わないものの電源を消すことなど)
- 2.節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めることなど)
- 3.ごみの分別
- 4.マイバグの持参(お買い物をするときにマイバグを持って行き、レジ袋をもらわないこと)
- 5.動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている)
- 6.環境学習(環境に関するイベントに参加したり、環境に関する本を読んだりすることなど)

1) 全体

2025(令和7)年度の実施率は、「3.ごみの分別」が最も高い。また、「4.マイバグの持参」は2015(平成27)年度から30%以上の増加と最も上昇しており、次いで「6.環境学習」が30%程度上昇している。

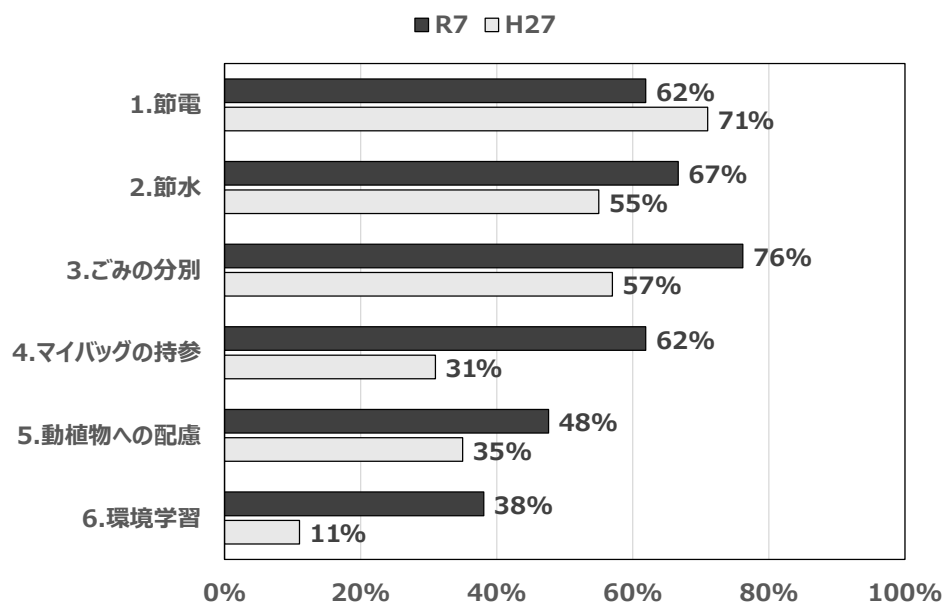


図 2-174 あなたが行っているもの

表 2-175 あなたが行っているもの

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)
1.節電(こまめに電気スイッチを切ることや、使わないものの電源を消すことなど)	13	62%	33%
2.節水(水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないで、こまめに止めることなど)	14	67%	26%
3.ごみの分別	16	76%	57%
4.マイバグの持参(お買い物をするときにマイバグを持って行き、レジ袋をもらわないこと)	13	62%	31%
5.動植物への配慮(生き物(動物や植物)を大切にしたり、育てたりしている)	10	48%	35%
6.環境学習(環境に関するイベントに参加したり、環境に関する本を読んだりすることなど)	8	38%	11%

2.5.3 区に期待する環境施策

(1) 問 7

文京区の未来のために重要だと思うものはどれですか。(2 つまで選択)
1.脱炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギー(太陽の光や風の力など)の利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)
2.循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)
3.自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)
4.快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)
5.歴史や文化を身近に感じられる社会

1) 全体

2025(令和 7)年度は「2.循環型社会」が 60%程度と最も重視されており、2015(平成 27)年度と比較して 30%以上と最も上昇している。また、上昇率は「5.歴史や文化を身近に感じられる社会」が 30%程度と次いで高い。

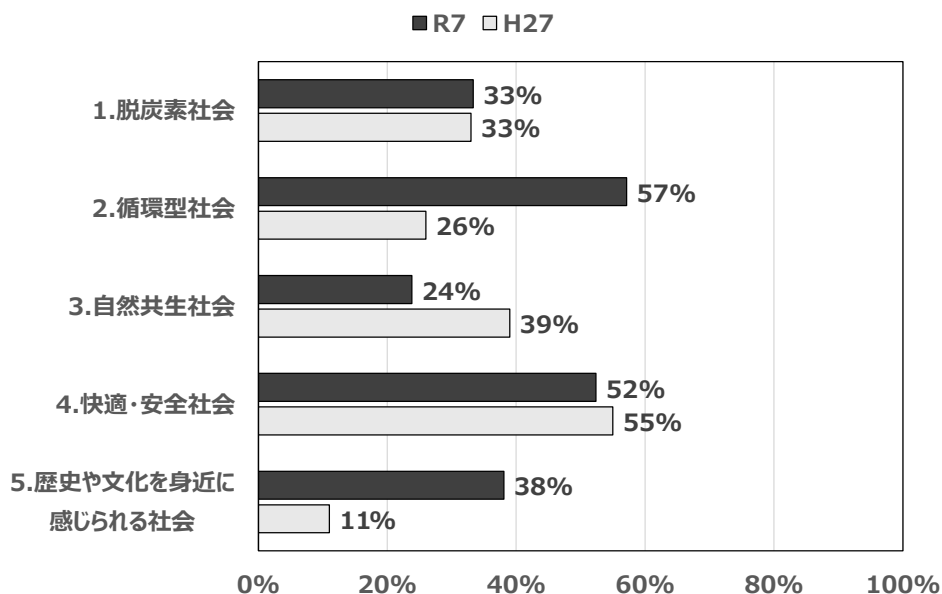


図 2-175 文京区の未来のために重要だと思うもの

表 2-176 文京区の未来のために重要だと思うもの

	R7 結果 (回答数)	R7 結果 (%)	H27 結果 (%)
1.脱炭素社会(省エネルギーや再生可能エネルギーの利用が進み、二酸化炭素の排出が少ない社会)	7	33%	33%
2.循環型社会(ごみの発生が減り、使えるものを再使用し、資源のリサイクルが進んだ社会)	12	57%	26%
3.自然共生社会(動物や植物を大事にし、人間と自然が共に生きる社会)	5	24%	39%
4.快適・安全社会(きれいな空気や水、静かな環境などに囲まれた社会)	11	52%	55%
5.歴史や文化を身近に感じられる社会	8	38%	11%

2.5.4 区へのご意見

(1) 問 8

表 2-177 区へのご意見

ご意見や感想などがあれば、教えてください。
・ちきゅうをまもりたいです！ ・最近地球温暖化 自然に関する問題が深刻になって来ているから私に出来ることをなるべく行いたいと思いました ・オーバーツーリズムに興味があります。 ・環境や歴史への配慮がないと、今までせっかく培われてきた文化や生態系を自分たちの手で壊してしまうことになると思います 戦争なども一例だと考えます。私は個人的に明治、大正にかけてのモダンな文化が好きなのですが、戦争によって失われてしまったと聞いてとても残念に思いました。この例は直接環境に関する問題ではないかもしれませんが、素晴らしい文明が消えてしまうのはもったいないことだと思います。これからは、限りある資源を人間だけでなく、動植物たちとも共有して生きていくことを大切にして、文化や命を守っていくべきだと思います ・少なくとも被害を出さない動物は傷つけることなく、動物と人が共存できる環境になるといいと思った。

※原文のまま表記しています。